

平成 21 年度

瀬谷区区民意識調査

報告書

平成 22 年 3 月

横浜市瀬谷区

瀬谷区 区民意識調査

目 次

調査概要.....	1
I. 回答者の属性.....	3
II. 集計分析結果.....	10
1. 区役所の仕事について.....	10
2. 住まいの周辺環境について.....	30
3. 文化活動について.....	90
4. 瀬谷区の区民利用施設について.....	99
5. 広報紙について.....	113
6. 新型インフルエンザについて.....	129
7. 公共マナーについて.....	137
調査票(単純集計結果).....	147

瀬谷区 区民意識調査 調査概要

◆調査目的

瀬谷区民の生活行動や意識・意向を明らかにし、今後の区政運営や施策展開の基礎資料とする。主な項目は以下の通りである。

- ・区政との関わりや意識
- ・文化活動の状況や意識
- ・広報に関する取組や意識
- ・公共マナーに関する意識
- ・住まいの周辺の環境に関する意識
- ・瀬谷区の区民利用施設に関する状況や意識
- ・新型インフルエンザに関する取組や意識

◆調査対象

調査対象数 3,000人(住民基本台帳、外国人登録原票から瀬谷区に居住する16歳以上の人を無作為抽出)

回収数 1,334件

回収率 44.5%

◆調査方法

郵送によるアンケート形式

◆調査期間

平成21年11月26日～12月8日

◆地域区分

平成20年度 瀬谷区区民意識調査 地域区分表

地区名	対象町名
阿久和北部連合自治会	阿久和西一丁目、阿久和西二丁目、阿久和東一丁目、阿久和東二丁目
阿久和南部連合自治会	阿久和西三丁目、阿久和西四丁目、阿久和東三丁目、阿久和東四丁目、阿久和南一丁目、阿久和南二丁目、阿久和南三丁目、阿久和南四丁目
三ツ境連合自治会	三ツ境
瀬谷第一地区連合町内会	中央、本郷四丁目、瀬谷四丁目
本郷地区連合自治会	本郷一丁目、本郷二丁目、本郷三丁目
瀬谷北部町内連合会	五貫目町、上瀬谷町、北町、目黒町、中屋敷一丁目、中屋敷二丁目、中屋敷三丁目、卸本町、竹村町
瀬谷第二地区連合自治会	橋戸一丁目、橋戸二丁目、橋戸三丁目、北新、瀬谷五丁目、瀬谷六丁目、下瀬谷一丁目、下瀬谷二丁目、下瀬谷三丁目
細谷戸連合町内会	瀬谷町
瀬谷第四地区連合自治会	東野、東野台、二ツ橋町
南瀬谷自治連合会	南台一丁目、南台二丁目、南瀬谷一丁目、南瀬谷二丁目
宮沢連合自治会	宮沢一丁目、宮沢二丁目、宮沢三丁目、宮沢四丁目
相沢町内連合会	相沢一丁目、相沢二丁目、相沢三丁目、相沢四丁目、相沢五丁目、相沢六丁目、相沢七丁目、瀬谷一丁目、瀬谷二丁目、瀬谷三丁目

*地域の区分については、主に連合の対象区域をもとに町名を割り当てました

◆集計結果の見方

- ①回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。
- ②比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。したがって、合計が100%を上下する場合がある。
- ③標本を無作為に抽出した統計数値には誤差があり、次の公式によって算出される。

標本誤差 = $\pm 2\sqrt{(\text{回答率}(100-\text{回答率})/\text{標本数})}$

基数が回答者全員(人)で回答が50%のとき、誤差は ± 2.50 である。したがって真の値は47.47～52.53の間と考えられる。

標準誤差

回答率	標本数(1,566)
10% 90%	±1.52
20% 80%	±2.02
30% 70%	±2.32
40% 60%	±2.48
50%	±2.53

※概要数値の見方

数値はそれぞれ割合(%)を表示。基本数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている (n=1,334)。

※ライフステージ区分

年齢、家族構成、子どもの有無と成長段階から次のようなライフステージ区分を作成した。ライフステージは、子どもの有無と成長段階(いずれも同居を問わない)を中心に、それぞれ成長段階によって区分される。

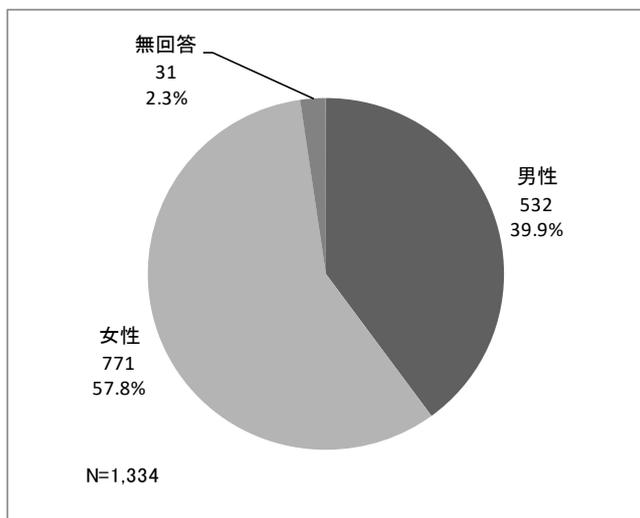
	件数	構成比 (%)	年齢	家族構成	職業	子どもの段階												
						未就学児	小・中学校 在学中	高校 在学中	その他の 学校に 在学中	学校教育 終了	その他	子どもは いない						
ライフ ステージ	単身及び夫婦のみ	115	8.6%		ひとり暮らし 夫婦だけ												○	
	家族形成期	128	9.6%				○											
	家族成長前期	169	12.6%					○	○									
	家族成長後期	111	8.3%							○								
	家族成熟期	282	21.1%	40歳未満	親と子、祖父母と 親と子,その他	学生												○
				65歳未満								○						
	家族円熟期	364	27.3%	40~65歳未満	親と子、祖父母と 親と子,その他	自営・会社員、公務員、パート・アルバイト、未就業												○
				65歳以上									○					
				65歳以上	親と子、祖父母と 親と子,その他	自営・会社員、公務員、パート・アルバイト、未就業												○
	分類不能	165	12.4%															
合計	1,334	100.0%																

I. 回答者の属性

F1 性別

- ・ 男性 39.9%、女性 57.8%で、女性の方が多くなっている。

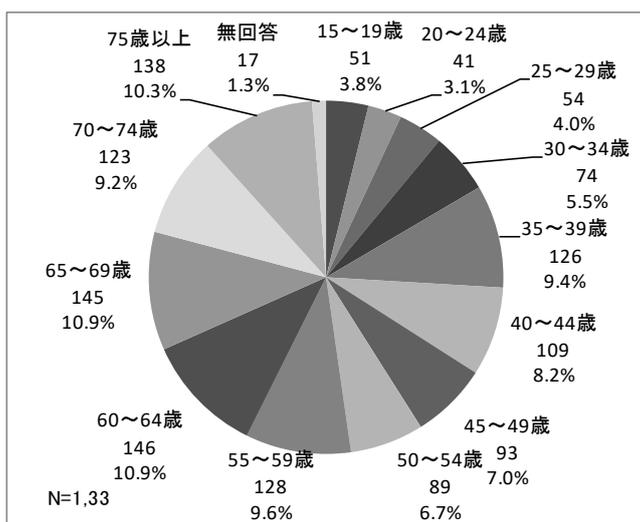
図 性別



F2 年齢

- ・ 10代が3.8%、20代も7.1%と若年層はやや少なくなっている。30代、40代、50代は10%台半ば、60代、70歳以上は20%程度と、やや高齢者の比率が高くなっている。

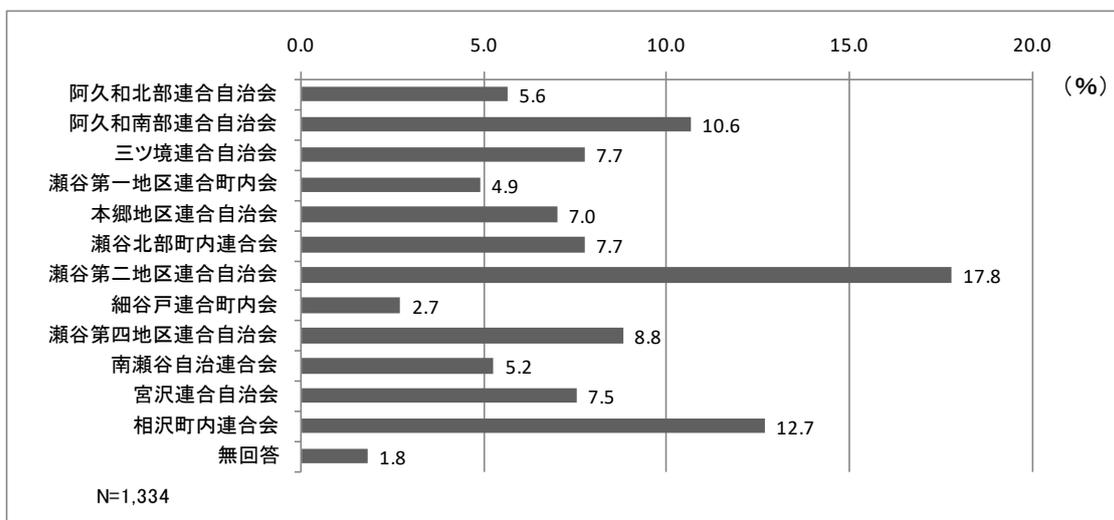
図 年齢



F3 お住まいの場所

- ・「瀬谷第二地区連合町内会」が 17.8%で最も多く、次いで「相沢町内連合会」(12.7%)、「阿久和南部連合自治会」(10.6%)と続いている。「細谷戸連合町内会」が 2.7%で最も少なくなっている。
- ・住民基本台帳人口(平成 22 年1月末現在)と比較すると、これらの分布はほぼ実際の人口比に同じである。

図 居住地区



図表 居住地区別人口及び構成比

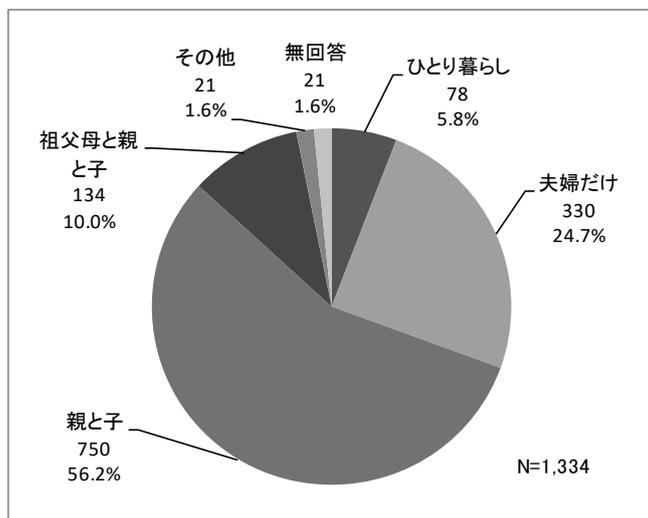
	人口 (人)	構成比 (%)
阿久和北部連合自治会	10,675	8.3
阿久和南部連合自治会	13,307	10.4
三ツ境連合自治会	9,057	7.1
瀬谷第一地区連合町内会	6,426	5.0
本郷地区連合自治会	8,655	6.7
瀬谷北部町内連合会	9,003	7.0
瀬谷第二地区連合自治会	23,835	18.6
細谷戸連合町内会	3,226	2.5
瀬谷第四地区連合自治会	11,613	9.1
南瀬谷自治連合会	8,156	6.4
宮沢連合自治会	9,806	7.6
相沢町内連合会	14,518	11.3
	128,277	100.0

出所)横浜市ポータルサイト 住民基本台帳・外国人登録原票
「登録者数」H22年1.31現在

F4 家族形態

- ・「親と子」が 56.2%と過半数を占め、最も多い。次いで「夫婦だけ」が 24.7%で、全体の約4分の1となっている。以下「祖父母と親と子」(10.0%)、「ひとり暮らし」(5.8%)、「その他」(1.6%)の順となっている。

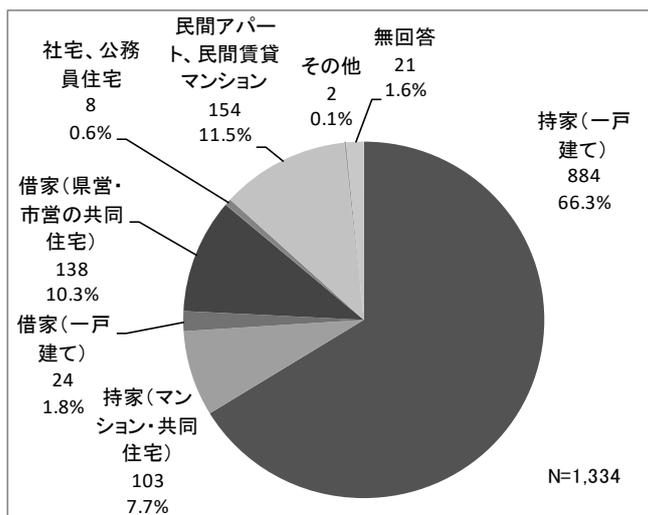
図 家族形態



F5 住居形態

- ・「持家(一戸建て)」が 66.3%で最も多く、7割弱を占める。次いで「民間アパート、民間賃貸マンション」(11.5%)、「借家(県営・市営の共同住宅)」(10.3%)、「持家(マンション・共同住宅)」(7.7%)、「借家(一戸建て)」(1.8%)、「社宅、公務員住宅」(0.6%)、「その他」(0.1%)の順となっている。

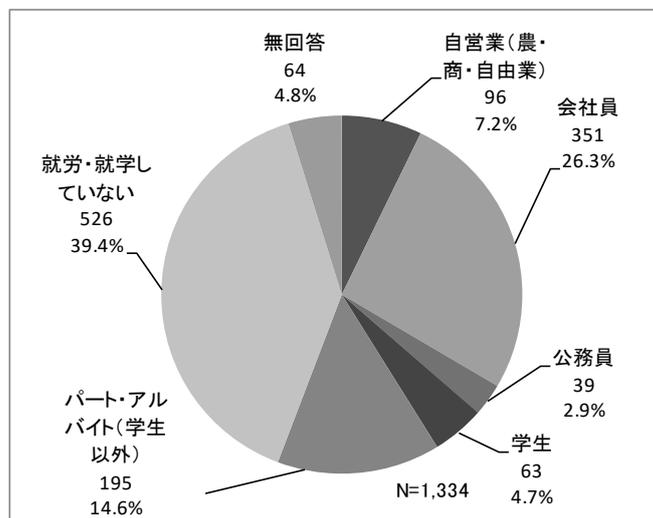
図 住居形態



F6 職業

- ・「就労・就学していない」が 39.4%で最も多く、全体の4割を占める。次いで「会社員」(26.3%)、「パート・アルバイト(学生以外)」(14.6%)、「自営業(農・商・自由業)」(7.2%)、「学生」(4.7%)、「公務員」(2.9%)の順となっている。

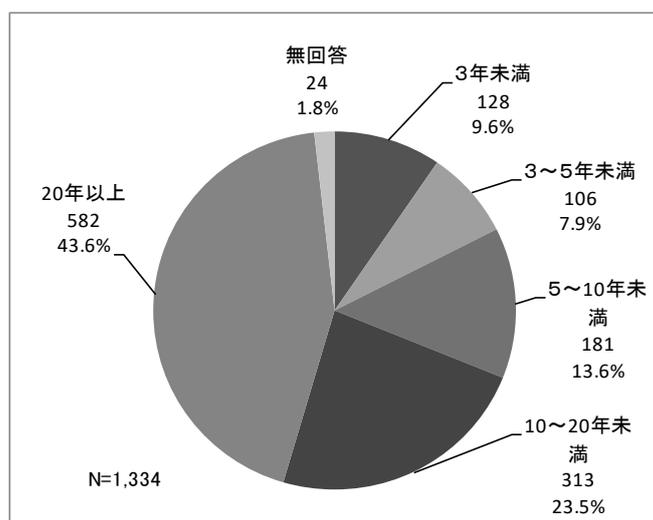
図 職業



F7 現在の住居での居住年数

- ・「20年以上」が 43.6%で最も多く、全体の半数弱を占めている。次いで「10～20年未満」(23.5%)、「5～10年未満」(13.6%)、「3年未満」(9.6%)、「3～5年未満」(7.9%)の順となっている。

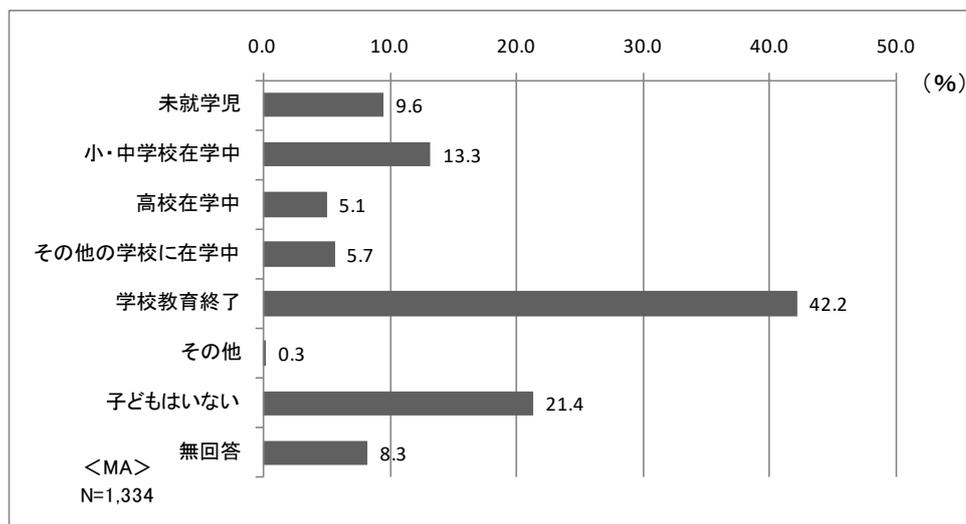
図 現在の住居での居住年数



F8 子どもの段階(複数回答)

- ・「学校教育終了」が 42.2%で最も多く、全体の半数弱が挙げている。次いで「子どもはいない」が 21.4%である。以下「小・中学校在学中」(13.3%)、「未就学児」(9.6%)、「その他の学校に在学中」(5.7%)、「高校在学中」(5.1%)、「その他」(0.3%)の順となっている。

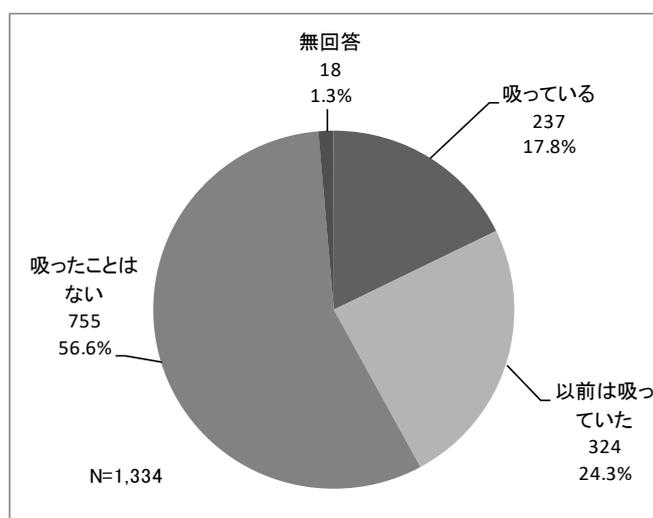
図 子どもの段階(複数回答)



F9 喫煙習慣の有無

- ・「吸ったことはない」が 56.6%で最も多く、過半数を占めている。次いで「以前は吸っていた」が 24.3%と全体の4分の1で、これらを合わせると、全体の8割強が現時点で非喫煙者となっている。「吸っている」は 17.8%である。

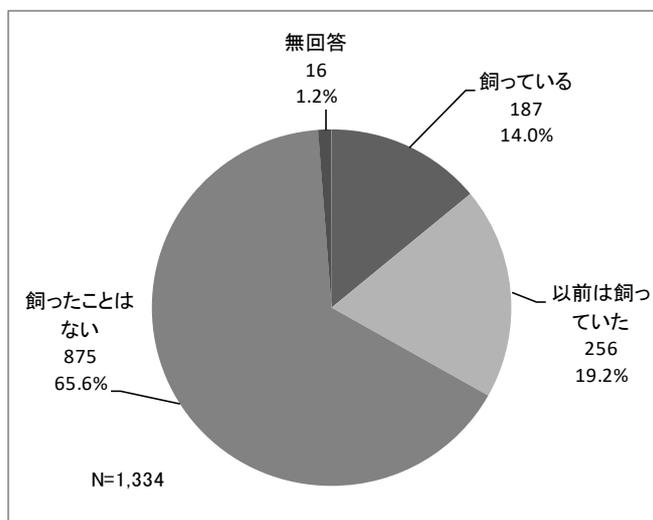
図 喫煙習慣の有無



F10 飼い犬の有無

- ・ 「飼ったことはない」が 65.6%で最も多くなっている。次いで「以前は飼っていた」が 19.2%、「飼っている」は 14.0%となっている。

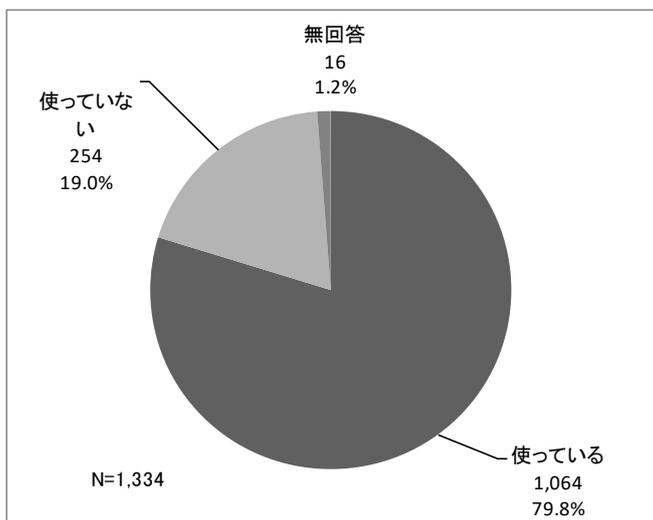
図 飼い犬の有無



F11 携帯電話の使用有無

- ・ 「使っている」が 79.8%で、全体のほぼ8割を占めている。「使っていない」は 19.0%で、2割弱である。

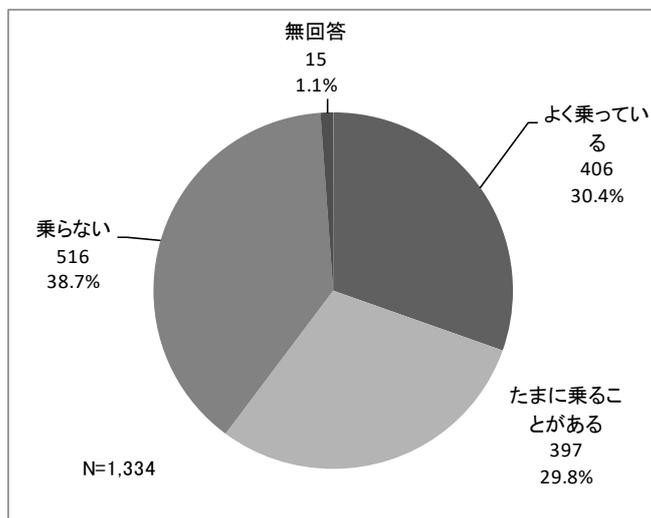
図 携帯電話の使用有無



F12 自転車の使用有無

- ・ 「乗らない」が 38.7%で全体の4割弱となっており、最も多い。「よく乗っている」は 30.4%、「たまに乗ることがある」が 29.8%で、いずれも3割前後で拮抗している。またこれらを合わせると多少なりとも自転車を利用する層は全体の6割となっている。

図 自転車の使用有無



Ⅱ. 集計分析結果

1. 区役所の仕事について

問1 あなたは、区役所に何回くらい行きますか。

- ・ 「年に3～4回程度」が最も多く 26.3%で、全体のほぼ4分の1である。次いで多いのは「年に2回程度」の 19.6%で、以下「年に1回程度」(18.5%)、「数年に1回」(13.3%)、「ここ数年行ったことがない」(12.1%)、「月に1回以上」(4.2%)の順となっている。
- ・ 平成 19 年度調査においても同様に、最も多かったのが「年に3～4回程度」、次いで「年に2回程度」、「年に1回程度」となっている。選択肢が一部異なるため一概にはいえないが、月1回以上区役所を訪れる割合は減少しているものの、大まかな傾向に変化は見られない。

図 区役所の利用頻度

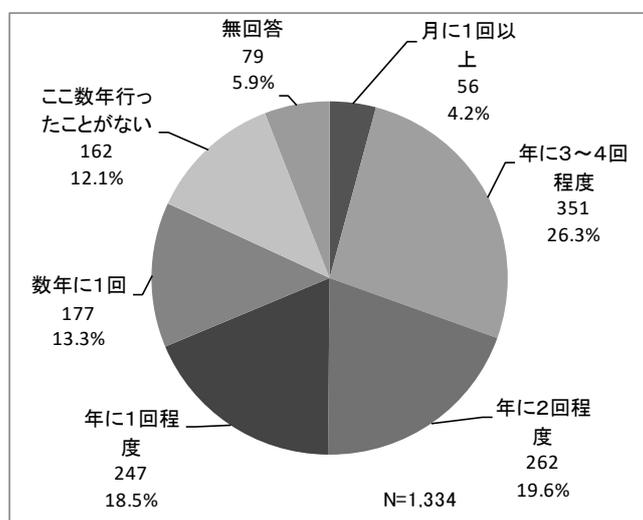
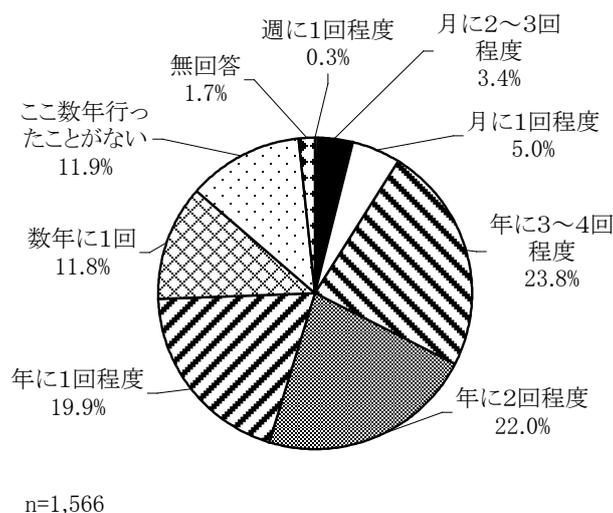


図 区役所の利用頻度(平成 19 年度調査)



■ 男女・年齢別 区役所の利用頻度(問1×F1・2)

- ・ 10代男女、20代女性は「ここ数年行ったことがない」が、20代男性は「数年に1回」が最も多くなっており、若年層の区役所利用頻度は低い。40代男性と70歳以上女性で「年に2回程度」、50代男性は「年に1回程度」が最も多くなっている以外は「年に3～4回程度」が最も多くなっている。

図 男女・年齢別 区役所の利用頻度

		全体	月に1回以上	年に3～4回程度	年に2回程度	年に1回程度	数年に1回	ここ数年行ったことがない	不明
全 体		1,334	56	351	262	247	177	162	79
		100.0	4.2	26.3	19.6	18.5	13.3	12.1	5.9
F 1・F 2 男女・年齢	10代男性	16	0.0	0.0	12.5	6.3	18.8	56.3	6.3
	10代女性	35	2.9	0.0	5.7	2.9	14.3	65.7	8.6
	20代男性	37	0.0	18.9	10.8	18.9	29.7	18.9	2.7
	20代女性	58	5.2	19.0	13.8	19.0	17.2	22.4	3.4
	30代男性	72	2.8	27.8	16.7	15.3	16.7	13.9	6.9
	30代女性	127	3.1	33.1	26.0	19.7	11.0	6.3	0.8
	40代男性	72	2.8	22.2	23.6	15.3	19.4	13.9	2.8
	40代女性	127	4.7	28.3	18.1	26.8	13.4	7.9	0.8
	50代男性	89	2.2	14.6	16.9	33.7	16.9	12.4	3.4
	50代女性	126	3.2	27.8	22.2	17.5	16.7	11.1	1.6
	60代男性	120	5.0	34.2	19.2	20.8	9.2	5.0	6.7
	60代女性	167	6.6	29.9	18.0	21.0	12.0	4.8	7.8
	70歳以上男性	124	7.3	37.9	23.4	12.9	2.4	8.9	7.3
	70歳以上女性	130	3.8	20.0	23.1	10.8	11.5	14.6	16.2
不 明	34	2.9	20.6	17.6	11.8	17.6	8.8	20.6	

問2 あなたが区役所に行くときは、主にどのような用件のあるときですか。

- 「戸籍・住民票関係の手続き」が 76.1%で突出して多く、8割弱の人が挙げている。次に「国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き」(31.9%)、「税金関係の相談・手続き」(29.6%)が3割前後である。以下「福祉保健関係の相談・手続き」(12.8%)、「イベント・各種説明会・教室などへの参加」(12.1%)、「乳幼児健診・予防接種、健康診断などの受診」(10.7%)、「介護保険関係の相談・手続き」(7.3%)、「その他」(4.3%)、「まちづくり、市民活動関係の相談」(2.5%)、「生活衛生関係の相談・手続き」(1.3%)の順となっている。
- 平成19年度調査においても同様に「戸籍・住民票関係の手続き」が飛びぬけて多く、次いで「国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き」「税金関係の相談・手続き」が3割程度となっている。

図 区役所に行く要件(3つまで回答)

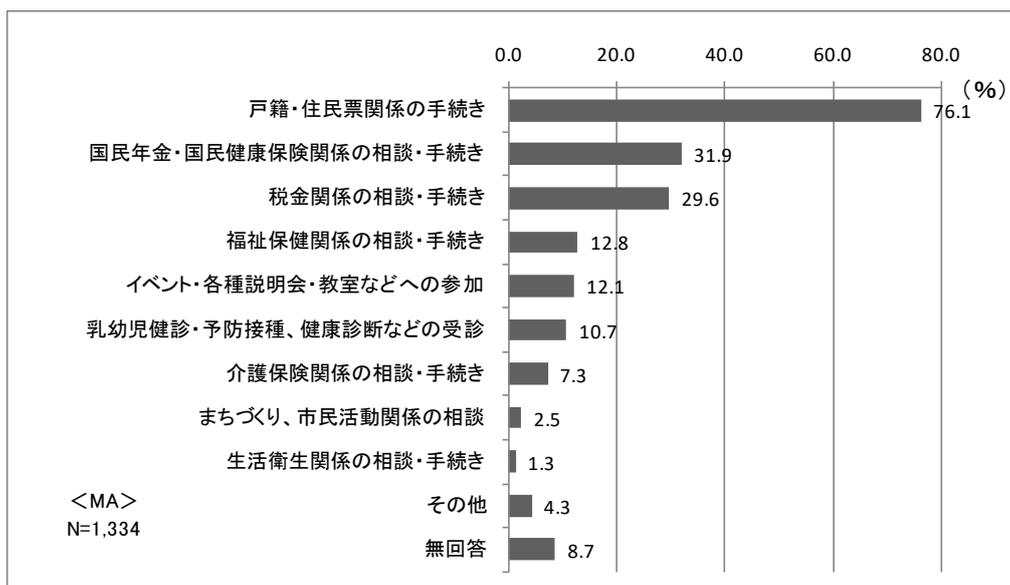
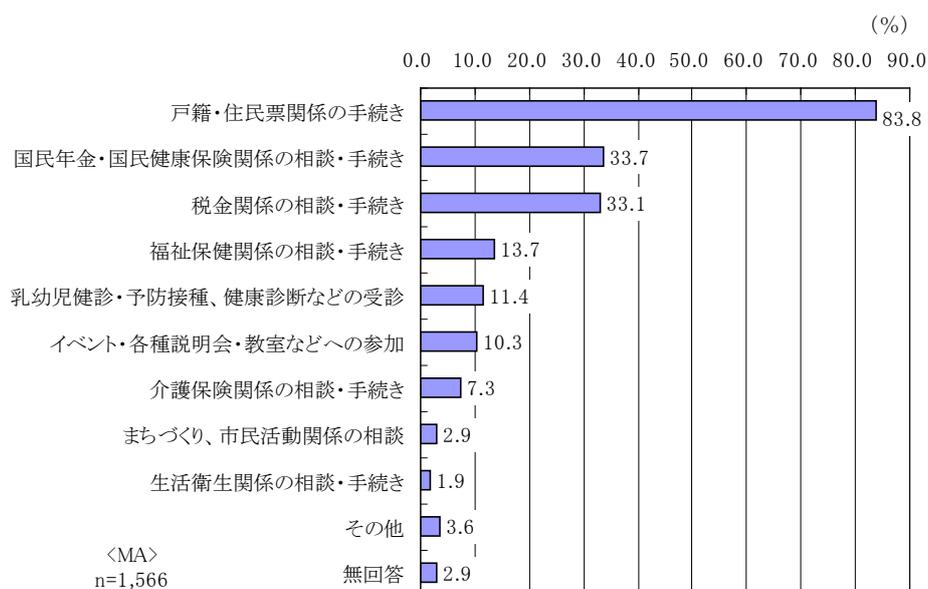


図 区役所に行く要件(3つまで回答 平成19年度)



■ 男女・年齢別 区役所に行く要件(問1×F1・2)

- ・ いずれも「戸籍・住民票関係の手続き」が最も多くなっている。
- ・ 30代、60代、70歳以上のいずれも男性で「税金関係の相談・手続き」、20代男性と、60代の男女で「国民年金・国民健康保険関係の手続き」、30代、40代の女性で「乳幼児健診・予防接種、健康診断などの受診」、70歳以上の女性で「介護保険関係の相談・手続き」、30代の女性で「福祉保健関係の相談・手続き」の数値が、それぞれ他に比べて高くなっている。

図 男女・年齢別 区役所に行く要件

	全体	戸籍・住民票関係の手続き	税金関係の相談・手続き	国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き	乳幼児健診・予防接種、健康診断などの受診	介護保険関係の相談・手続き	福祉保健関係の相談・手続き	生活衛生関係の相談・手続き	まちづくり、市民活動関係の相談	イベント・各種説明会・教室などへの参加	その他	無回答
全体	1,334	1,015	395	426	143	97	171	18	33	161	58	116
	100.0	76.1	29.6	31.9	10.7	7.3	12.8	1.3	2.5	12.1	4.3	8.7
F1・F2 男女・年齢												
10代男性	16	50.0	18.8	12.5	0.0	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	0.0	37.5
10代女性	35	42.9	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0	2.9	11.4	2.9	45.7
20代男性	37	73.0	27.0	43.2	10.8	0.0	8.1	2.7	0.0	5.4	2.7	8.1
20代女性	58	75.9	12.1	31.0	19.0	0.0	12.1	0.0	0.0	1.7	10.3	8.6
30代男性	72	77.8	44.4	22.2	16.7	2.8	12.5	1.4	0.0	9.7	8.3	8.3
30代女性	127	81.9	26.0	26.0	40.9	0.8	22.8	0.0	1.6	15.0	3.9	0.8
40代男性	72	84.7	30.6	26.4	4.2	1.4	18.1	2.8	2.8	6.9	6.9	4.2
40代女性	127	80.3	25.2	21.3	22.0	3.9	18.9	0.8	2.4	13.4	3.9	2.4
50代男性	89	87.6	34.8	36.0	2.2	10.1	10.1	2.2	1.1	9.0	3.4	3.4
50代女性	126	92.1	34.1	35.7	7.9	6.3	7.9	0.8	0.0	12.7	5.6	0.8
60代男性	120	88.3	39.2	47.5	0.0	8.3	10.0	0.8	4.2	10.8	1.7	5.8
60代女性	167	74.3	26.3	41.3	6.0	13.2	10.8	2.4	3.6	15.6	5.4	9.6
70歳以上男性	124	62.1	39.5	33.1	1.6	9.7	12.1	1.6	4.8	15.3	3.2	11.3
70歳以上女性	130	60.8	27.7	32.3	4.6	16.9	13.1	0.8	4.6	16.2	3.1	16.9
不明	34	52.9	17.6	23.5	5.9	11.8	8.8	2.9	0.0	5.9	0.0	29.4

■ 区役所の利用頻度別 区役所に行く要件(問1×問2)

- ・ 「乳幼児健診・予防接種、健康診断などの受診」では年3～4回、「介護保険関係の相談・手続き」「福祉保健関係の相談・手続き」では月1回以上の利用が他に比べて高い。それ以外の要件では利用頻度にばらつきが見られる。

図 区役所の利用頻度別 区役所に行く要件

	全体	戸籍・住民票関係の手続き	税金関係の相談・手続き	国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き	乳幼児健診・予防接種、健康診断などの受診	介護保険関係の相談・手続き	福祉保健関係の相談・手続き	生活衛生関係の相談・手続き	まちづくり、市民活動関係の相談	イベント・各種説明会・教室などへの参加	その他	無回答
全体	1,334	1,015	395	426	143	97	171	18	33	161	58	116
	100.0	76.1	29.6	31.9	10.7	7.3	12.8	1.3	2.5	12.1	4.3	8.7
問1 区役所の 利用頻度												
月に1回以上	56	64.3	26.8	41.1	8.9	14.3	33.9	1.8	7.1	19.6	14.3	3.6
年に3～4回程度	351	83.5	42.7	39.6	19.1	8.0	23.1	2.0	3.4	19.9	4.6	0.9
年に2回程度	262	79.4	42.0	37.4	9.5	8.8	11.5	2.3	1.1	11.8	5.3	0.4
年に1回程度	247	80.2	23.1	26.3	10.5	7.3	10.5	0.4	2.4	11.7	4.0	1.2
数年に1回	177	87.6	19.8	34.5	6.2	4.0	4.0	0.0	0.6	5.1	4.0	1.1
ここ数年行ったことがない	162	70.4	15.4	20.4	5.6	6.2	3.7	1.9	2.5	4.3	1.9	25.3
不明	79	13.9	3.8	8.9	0.0	3.8	2.5	0.0	3.8	5.1	0.0	81.0

問3 現在の区役所の仕事ぶりについて、次の項目ごとに、どう思われるかお答えください。また、区役所のあり方における各項目の重要度をお答えください。

- 現在の区役所の仕事ぶりについて「そう思う」の方が多くなっているのは「仕事が的確・公正で、信頼できる」(そう思う 64.5%)、「窓口や電話での応対が丁寧で気持がよい」(同 57.4%)の2項目である。「そう思わない」の方が多くなっているのは「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている」(そう思わない 52.6%)、「行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている」(同 48.0%)、「効率的で合理的な組織経営が行われている」(同 47.5%)「住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている」(同 43.3%)、「住民や地域の活動がサポートできている」(同 41.2%)である。
- 平成19年度調査結果と、無回答を除いた「そう思う」の割合を比較すると、「⑤住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている」が3.9ポイント減少、「行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている」は0.3ポイント減少しているが、それ以外は全ての項目で「そう思う」の割合が高くなっている。特に「住民や地域の活動がサポートできている」では5.2ポイント増加している。

図 区役所の仕事ぶりについて

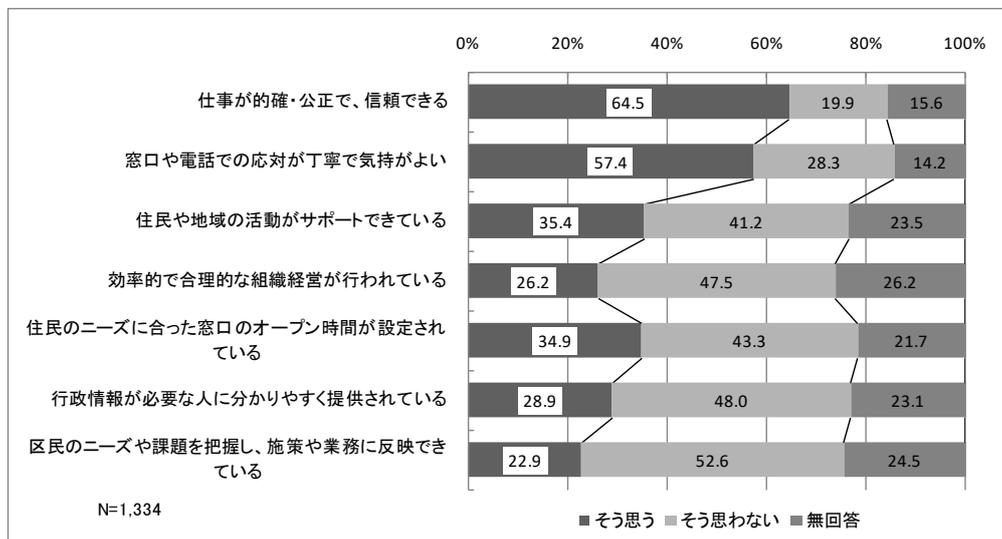
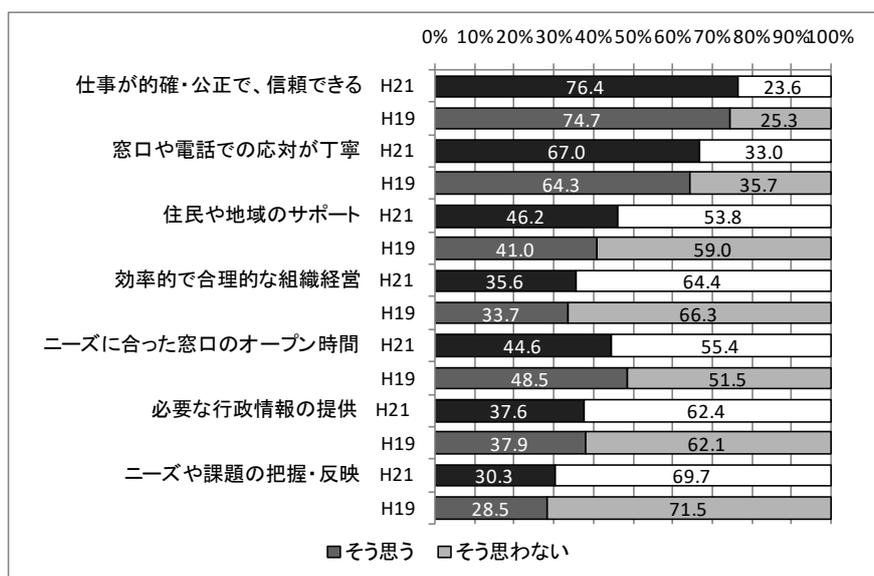


図 区役所の仕事ぶりについて(平成19年度との比較)



- これら各項目の重要度については、いずれも「重要」が最も多く、特に「仕事の的確・公正で、信頼できる」(重要 78.3%)、「窓口や電話での対応が丁寧で気持がよい」(同 76.3%)の2項目では8割近い高い数値となっている。
- 平成 19 年度調査結果と、無回答を除いた「重要」の割合を比較すると、「住民や地域の活動がサポートできている」「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている」がわずかに数値を下げている以外はいずれの項目も「重要」の割合がやや高くなっている。

図 区役所のあり方についての重要度

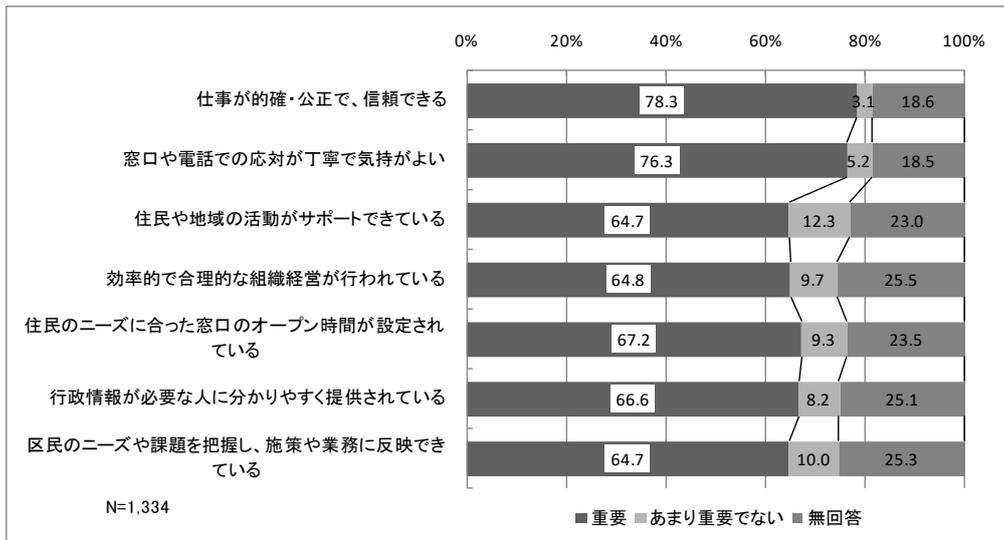
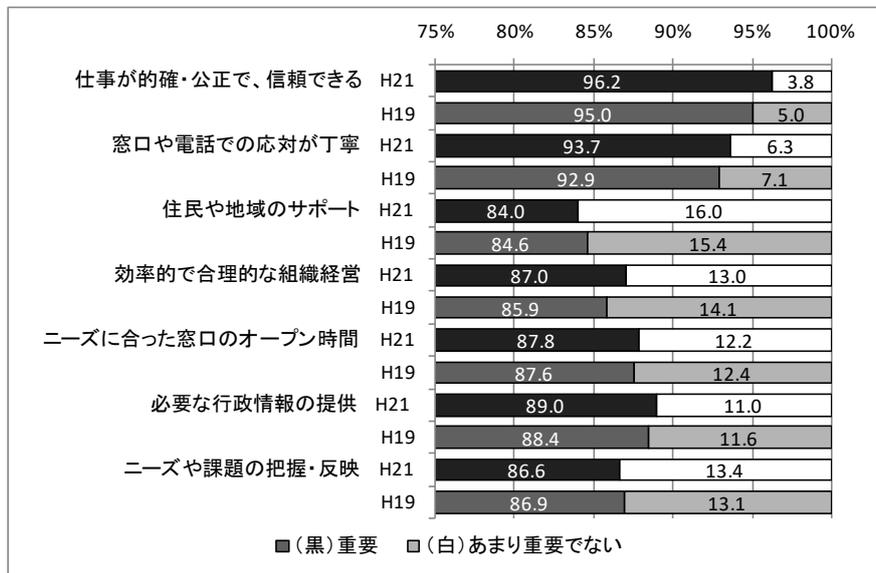


図 区役所のあり方についての重要度(平成 19 年度との比較)



■ 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所の仕事ぶりについての評価、重要度(問3×問1,F1・2)

利用頻度別では、全項目において利用頻度が高いほど評価が高い傾向にある。男女・年齢別では、特徴として、業務への姿勢については20代男性・30代女性の評価が高く、組織運営・窓口時間・情報提供については30代男性が厳しいことや、重要度が20代～40代の女性で各項目とも高くなっていくことなどが挙げられる。

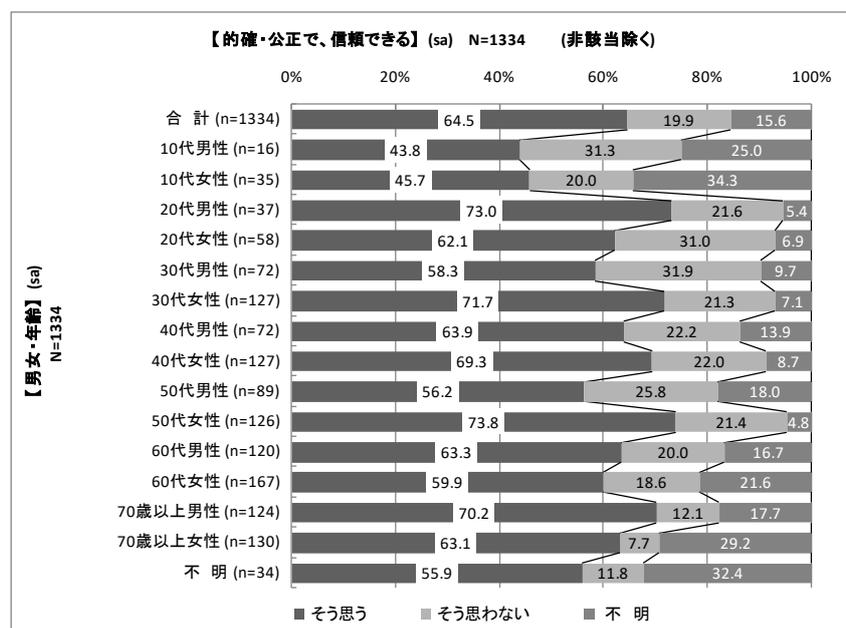
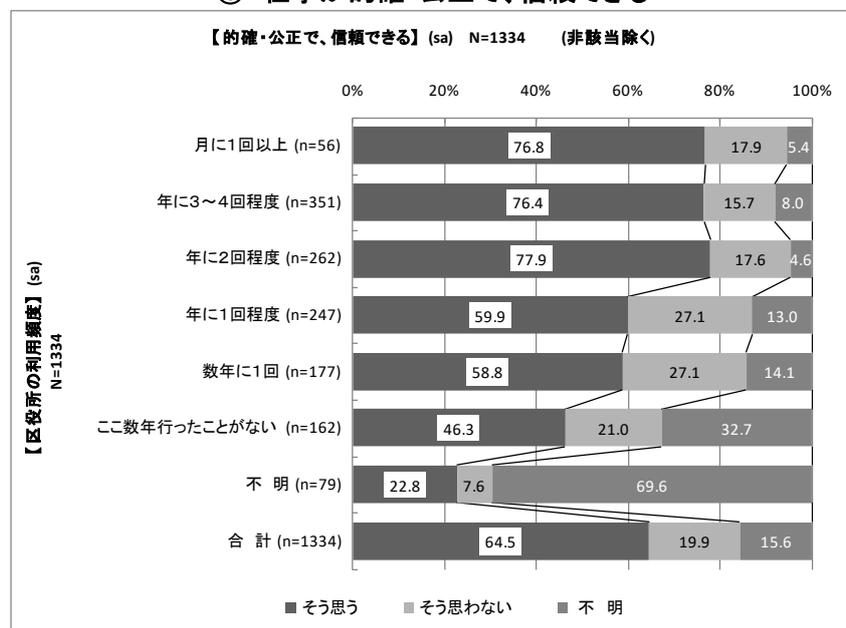
① 仕事が的確・公正で、信頼できる

<評価>

- ・ 利用頻度別では、「年に2回程度」で「そう思う」の数値が最も高いほか、「年に2回程度」以上の利用頻度の高いグループで「そう思う」の数値が8割近くに達する。概ね利用頻度が高いほど「そう思う」の数値も高い傾向にあり、これは次ページ以降も共通の傾向である。
- ・ 男女・年齢別では、20代男性と30代、50代女性、70歳以上男性で「そう思う」の数値が高くなっている。10代は男女とも「そう思う」の数値が低い。

図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所の仕事ぶりについての評価

① 仕事が的確・公正で、信頼できる

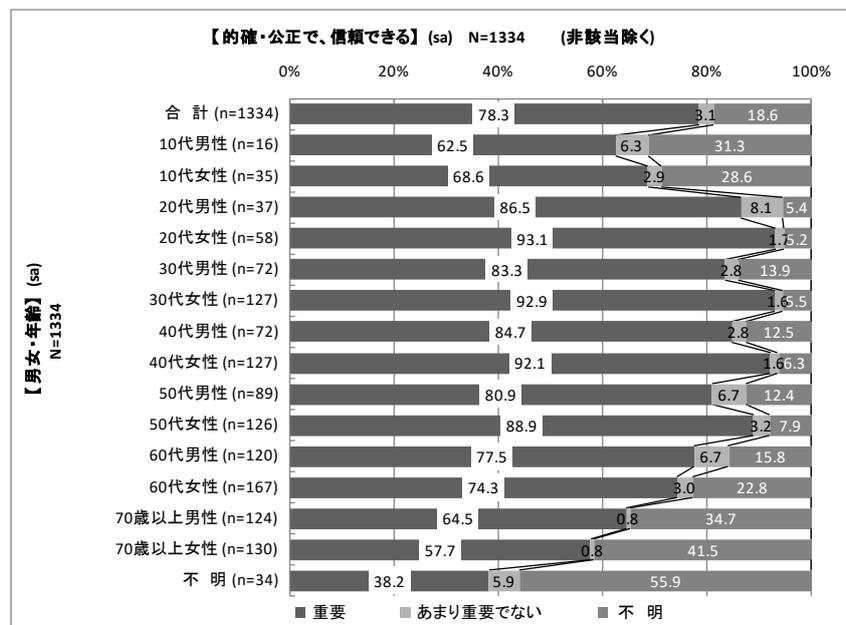
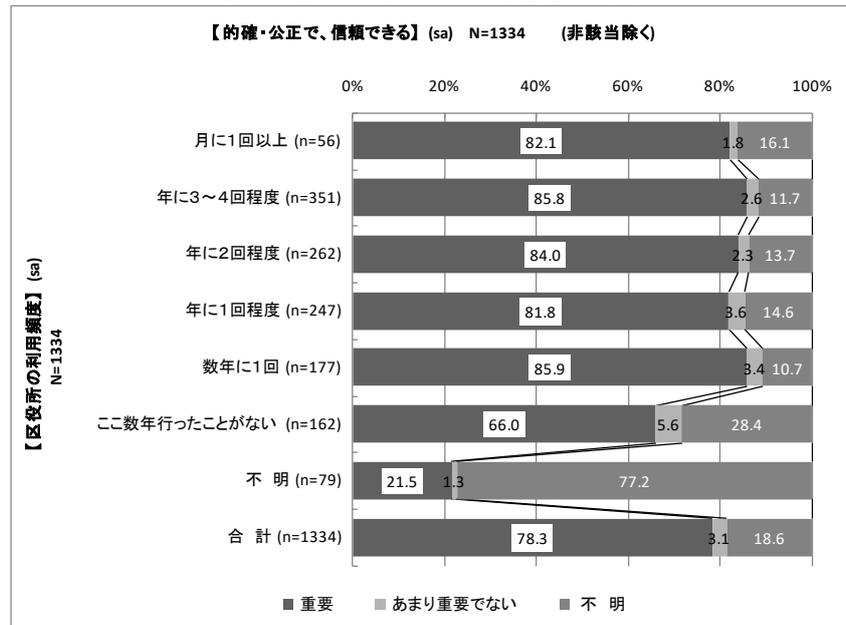


<重要度>

- ・ 利用頻度別では、「ここ数年行ったことがない」を除き、いずれも「重要」が8割となっており、「重要でない」の数値はわずかである。「ここ数年行ったことがない」は他に比べて「重要」の数値が低い、これは不明回答が多いことが影響していると考えられる。これは次ページ以下の項目についても共通の傾向である。
- ・ 男女・年齢別では、10代、60代、70歳以上で不明が多く「重要」の数値が低くなっているが、それ以外では「重要」が8～9割の高い数値となっており、特に20代～40代の女性で9割を超えている。

図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所のありかたについての重要度

① 仕事が的確・公正で、信頼できる



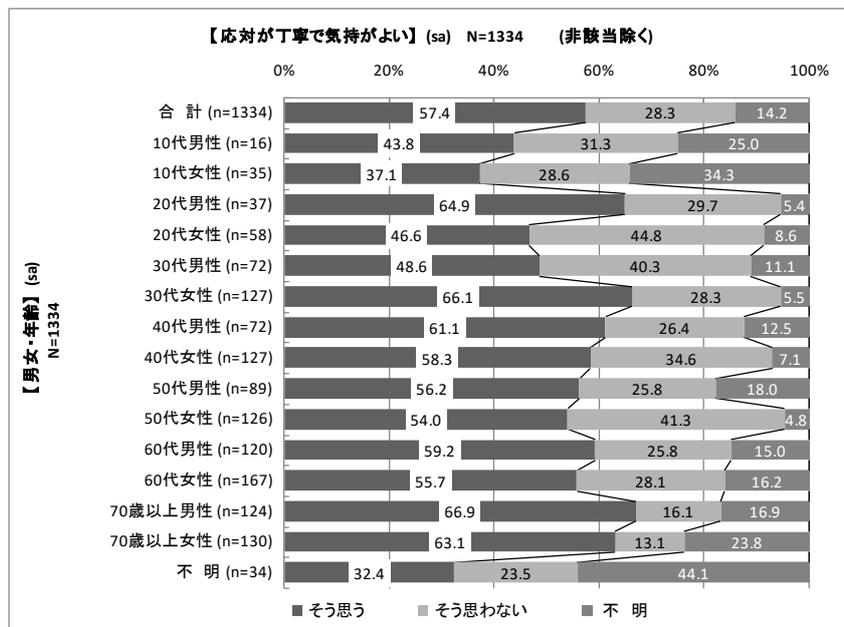
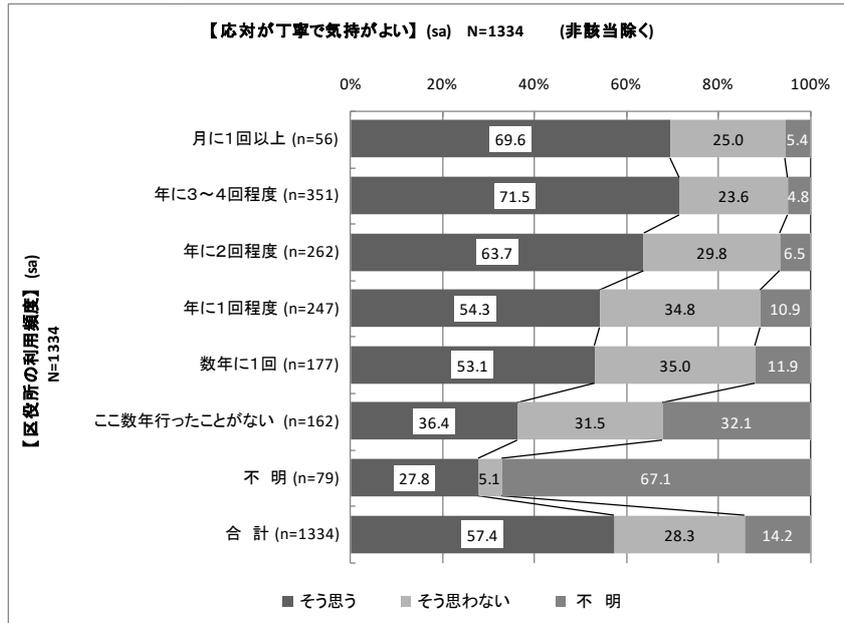
② 窓口や電話での対応が丁寧で気持がよい

<評価>

- ・ 利用頻度別では、「年に3～4回程度」で「そう思う」の数値が最も高く、「年に2回程度」以上の利用頻度の高いグループで「そう思う」の数値が7割前後に達する。
- ・ 男女・年齢別では、20代男性、30代女性、70歳以上男女で「そう思う」の数値が高くなっている。20代女性、30代男性、50代女性では「そう思わない」が高く4割台となっている。

図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所の仕事ぶりについての評価

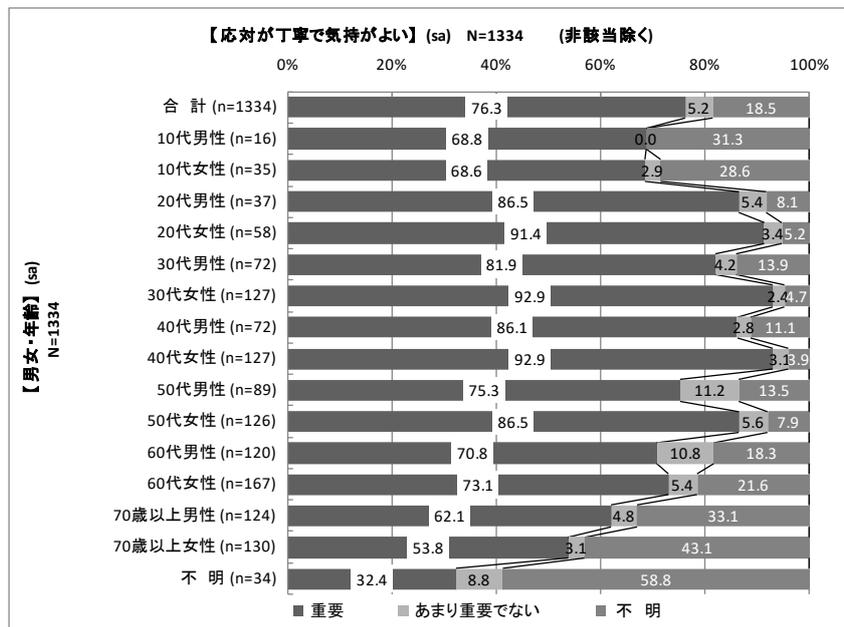
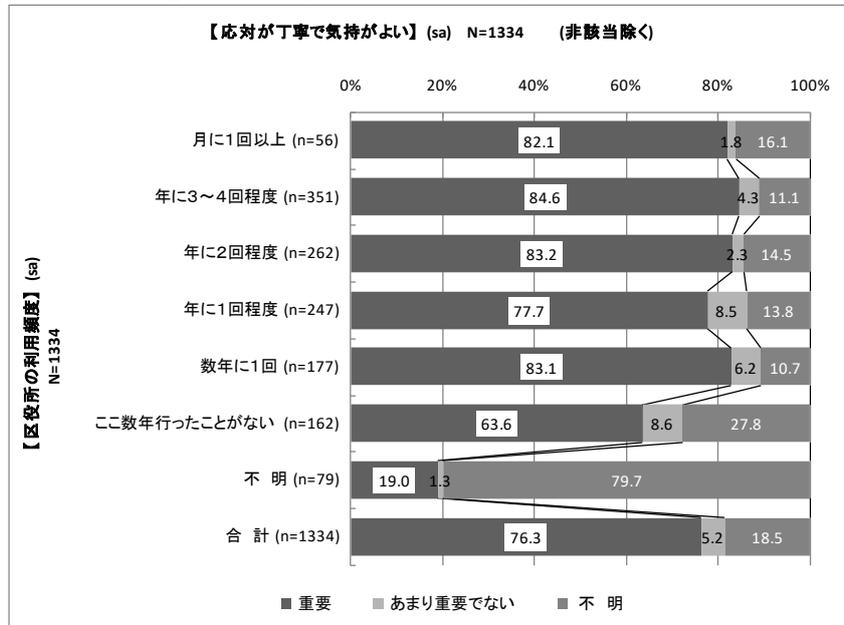
② 窓口や電話での対応が丁寧で気持がよい



<重要度>

- ・ 利用頻度別では、「ここ数年行ったことがない」を除き「重要」が8割前後を占める。
- ・ 男女・年齢別では、10代、70歳以上以外では「重要」が7～9割を占め、特に20代～40代の女性では9割を超えている。

図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所のありかたについての重要度
② 窓口や電話での対応が丁寧で気持がよい

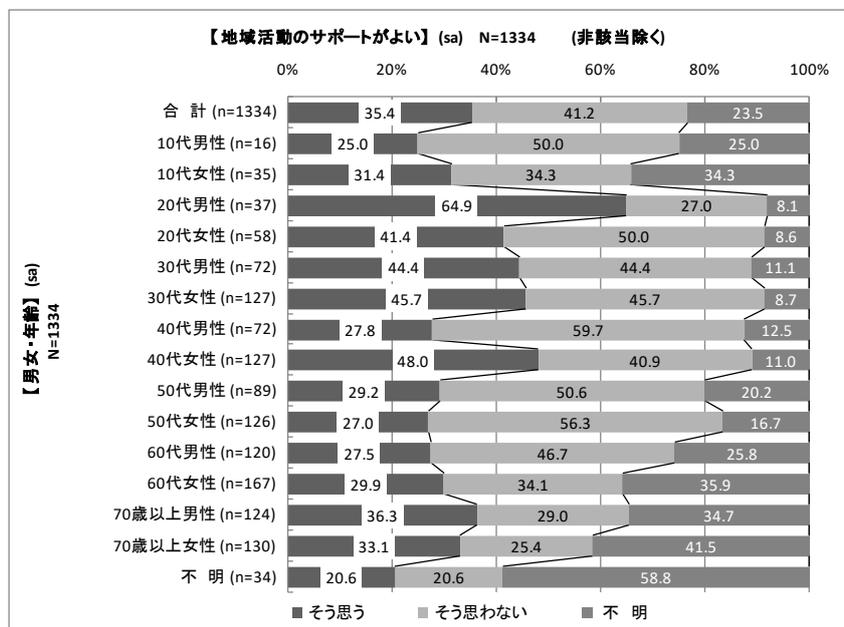
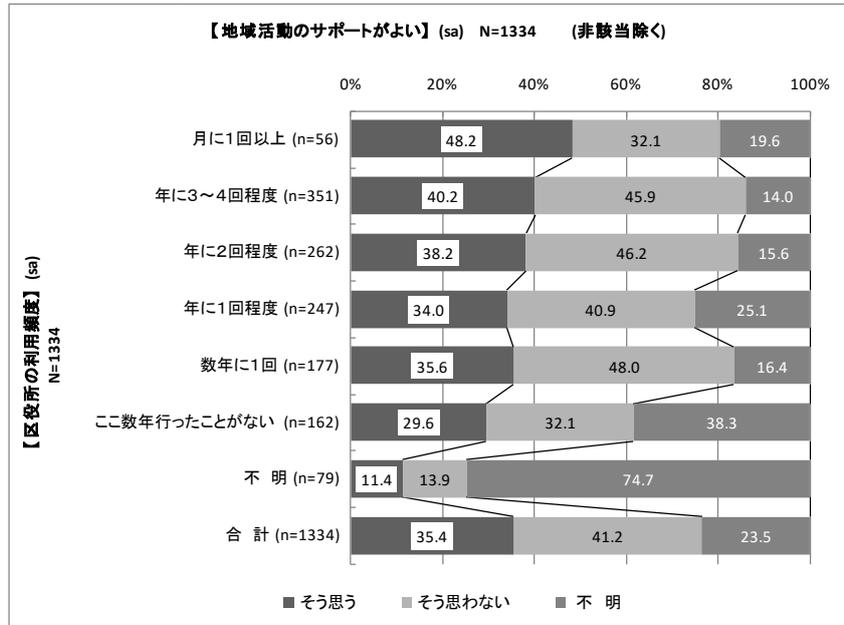


③ 住民や地域の活動がサポートできている

<評価>

- ・ 利用頻度別では、「そう思う」の方が多くなっているのは「月に1回以上」のみである。
- ・ 男女・年齢別では、20代男性と40代女性、70歳以上男女で「そう思う」の方が多く、30代男女で「そう思う」と「そう思わない」が同率となっている以外は、「そう思わない」の方が多くなっている。

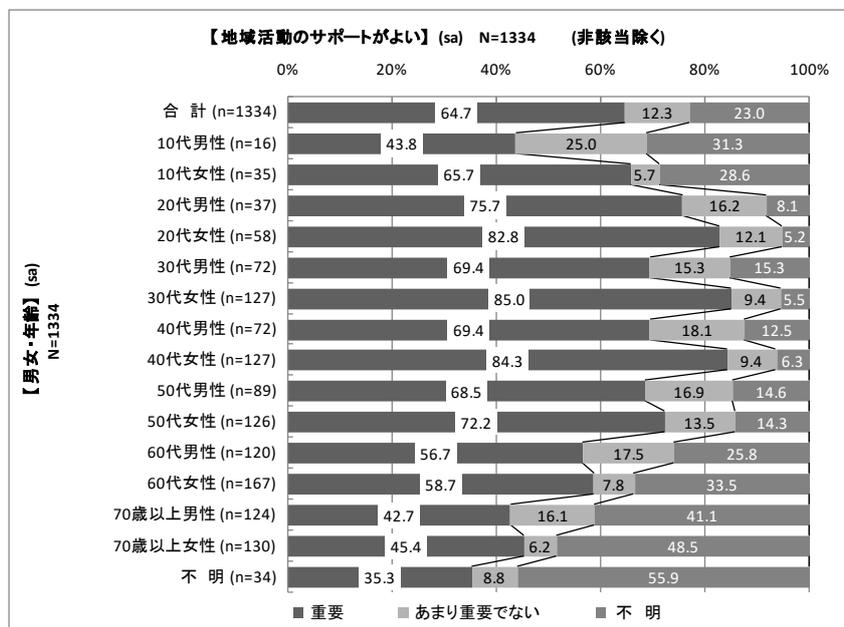
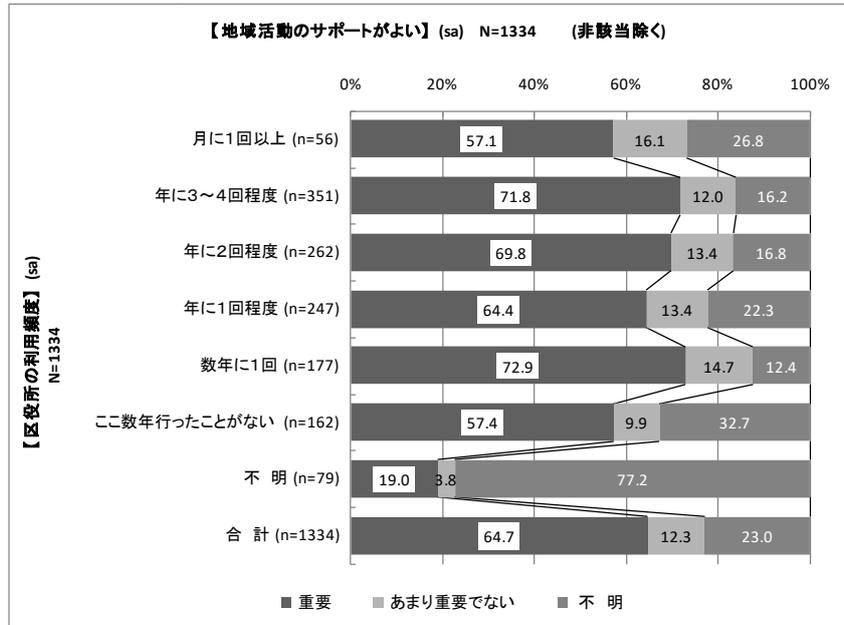
図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所の仕事ぶりについての評価
③ 住民や地域の活動がサポートできている



<重要度>

- ・ 利用頻度別では、「月に1回以上」と「ここ数年行ったことがない」では「重要」の割合が6割弱と低くなっている。それ以外は「重要」が7割前後である。
- ・ 男女・年齢別では、男性に比べて女性の方が「重要」の数値が高く、特に20代～40代の女性で高くなっている。

図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所のありかたについての重要度
③ 住民や地域の活動がサポートできている



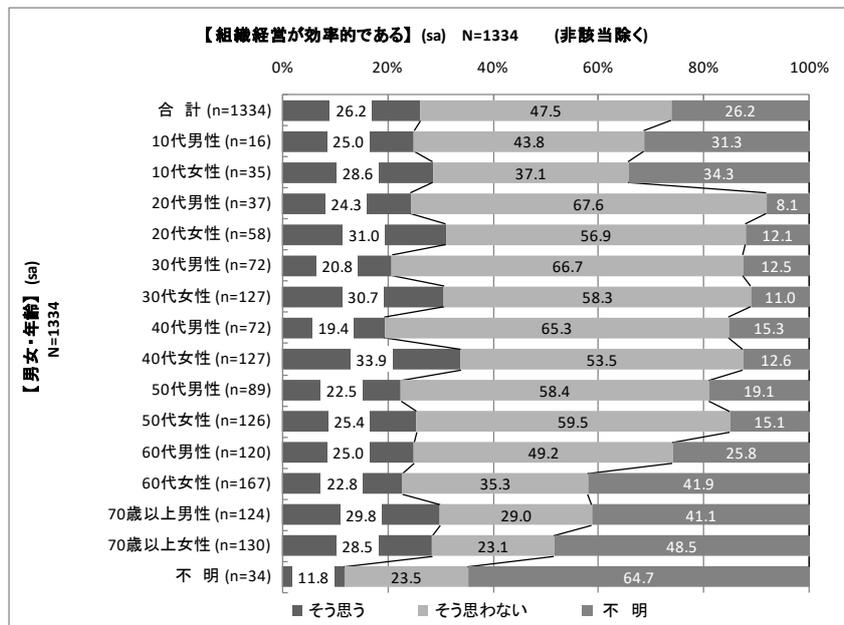
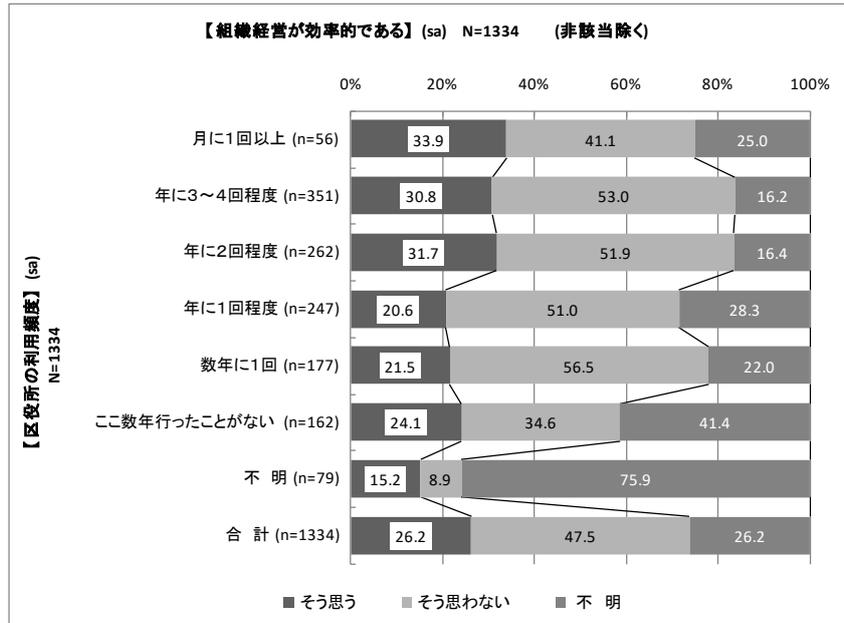
④ 効率的で合理的な組織経営が行われている

<評価>

- ・ 利用頻度別では、いずれも「そう思わない」の方が多くなっており、「月に1回以上」と「ここ数年行ったことがない」を除き、「そう思わない」が半数を超えている。
- ・ 男女・年齢別では、70歳以上男女のみ「そう思う」の方がやや多い以外は、「そう思わない」が多くなっている。特に20～40代の男性で「そう思わない」の数値が高い。

図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所の仕事ぶりについての評価

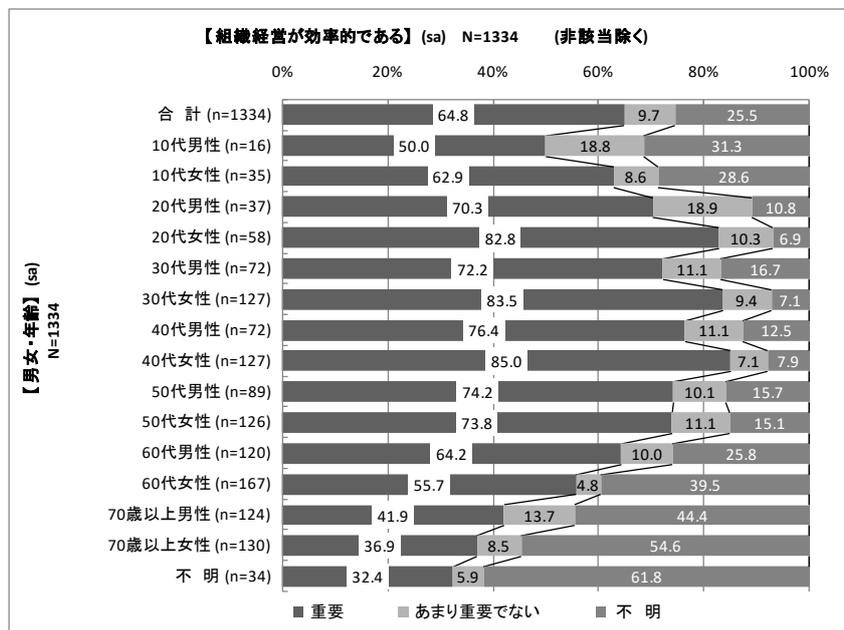
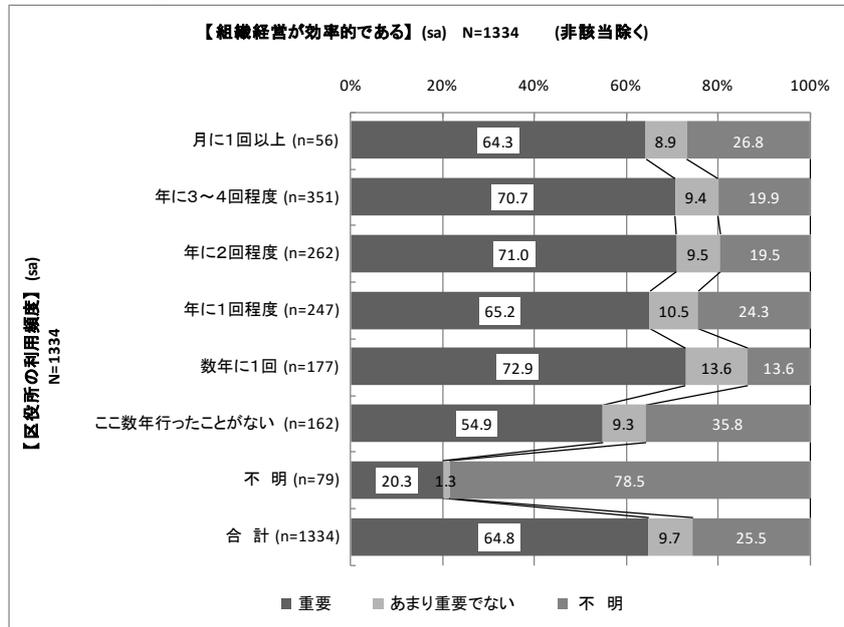
④ 効率的で合理的な組織経営が行われている



<重要度>

- ・ 利用頻度別では、「ここ数年行ったことがない」を除き、「重要」が6～7割を占める。
- ・ 男女・年齢別では、特に20～40代の女性で「重要」の数値が高い。

図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所のありかたについての評価、重要度
④ 効率的で合理的な組織経営が行われている



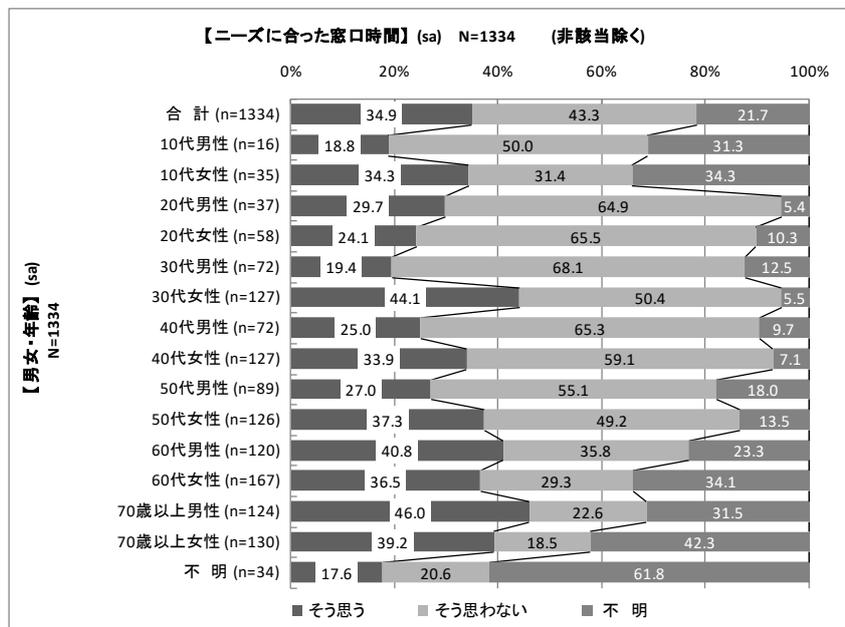
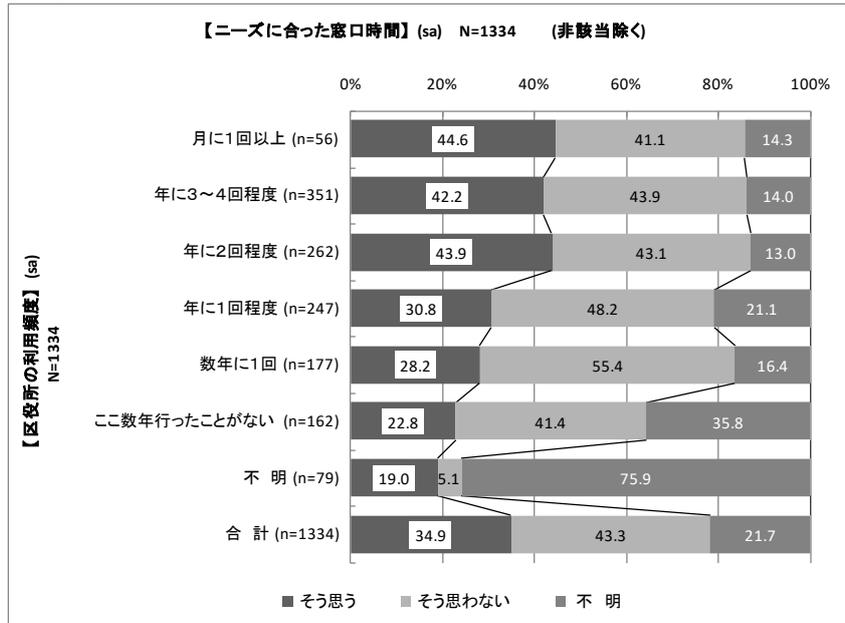
⑤ 住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている

<評価>

- ・ 利用頻度別では、「年に2回程度」以上の利用頻度の高いグループでは「そう思う」「そう思わない」がほぼ拮抗しているが、利用頻度がそれ以下のグループでは「そう思わない」の方が多くなっている。
- ・ 男女・年齢別では、概ね「そう思わない」の方が多い。30代女性、60代男性、70歳以上男性では「そう思う」の数値が高く、4割を超えている。「そう思わない」の数値が最も高いのは30代男性である。

図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所の仕事ぶりについての評価

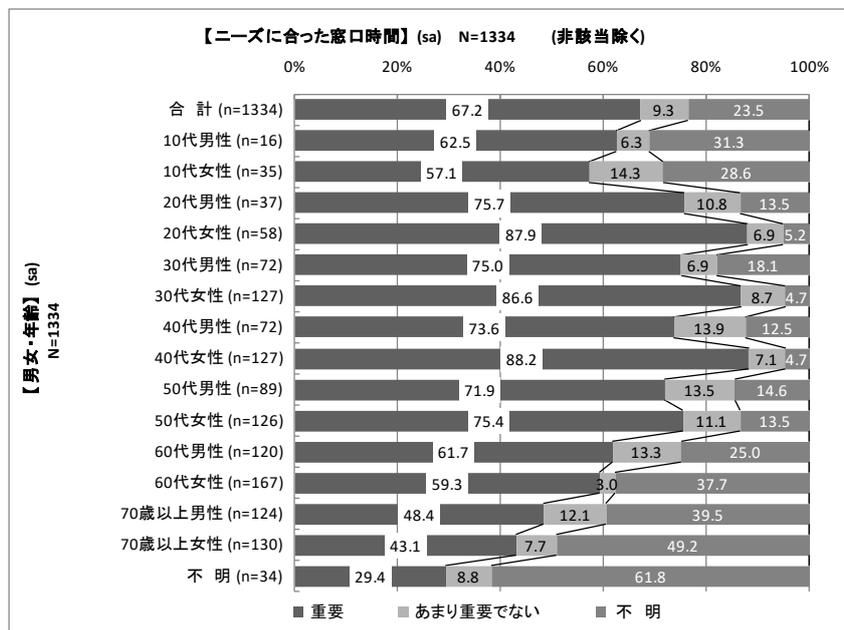
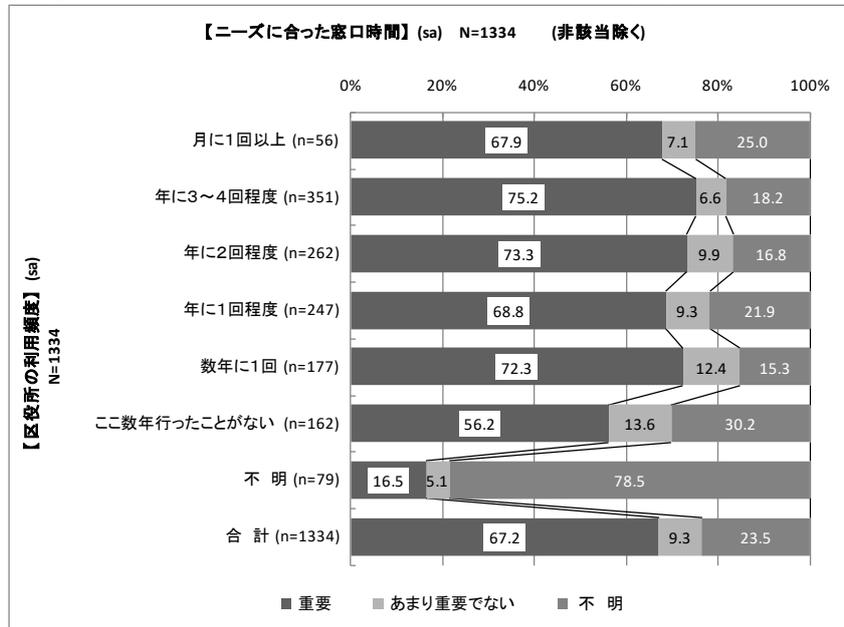
⑤ 住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている



<重要度>

- ・ 利用頻度別では、「ここ数年行ったことがない」を除き、「重要」が7割前後を占める。
- ・ 男女・年齢別では、特に20～40代の女性で「重要」の数値が高い。

図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所のありかたについての重要度
⑤ 住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている



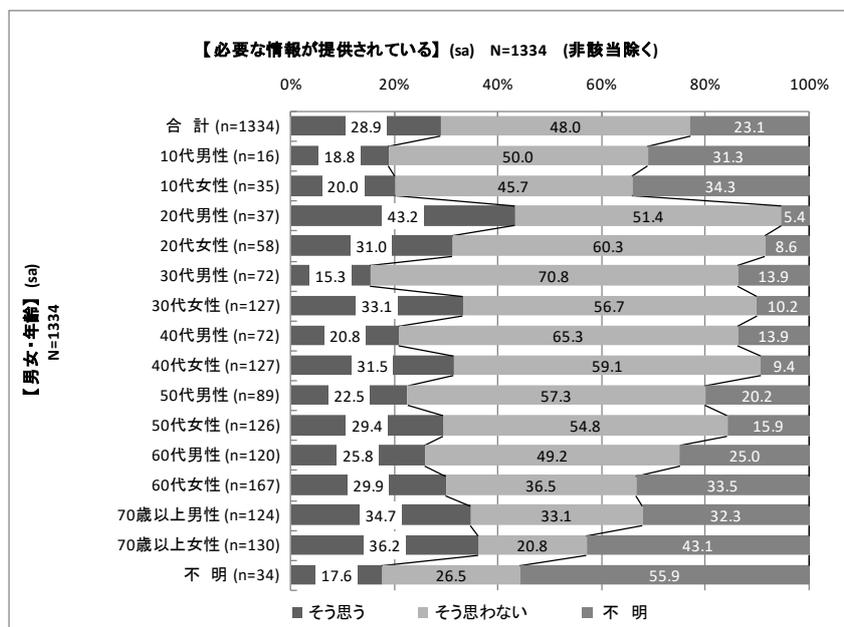
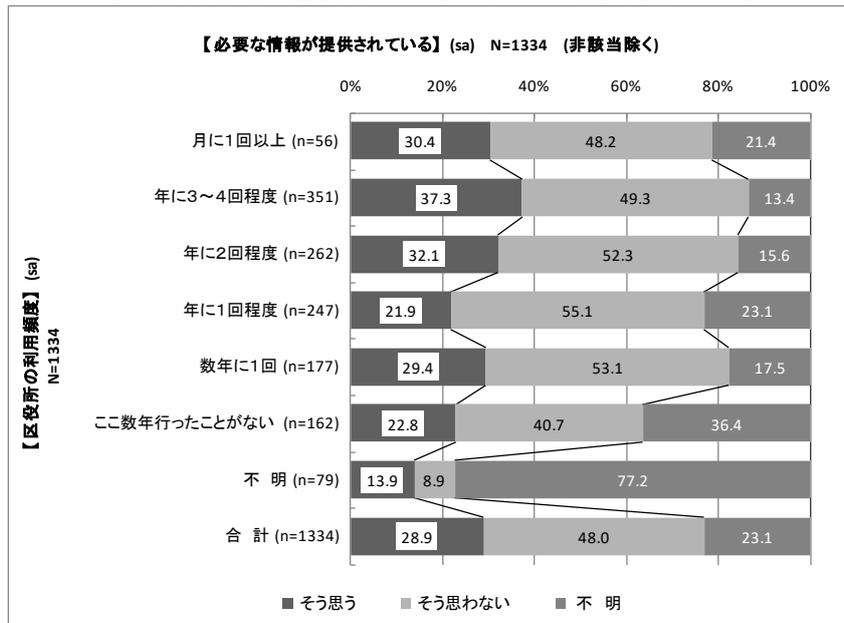
⑥ 行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている

<評価>

- ・ 利用頻度別では、いずれも「そう思わない」の割合が「そう思う」より多くなっている。「年に3～4回程度」で「そう思う」の数値が最も高くなっている。
- ・ 男女・年齢別では、70歳以上男女では「そう思う」方が「そう思わない」より多い。また30代男性では「そう思わない」が7割を超える高い数値となっている。

図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所の仕事ぶりについての評価

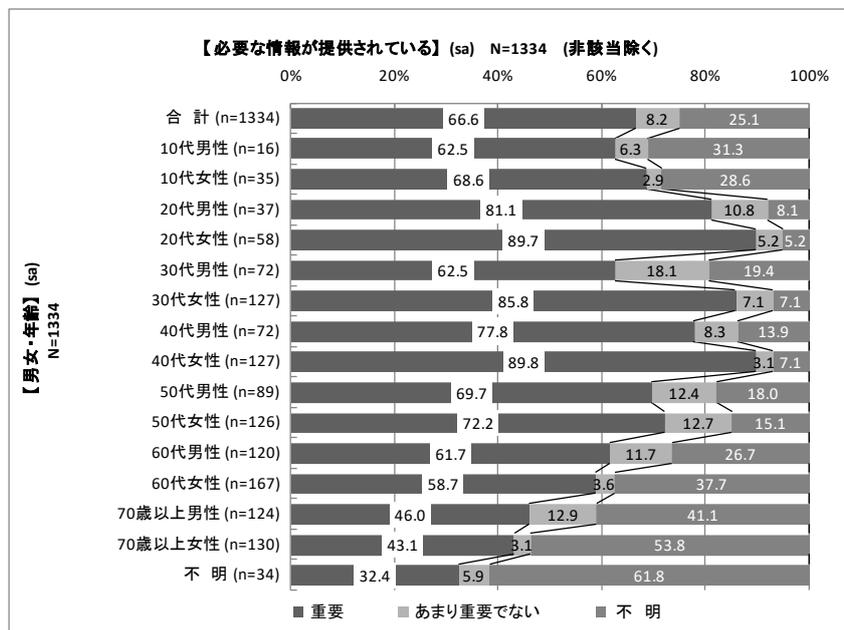
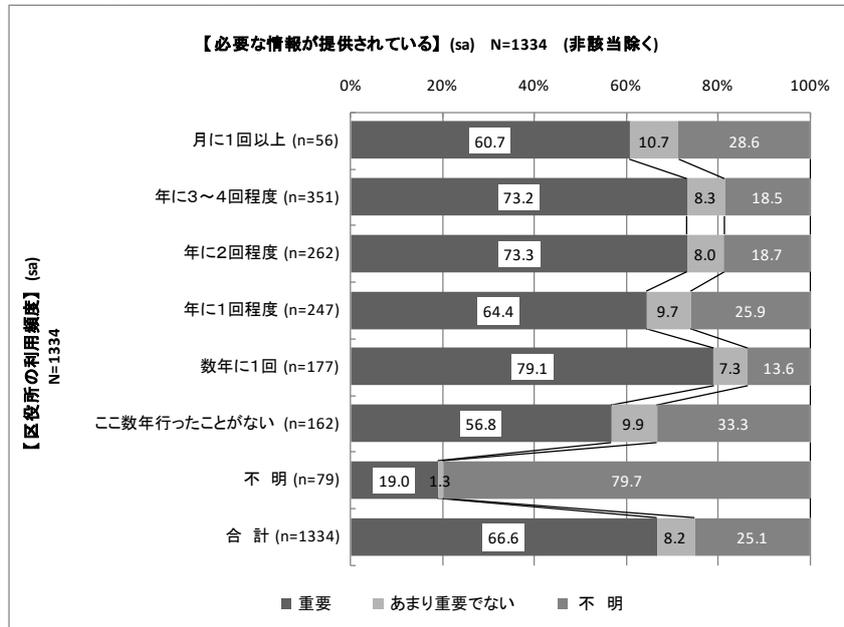
⑥ 行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている



<重要度>

- ・ 利用頻度別では、「数年に1回」で「重要」の数値が他に比べて高くなっている。
- ・ 男女・年齢別では、20～40代女性で「重要」の数値が高い。

図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所のありかたについての重要度
⑥ 行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている



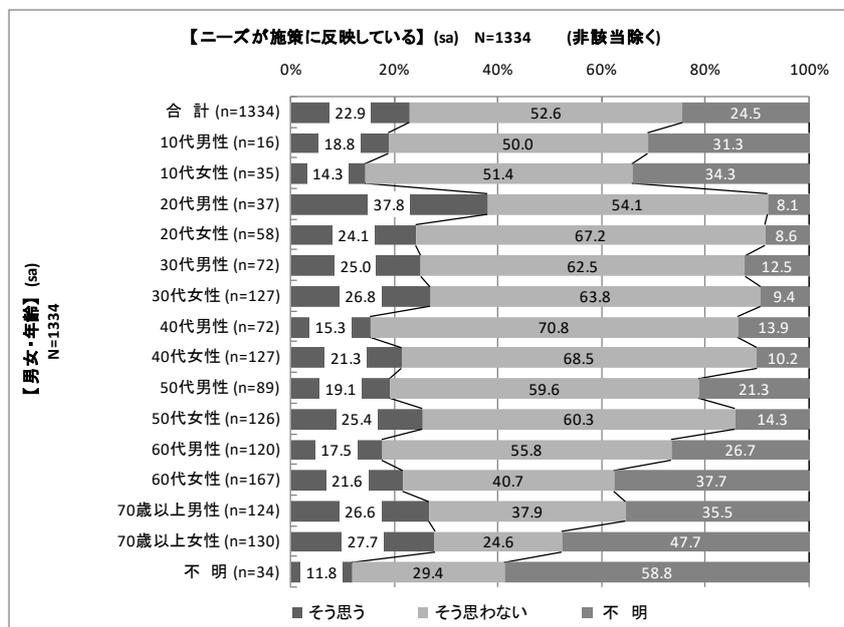
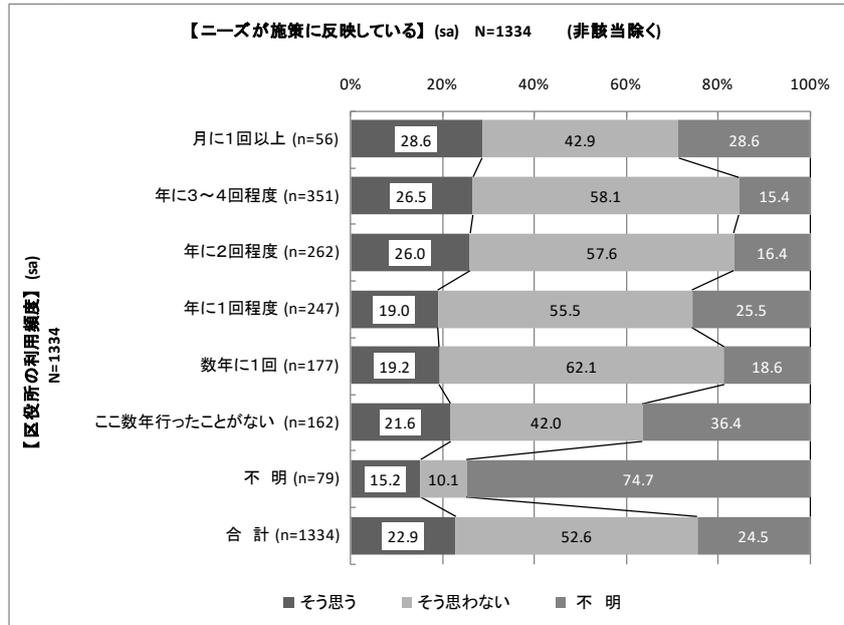
⑦ 区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている

<評価>

- ・ 利用頻度別では、いずれも「そう思う」の数値が低く、「月に1回以上」でも3割弱となっている。
- ・ 男女・年齢別では、「そう思う」の数値が最も高いのは20代男性である。「そう思わない」の数値が最も高いのは40代男性である。

図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所の仕事ぶりについての評価

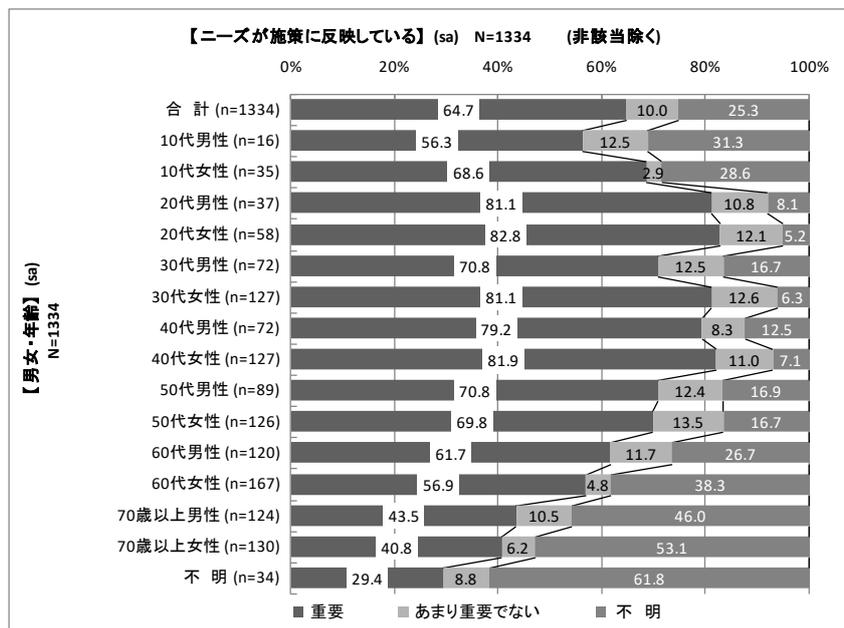
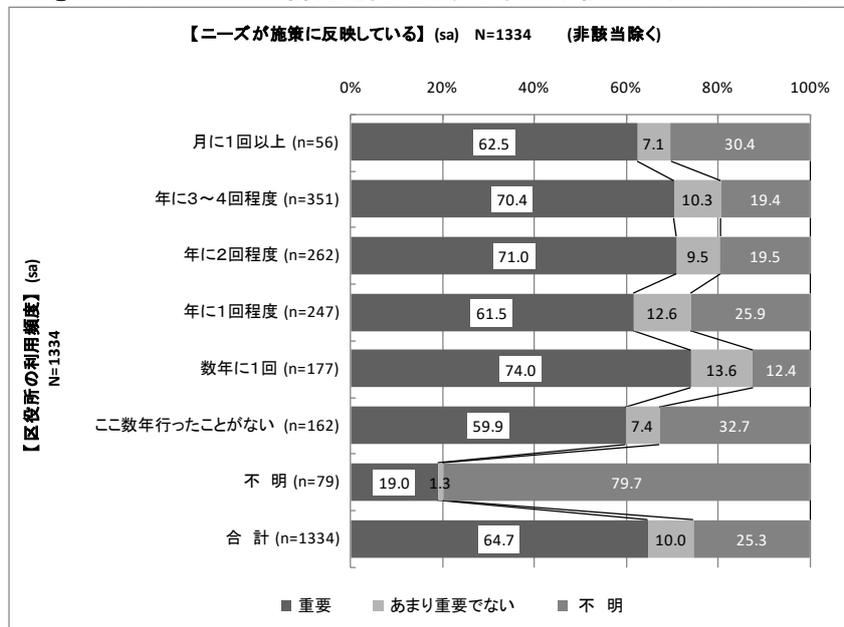
⑦ 区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている



<重要度>

- ・ 利用頻度別では、いずれも「重要」が6～7割前後となっている。
- ・ 男女・年齢別では、20代男性と20代～40代の女性で「重要」が8割を超えている。

図 区役所の利用頻度、男女・年齢別 区役所の仕事ぶりについての重要度
⑦ 区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている



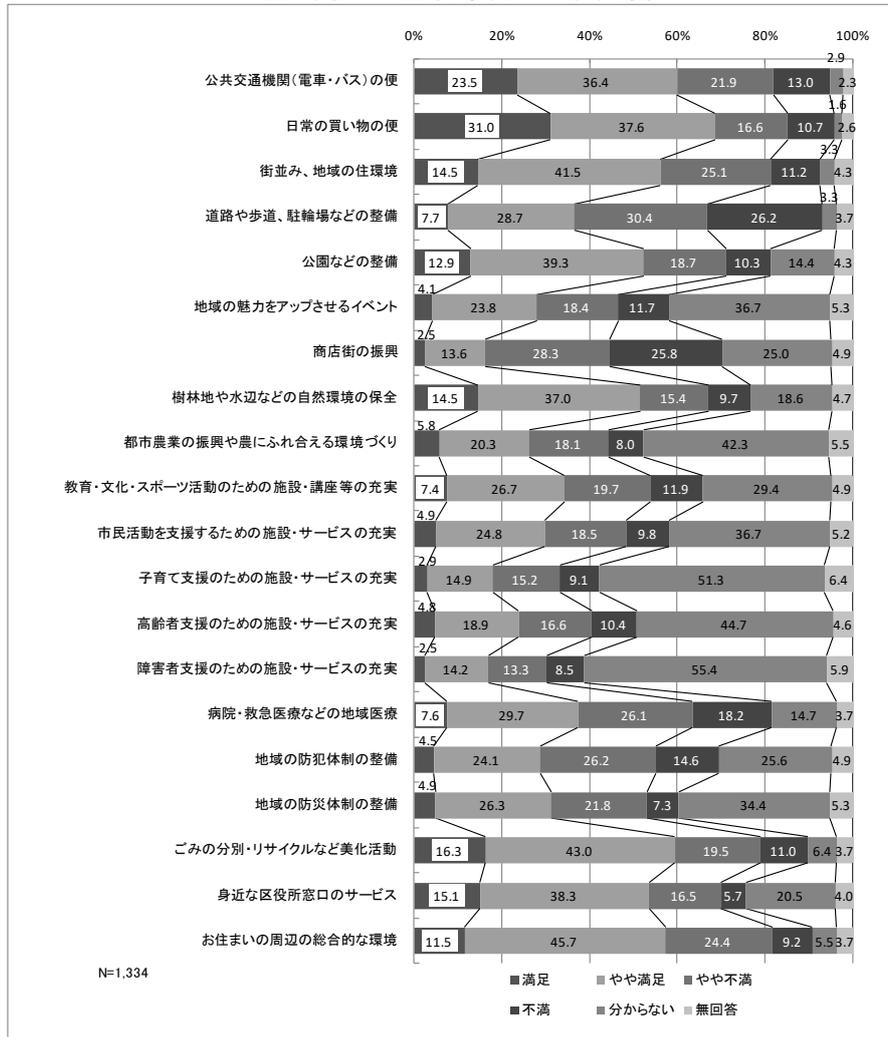
2. 住まいの周辺環境について

問4 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境にどの程度満足していますか。また、以前(5～6年前)と比べてどのように変わったと思いますか。

<満足度>

- 満足とやや満足を合わせた割合が、やや不満と不満を合わせた割合より高くなっているのは、「公共交通機関(電車・バス)の便」「日常の買い物の便」「街並み、地域の住環境」「公園などの整備」「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実」「地域の防災体制の整備」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」「身近な区役所窓口のサービス」の9項目である。
- 満足とやや満足に比べ、やや不満と不満の割合が高いのは、「道路や歩道、駐輪場などの整備」「地域の魅力をアップさせるイベント」「商店街の振興」「子育て支援のための施設・サービスの充実」「高齢者支援のための施設・サービスの充実」「障害者支援のための施設・サービスの充実」「病院・救急医療などの地域医療」「地域の防犯体制の整備」の8項目である。
- 「都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり」「市民活動を支援するための施設・サービスの充実」の2項目については、満足・不満がほぼ拮抗している。
- 上記のうち、「地域の魅力をアップさせるイベント」「都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり」「教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実」「市民活動を支援するための施設・サービスの充実」「子育て支援のための施設・サービスの充実」「高齢者支援のための施設・サービスの充実」「障害者支援のための施設・サービスの充実」「地域の防災体制の整備」については、「わからない」が最も多くなっている。
- 交通や生活の利便性・自然環境・美化活動・行政サービス等に関わる項目は比較的満足度が高く、商業や地域活性化・医療・福祉・防犯対策等に関する項目は満足度が低い傾向が伺われる。
- 周辺の総合的環境については、「やや満足」が 45.7%で最も多く、満足とやや満足の割合がやや不満と不満の割合を上回っている。

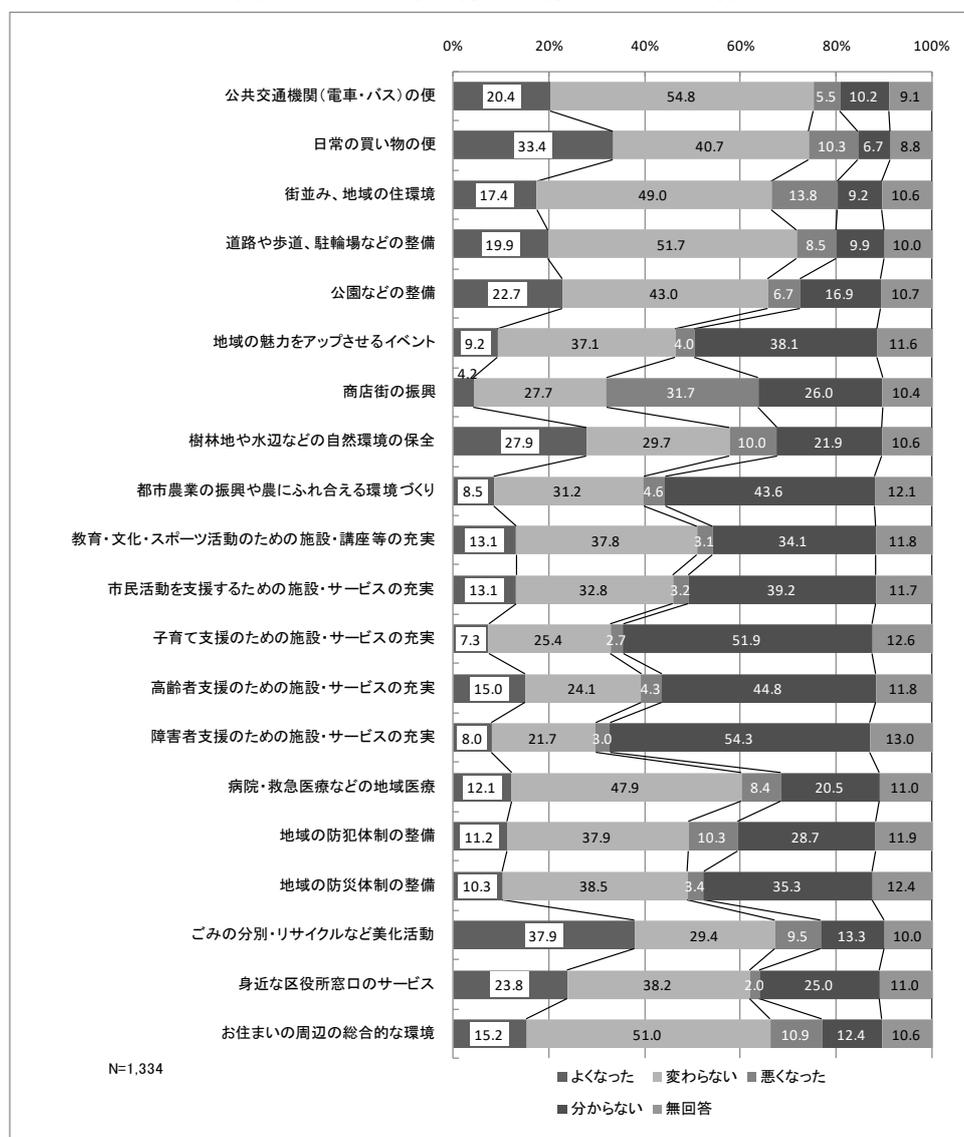
図 周辺の生活環境への満足度



<以前との比較>

- ・「よくなった」が最も多いのは「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」の1項目のみである。
- ・「悪くなった」が最も多いのは「商店街の振興」の1項目のみである。
- ・「変わらない」が最も多いのは「公共交通機関(電車・バス)の便」「日常の買い物の便」「街並み、地域の住環境」「道路や歩道、駐輪場などの整備」「公園などの整備」「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実」「病院・救急医療などの地域医療」「地域の防犯体制の整備」「地域の防災体制の整備」「身近な区役所窓口のサービス」の11項目である。
- ・「わからない」が最も多いのは「地域の魅力をアップさせるイベント」「都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり」「市民活動を支援するための施設・サービスの充実」「子育て支援のための施設・サービスの充実」「高齢者支援のための施設・サービスの充実」「障害者支援のための施設・サービスの充実」の6項目である。これらはいずれも「わからない」の次に「変わらない」が多くなっている。
- ・周辺の総合的環境については、「変わらない」が51.0%で最も多く、次いで「よくなった」(15.2%)、「わからない」(12.4%)、「悪くなった」(10.9%)の順となっている。

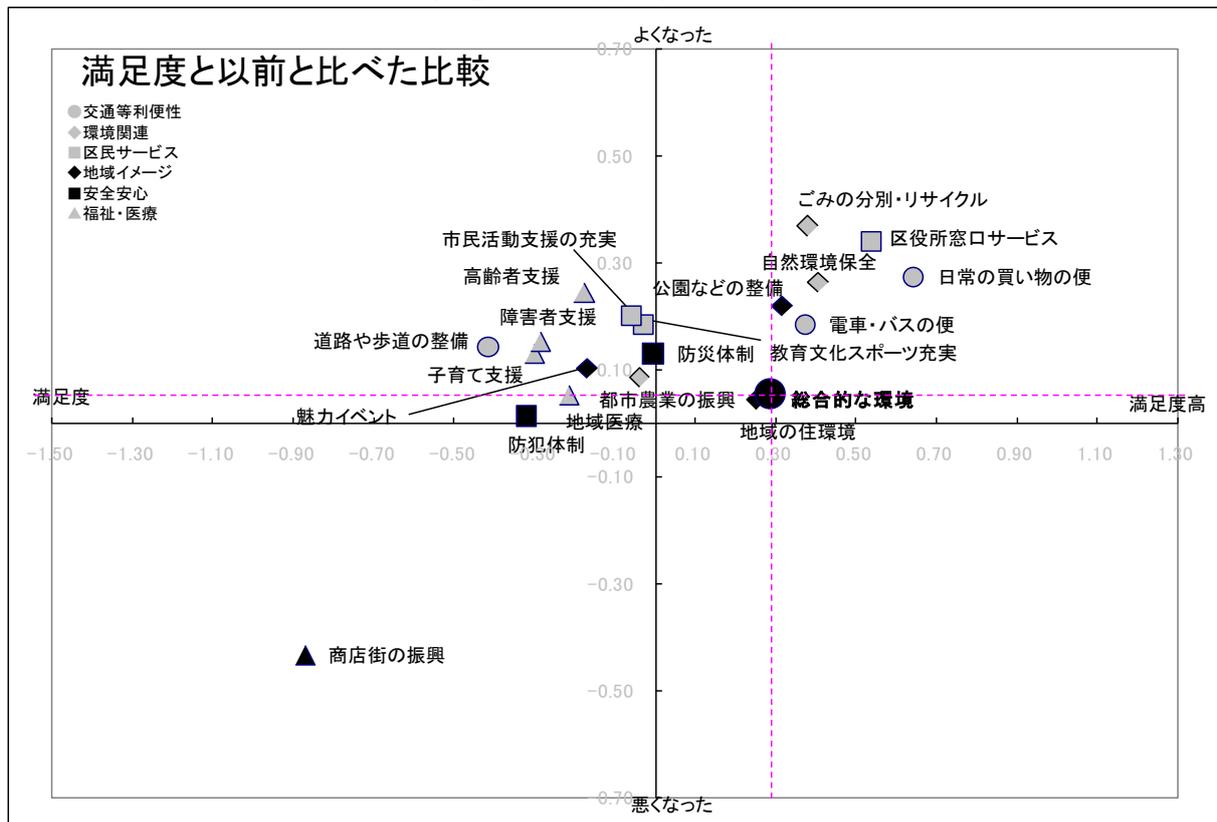
図 周辺の生活環境の以前と比べての変化



■ 項目の満足度と以前との比較の関係

- ・ 瀬谷区民の 19 項目の指標に関する満足度と以前に比べた変化を、「総合的な環境」の評価を中心にその分布を見たものが下図である。(満足+2 点、やや満足+1 点、やや不満-1 点、不満-2 点、また、良くなった+1 点、悪くなった-1 点として項目ごとに満足度、変化の得点を算出し、「総合的な環境」の評価を軸に指標間の比較をしたものである。)
- ・ **第一象限**(グラフ右上のブロック)は、満足度も変化の数値も高かった項目、すなわち、比較的満足しており、経過も良いとされている項目となっており、「総合的な環境」もこの象限に位置している。満足度の高い順に「日常の買い物の便」「身近な区役所窓口のサービス」「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」「公共交通機関(電車・バス)の便」「公園などの整備」「街並み、地域の住環境」の7指標であった。
- ・ **第二象限**(グラフ左上のブロック)は、変化の数値は高いが、満足度は平均より低かった項目、すなわち状況が好転しているが、まだ不満に感じている項目を表している。満足度の高い順に「地域の防災体制の整備」「教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実」「都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり」「市民活動を支援するための施設・サービスの充実」「地域の魅力をアップさせるイベント」「高齢者支援のための施設・サービスの充実」「病院・救急医療などの地域医療」「障害者支援のための施設・サービスの充実」「子育て支援のための施設・サービスの充実」「地域の防犯体制の整備」「道路や歩道、駐輪場などの整備」の 11 項目であった。なお、「病院・救急医療などの地域医療」「地域の防犯体制の整備」については変化の評価も総合的な環境の評価より低くなっている。
- ・ **第三象限**(グラフ左下のブロック)は、変化の数値が低く満足度も低かった項目、すなわち、まだ満足していないが、状況も好転していない項目を表している。「商店街の振興」のみとなっており、満足度・変化共に非常に低くなっている。
- ・ **第四象限**(グラフ右下のブロック)は、変化の数値が比較的 low 満足度の比較的高い項目、すなわち、比較的満足しているが、状況はあまり好転していない項目を表しているが、該当するものはなかった。

図 施策の満足度と以前との比較



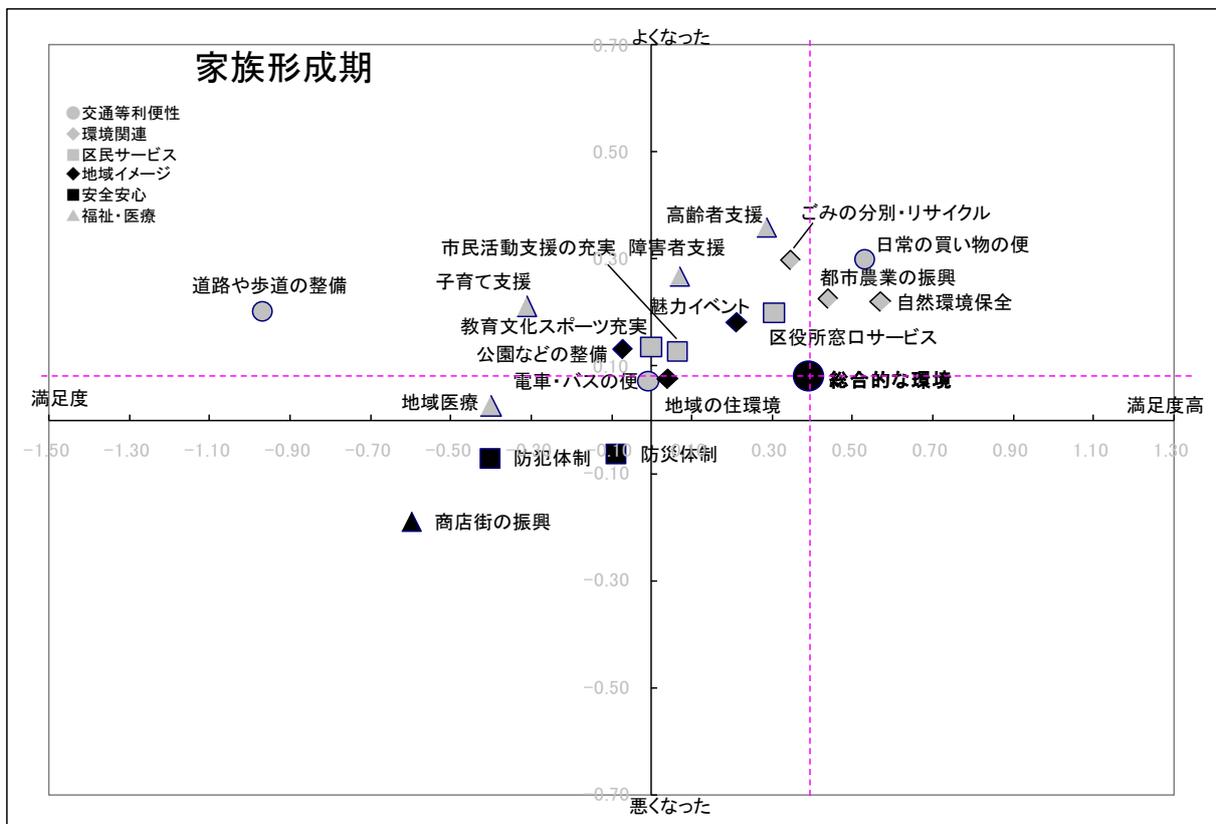
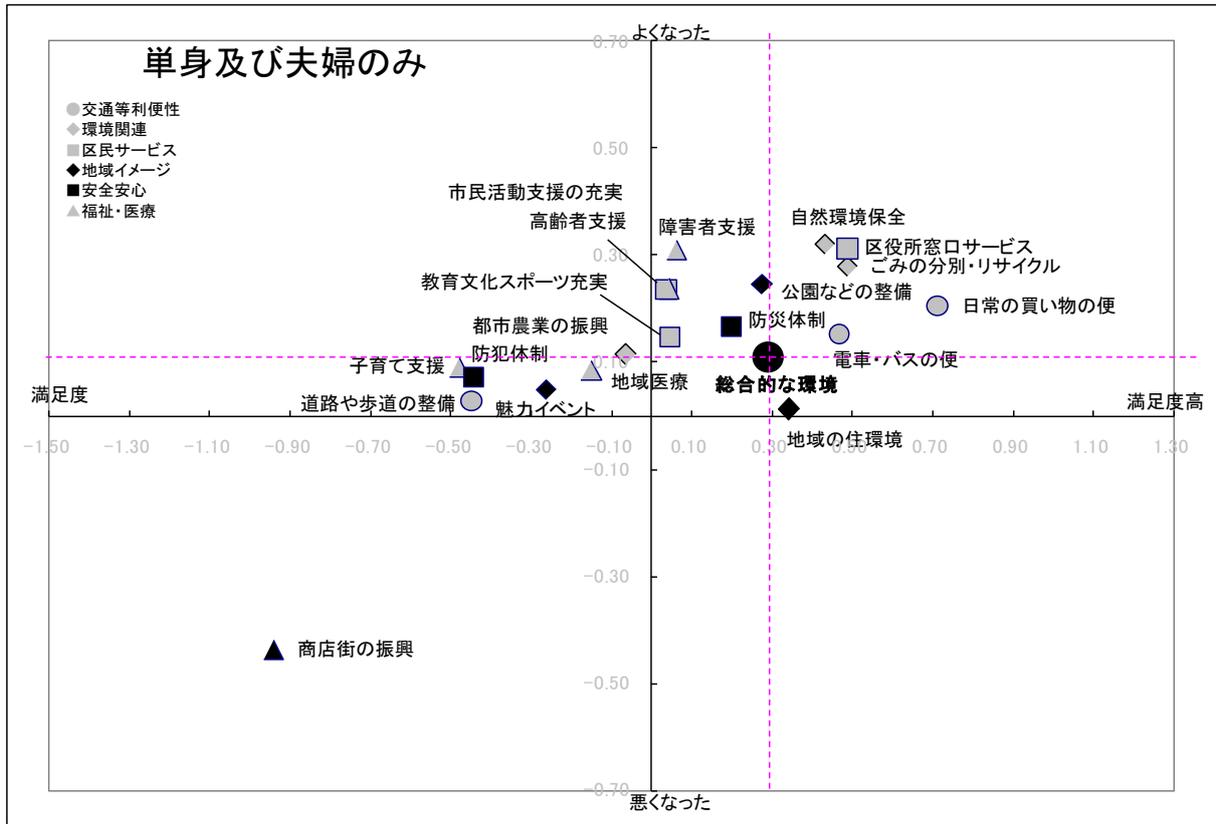
■ 項目の重要度と満足度の関係(ライフステージ別、連合自治会別)

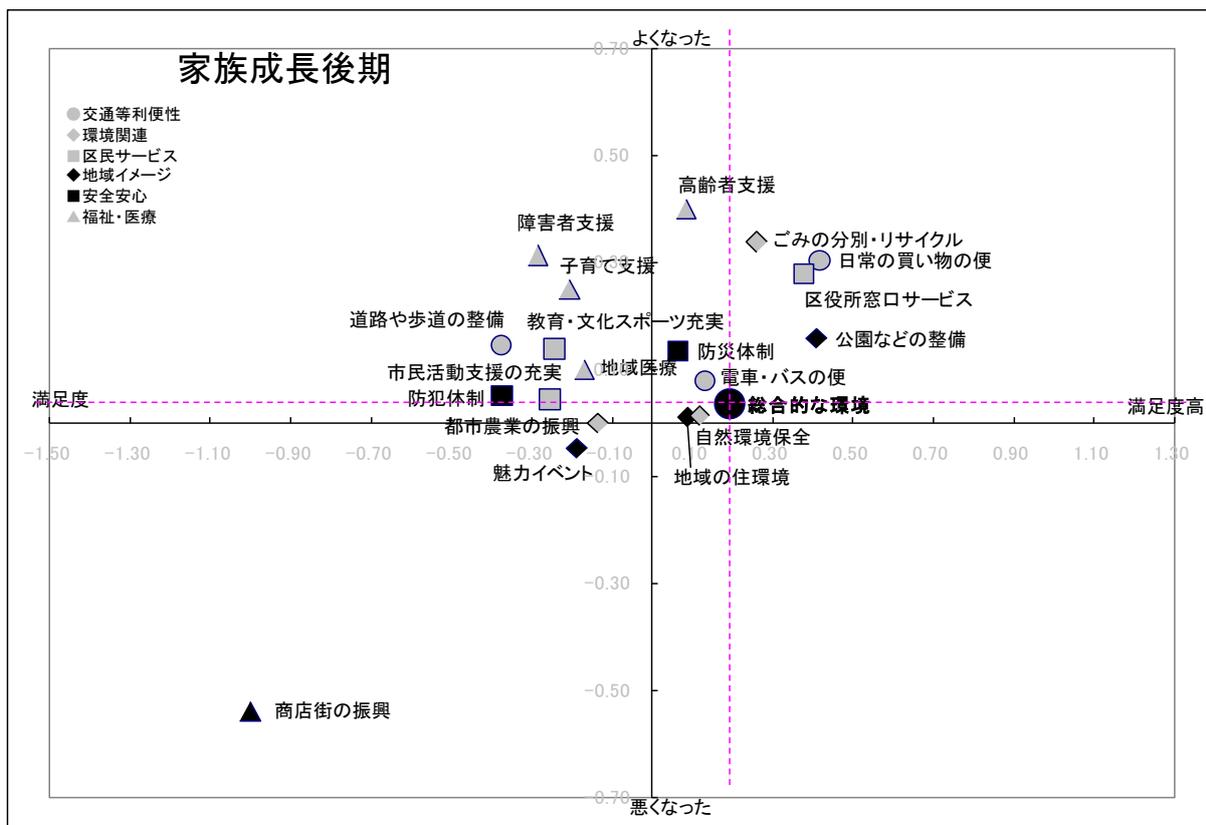
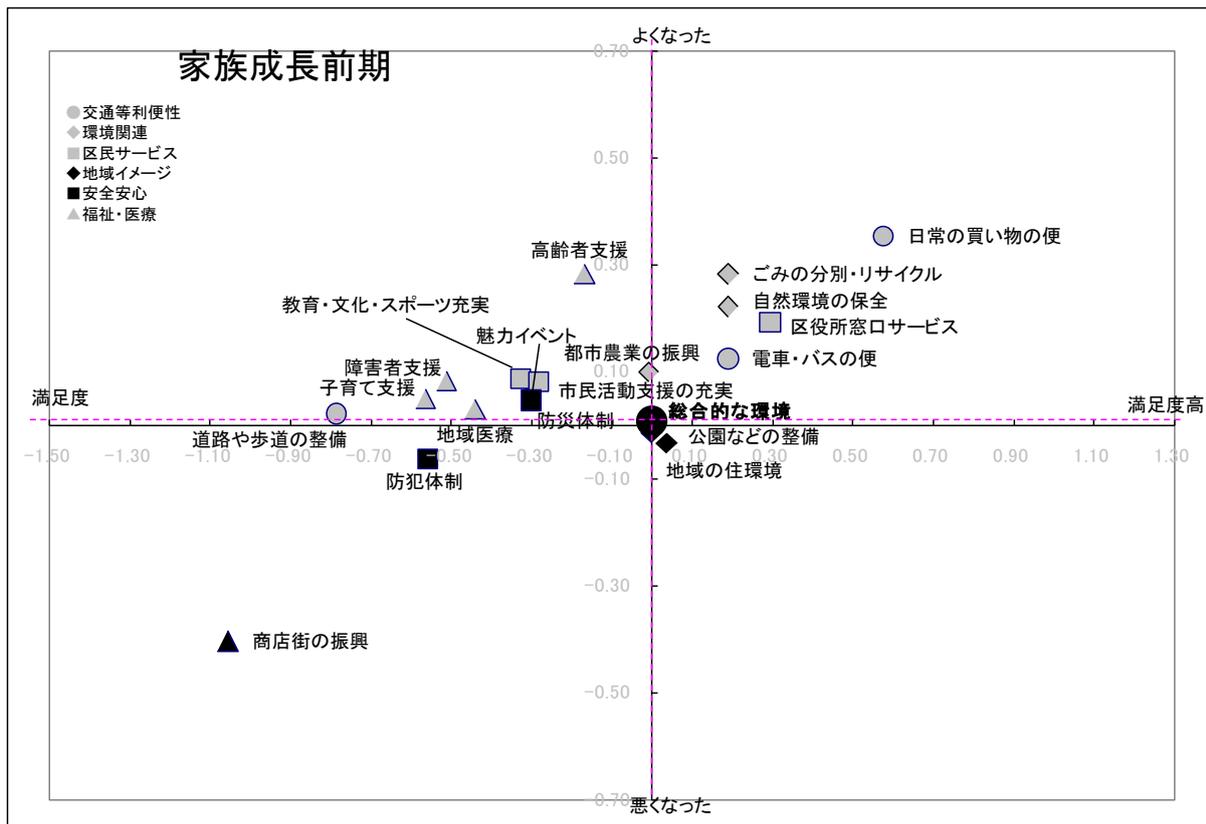
<ライフステージ別>

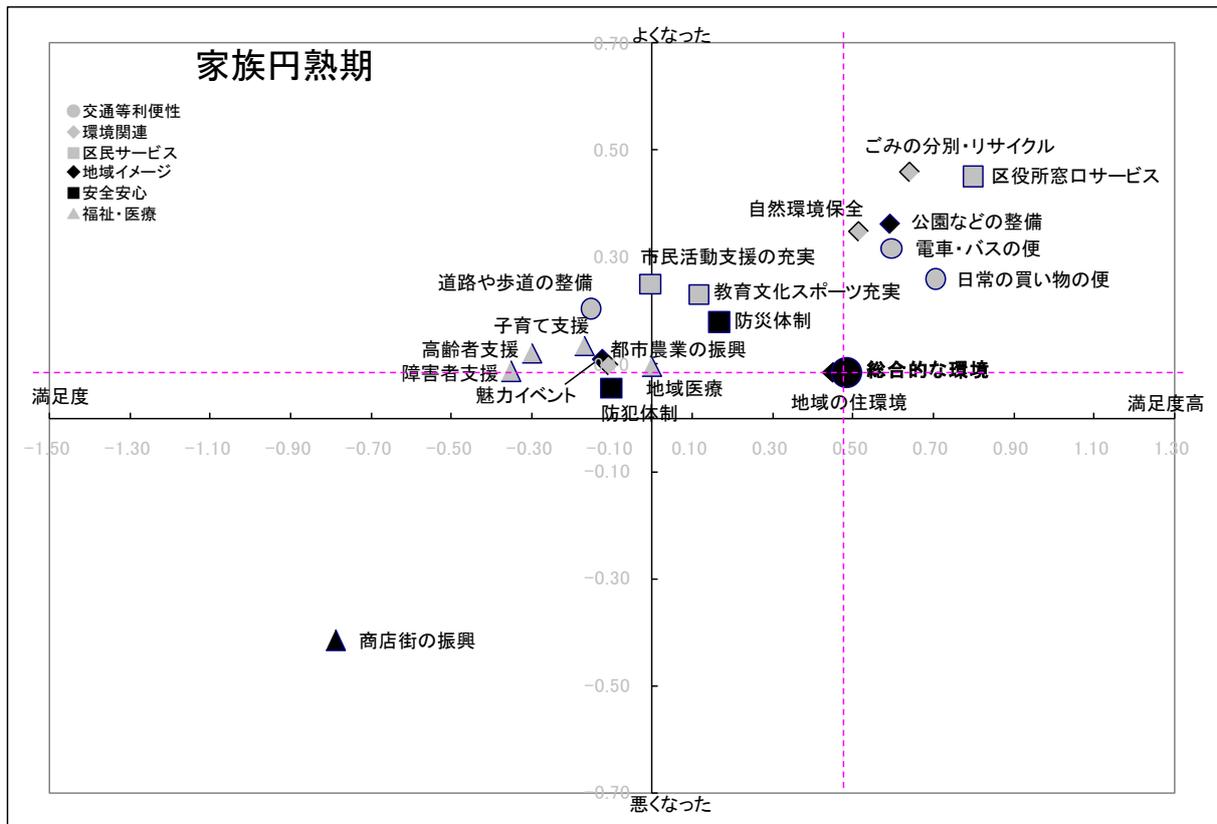
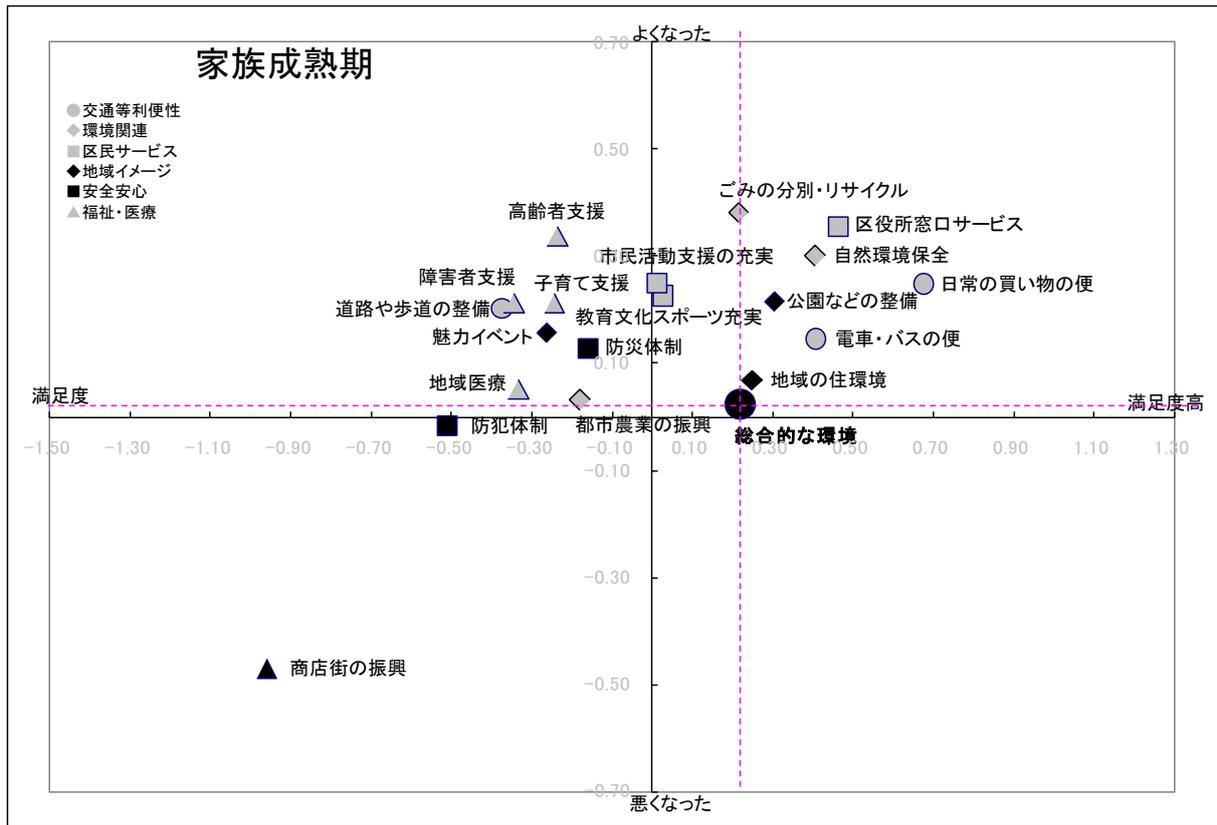
- ・ **「単身及び夫婦のみ」**では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、満足度の高い順に「日常の買い物の便」「身近な区役所窓口のサービス」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」「公共交通機関(電車・バス)の便」「樹林地や水辺などの自然環境の保全」の5項目で、「樹林地や水辺などの自然環境の保全」は変化の評価も高い。一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「病院・救急医療などの地域医療」「地域の魅力をアップさせるイベント」「地域の防犯体制の整備」「道路や歩道、駐輪場などの整備」「子育て支援のための施設・サービスの充実」「商店街の振興」の6項目である。なお、「商店街の振興」については、どのライフステージでも満足度・変化の評価とも非常に低い。
- ・ **「家族形成期」**では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「日常の買い物の便」「都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり」の3項目である。一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「街並み、地域の住環境」「公共交通機関(電車・バス)の便」「地域の防災体制の整備」「病院・救急医療などの地域医療」「地域の防犯体制の整備」「商店街の振興」の6項目である。また、「道路や歩道、駐輪場などの整備」について、変化の評価は低くないが、満足度が著しく低くなっている。
- ・ **「家族成長前期」**では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、「日常の買い物の便」「身近な区役所窓口のサービス」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「公共交通機関(電車・バス)の便」の5項目で、特に「日常の買い物の便」は満足度も変化の評価も高くなっている。一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「地域の防犯体制の整備」「商店街の振興」である。なお「総合的な環境」に対する評価が区平均と比べて悪く、満足度、変化の評価共に低くずれている。
- ・ **「家族成長後期」**では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、「日常の買い物の便」「公園などの整備」「身近な区役所窓口のサービス」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」の4項目で、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「街並み、地域の住環境」「都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり」「地域の魅力をアップさせるイベント」「商店街の振興」である。
- ・ **「家族成熟期」**では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、「日常の買い物の便」「身近な区役所窓口のサービス」「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「公共交通機関(電車・バス)の便」「公園などの整備」「街並み、地域の住環境」の6項目で、一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「地域の防犯体制の整備」「商店街の振興」である。なお「総合的な環境」に対する評価が区平均と比べてやや悪く、特に変化の評価が低くずれている。
- ・ **「家族円熟期」**では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、「身近な区役所窓口のサービス」「日常の買い物の便」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」「公共交通機関(電車・バス)の便」「公園などの整備」「樹林地や水辺などの自然環境の保全」の6項目で、特に「身近な区役所窓口のサービス」は、満足度・変化の評価とも特に高くなっている。一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「地域の防犯体制の整備」「商店街の振興」である。

注)ライフステージ区分については、1ページ「調査概要」を参照。

図 項目の重要度と満足度の関係(ライフステージ別)







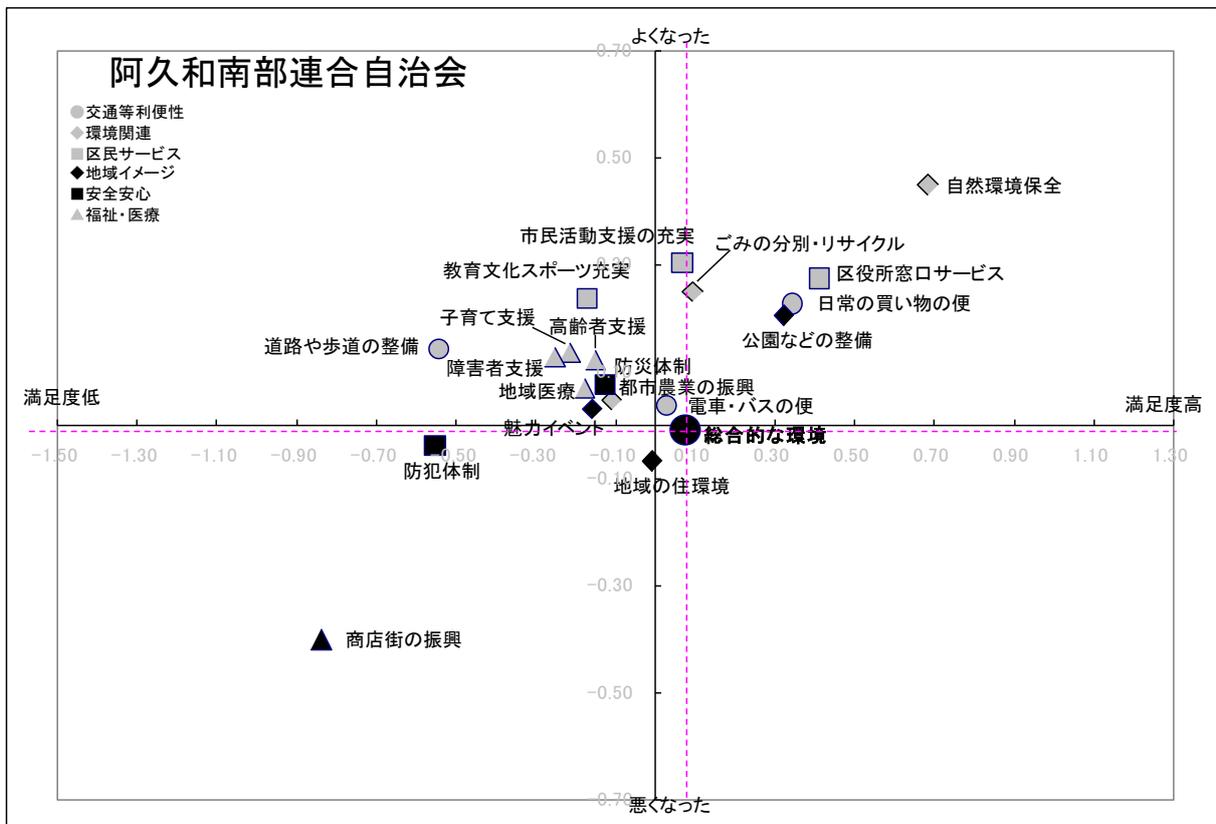
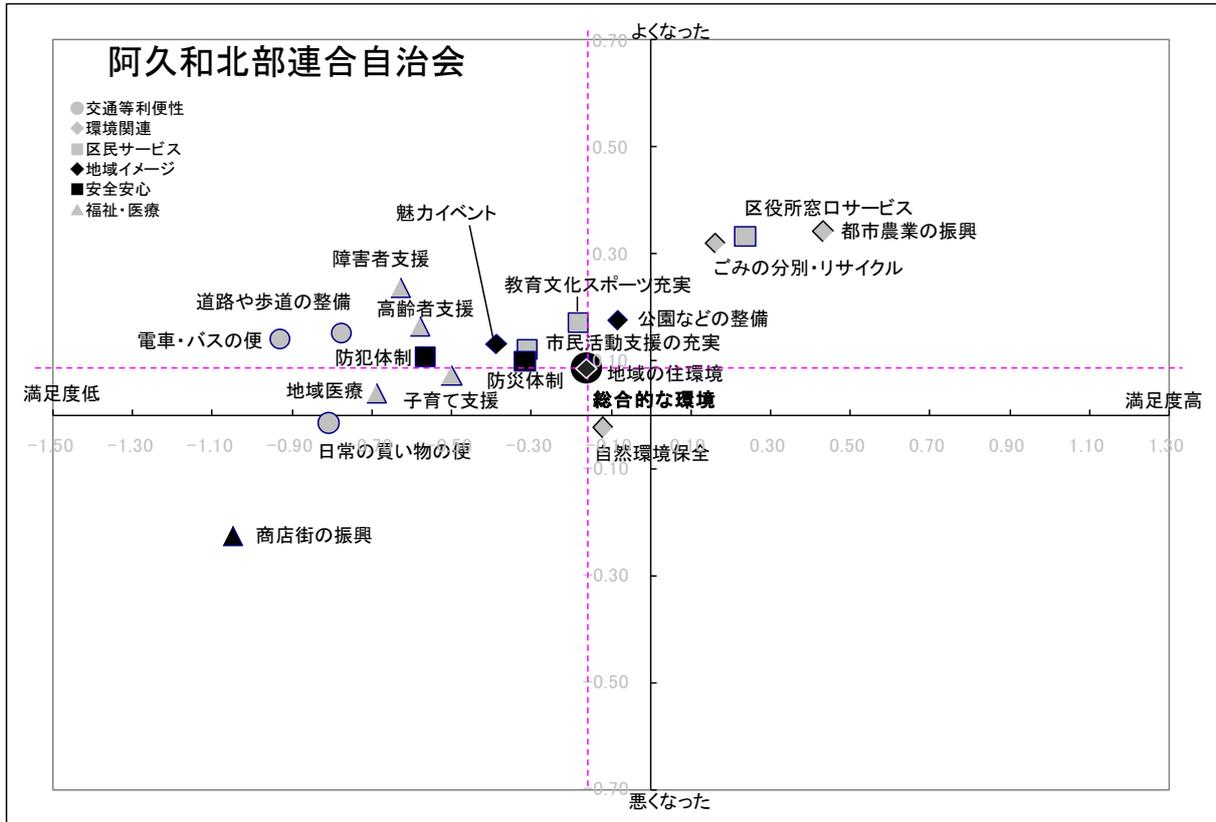
<連合自治会別>

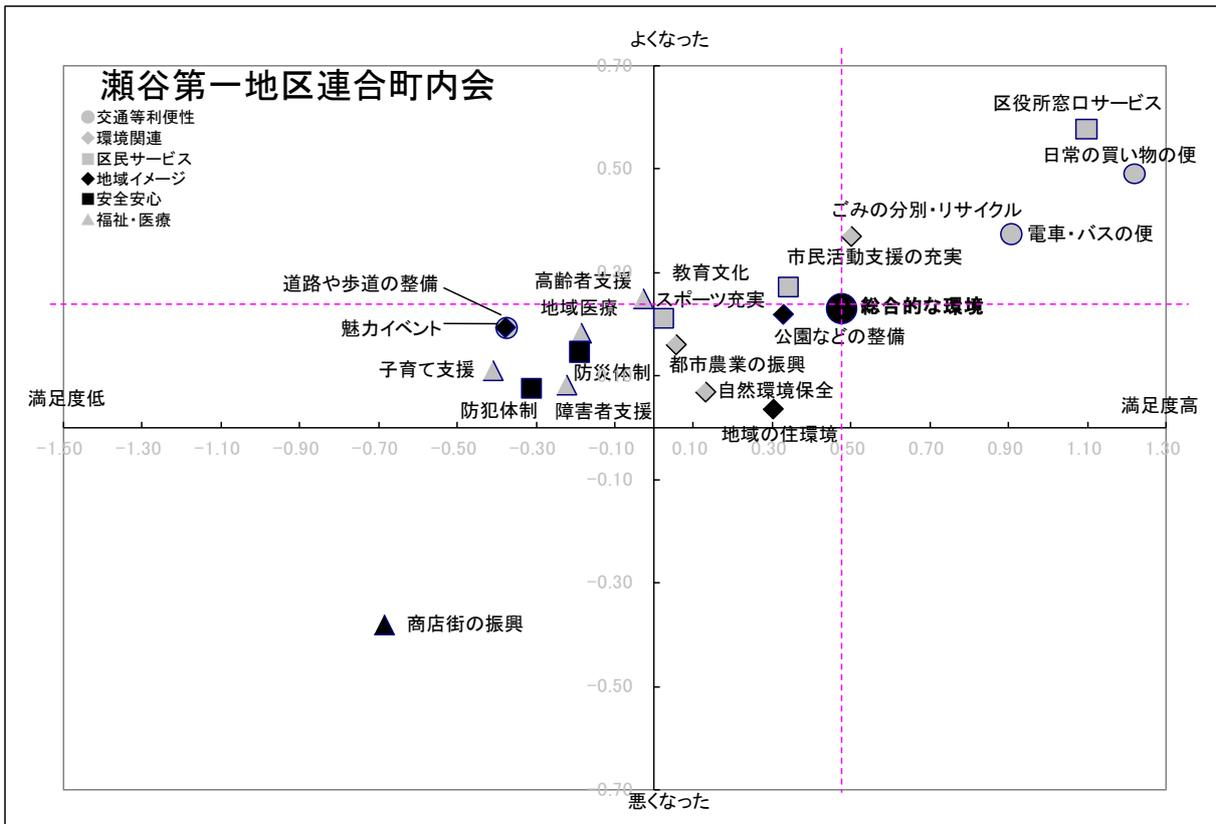
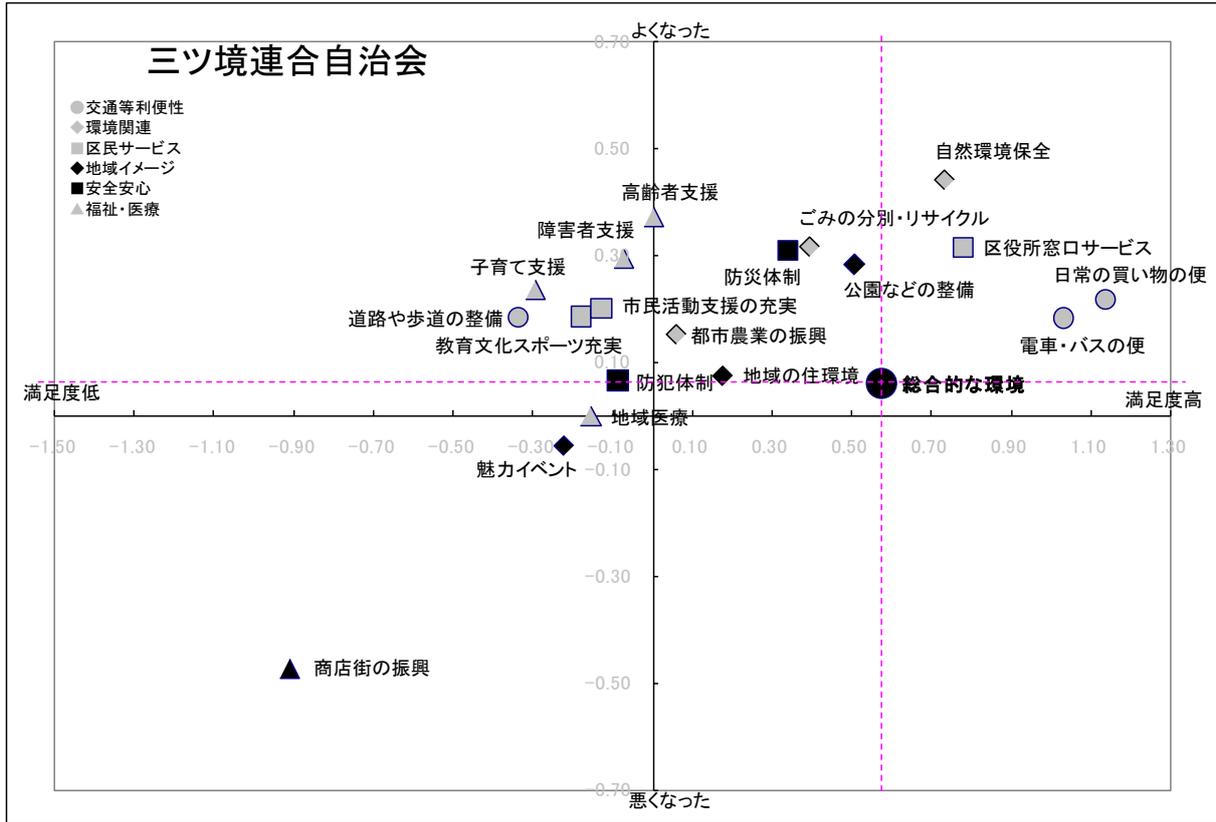
- ・ 連合自治会別のグラフについては、一部サンプル数が少ない自治会もあるため、参考として掲載する。
- ・ 「**阿久和北部連合自治会**」では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、満足度の高い順に「都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり」「身近な区役所窓口のサービス」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」「公園などの整備」の4項目で、特に「都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり」の満足度・変化の評価とも高くなっているのが特徴的である。一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「子育て支援のための施設・サービスの充実」「病院・救急医療などの地域医療」「日常の買い物の便」「商店街の振興」である。また「樹林地や水辺などの自然環境の保全」のみ、満足度は高いが変化の評価が低くなっている。なお区平均と比べて「総合的な環境」に対する満足度の評価軸が大きく低くずれている。
- ・ 「**阿久和南部連合自治会**」では、「樹林地や水辺などの自然環境の保全」の満足度・変化の評価とも非常に高い。そのほか満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、満足度の高い順に「身近な区役所窓口のサービス」「日常の買い物の便」「公園などの整備」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」の計5項目で、一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「街並み、地域の住環境」「地域の防犯体制の整備」「商店街の振興」の3項目である。なお区平均と比べて「総合的な環境」に対する評価が悪く、満足度・変化ともに評価軸が低くずれている。
- ・ 「**三ツ境連合自治会**」では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、「日常の買い物の便」「公共交通機関(電車・バス)の便」「身近な区役所窓口のサービス」「樹林地や水辺などの自然環境の保全」の4項目で、「樹林地や水辺などの自然環境の保全」は変化の評価も高い。一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「病院・救急医療などの地域医療」「地域の魅力をアップさせるイベント」「商店街の振興」である。なお区平均と比べて「総合的な環境」に対する満足度の評価軸が高くなっている。
- ・ 「**瀬谷第一地区連合町内会**」では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、満足度の高い順に「日常の買い物の便」「身近な区役所窓口のサービス」「公共交通機関(電車・バス)の便」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」の4項目で、特に「日常の買い物の便」「身近な区役所窓口のサービス」の満足度・変化の評価とも高くなっているのが特徴的である。一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「公園などの整備」「街並み、地域の住環境」「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり」「教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実」「病院・救急医療などの地域医療」「地域の防災体制の整備」「障害者支援のための施設・サービスの充実」「地域の防犯体制の整備」「道路や歩道、駐輪場などの整備」「地域の魅力をアップさせるイベント」「子育て支援のための施設・サービスの充実」「商店街の振興」と、実に13項目にわたっている。なお区平均と比べて「総合的な環境」に対する変化の評価軸が高く位置している。
- ・ 「**本郷地区連合自治会**」では、「日常の買い物の便」が満足度・変化の評価ともに高い。そのほか満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、満足度の高い順に「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「公園などの整備」「身近な区役所窓口のサービス」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」「街並み、地域の住環境」の計6項目で、一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり」「商店街の振興」の2項目である。なお区平均と比べて「総合的な環境」に対する評価が悪く、満足度・変化ともに評価軸が低くずれている。
- ・ 「**瀬谷北部町内連合会**」では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、「日常の買い物の便」「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「公園などの整備」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」「公共交通機関(電車・バス)の便」「身近な区役所窓口のサービス」の6項目で、一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「都市農

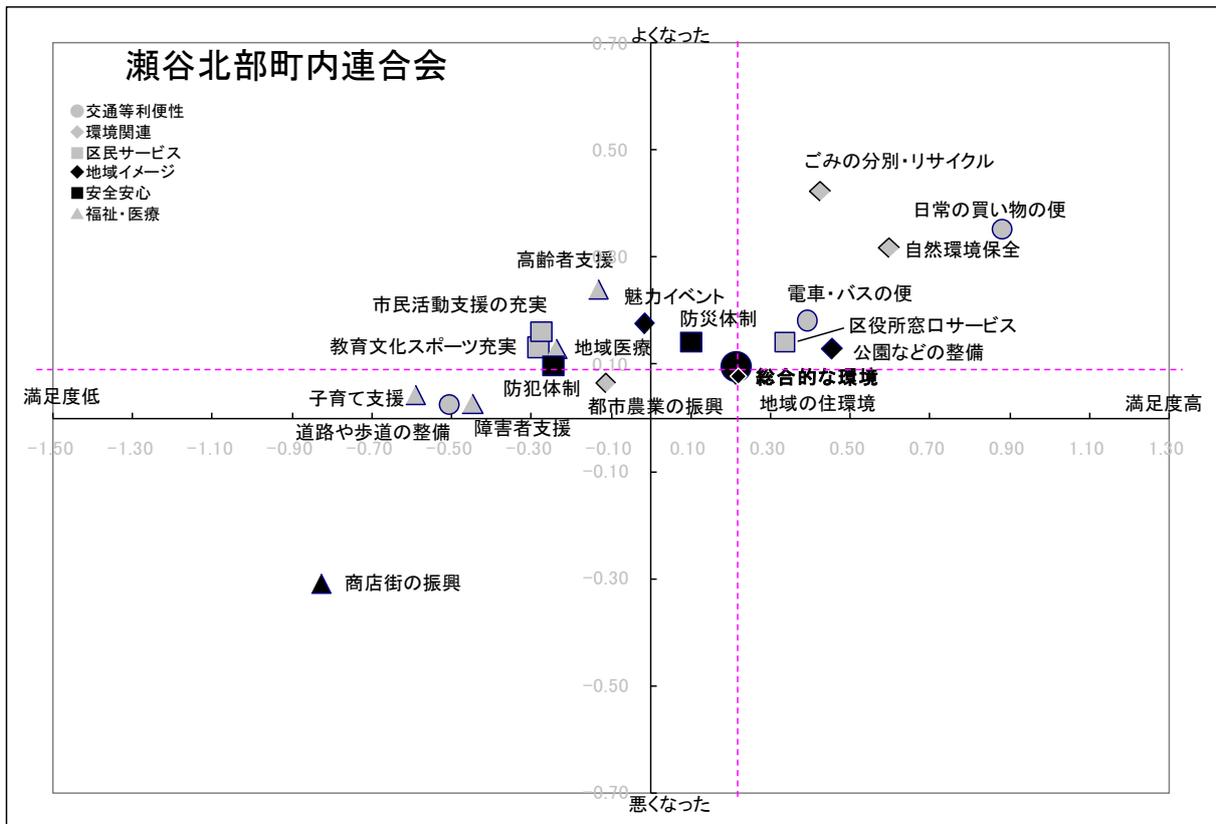
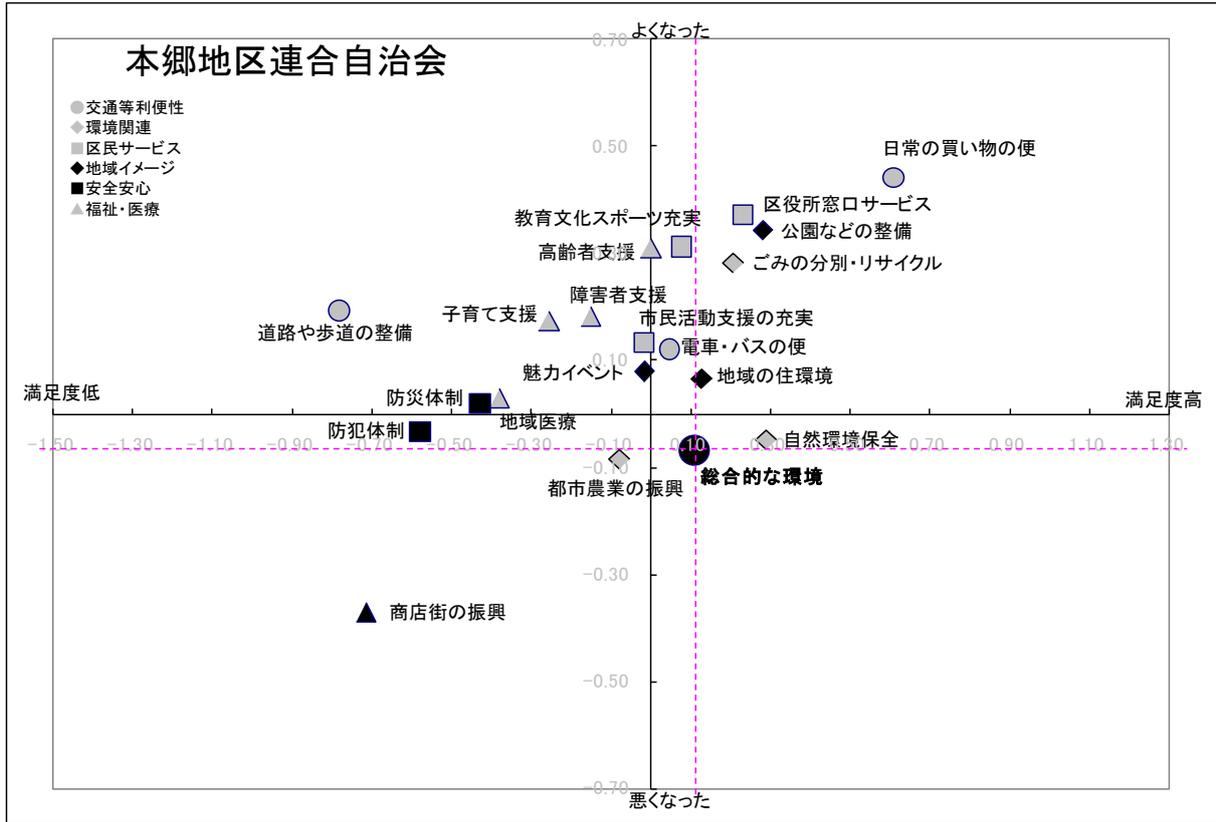
業の振興や農にふれ合える環境づくり」「障害者支援のための施設・サービスの充実」「道路や歩道、駐輪場などの整備」「子育て支援のための施設・サービスの充実」「商店街の振興」の5項目である。

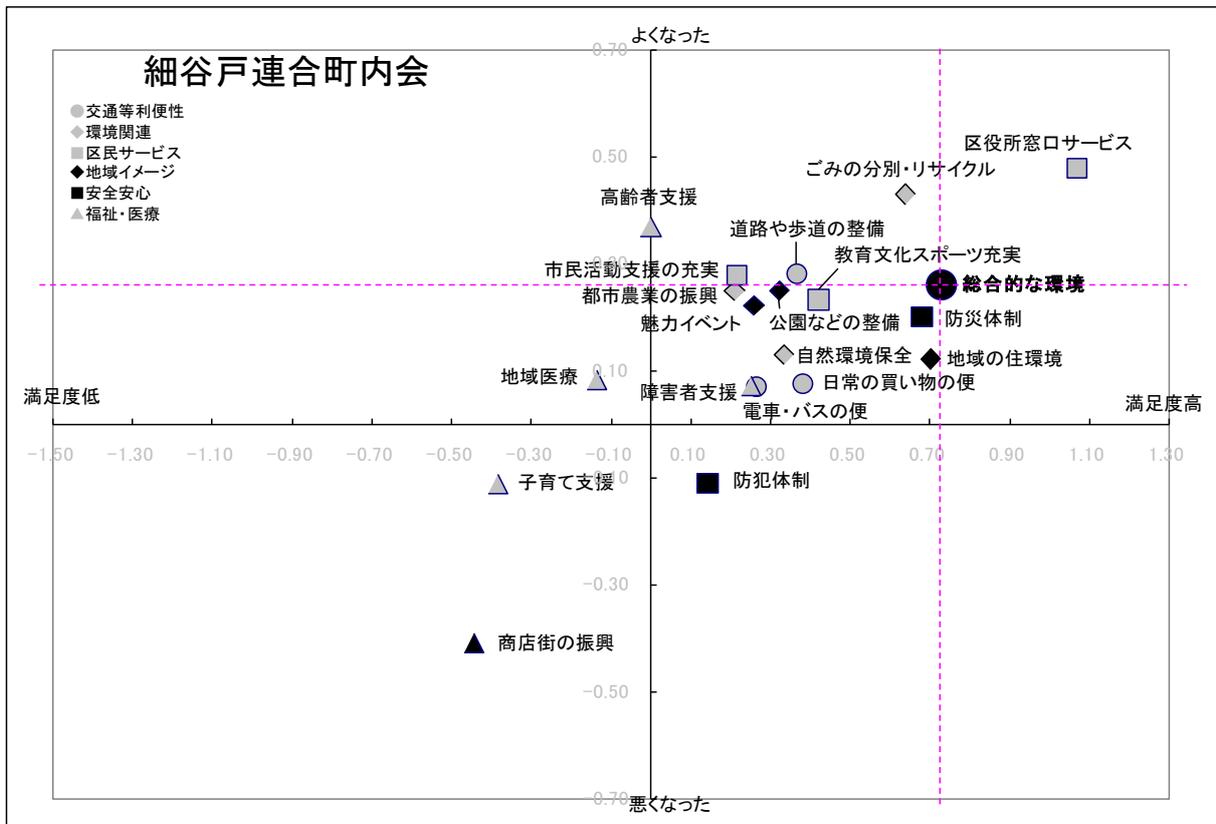
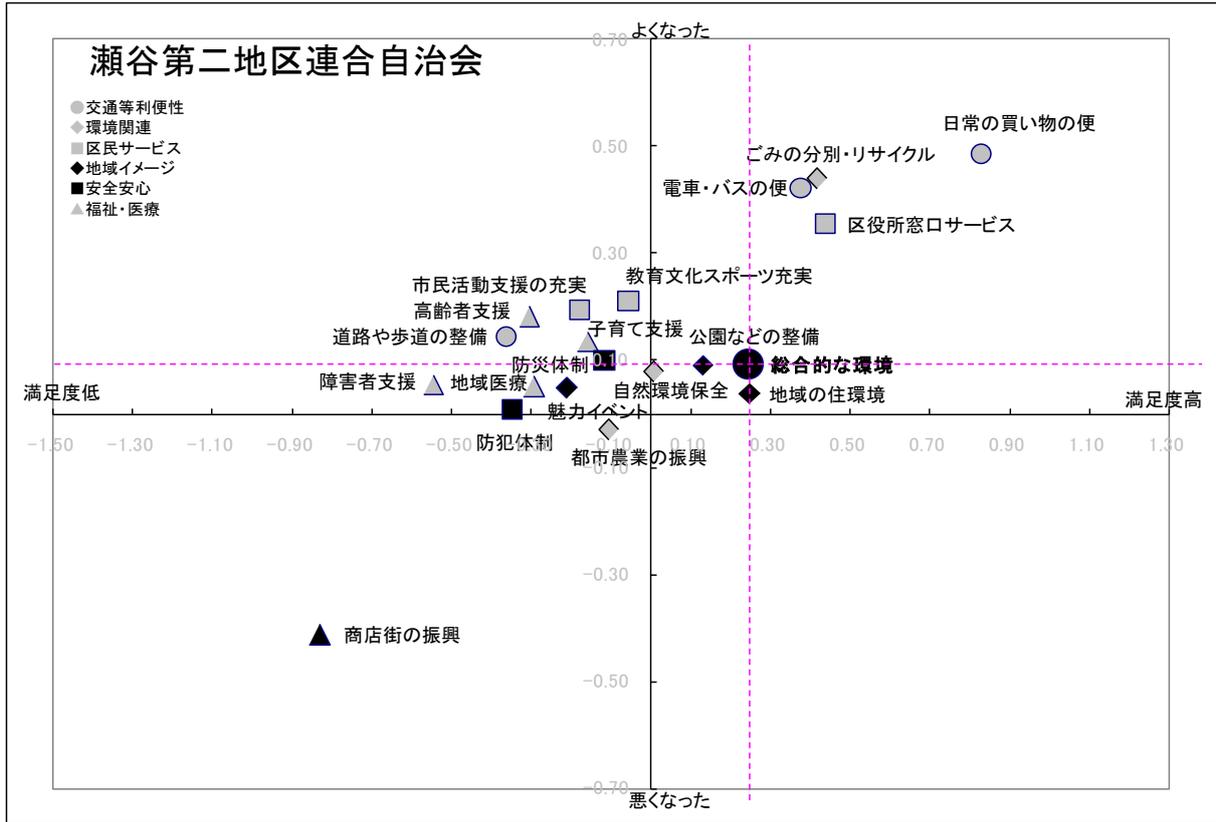
- ・「**瀬谷第二地区連合自治会**」では、「日常の買い物の便」の満足度・変化の評価とも非常に高い。そのほか満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、「身近な区役所窓口のサービス」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」「公共交通機関(電車・バス)の便」で、これらは特に変化の評価が高くなっている。一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり」「地域の魅力をアップさせるイベント」「病院・救急医療などの地域医療」「地域の防犯体制の整備」「障害者支援のための施設・サービスの充実」「商店街の振興」の7項目である。
- ・「**細谷戸連合町内会**」では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、「身近な区役所窓口のサービス」のみで、満足度・変化の評価とも非常に高い。一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「街並み、地域の住環境」「地域の防災体制の整備」「教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実」「日常の買い物の便」「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「公園などの整備」「公共交通機関(電車・バス)の便」「地域の魅力をアップさせるイベント」「障害者支援のための施設・サービスの充実」「都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり」「地域の防犯体制の整備」「病院・救急医療などの地域医療」「子育て支援のための施設・サービスの充実」「商店街の振興」の計14項目にわたっている。ただし、区平均と比べて「総合的な環境」に対する評価が特に良く、満足度・変化ともに評価軸が著しく高くなっている。
- ・「**瀬谷第四地区連合自治会**」では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、「日常の買い物の便」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「街並み、地域の住環境」の4項目で、「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」については変化の評価が非常に高い。一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「地域の防犯体制の整備」「商店街の振興」のみである。なお区平均と比べて「総合的な環境」に対する変化の評価軸が低くずれている。
- ・「**南瀬谷自治連合会**」では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、「樹林地や水辺などの自然環境の保全」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」「身近な区役所窓口のサービス」「公共交通機関(電車・バス)の便」「公園などの整備」「地域の防災体制の整備」「街並み、地域の住環境」の7項目で、「樹林地や水辺などの自然環境の保全」については満足度・変化の評価ともに非常に高い。一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「日常の買い物の便」「商店街の振興」の2項目で、特に「商店街の振興」は、満足度・変化の評価とも著しく低くなっている。なお区平均と比べて「総合的な環境」に対する変化の評価軸がやや低くずれている。
- ・「**宮沢連合自治会**」では、「樹林地や水辺などの自然環境の保全」の満足度・変化の評価とも非常に高い。そのほか満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、「公園などの整備」「身近な区役所窓口のサービス」「ごみの分別・リサイクルなど美化活動」の計4項目である。一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「病院・救急医療などの地域医療」「地域の防犯体制の整備」「道路や歩道、駐輪場などの整備」「商店街の振興」の4項目である。また、「公共交通機関(電車・バス)の便」と「街並み、地域の住環境」については、満足度は比較的高いが変化の評価がやや低くなっている。なお区平均と比べて「総合的な環境」に対する変化の評価軸がやや高く位置している。
- ・「**相沢町内連合会**」では、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より高かった項目は、「日常の買い物の便」「身近な区役所窓口のサービス」「公共交通機関(電車・バス)の便」の3項目で、「身近な区役所窓口のサービス」については特に変化の評価が高くなっている。一方、満足度も変化の数値もそれぞれ「総合的な環境」の評価より低かった項目は「地域の防犯体制の整備」「商店街の振興」の2項目である。なお区平均と比べて「総合的な環境」に対する変化の評価軸が低くずれている。

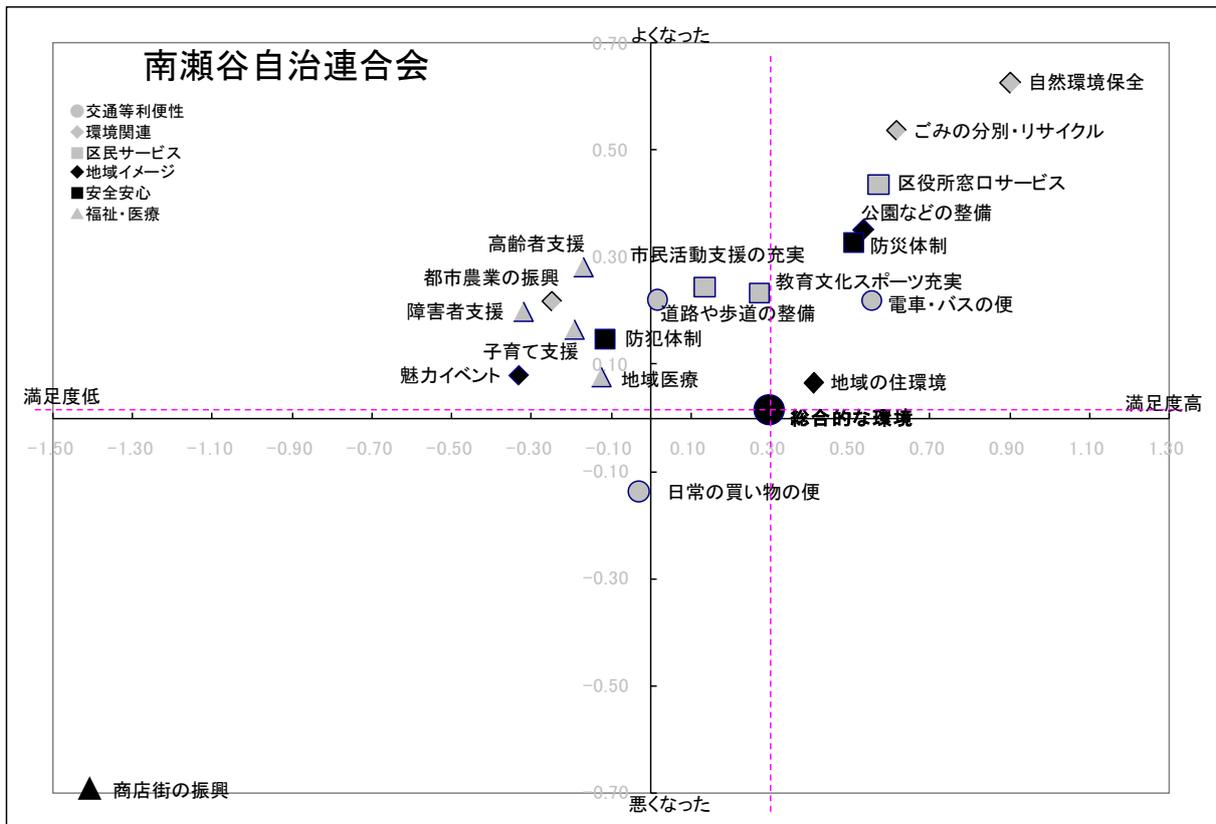
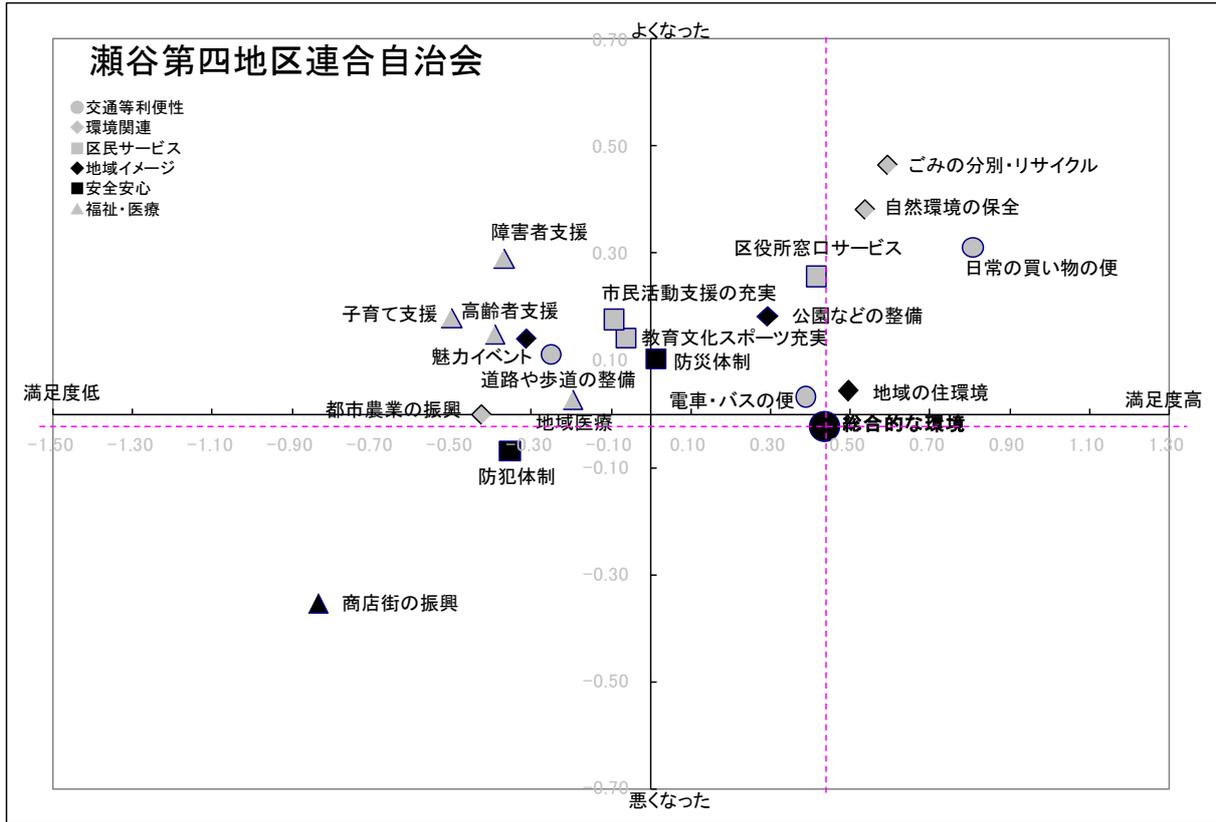
図 項目の重要度と満足度の関係(連合自治会別)

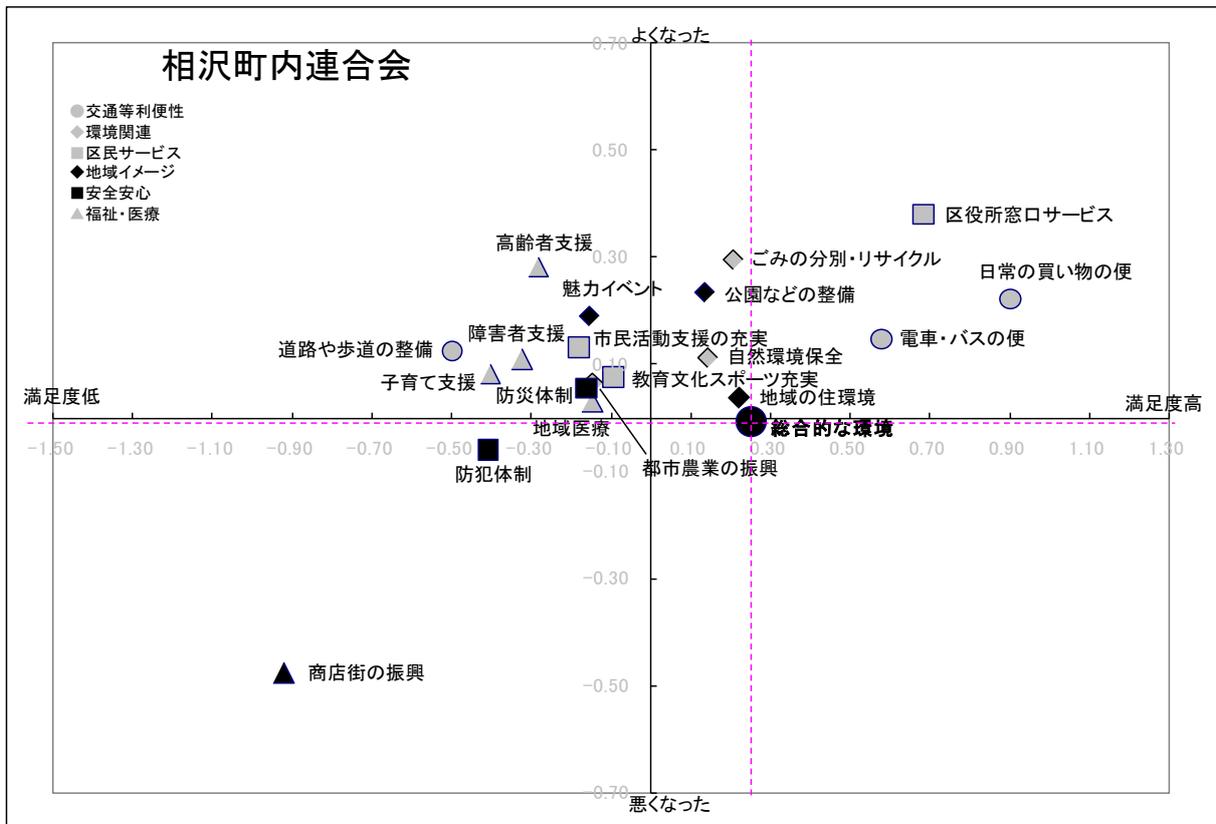
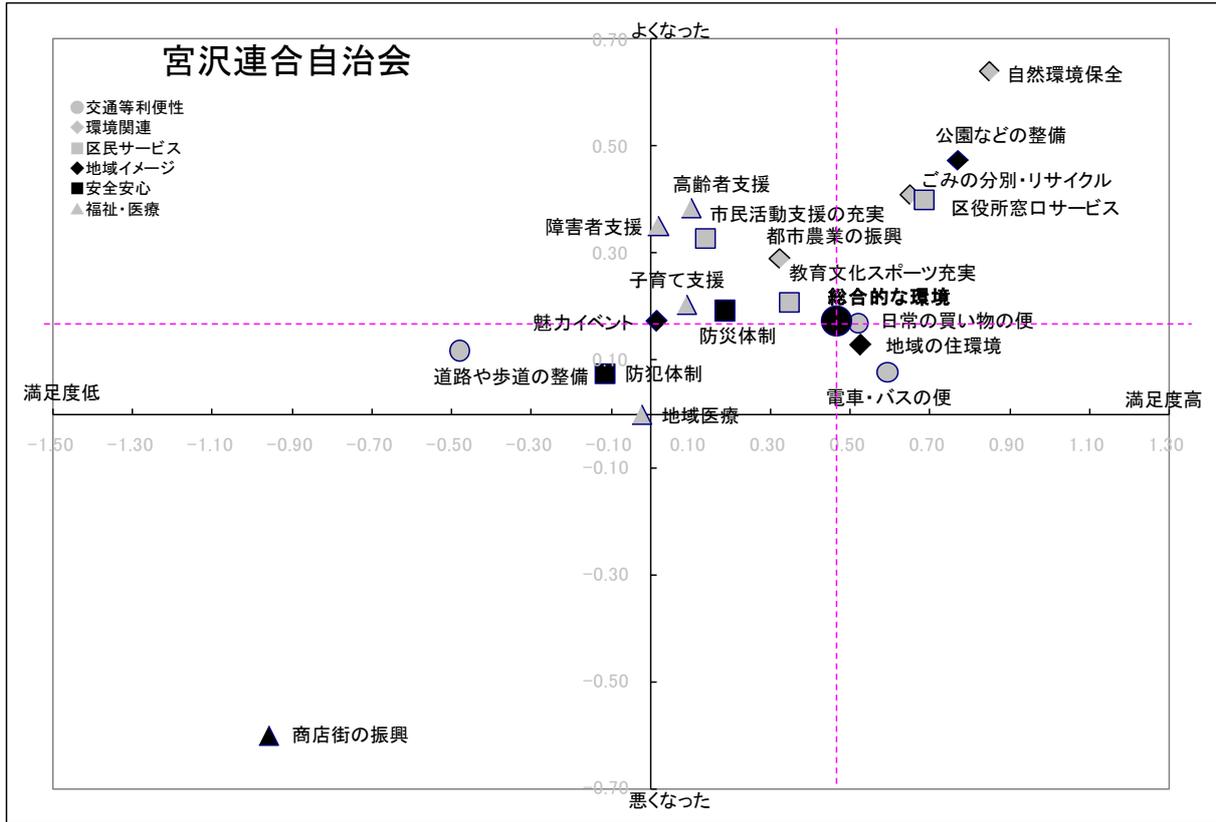












■ 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度・以前との比較(問4×F1,2,3)

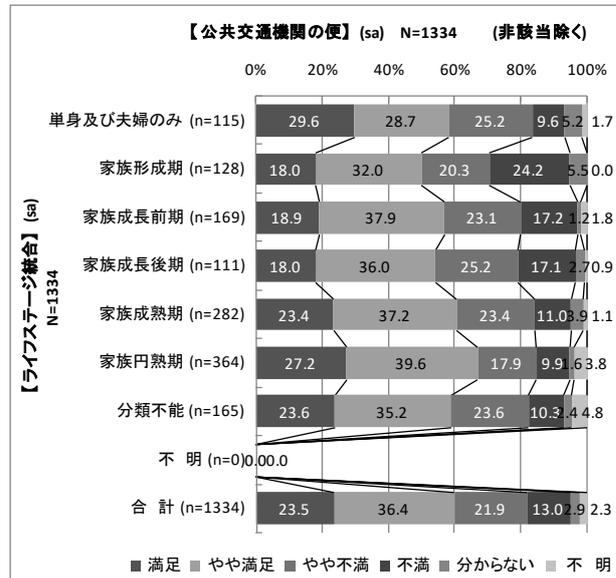
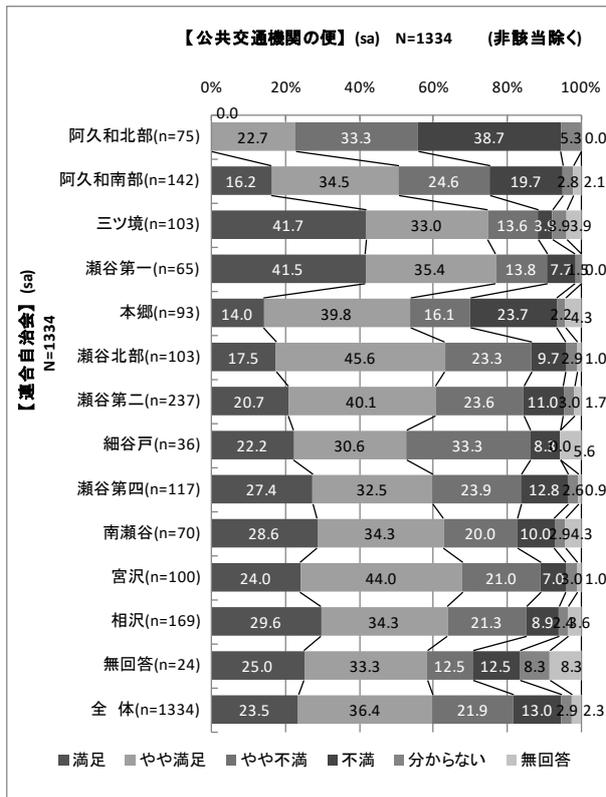
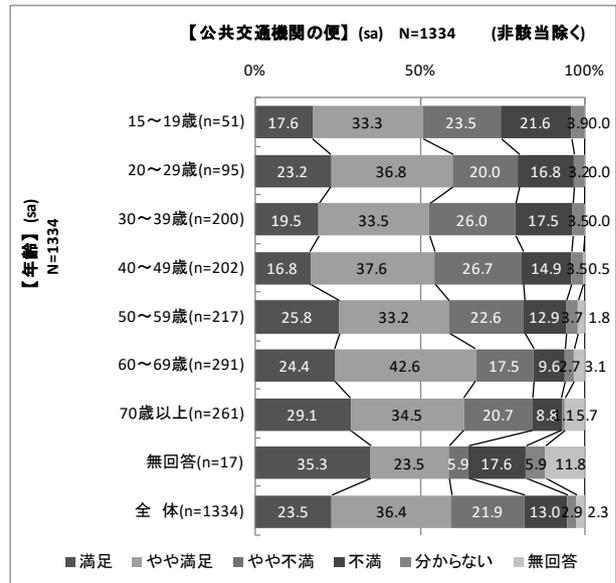
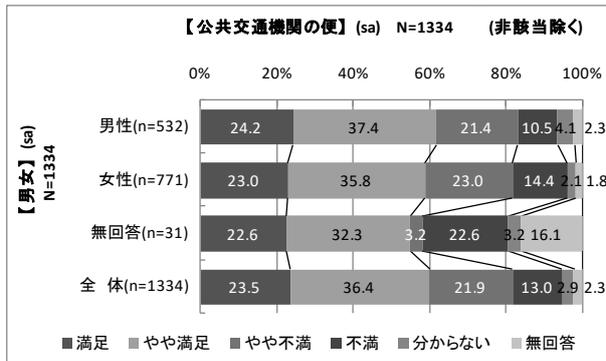
① 公共交通機関の便

<満足度>

- ・ 男女別では共に「やや満足」が最も多く、顕著な男女差は見られない。
- ・ 年齢別では、いずれも「やや満足」が最も多くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和北部連合自治会」(以下「連合自治会」表記を省略)で「不満」、「細谷戸」で「やや不満」が最も多くなっている。また「阿久和北部」は「やや不満」、「三ツ境」「瀬谷第一」は「満足」、「本郷」は「不満」の数値が他に比べて高く、地域による特徴が顕著に表れている。特に「阿久和北部」では「満足」の数値が0であるなど、満足度が低い。満足度が高いのは「三ツ境」「瀬谷第一」である。
- ・ ライフステージ別では、「単身及び夫婦のみ」が「満足」が最も多くなっている以外は「やや満足」が最も多い。また、「家族形成期」では「不満」の数値が他に比べて高くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

① 公共交通機関の便

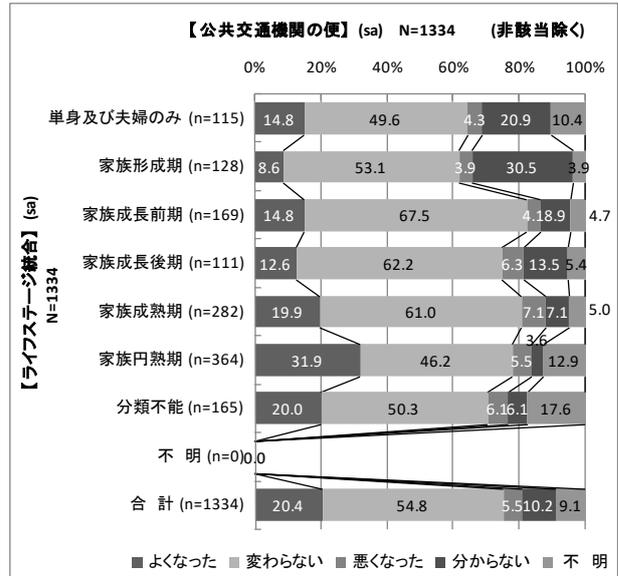
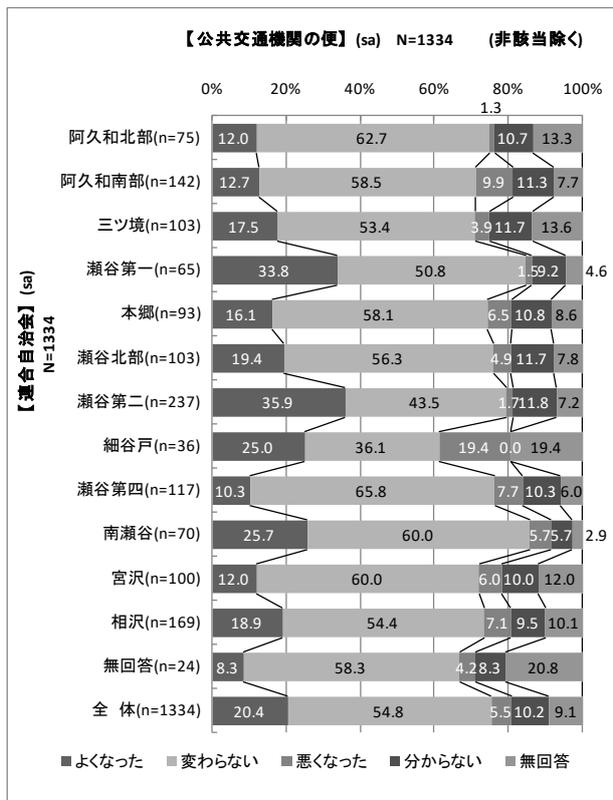
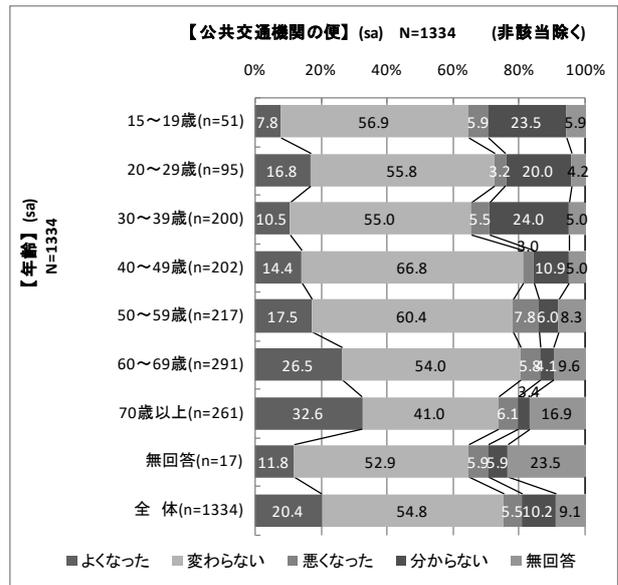
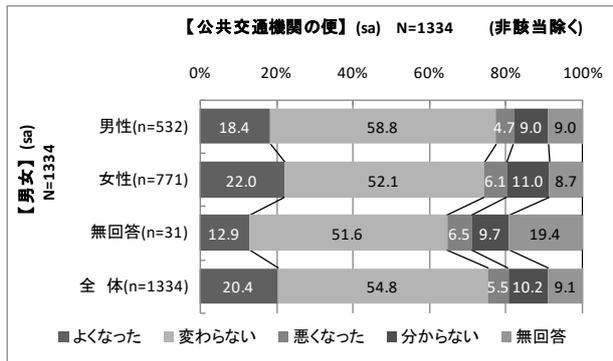


<以前との比較>

- ・ 男女別では共に「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、いずれの世代も「変わらない」が最も多くなっている。また、70 歳以上で「よくなった」の数値が高く、高齢層で変化の評価は高くなっている。10 代、30 代では「わからない」の数値が高い。
- ・ 連合自治会別では、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。また「瀬谷第一」「瀬谷第二」では「よくなった」、「細谷戸」では「悪くなった」の数値が他に比べて高くなっている。
- ・ ライフステージ別ではいずれも「変わらない」が最も多くなっている。また「家族円熟期」では「よくなった」、「単身及び夫婦のみ」と「家族形成期」では「分からない」の数値が他に比べて高くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

① 公共交通機関の便



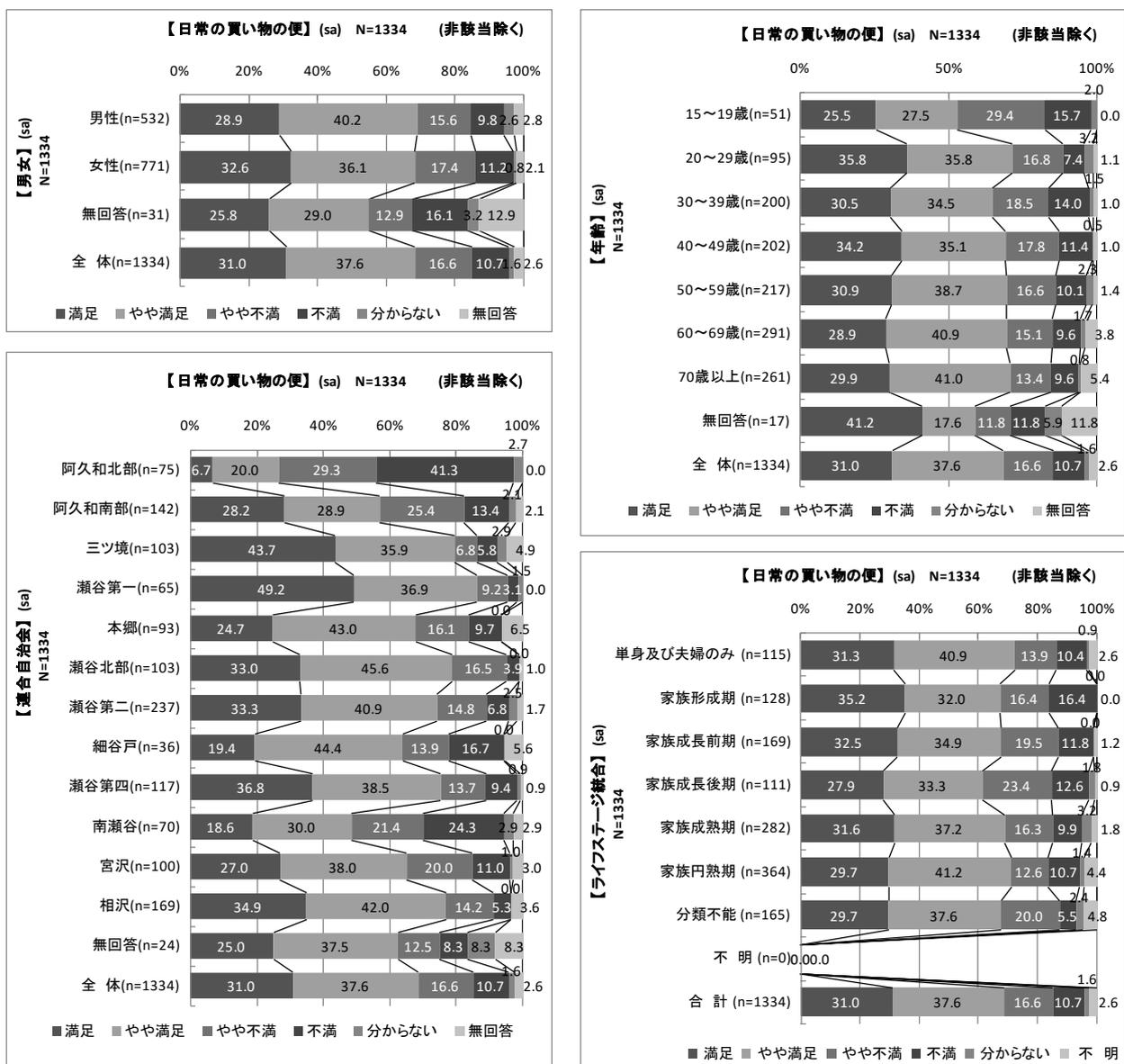
② 日常の買い物の便

<満足度>

- ・ 男女別では共に「やや満足」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、10代は「やや不満」、20代は「満足」「やや満足」が同率、それ以外の世代ではいずれも「やや満足」が最も多くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和北部」で「不満」、「三ツ境」「瀬谷第一」で「満足」が最も多くなっている以外は、「やや満足」が最も多くなっている。なお「阿久和北部」は「やや不満」の数値も高く、満足度が低い。「南瀬谷」でも「不満」の数値が他に比べて高くなっている。
- ・ ライフステージ別では、「家族形成期」のみ「満足」、それ以外では「やや満足」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

② 日常の買い物の便

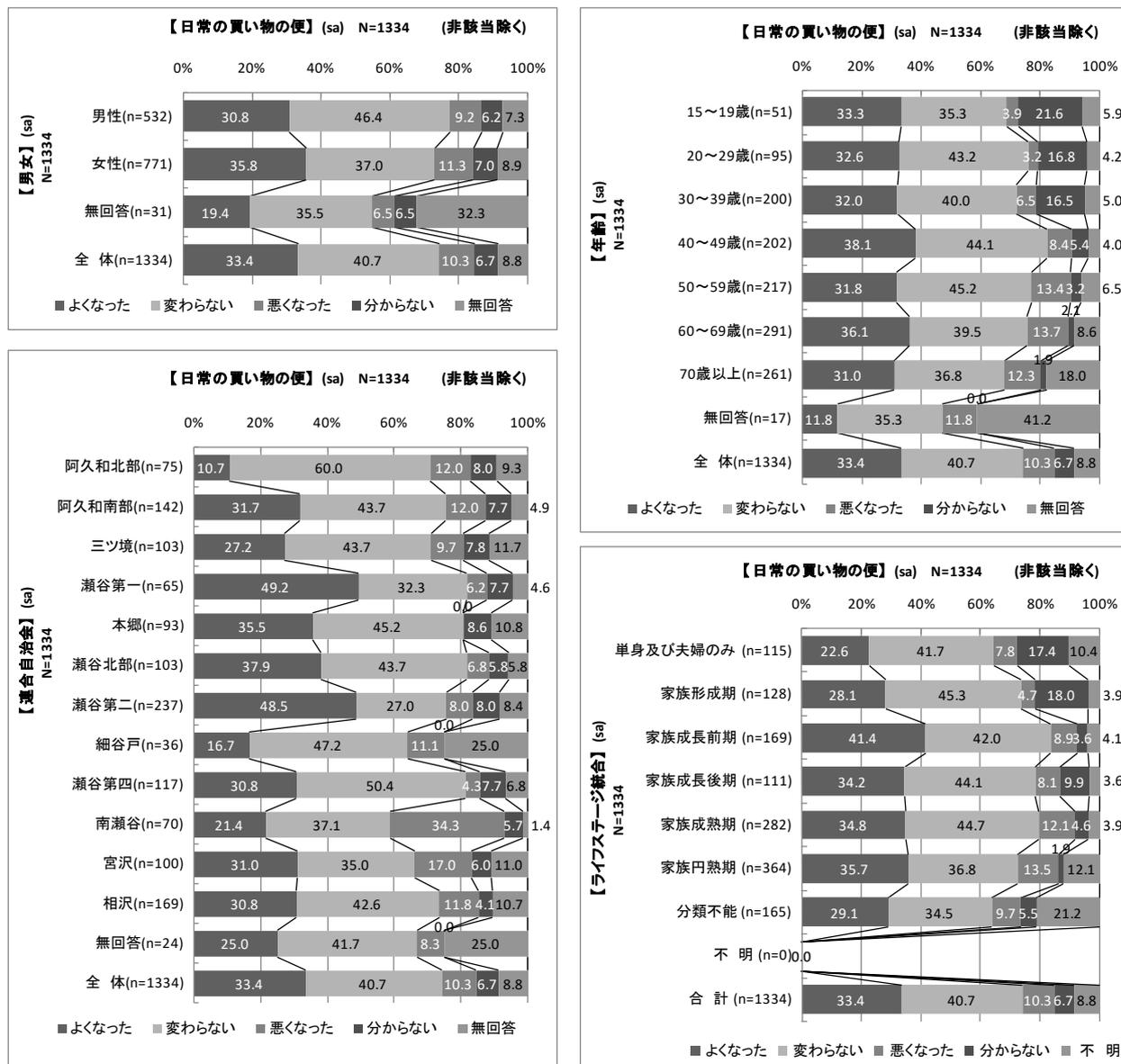


<以前との比較>

- ・ 男女別では共に「変わらない」が最も多くなっている。ただし、女性は男性に比べて 9.4 ポイント低く、「よくなった」の数値が5ポイント高い。
- ・ 年齢別では、いずれの世代も「変わらない」が最も多くなっている。また、10代～30代では「わからない」の数値が高い。
- ・ 連合自治会別では、「瀬谷第一」「瀬谷第二」で「よくなった」が最も多くなっている以外は、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。また、「南瀬谷」では「悪くなった」の数値が他に比べて著しく高くなっている。
- ・ ライフステージ別ではいずれも「変わらない」が最も多くなっている。「家族成長前期」では「よくなった」の評価がやや多く、「変わらない」との差はわずかである。また、「単身及び夫婦のみ」と「家族形成期」では「分からない」の数値が他に比べて高く、「よくなった」が低い傾向にある。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

② 日常の買い物の便



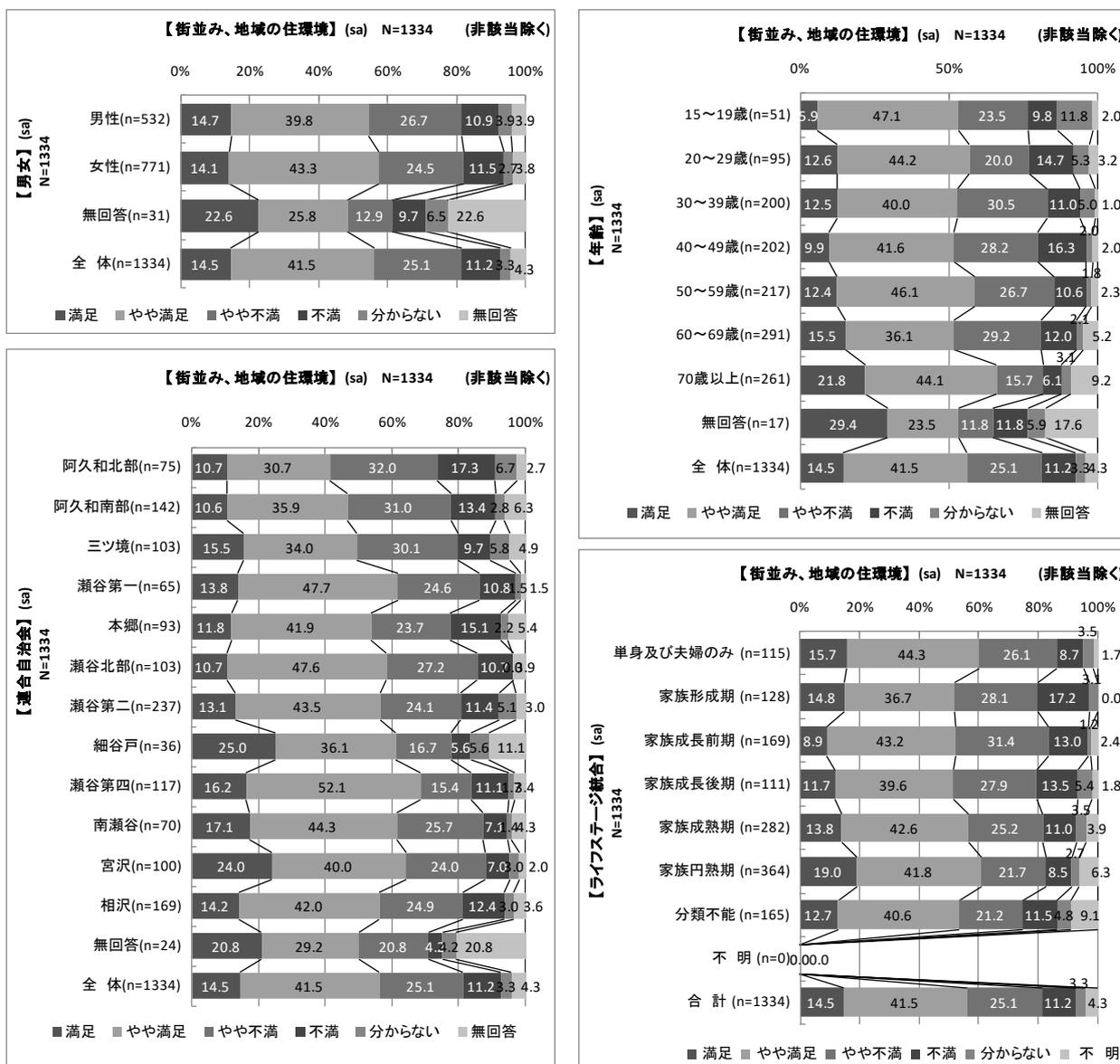
③ 街並み、地域の住環境

<満足度>

- ・ 男女別では共に「やや満足」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、いずれも「やや満足」が最も多くなっている。年齢層が高い方が「満足」の数値が高い傾向にある。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和北部」で「やや不満」が最も多く、それ以外は、「やや満足」が最も多くなっている。また「細谷戸」は「満足」の数値が他に比べて高くなっている。満足度が最も高いのは「瀬谷第四」である。
- ・ ライフステージ別では、いずれも「やや満足」が最も多くなっている。「家族形成期」から「家族成長後期」にかけては僅かに満足度が低い。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

③ 街並み、地域の住環境

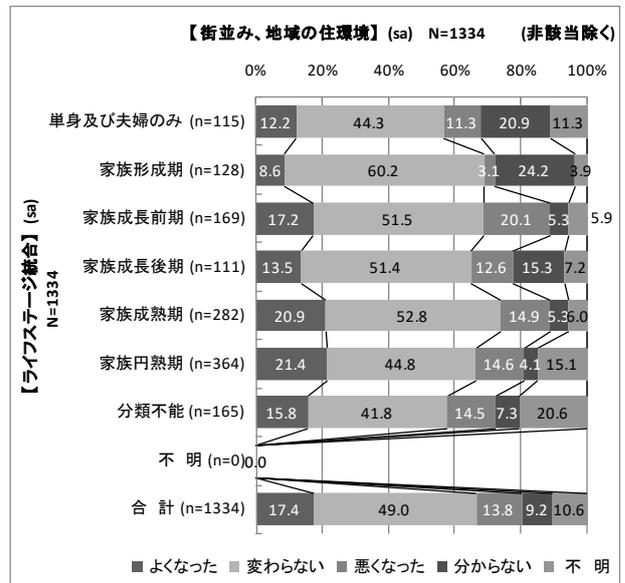
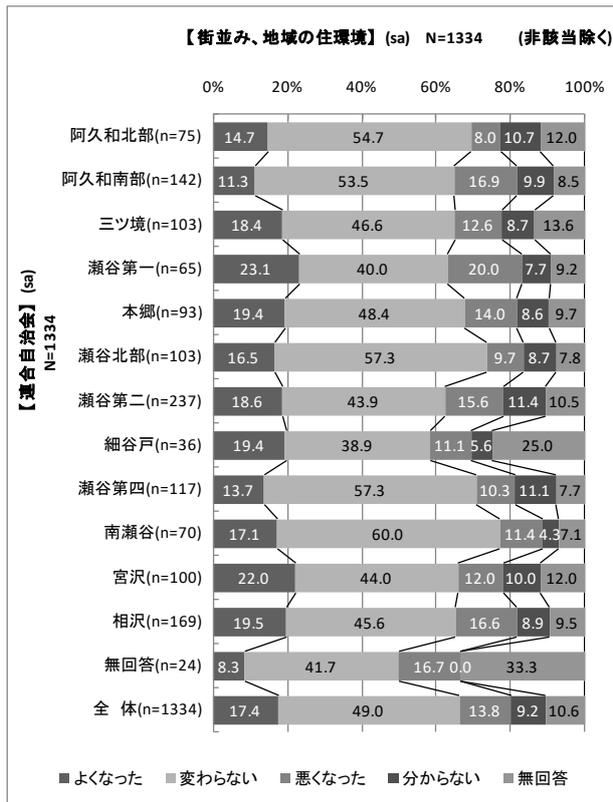
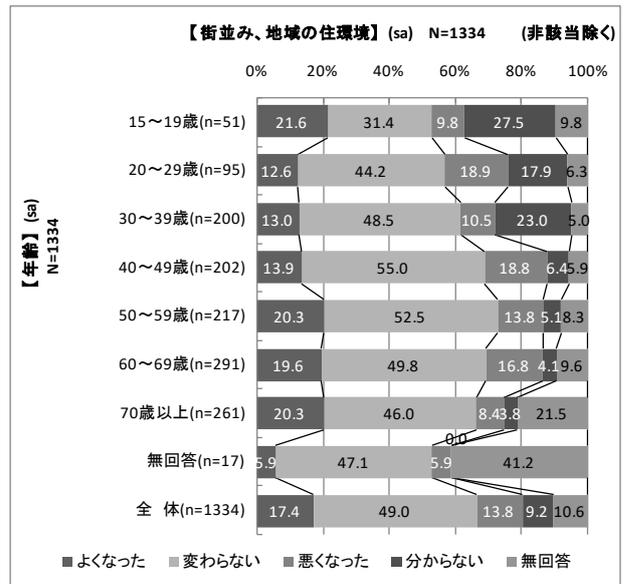
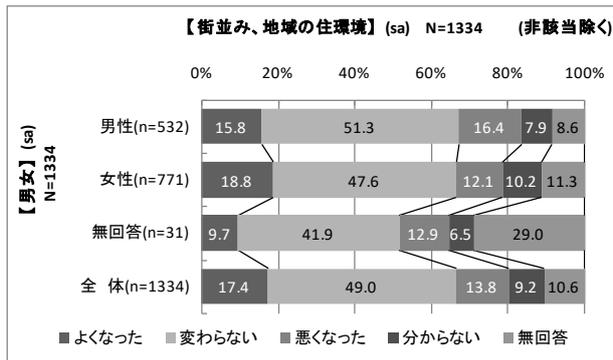


<以前との比較>

- ・ 男女別では共に「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、いずれの世代も「変わらない」が最も多くなっている。また、10代、30代では「わからない」の数値が高い。20代、40代での評価が僅かに低くなっている。
- ・ 連合自治会別では、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ ライフステージ別ではいずれも「変わらない」が最も多くなっている。また「単身及び夫婦のみ」と「家族形成期」では「分らない」の数値が他に比べて高くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

③ 街並み、地域の住環境



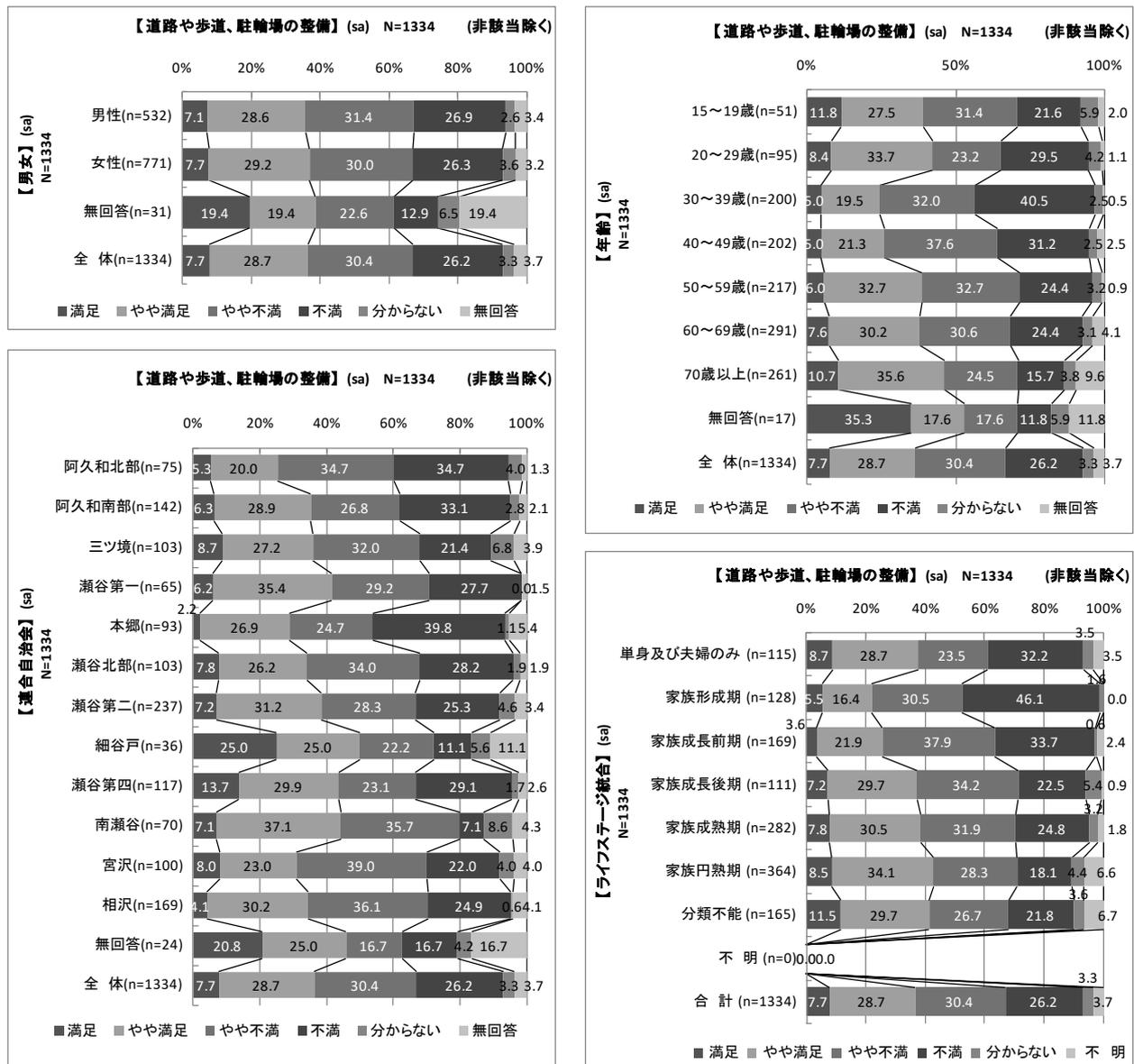
④ 道路や歩道、駐輪場などの整備

<満足度>

- ・ 男女別では共に「やや不満」が最も多くなっており、顕著な男女差はみられなかった。
- ・ 年齢別では、20代、70歳以上で「やや満足」、10代、40代、60代で「やや不満」、50代はこの2つが同率、30代は「不満」が最も多くなっており、世代で傾向が分かれた。30、40代の満足度が低くなっていることがわかる。
- ・ 連合自治会別では、「細谷戸」で「満足」と「やや満足」が同率、「瀬谷第一」「瀬谷第二」「瀬谷第四」「南瀬谷」で「やや満足」、「三ツ境」「瀬谷北部」「宮沢」「相沢」では「やや不満」、「阿久和南部」「本郷」では「不満」が最も多く、「阿久和北部」では「不満」と「やや不満」が同率となっている。最も満足度が高いのは「細谷戸」で、「阿久和北部」の満足度が低い。
- ・ ライフステージ別では、「単身及び夫婦のみ」「家族形成期」では「不満」、「家族成長前期」「家族成長後期」「家族成熟期」では「やや不満」、「家族円熟期」では「やや満足」が最も多くなっている。小さい子供を抱えるライフステージでの満足度が低い。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

④ 道路や歩道、駐輪場などの整備

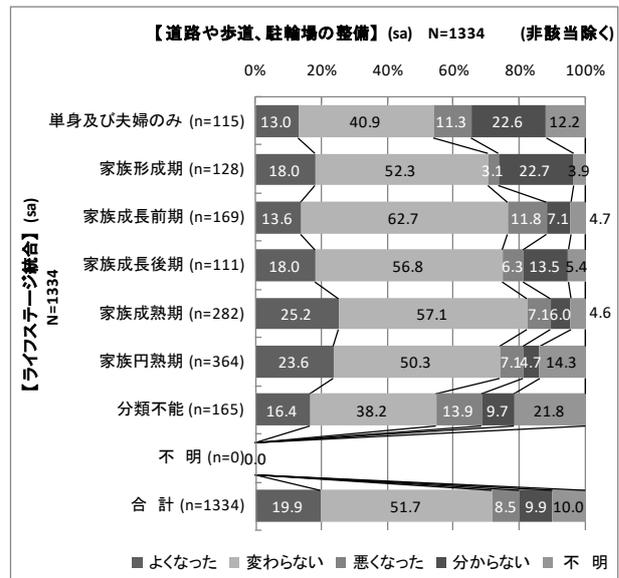
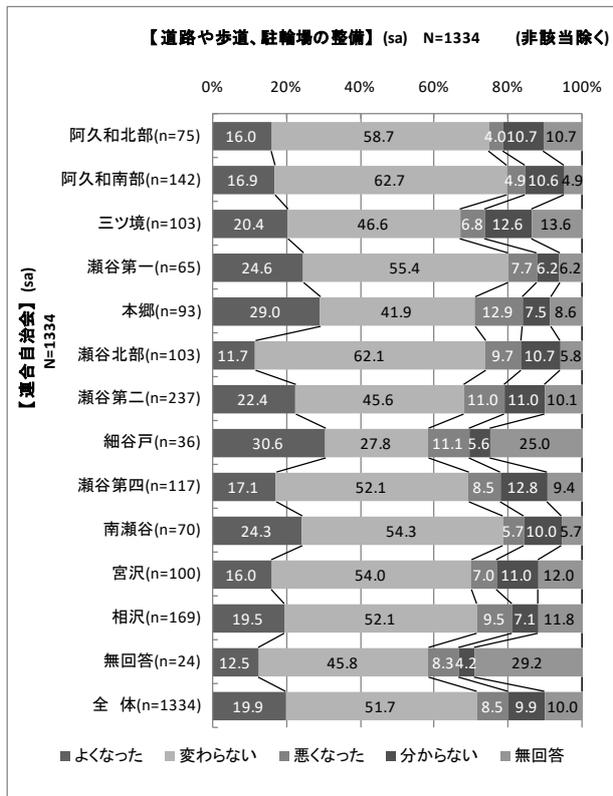
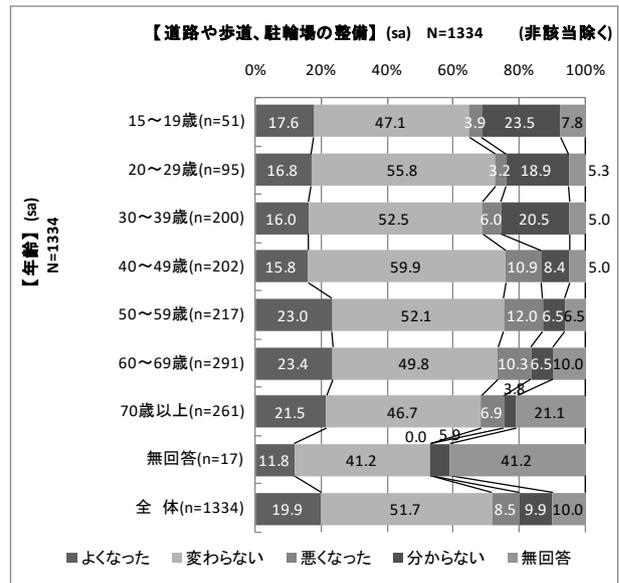
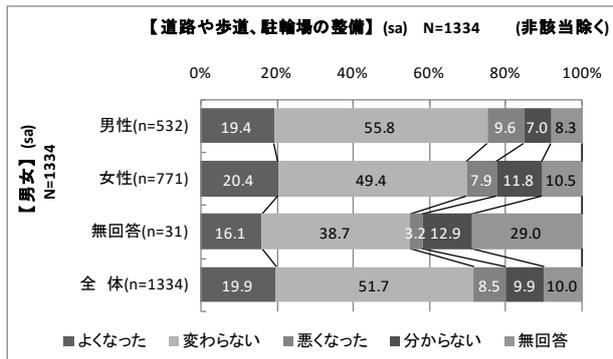


<以前との比較>

- ・ 男女別では共に「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、いずれの世代も「変わらない」が最も多くなっているほか、30代までの世代で「わからない」の数値が高い。
- ・ 連合自治会別では、「細谷戸」のみ「よくなった」が最も多く、それ以外の地域ではいずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ ライフステージ別ではいずれも「変わらない」が最も多くなっている。「家族成熟期」でやや評価が高くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

④ 道路や歩道、駐輪場などの整備



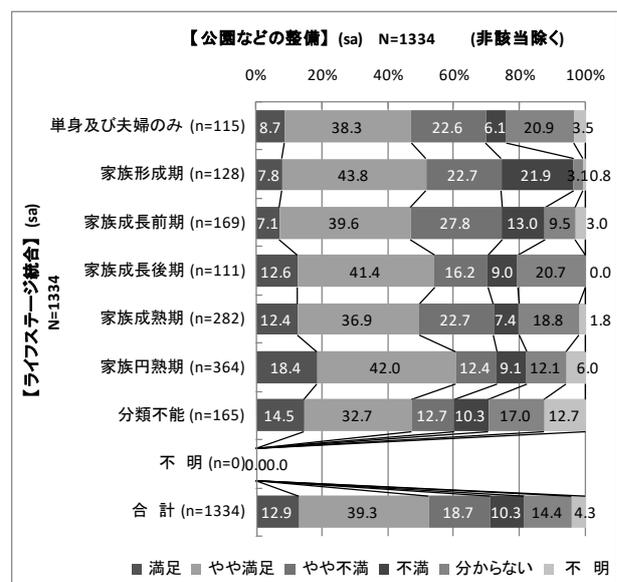
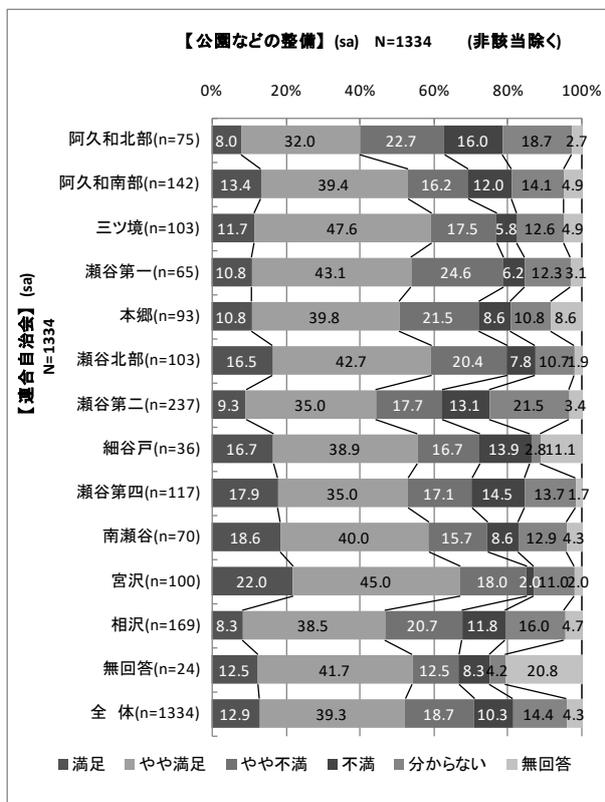
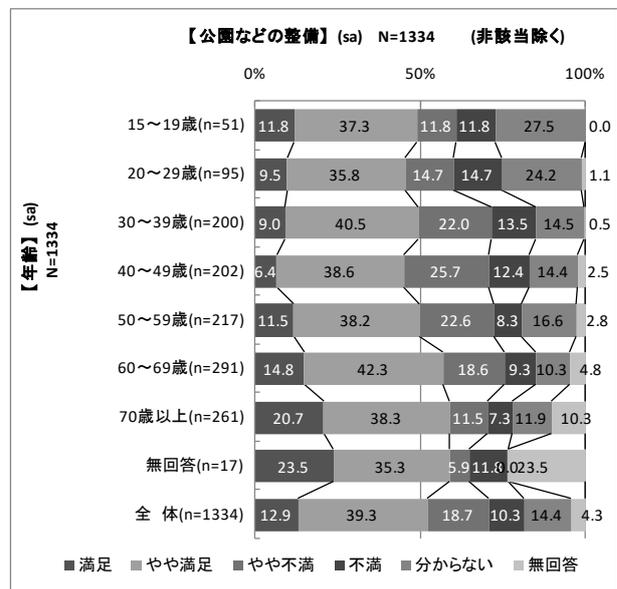
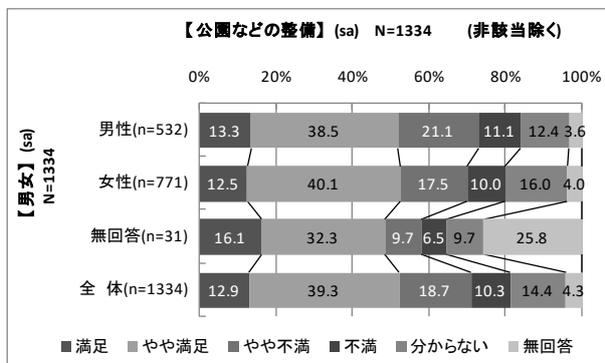
⑤ 公園などの整備

<満足度>

- ・ 男女別では共に「やや満足」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、いずれも「やや満足」が最も多くなっている。高齢者層で僅かに満足度が高い。また、10代、20代で「分からない」の数値が他に比べて高い。
- ・ 連合自治会別では、いずれも「やや満足」が最も多くなっている。また「宮沢」は「満足」の数値が他に比べて高く、満足度が高くなっている。
- ・ ライフステージ別では、いずれも「やや満足」が最も多くなっている。また、「家族形成期」で「不満」、「家族成長前期」で「やや不満」の数値が他に比べて高く、小さい子供を抱えるライフステージでは不満の割合が高くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑤ 公園などの整備

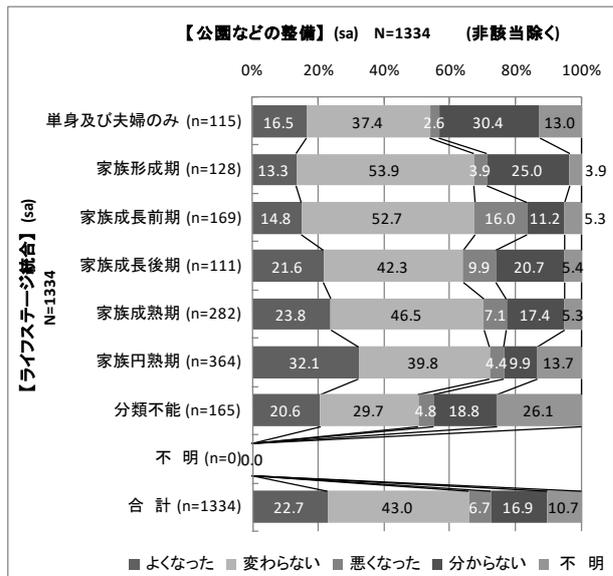
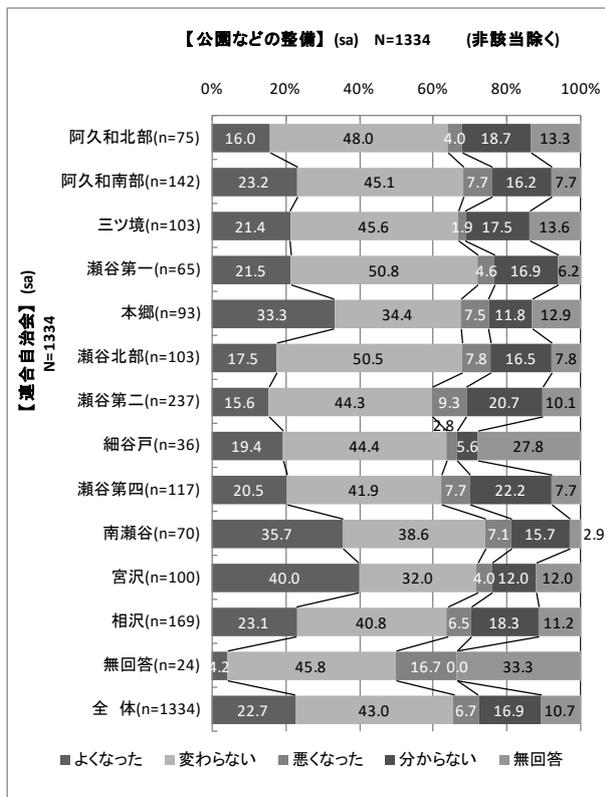
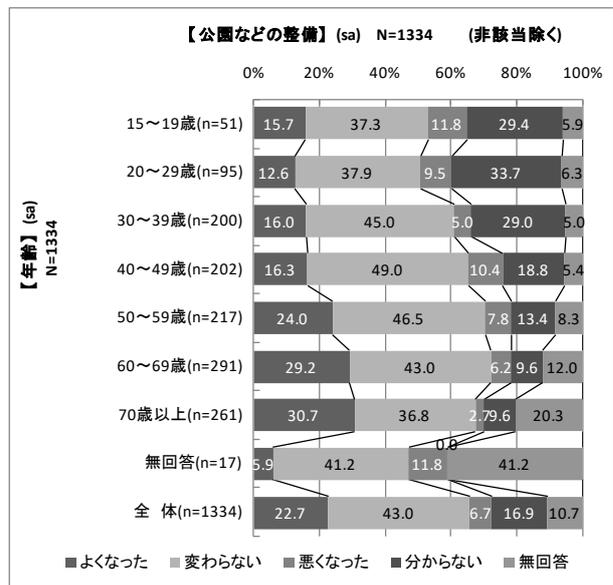
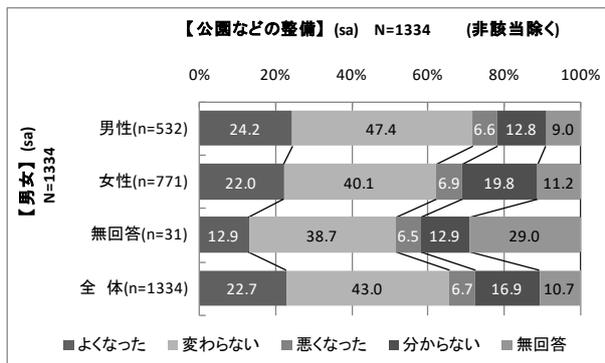


<以前との比較>

- ・ 男女別では共に「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、いずれの世代も「変わらない」が最も多くなっている。また、年齢層が高いほど変化の評価は高くなっている。10代から30代では「わからない」の数値が高い。
- ・ 連合自治会別では、「宮沢」のみ「よくなった」が最も多く、それ以外の地域ではいずれも「変わらない」が最も多くなっている。また「本郷」「南瀬谷」でも「よくなった」の数値が他に比べて高い。
- ・ ライフステージ別ではいずれも「変わらない」が最も多くなっている。また、「家族成長前期」で「悪くなった」、「家族円熟期」では「よくなった」、「単身及び夫婦のみ」では「分からない」の数値が他に比べて高く、ライフステージが進むほど変化の評価は高い。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑤ 公園などの整備



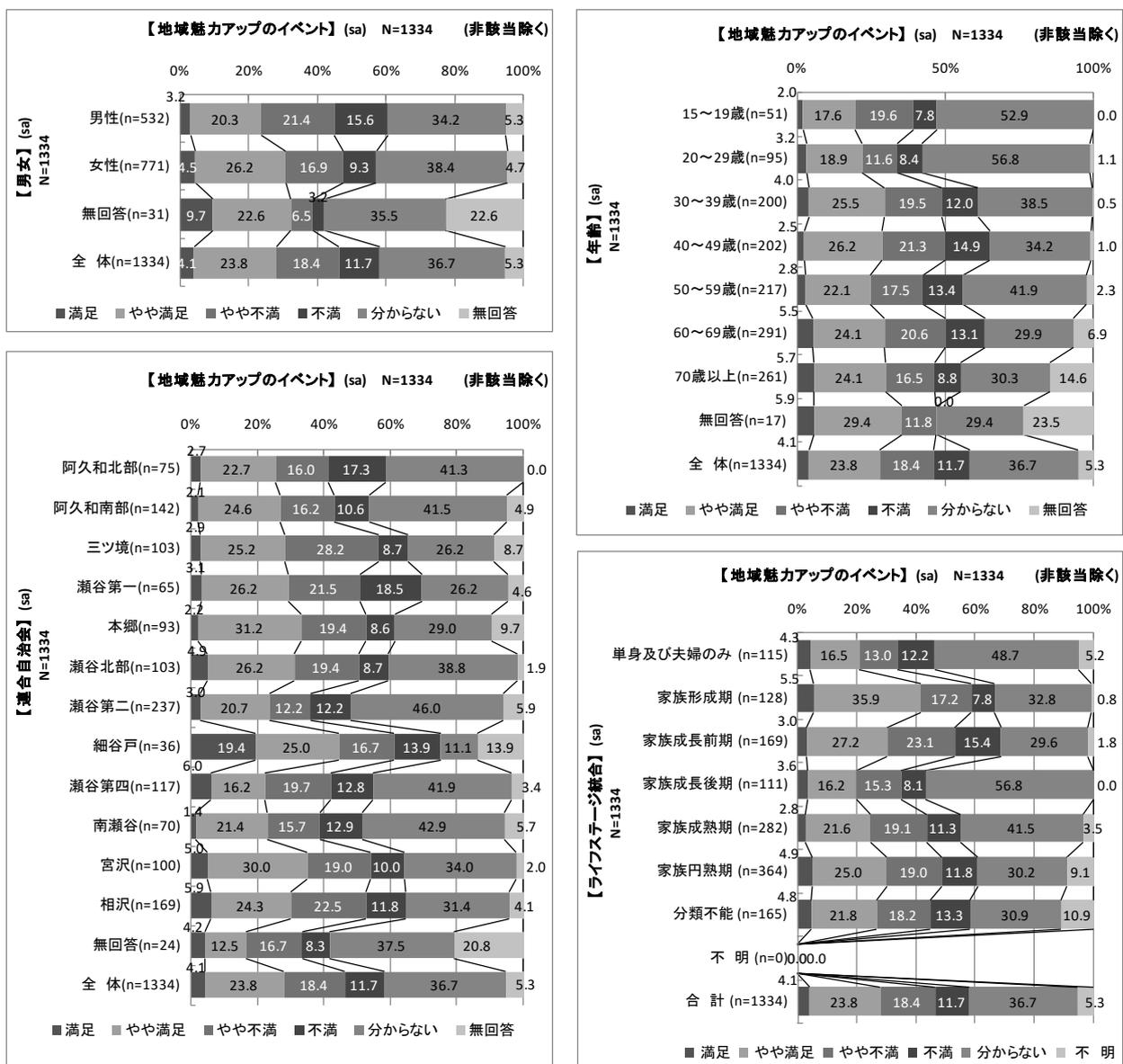
⑥ 地域の魅力をアップさせるイベント

<満足度>

- ・ 男女別では共に「分からない」が最も多くなっている。男性は女性に比べて「不満」「やや不満」が僅かに高くなっている。
- ・ 年齢別では、いずれの世代も「わからない」が最も多く、10代、20代で数値が高い。
- ・ 連合自治会別では、「本郷」「細谷戸」で「やや満足」、「三ツ境」で「やや不満」が最も多く、「瀬谷第一」は「やや満足」と「分からない」が同率、それ以外の地域は「分からない」が最も多くなっている。また「細谷戸」は「満足」の数値も特に高く、他に比べて満足度が高くなっている。
- ・ ライフステージ別では、「家族形成期」のみ「やや満足」、それ以外では「分からない」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑥ 地域の魅力をアップさせるイベント

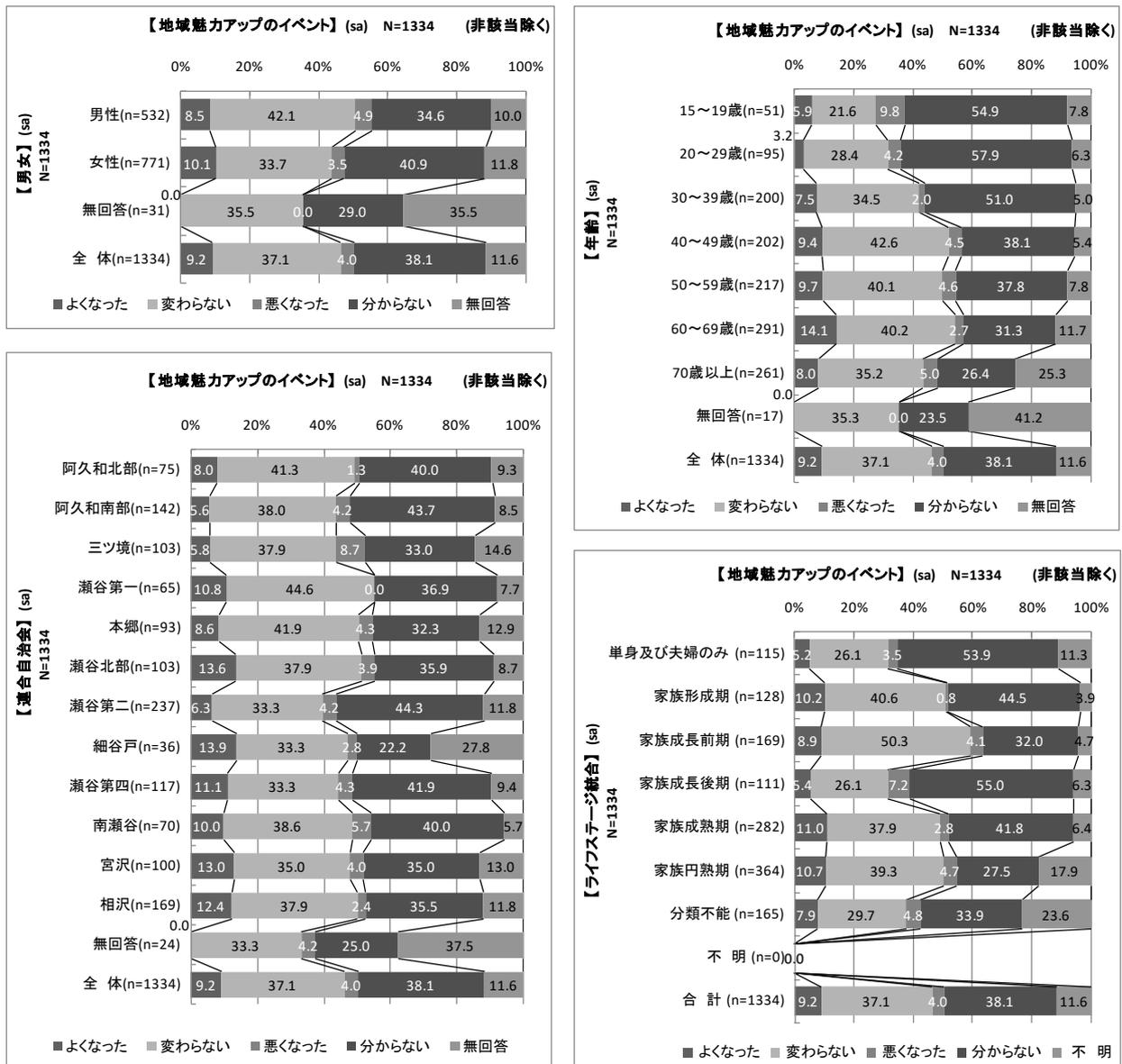


<以前との比較>

- ・ 男女別では、男性は「変わらない」、女性は「分からない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、10代から30代までの世代では「わからない」、40代以上の世代では「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和南部」「瀬谷第二」「瀬谷第四」「南瀬谷」では「分からない」、それ以外の地域は「変わらない」が最も多く、「宮沢」ではこれらが同率となっている。
- ・ ライフステージ別では、「家族成長前期」「家族円熟期」で「変わらない」、それ以外では「分からない」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑥ 地域の魅力をアップさせるイベント



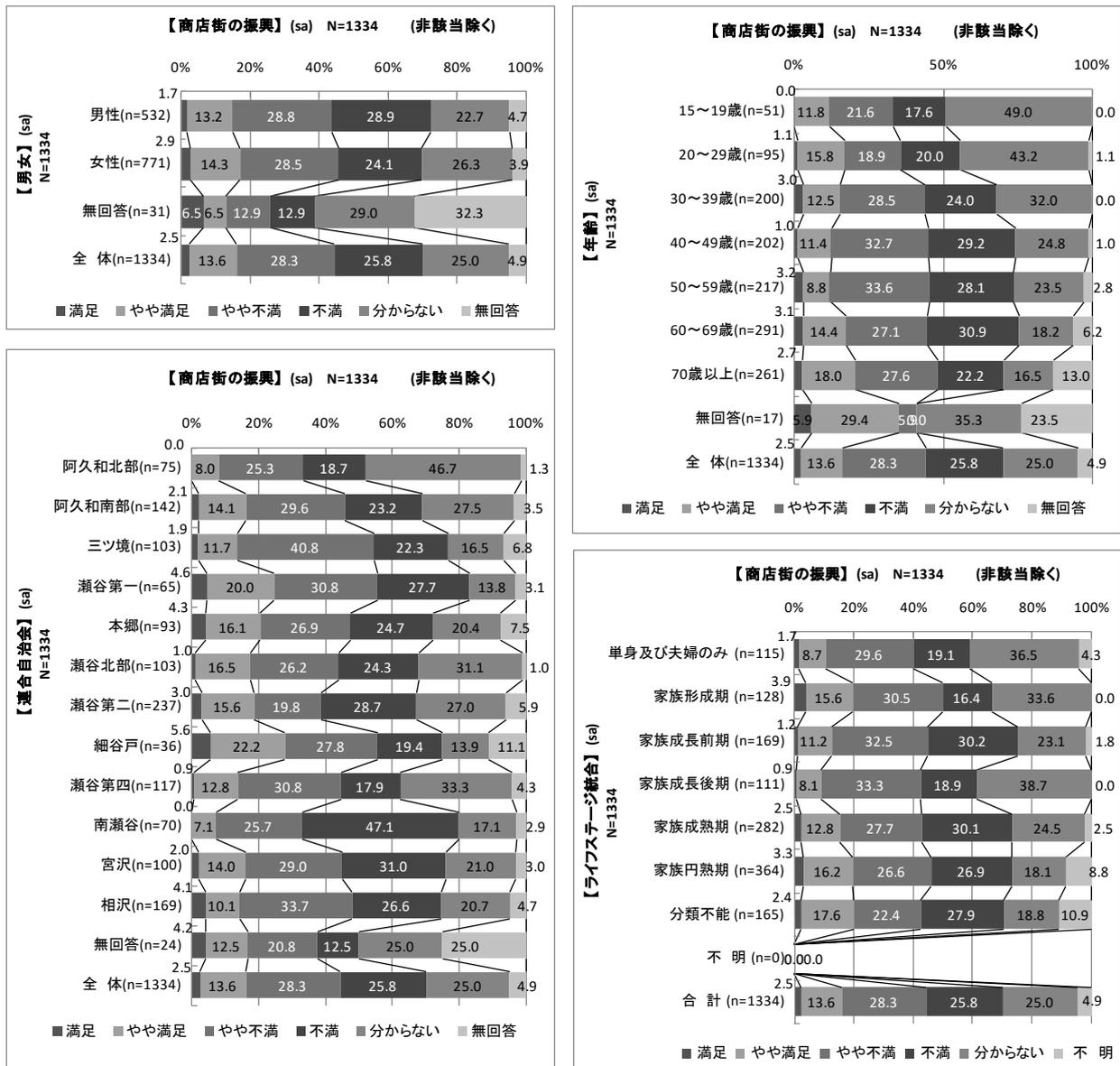
⑦ 商店街の振興

<満足度>

- ・ 男女別では、男性は「不満」、女性は「やや不満」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、10代から30代までは「分からない」、40代50代、70歳以上で「やや不満」、60代は「不満」が最も多くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和北部」「瀬谷北部」「瀬谷第四」で「分からない」、「瀬谷第二」「南瀬谷」「宮沢」では「不満」、それ以外の地域では「やや不満」が最も多くなっている。特に「南瀬谷」は「不満」の数値が他に比べて高く、「満足」の数値が0となっている。
- ・ ライフステージ別では、「単身及び夫婦のみ」「家族形成期」「家族成長後期」で「分からない」、「家族成長前期」「家族成熟期」で「やや不満」、「家族円熟期」で「不満」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑦ 商店街の振興

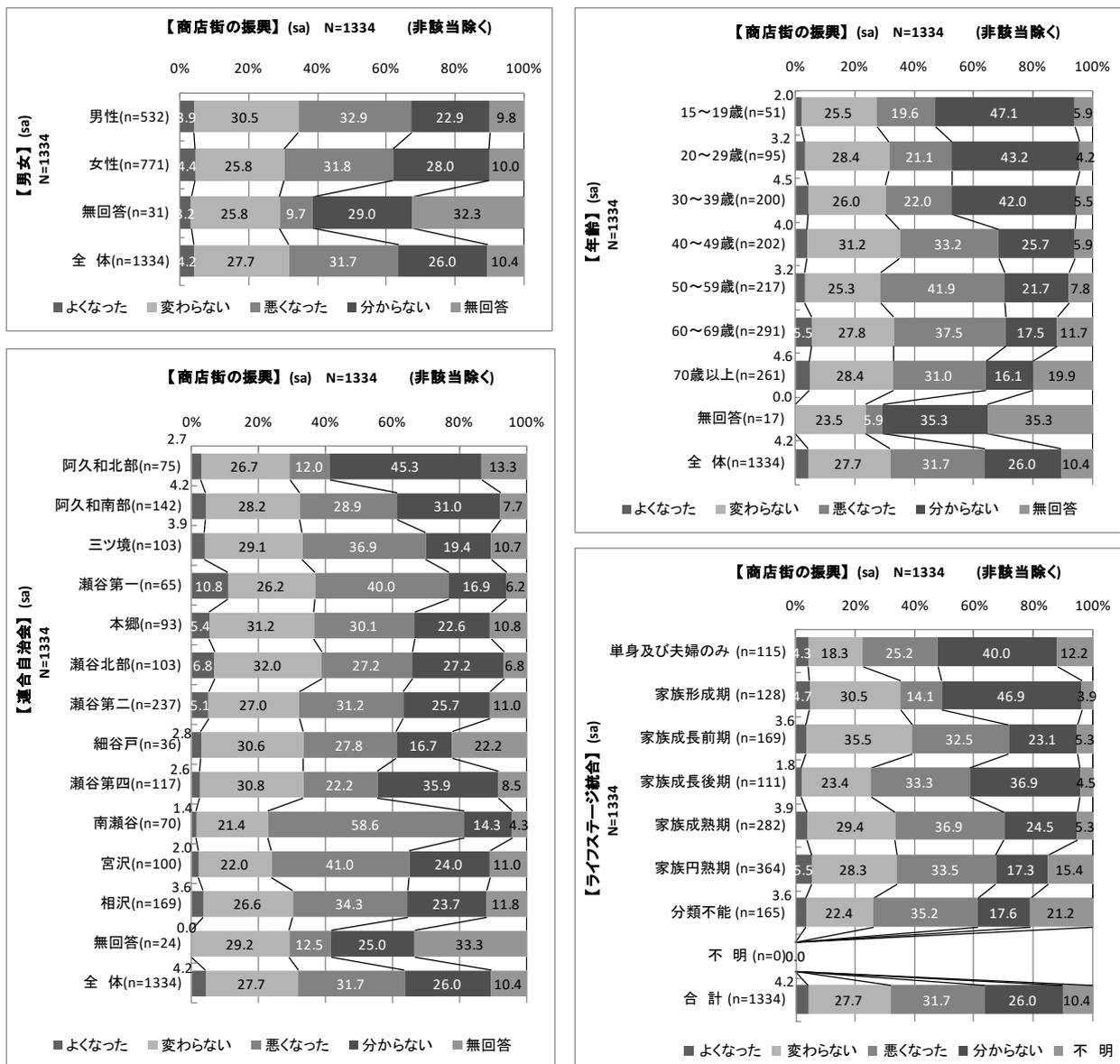


<以前との比較>

- ・ 男女別では共に「悪くなった」が最も多く、男女差はみられない。
- ・ 年齢別では、10代から30代では「分からない」、40代以上の世代では「悪くなった」が最も多くなっており、世代間で傾向が分かれた。
- ・ 連合自治会別では、「本郷」「瀬谷北部」「細谷戸」では「変わらない」、「阿久和北部」「阿久和南部」「瀬谷第四」では「分からない」、それ以外の地域では「悪くなった」が最も多くなっている。特に「南瀬谷」では「悪くなった」の数値が他に比べて特に高く、評価が低い。
- ・ ライフステージ別では「単身及び夫婦のみ」「家族形成期」「家族成長後期」では「分からない」、「家族成長前期」では「変わらない」、「家族成熟期」「家族円熟期」では「悪くなった」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑦ 商店街の振興



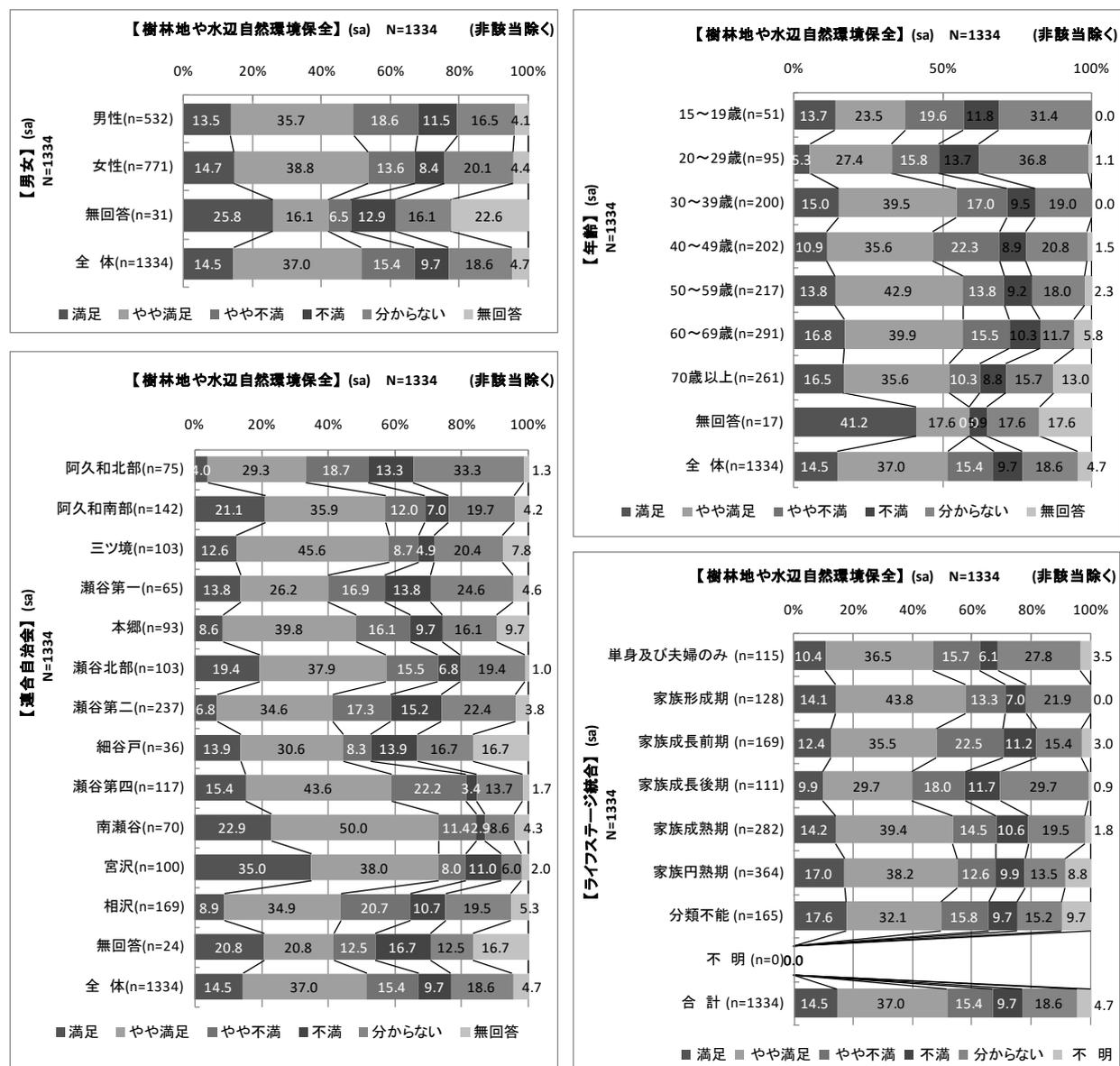
⑧ 樹林地や水辺などの自然環境の保全

<満足度>

- ・ 男女別では共に「やや満足」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、10代、20代は「分からない」が最も多く、満足度も低い。30代以上の世代は「やや満足」が最も多くなっている。
- ・ 連合自治会別では、概ね「やや満足」が最も多くなっているが、「阿久和北部」のみ「分からない」が最も多く、満足度が低い。「宮沢」では「満足」の数値が高くなっている。
- ・ ライフステージ別では、いずれも「やや満足」が最も多く、また「家族成長後期」では「分からない」が同率となっている。また、「単身及び夫婦のみ」でも「分からない」の数値が高い。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑧ 樹林地や水辺などの自然環境の保全

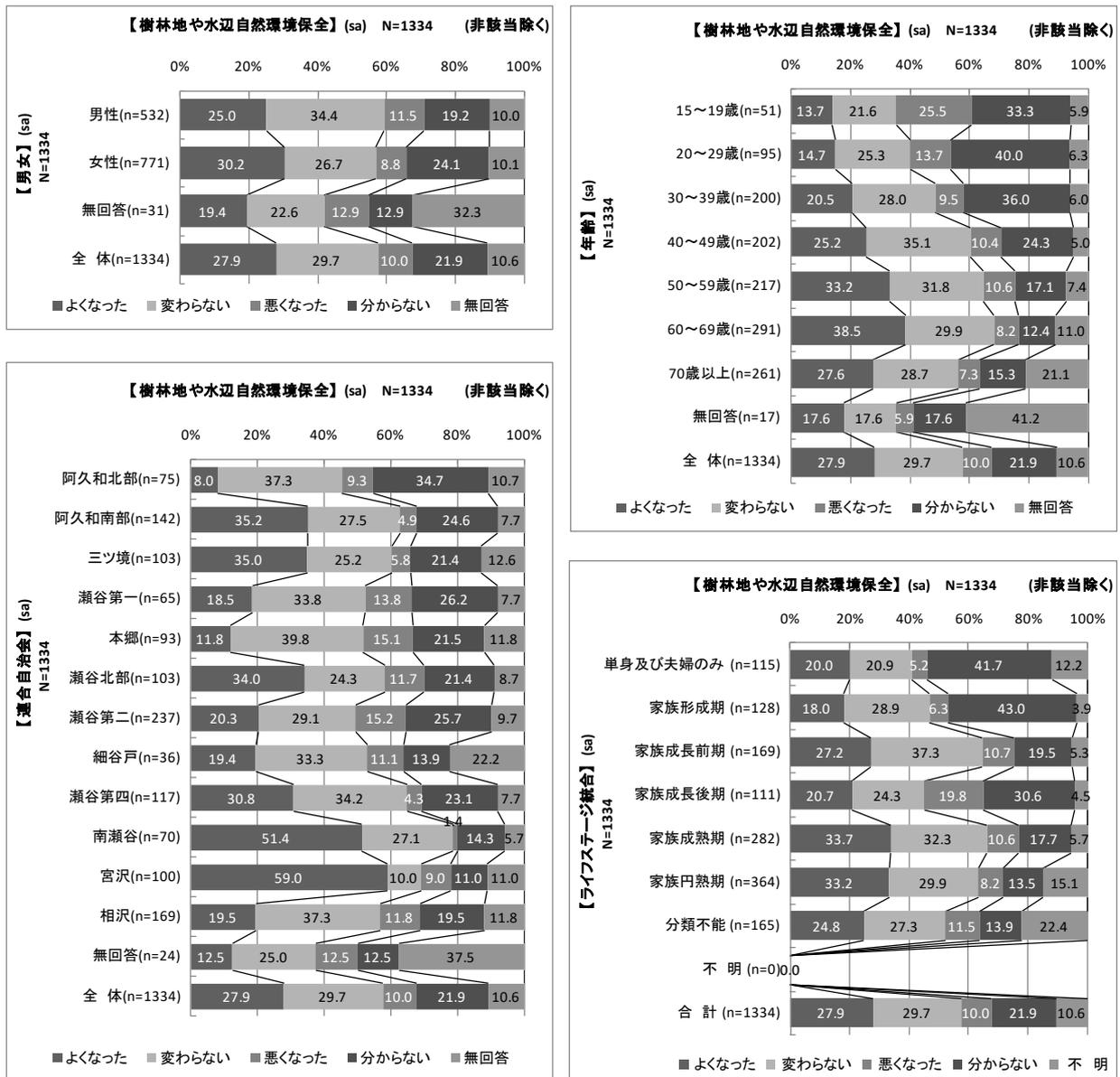


<以前との比較>

- ・ 男女別では、男性は「変わらない」、女性は「よくなった」が最も多くなっており、女性の方が評価が高い。
- ・ 年齢別では、10代から30代までの世代では「分からない」、40代と70代で「変わらない」、50代、60代では「よくなった」が最も多くなっている。また、10代で「悪くなった」の数値が高くなっており、中高年層で評価が高く、若年層では低い傾向が伺える。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和南部」「三ツ境」「瀬谷北部」「南瀬谷」「宮沢」では「よくなった」が最も多く、評価が高い。それ以外の地域では「変わらない」が最も多くなっている。また「阿久和北部」では「分からない」の数値が他に比べて高くなっている。
- ・ ライフステージ別では、「単身及び夫婦のみ」「家族形成期」「家族成長後期」で「分からない」、「家族成長前期」では「変わらない」、「家族成熟期」「家族円熟期」では「よくなった」が最も多くなっている。なお「家族成長後期」では「悪くなった」の数値が他に比べて高い。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑧ 樹林地や水辺などの自然環境の保全



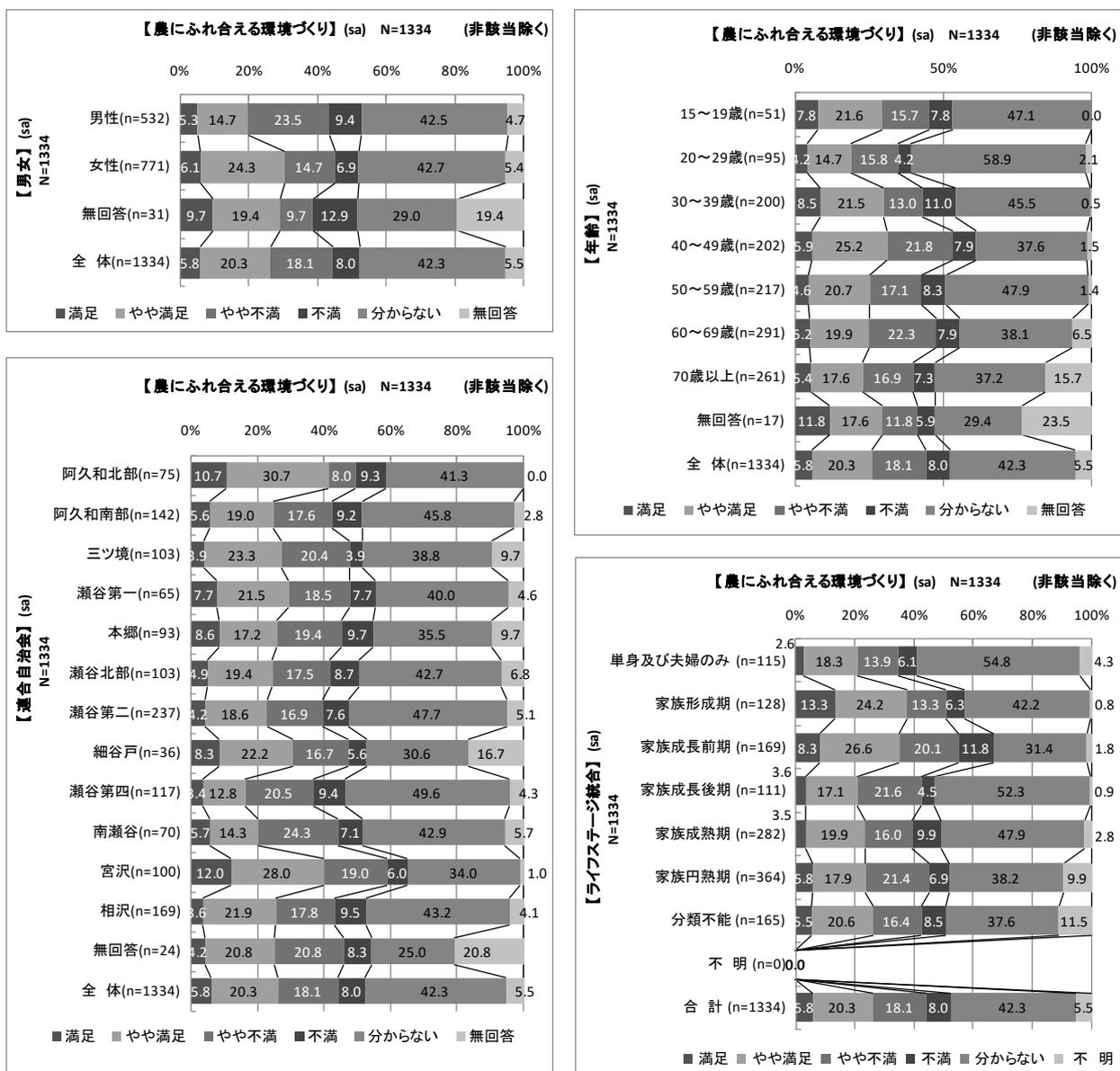
⑨ 都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり

<満足度>

- ・ 男女別では、ともに「分からない」が最も多いが、女性のほうが「やや満足」で男性を 9.6 ポイント上回っているなど、やや満足度が高い。
- ・ 年齢別では、いずれも「分からない」が最も多く、特に 20 代で数値が高い。
- ・ 連合自治会別では、いずれも「分からない」が最も多くなっている。「阿久和北部」で「やや満足」の数値が他に比べて高くなっており、満足度が高いのは「阿久和北部」と「宮沢」である。
- ・ ライフステージ別では、いずれも「分からない」が最も多くなっている。小さい子どもがいるライフステージで満足度が高い傾向にある。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑨ 都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり

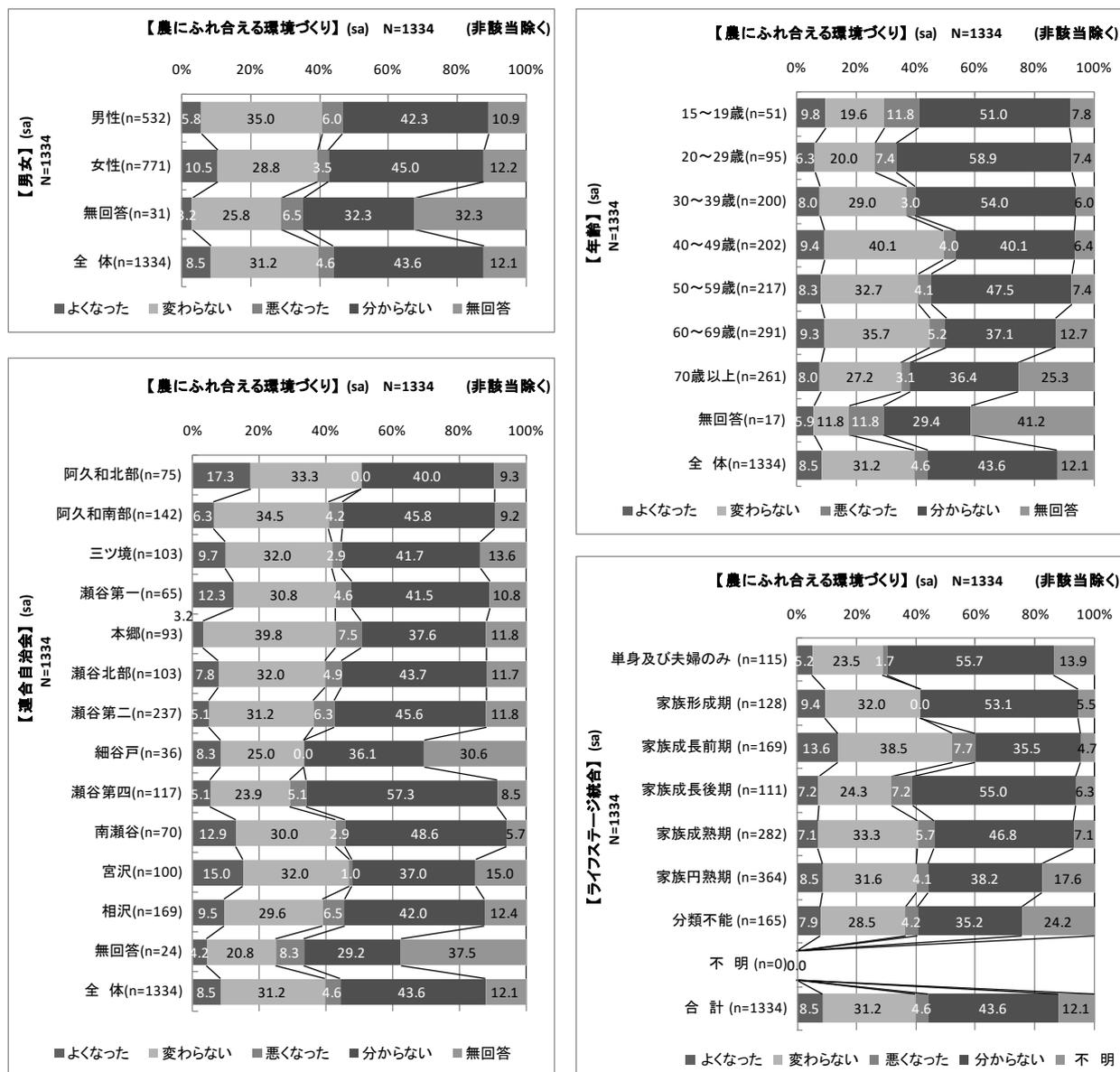


<以前との比較>

- ・ 男女別では共に「分からない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、いずれの世代も「分からない」が最も多くなっているほか、40代では「変わらない」も同率となっている。
- ・ 連合自治会別では、「本郷」のみ「変わらない」、それ以外の地域では「分からない」が最も多くなっている。
- ・ ライフステージ別では、「家族成長前期」のみ「変わらない」、それ以外では「分からない」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑨ 都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり

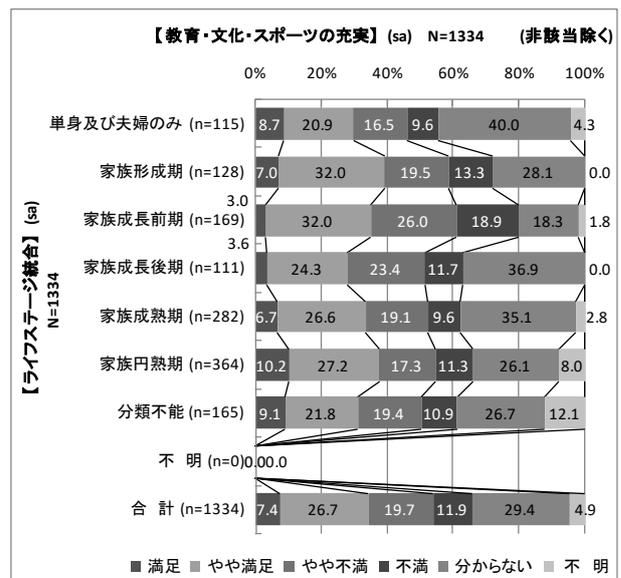
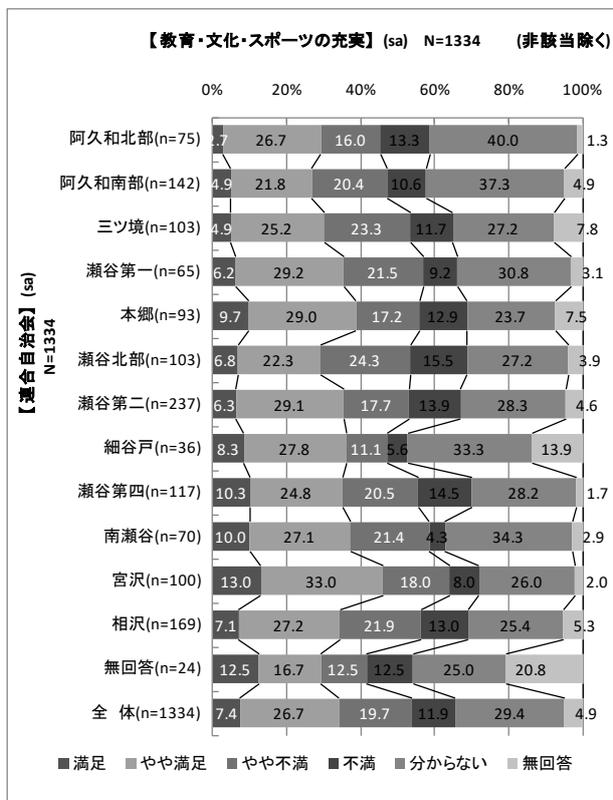
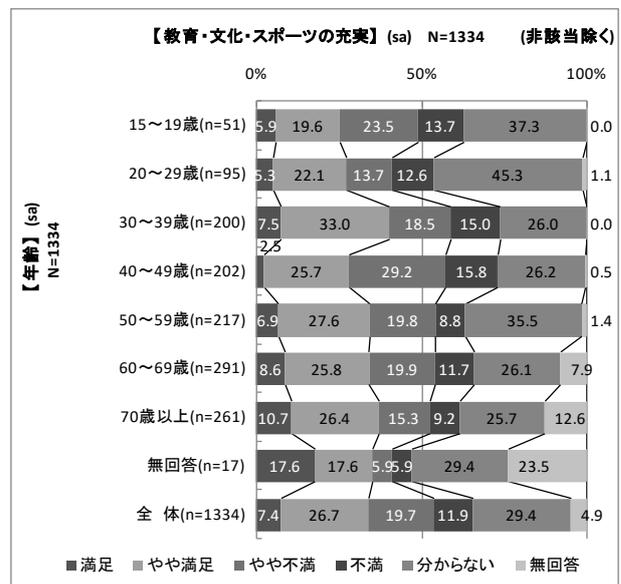
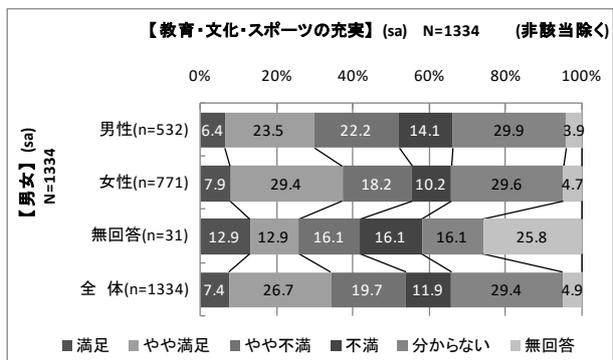


⑩ 教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実

<満足度>

- ・ 男女別では共に「分からない」が最も多くなっている。女性の方が僅かに満足度が高い。
- ・ 年齢別では、30代と70歳以上で「やや満足」、40代は「やや不満」が最も多く、それ以外の世代ではいずれも「分からない」が最も多くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「本郷」「瀬谷第二」「宮沢」「相沢」では「やや満足」、それ以外の地域では「分からない」が最も多くなっている。最も満足度が高いのは「宮沢」である。
- ・ ライフステージ別では、「家族形成期」「家族成長前期」「家族円熟期」で「やや満足」、それ以外では「分からない」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度
⑩ 教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実

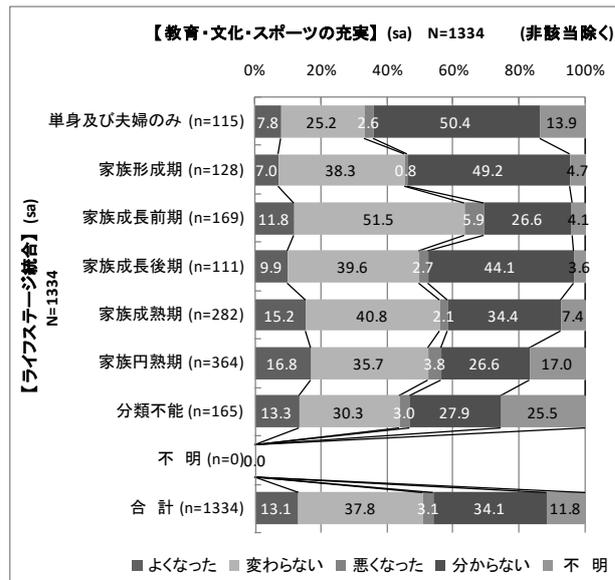
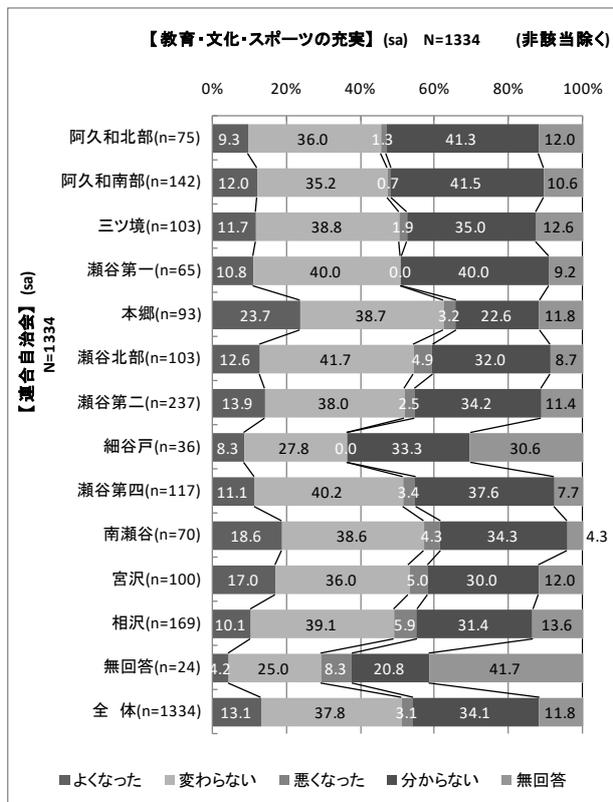
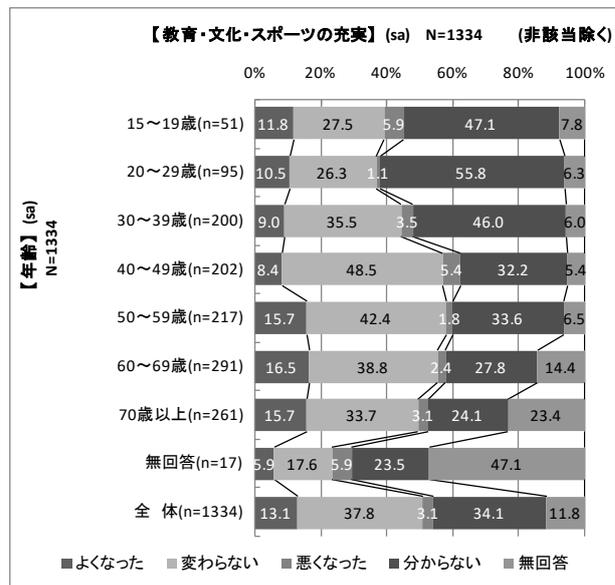
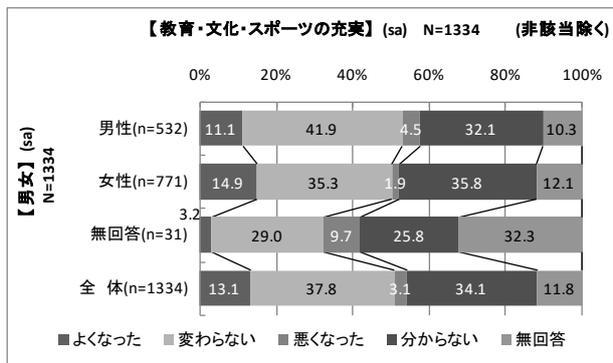


<以前との比較>

- ・ 男女別では、男性は「変わらない」、女性は「分からない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、10代から30代までの世代では「わからない」、それ以外は「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和北部」「阿久和南部」「瀬谷第一」「細谷戸」では「分からない」、それ以外の地域では「変わらない」が最も多くなっている。また「本郷」では「よくなった」の数値が他に比べて高くなっており、評価が高い。
- ・ ライフステージ別では「単身及び夫婦のみ」「家族形成期」「家族成長後期」では「分からない」、それ以外はいずれも「変わらない」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑩ 教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実



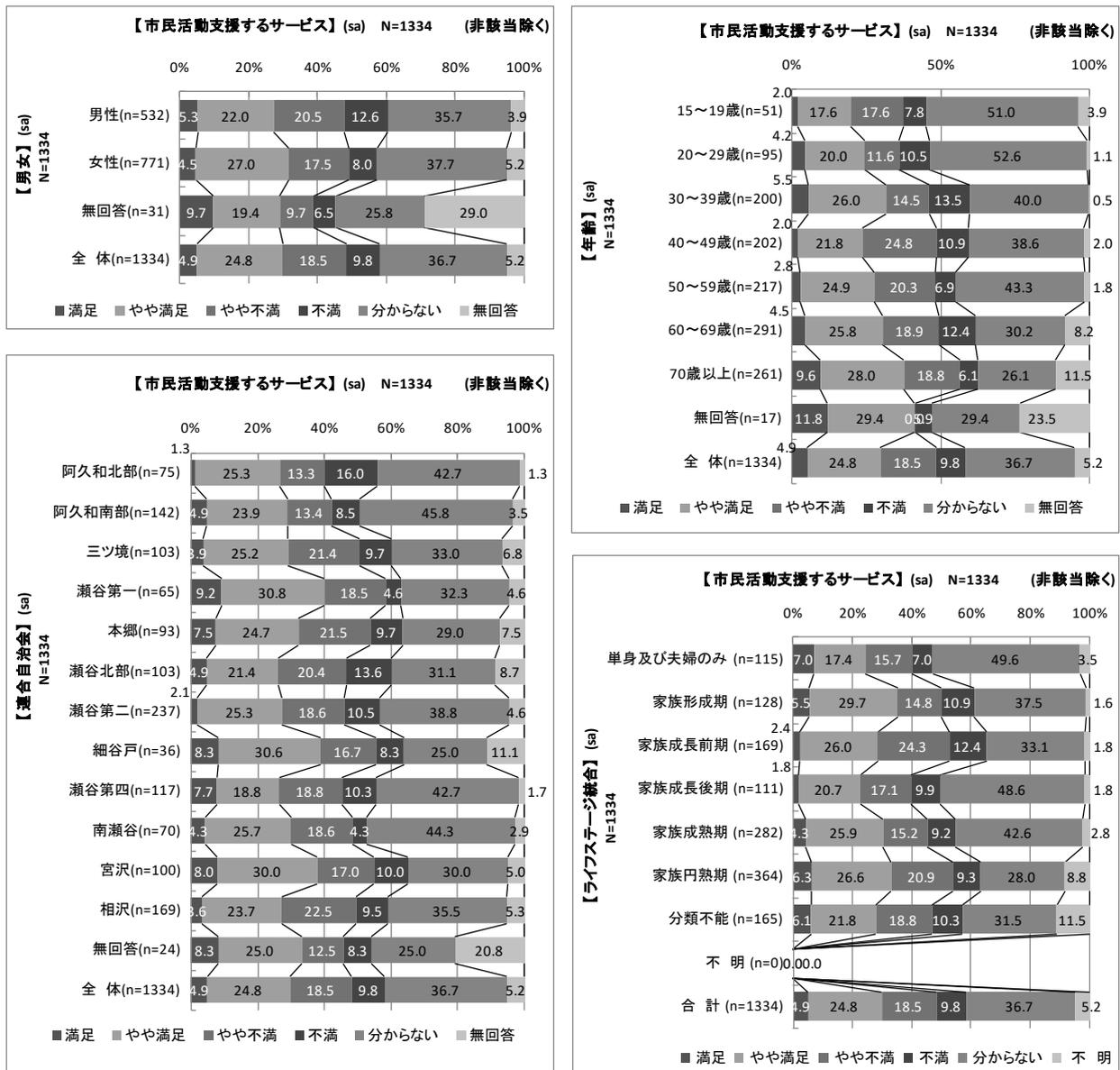
⑪ 市民活動を支援するための施設・サービスの充実

<満足度>

- ・ 男女別では共に「分からない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、70歳以上で「やや満足」、60歳以下の世代では「分からない」が最も多くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「細谷戸」で「やや満足」が最も多く、「宮沢」で「やや満足」と「分からない」が同率になっている以外は、「分からない」が最も多くなっている。また「阿久和北部」で「不満」の数値が他に比べて高くなっている。比較的満足度が高いのは「瀬谷第一」「細谷戸」「宮沢」である。
- ・ ライフステージ別では、いずれも「分からない」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑪ 市民活動を支援するための施設・サービスの充実

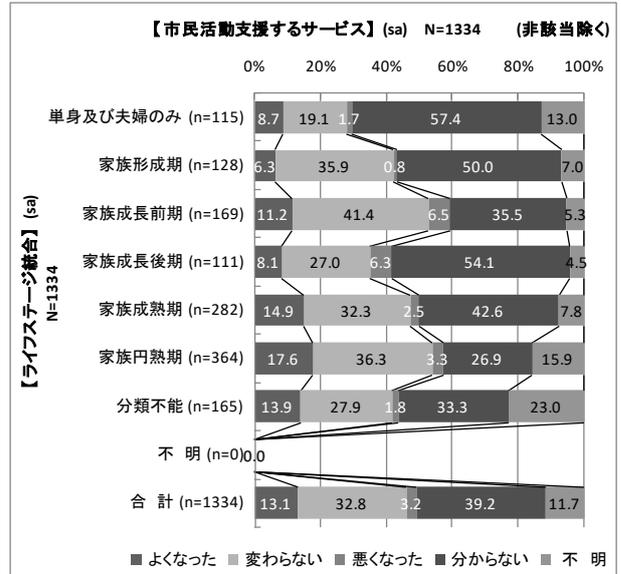
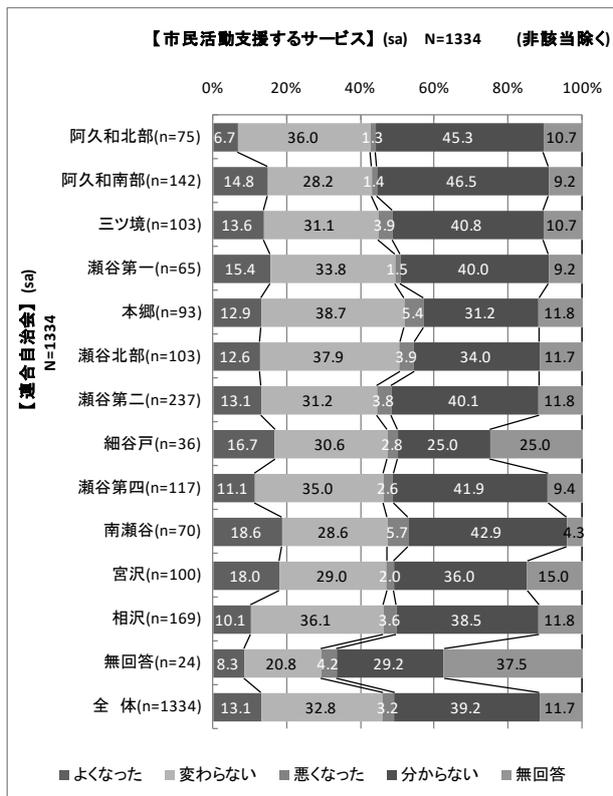
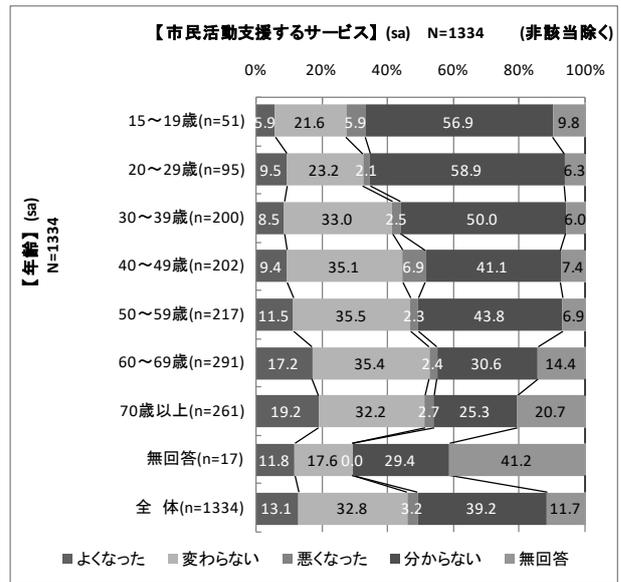
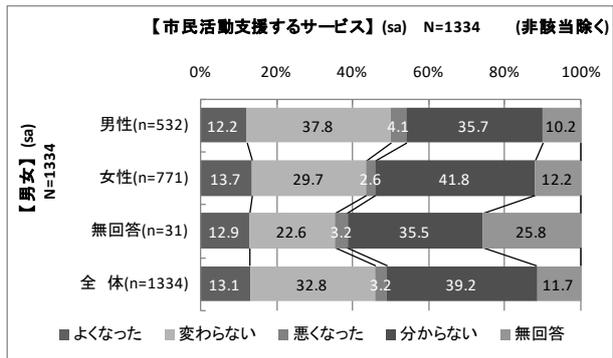


<以前との比較>

- ・ 男女別では、男性は「変わらない」、女性は「分からない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、10代から50代までの世代では「分からない」、60代、70歳以上では「変わらない」が最も多くなっている。年齢層が高いほど変化の評価も高い傾向にある。
- ・ 連合自治会別では、「本郷」「瀬谷北部」「細谷戸」では「変わらない」が、それ以外の地域では「分からない」が最も多くなっている。
- ・ ライフステージ別では「家族成長前期」と「家族円熟期」で「変わらない」、それ以外では「分からない」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑩ 市民活動を支援するための施設・サービスの充実



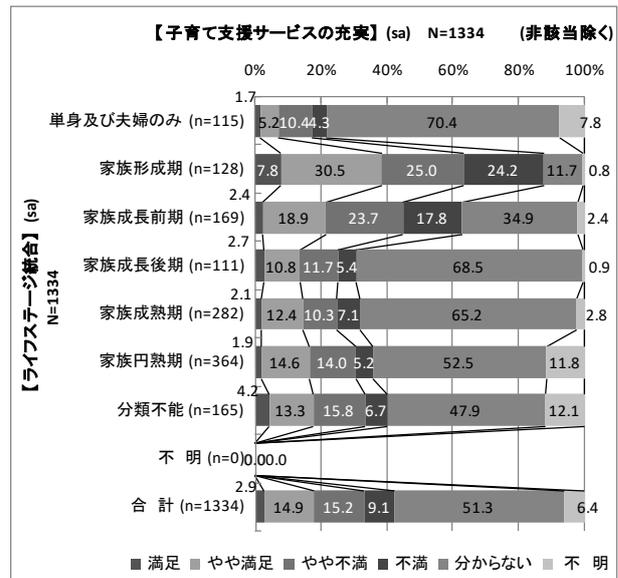
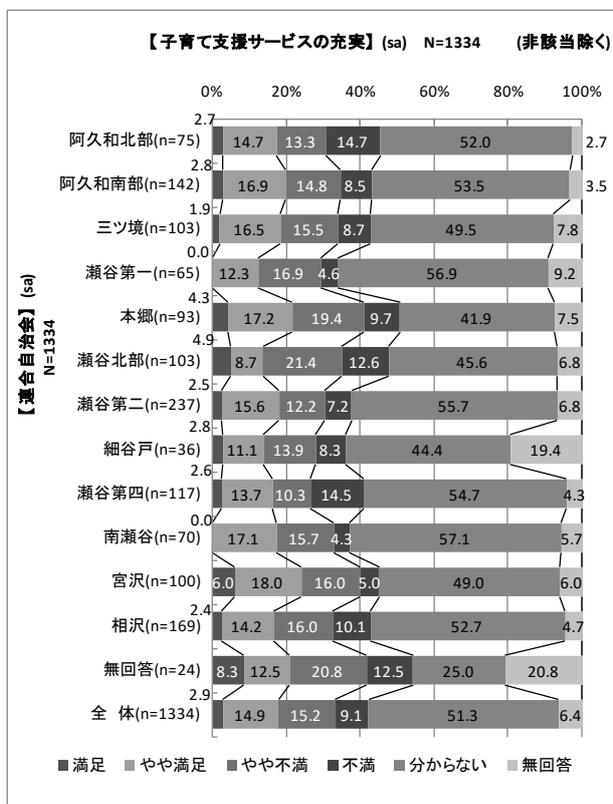
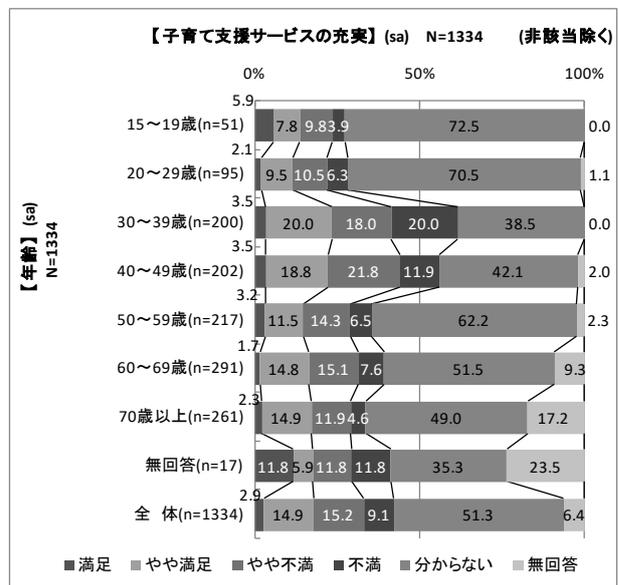
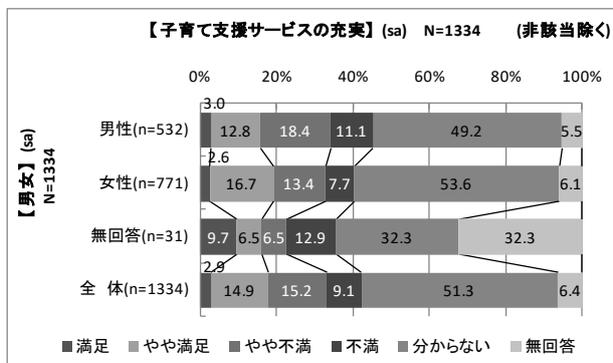
⑫ 子育て支援のための施設・サービスの充実

<満足度>

- ・ 男女別では共に「分からない」が最も多くなっている。男性では次いで「やや不満」、女性は「やや満足」が多く、女性の方が僅かに満足度が高い。
- ・ 年齢別では、いずれも「分からない」が最も多く、特に10代、20代では数値が高くなっている。また、子育て世代である30代で「不満」の数値が他に比べて高い。
- ・ 連合自治会別では、いずれも「分からない」が最も多くなっている。なお、「瀬谷第一」と「南瀬谷」において「満足」が0となっている。
- ・ ライフステージ別では、「家族形成期」のみ「やや満足」、それ以外では「分からない」が最も多くなっている。なお、「家族形成期」では「やや不満」「不満」の数値も他に比べて高い。同様に「家族成長前期」でも「やや不満」「不満」の数値がやや高くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑫ 子育て支援のための施設・サービスの充実

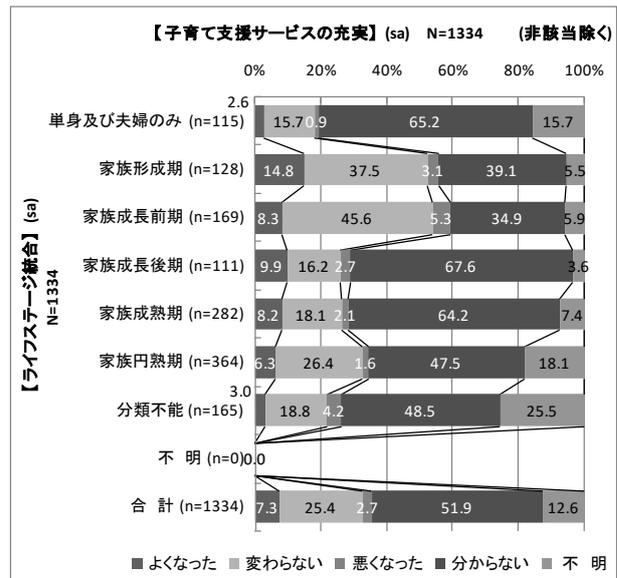
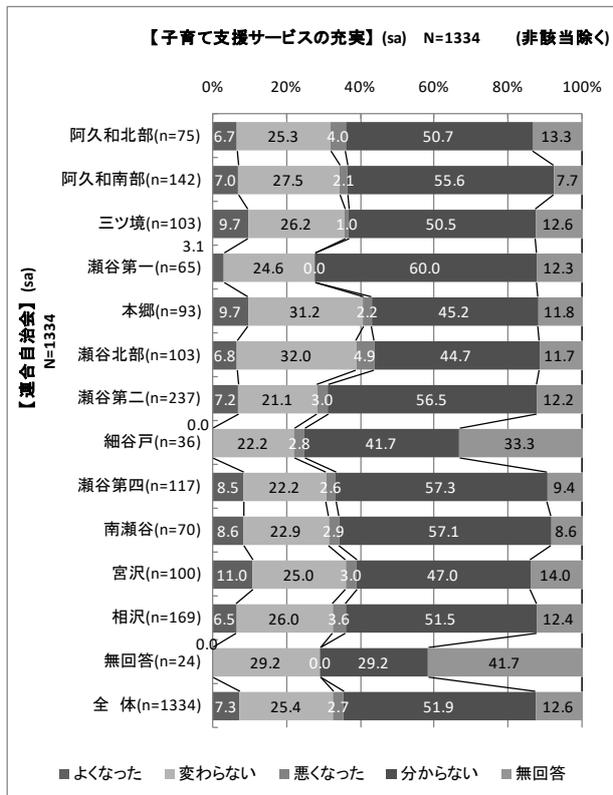
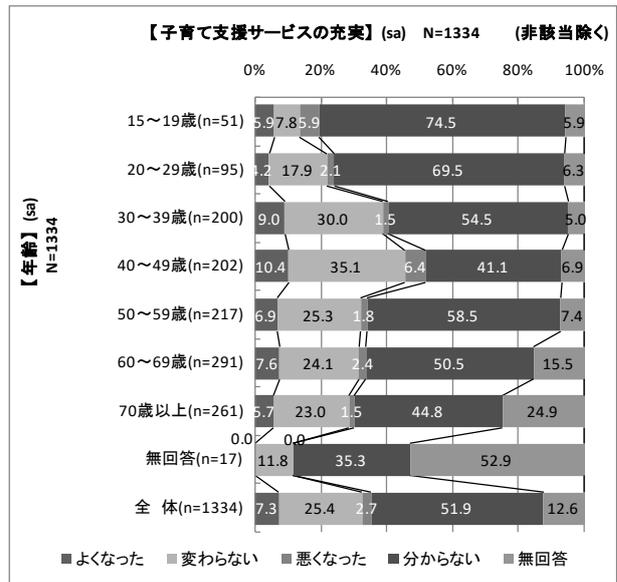
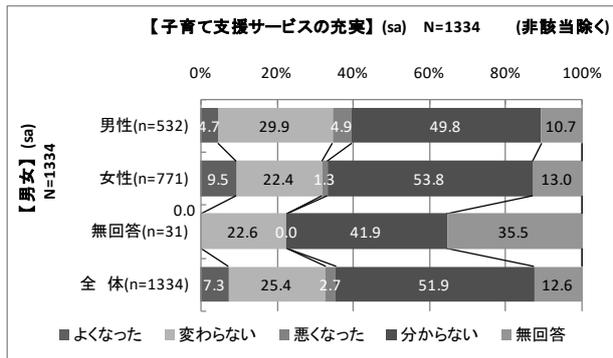


<以前との比較>

- ・ 男女別では共に「分からない」が最も多くなっている。女性の方が僅かに評価が高い。
- ・ 年齢別では、いずれの世代も「分からない」が最も多く、10代、20代では数値が高い。また、40代で「変わらない」の数値が高くなっている。
- ・ 連合自治会別では、いずれも「分からない」が最も多くなっている。また「細谷戸」では「よくなった」の数値が0で、評価は低くなっている。
- ・ ライフステージ別では「家族成長前期」のみ「変わらない」、それ以外は「分からない」が最も多くなっている。最も評価が高いのは「家族形成期」である。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑫ 子育て支援のための施設・サービスの充実



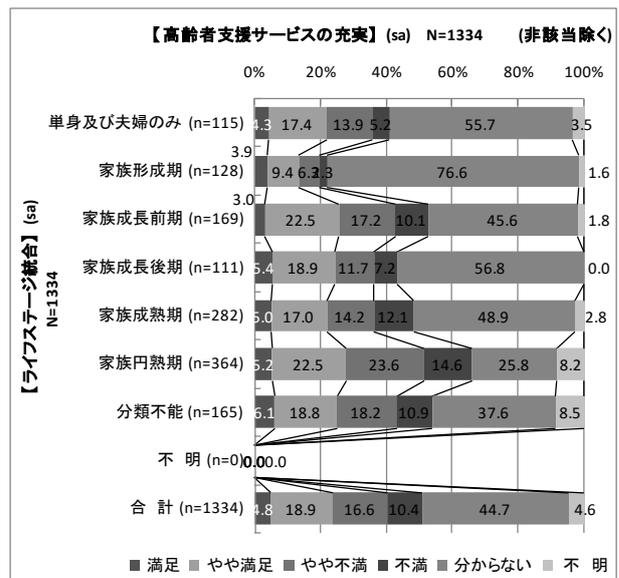
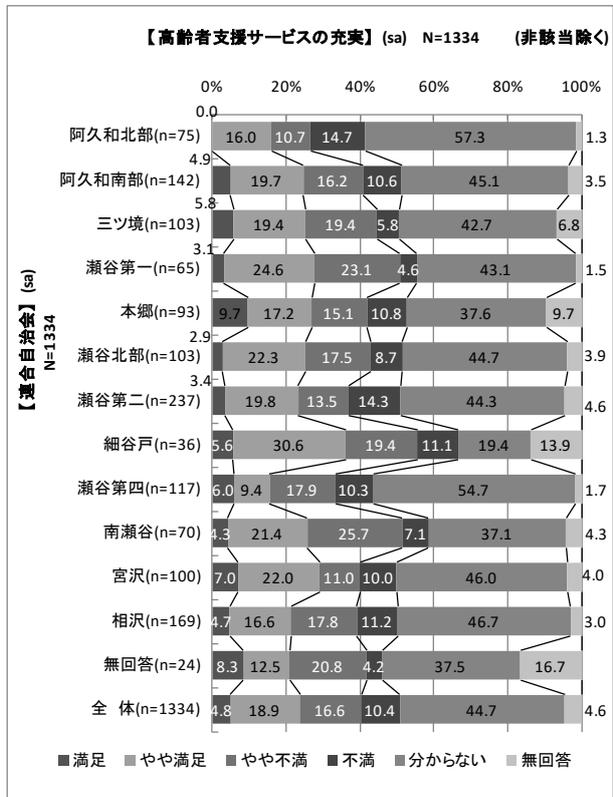
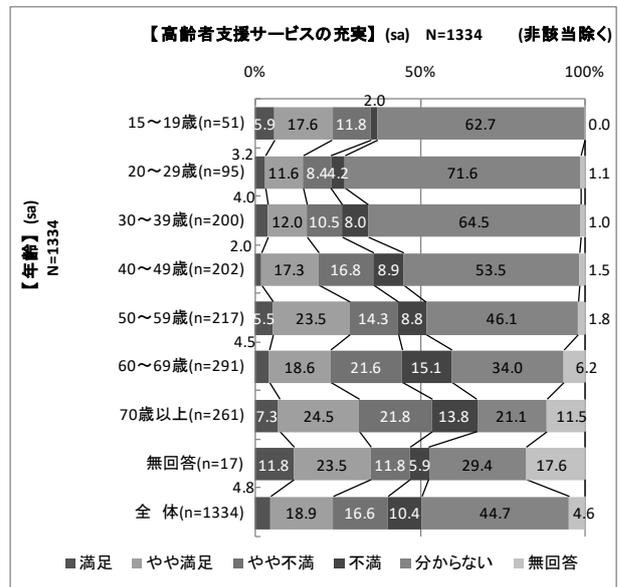
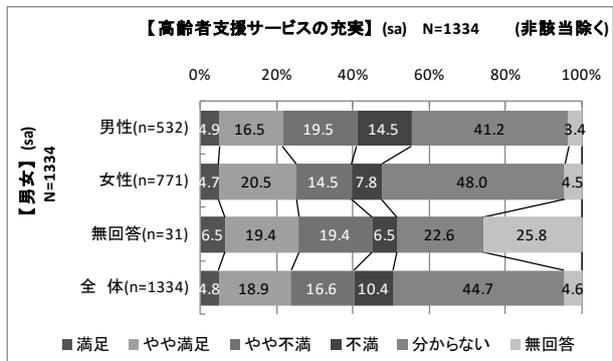
⑬ 高齢者支援のための施設・サービスの充実

<満足度>

- ・ 男女別では共に「分からない」が最も多くなっている。男性は次いで「やや不満」、女性は「やや満足」が多くなっており、男性より女性の方がやや満足度が高い。
- ・ 年齢別では、70歳以上で「やや満足」が最も多くなっている以外は、いずれも「分からない」が最も多く、特に若い世代で数値が高い。なお、年齢が高くなるほど「不満」の数値が高くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「細谷戸」で「やや満足」が最も多くなっている以外は、「分からない」が最も多くなっている。また「南瀬谷」は「やや不満」の数値が他に比べて高くなっている。「阿久和北部」では「満足」の数値が0である。
- ・ ライフステージ別では、いずれも「分からない」が最も多く、特に「家族形成期」で数値が高い。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑬ 高齢者支援のための施設・サービスの充実

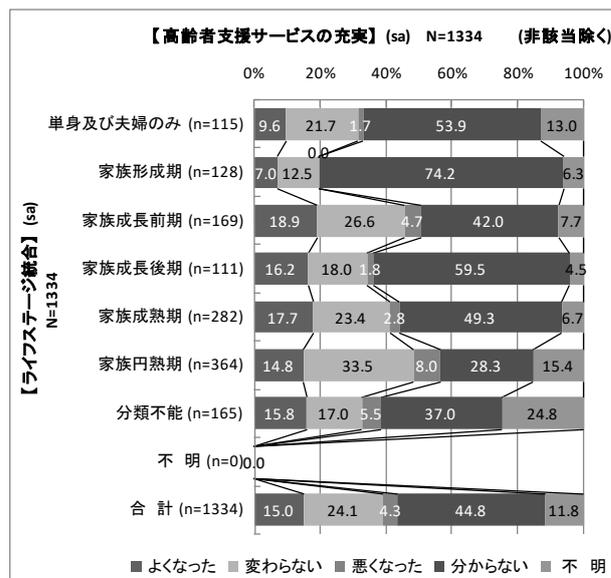
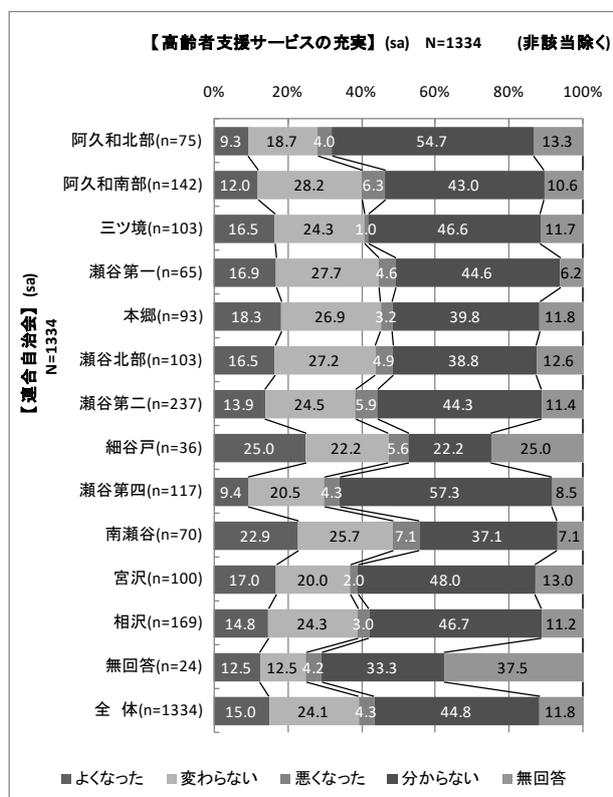
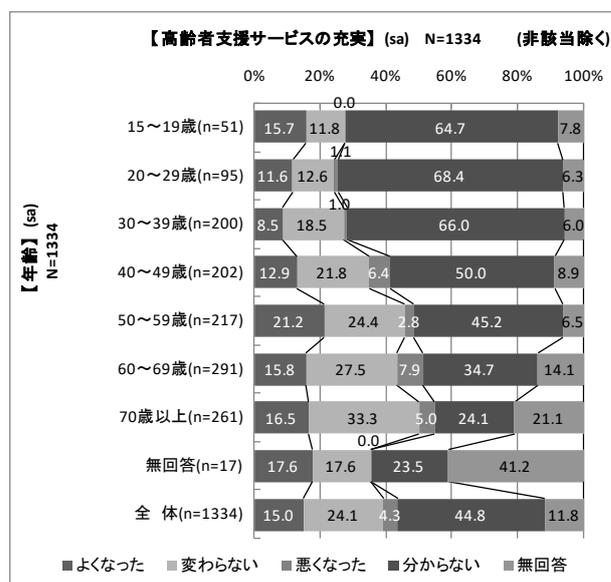
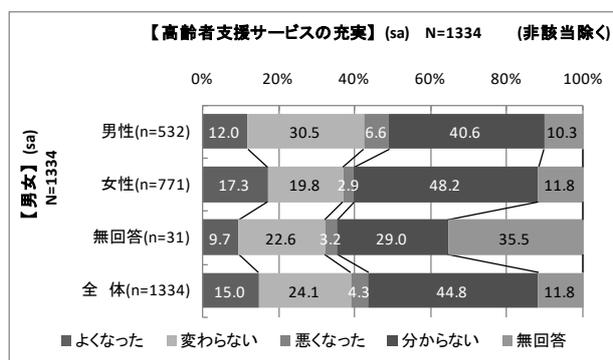


<以前との比較>

- ・ 男女別では共に「分からない」が最も多くなっている。また男性は女性より「変わらない」の数値が10.7ポイント高い。
- ・ 年齢別では、70歳以上で「変わらない」が、それ以外の世代では「分からない」が最も多く、若い世代で数値が高い。
- ・ 連合自治会別では、「細谷戸」のみ「よくなった」が最も多く、それ以外はいずれも「分からない」が最も多くなっている。
- ・ ライフステージ別では「家族円熟期」のみ「変わらない」が最も多い。それ以外は「分からない」が最も多く、特に「家族形成期」で数値が高い。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑬ 高齢者支援のための施設・サービスの充実



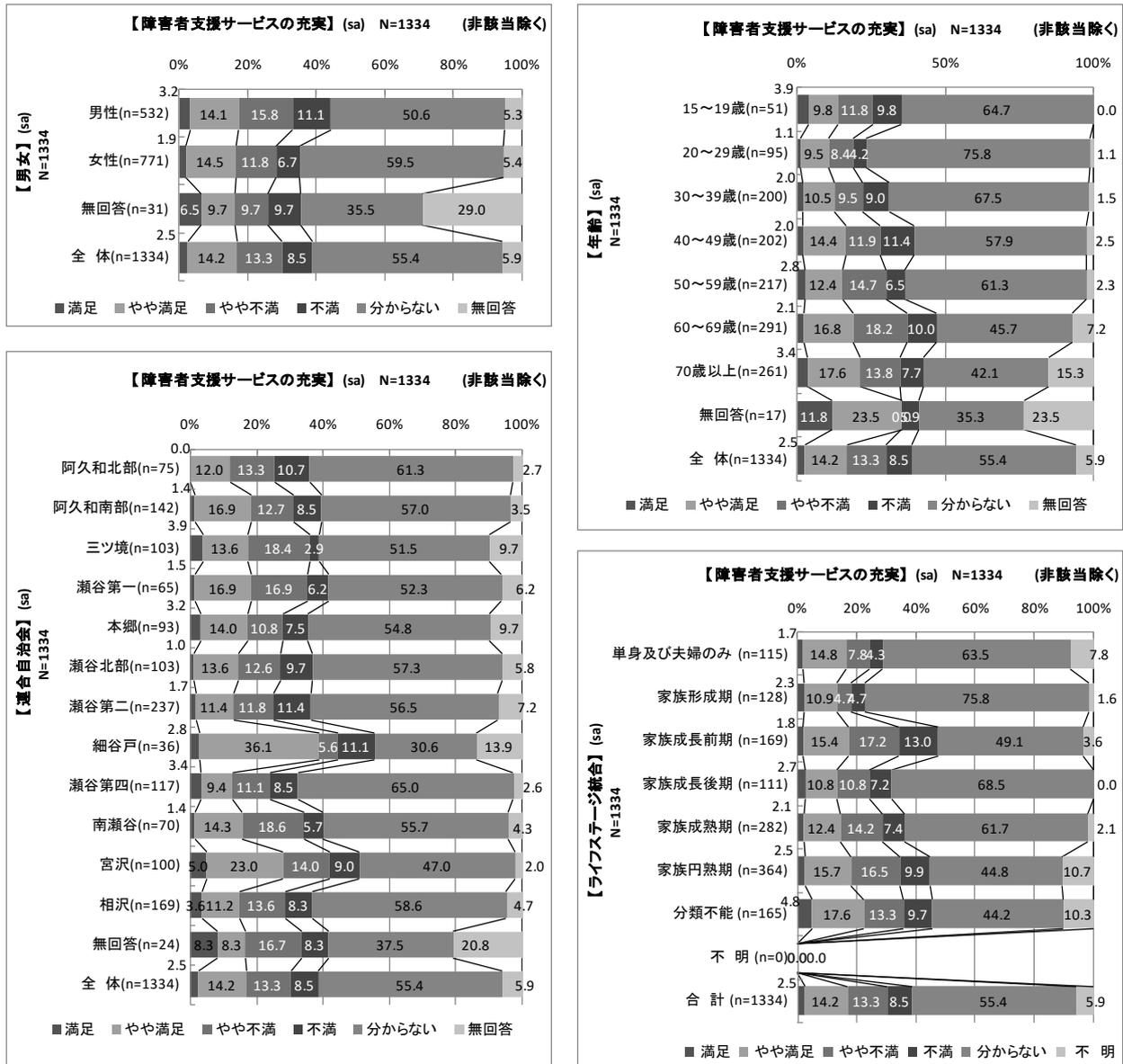
⑭ 障害者支援のための施設・サービスの充実

<満足度>

- ・ 男女別では共に「分からない」が最も多くなっており、特に女性は男性を8.9ポイント上回っている。
- ・ 年齢別では、いずれも「分からない」が最も多く、20代で数値が高い。
- ・ 連合自治会別では、「細谷戸」のみ「やや満足」が最も多く、満足度が高い。それ以外は「分からない」が最も多い。また「阿久和北部」は「満足」の数値が0である。
- ・ ライフステージ別では、いずれも「分からない」が最も多く、特に「家族形成期」や「家族成長後期」で数値が高い。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑭ 障害者支援のための施設・サービスの充実

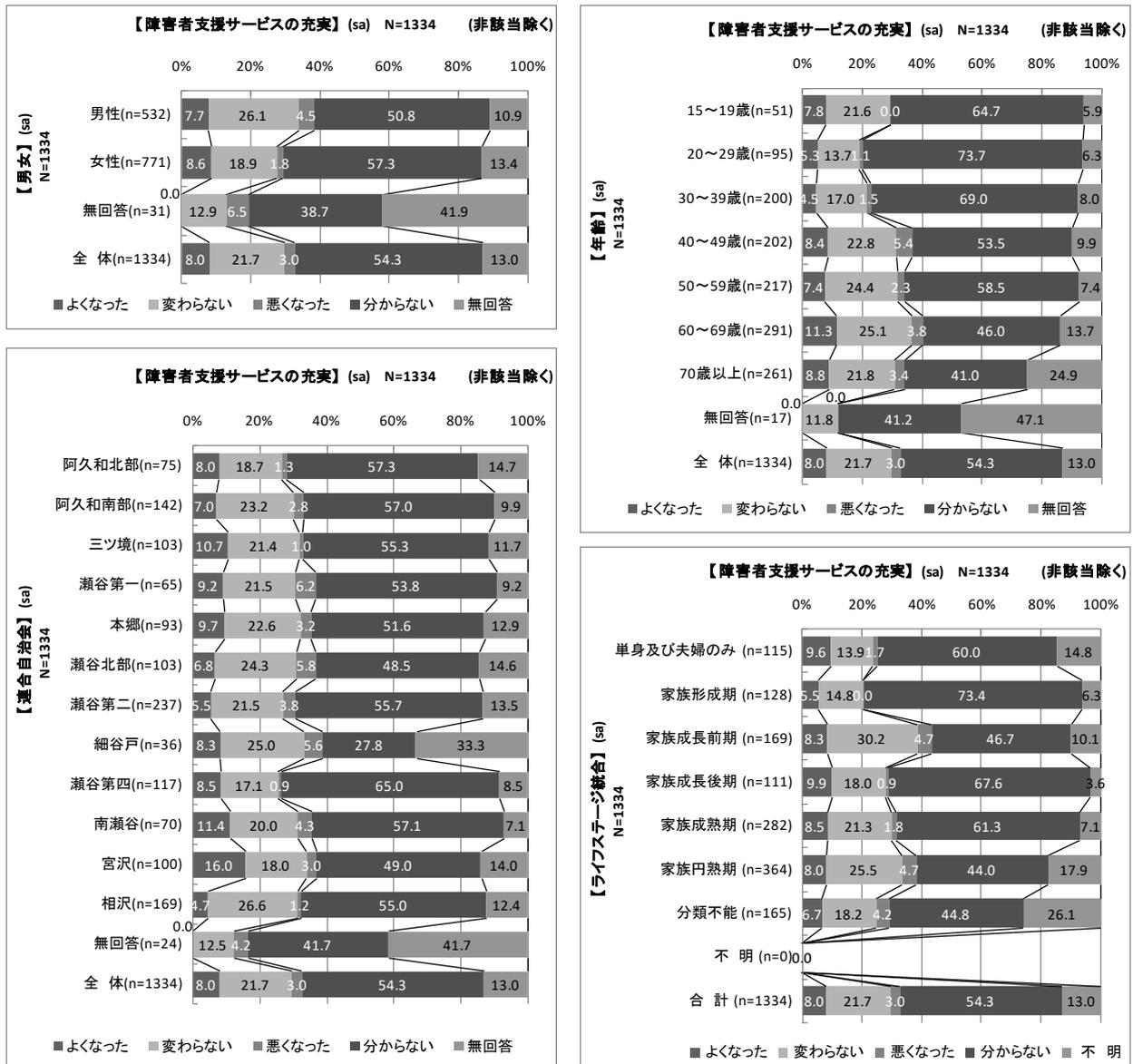


<以前との比較>

- ・ 男女別では、共に「分からない」が最も多くなっている。男性は女性より「変わらない」が7.2ポイント高い。
- ・ 年齢別では、いずれの世代も「分からない」が最も多く、特に20代、30代の数値が高い。
- ・ 連合自治会別では、いずれも「分からない」が最も多くなっており、さほど大きな地域差は見られなかった。
- ・ ライフステージ別ではいずれも「分からない」が最も多く、特に「家族形成期」では数値が高い。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑭ 障害者支援のための施設・サービスの充実



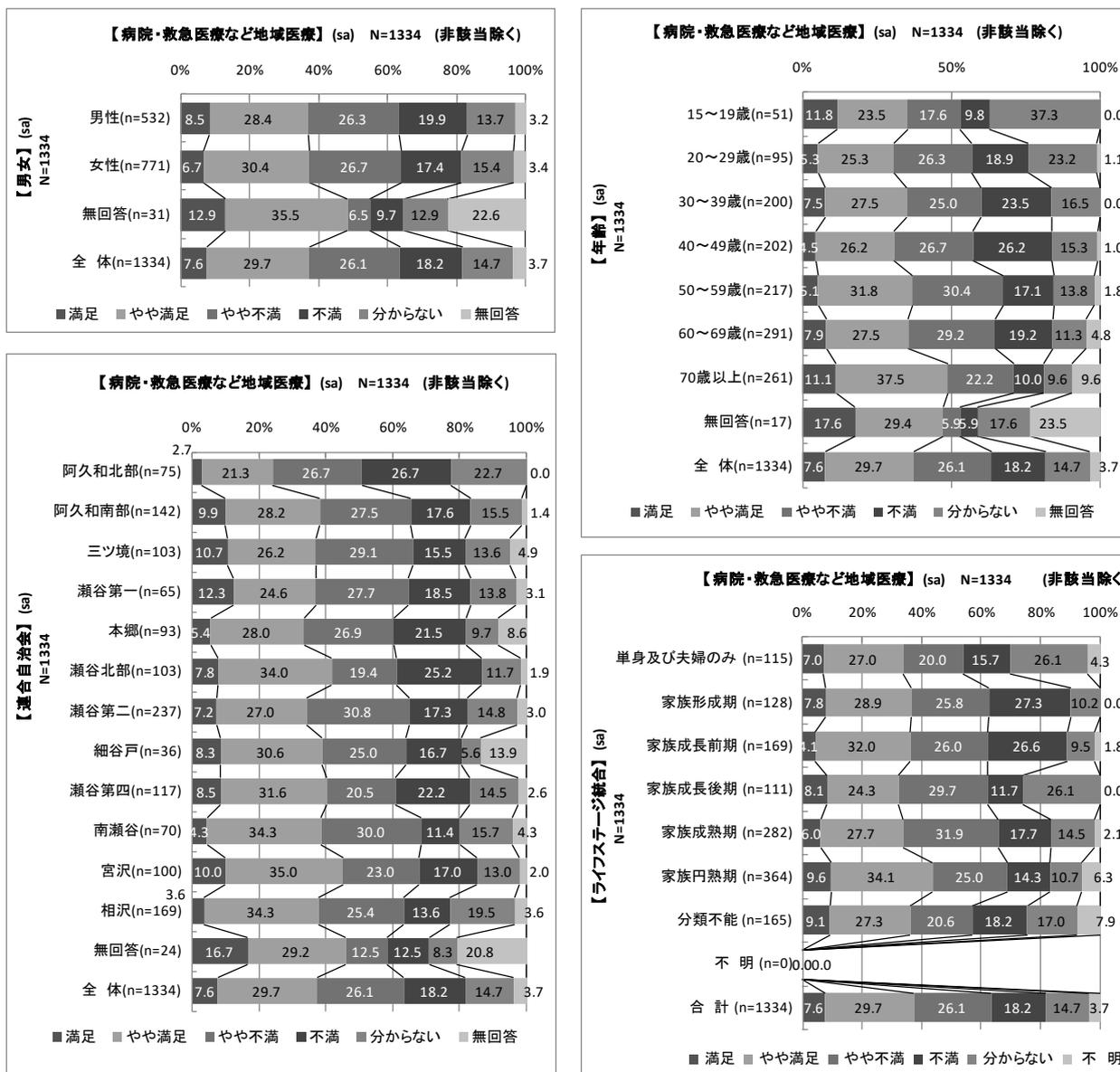
⑮ 病院・救急医療などの地域医療

<満足度>

- ・ 男女別では共に「やや満足」が最も多く、男女差は見られなかった。
- ・ 年齢別では、10代は「分からない」、20代、40代、60代は「やや不満」、30代、50代、70歳以上は「やや満足」が最も多くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和北部」で「やや不満」と「不満」が同率となっており、満足度が低い。その他の地域では、「三ツ境」「瀬谷第一」「瀬谷第二」で「やや不満」が最も多くなっている以外は、「やや満足」が最も多くなっている。
- ・ ライフステージ別では、「家族成長後期」「家族成熟期」で「やや不満」が最も多くなっている以外は「やや満足」が多くなっている。また、「単身及び夫婦のみ」「家族成長後期」では「分からない」の数値が他に比べて高い。また「家族形成期」では「不満」の数値が高く、小さい子どもがいるライフステージで不満度が高い傾向にある。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑮ 病院・救急医療などの地域医療

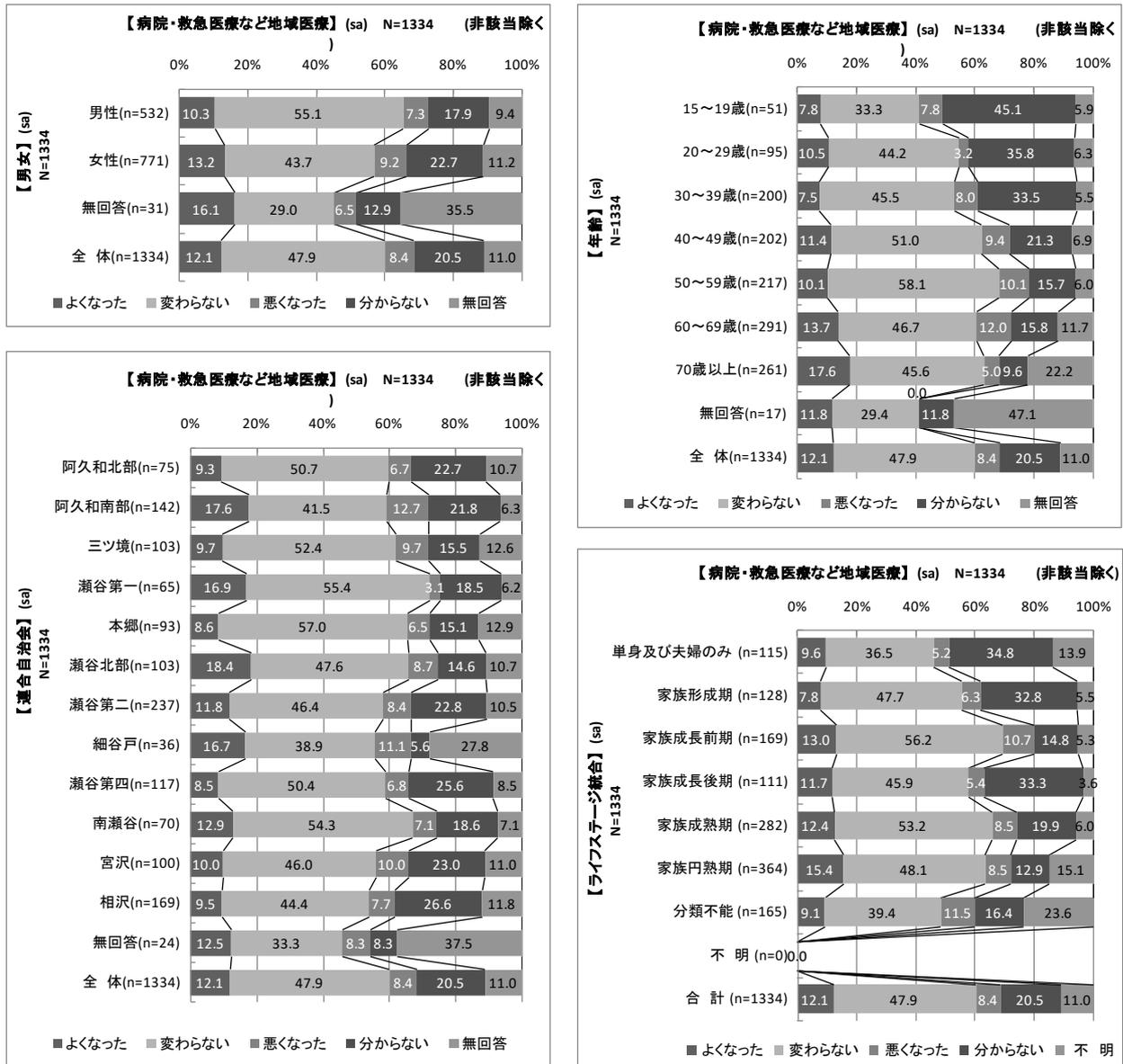


<以前との比較>

- ・ 男女別では共に「変わらない」が最も多くなっているが、特に男性は女性より 11.4 ポイント高くなっている。
- ・ 年齢別では、10代は「分からない」、それ以外の世代は「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 連合自治会別では、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ ライフステージ別では、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。また「単身及び夫婦のみ」「家族形成期」「家族成長後期」では「分からない」の数値が他に比べて高くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑮ 病院・救急医療などの地域医療



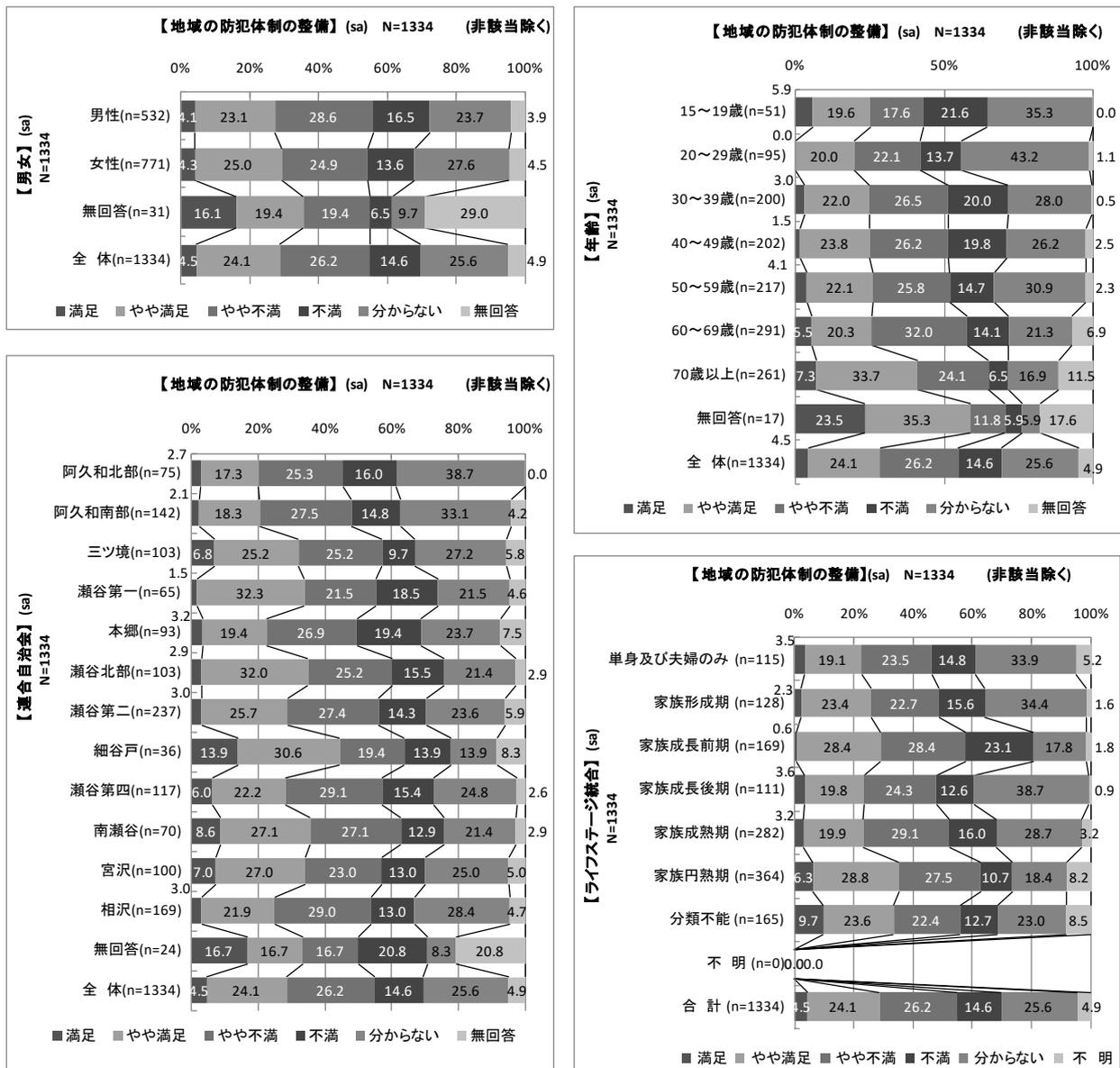
⑩ 地域の防犯体制の整備

<満足度>

- ・ 男女別では、男性は「やや不満」、女性は「分からない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、10代から50代までの世代では「分からない」が最も多いが、40代では「やや不満」も同率となっている。60代は「やや不満」、70歳以上は「やや満足」が最も多くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和北部」「阿久和南部」「三ツ境」では「分からない」、「瀬谷第一」「瀬谷北部」「細谷戸」「宮沢」では「やや満足」、「本郷」「瀬谷第二」「瀬谷第四」「相沢」では「やや不満」が最も多くなっている。「南瀬谷」では「やや満足」と「やや不満」が同率となっている。最も満足度が高いのは「細谷戸」である。
- ・ ライフステージ別では、「単身及び夫婦のみ」「家族形成期」「家族成長後期」では「分からない」、「家族成長前期」では「やや満足」と「やや不満」が同率、「家族成熟期」では「やや不満」、「家族円熟期」では「やや満足」がそれぞれ最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑩ 地域の防犯体制の整備

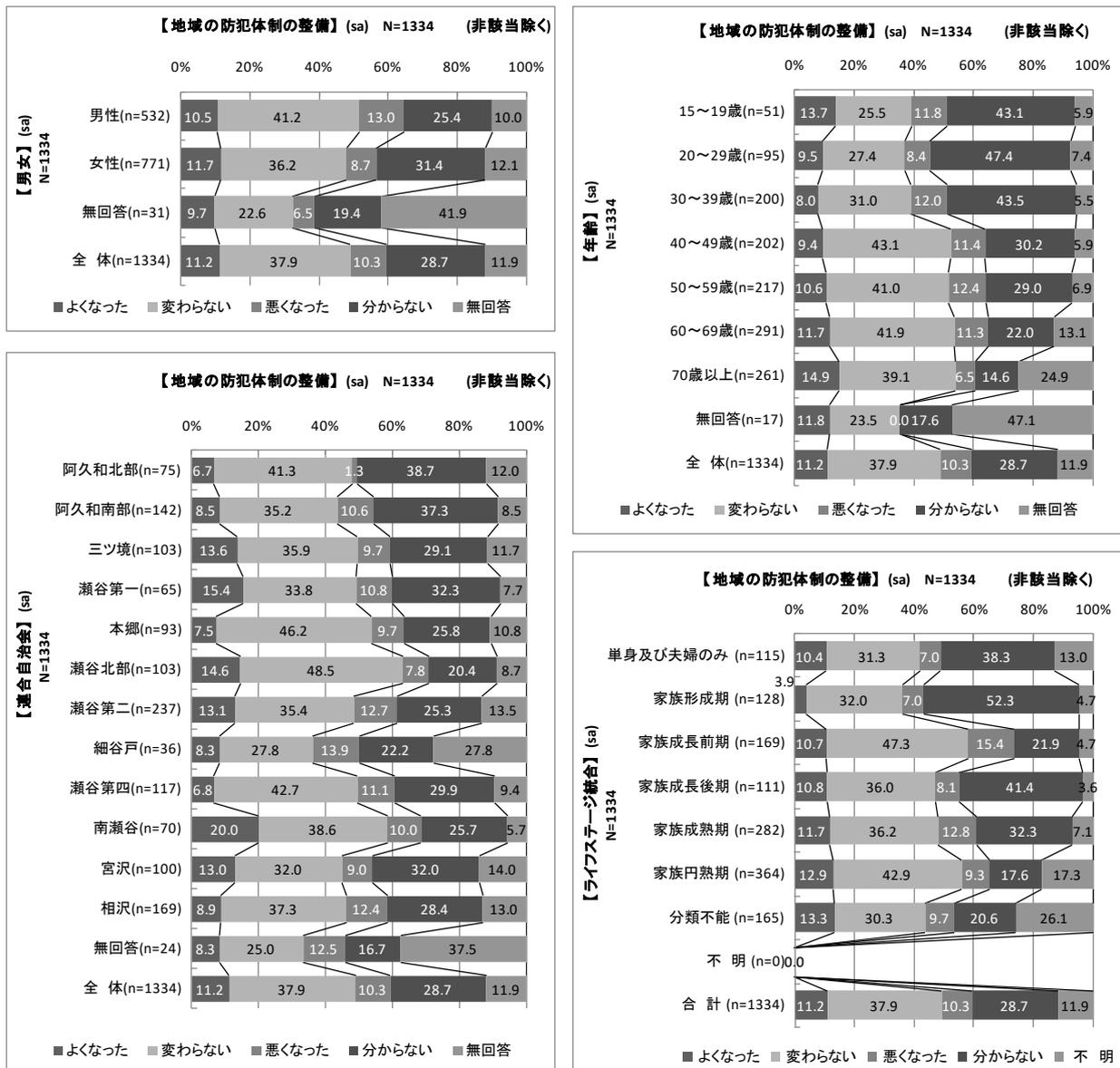


<以前との比較>

- ・ 男女別では、共に「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、10代から30代までの世代では「分からない」、40代以上の世代では「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和南部」で「分からない」が最も多く、「宮沢」でこれと「変わらない」が同率となっている以外は、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。また「南瀬谷」で「よくなった」の数値が他に比べてやや高く、評価が高くなっている。
- ・ ライフステージ別では、「単身及び夫婦のみ」「家族形成期」「家族成長後期」では「分からない」、それ以外はいずれも「変わらない」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑩ 地域の防犯体制の整備



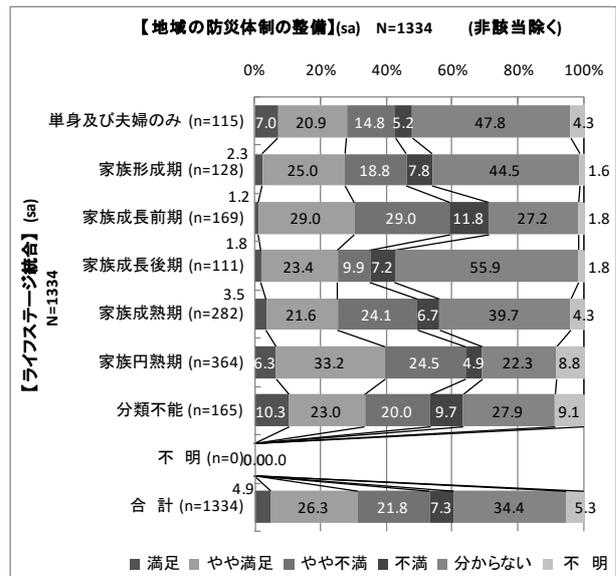
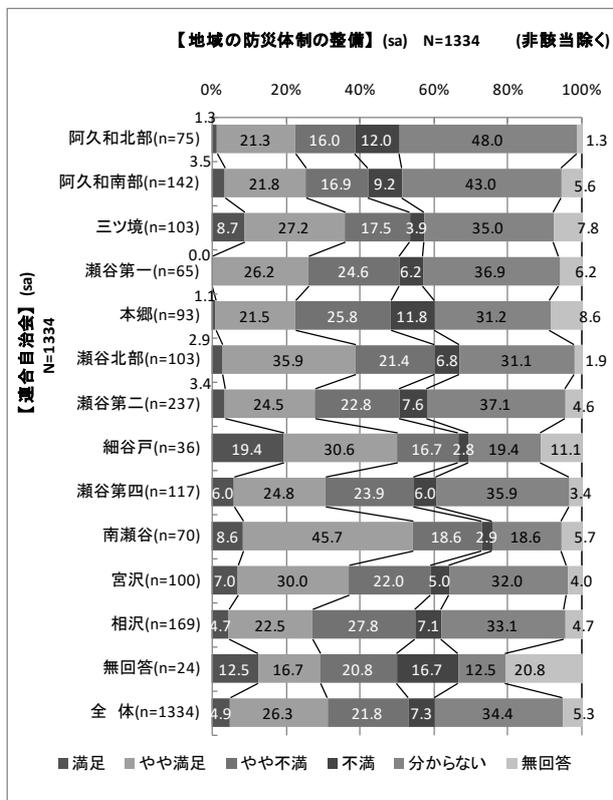
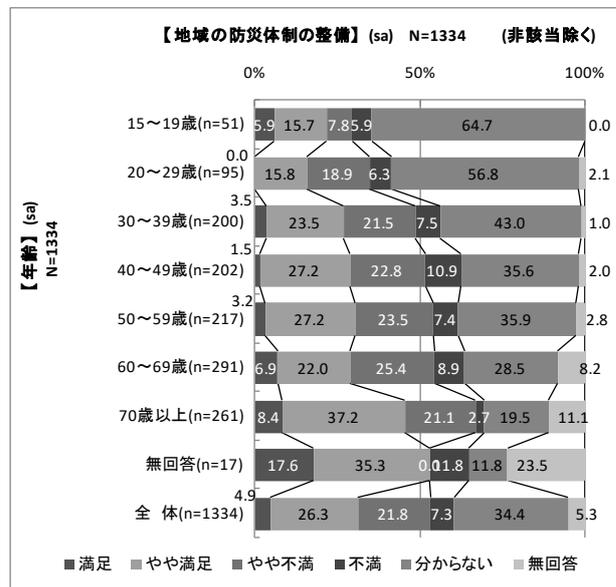
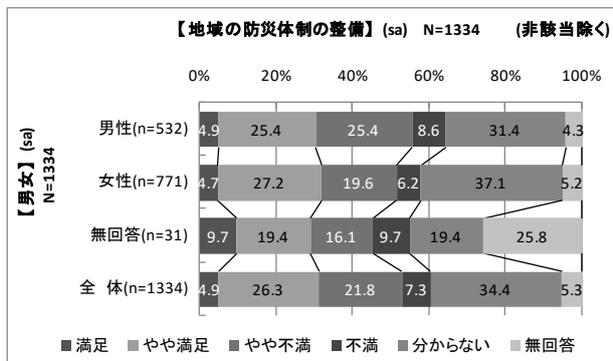
⑰ 地域の防災体制の整備

<満足度>

- ・ 男女別では共に「分からない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、70歳以上は「やや満足」、それ以外の世代ではいずれも「分からない」が最も多くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「瀬谷北部」「細谷戸」「南瀬谷」で「やや満足」が最も多くなっている以外は、「分からない」が最も多くなっている。また「細谷戸」は「満足」の数値も他に比べて高く、「南瀬谷」とともに高い満足度となっている。
- ・ ライフステージ別では、「家族成長前期」で「やや満足」と「やや不満」が同率、「家族円熟期」は「やや満足」が最も多く、それ以外では「分からない」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑰ 地域の防災体制の整備

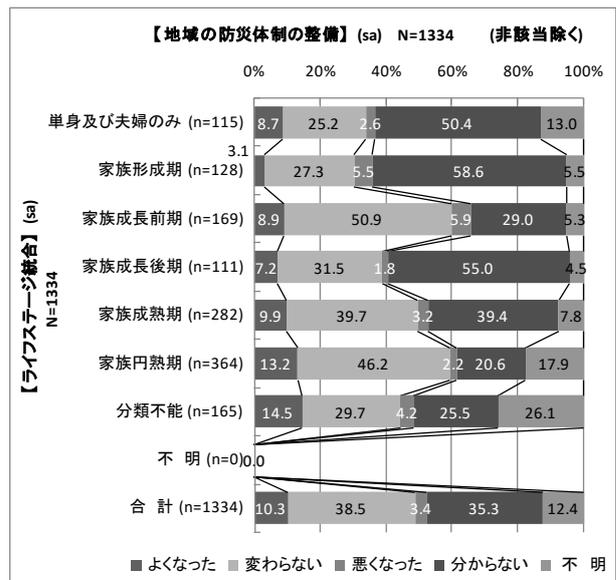
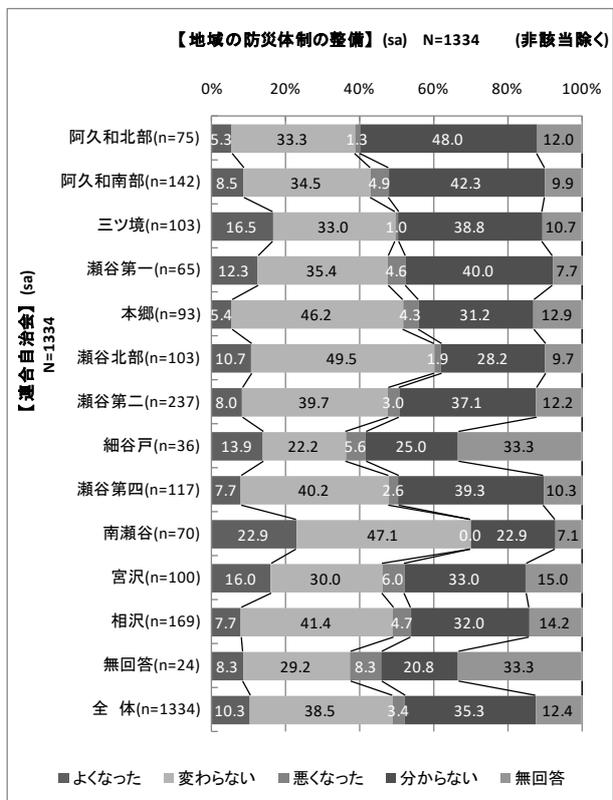
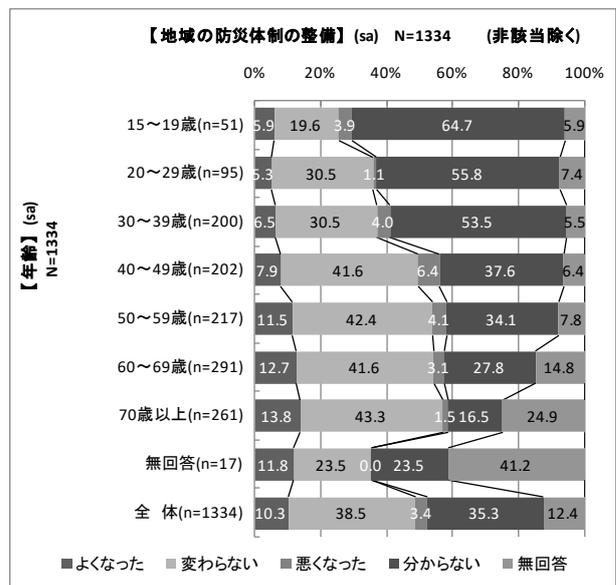
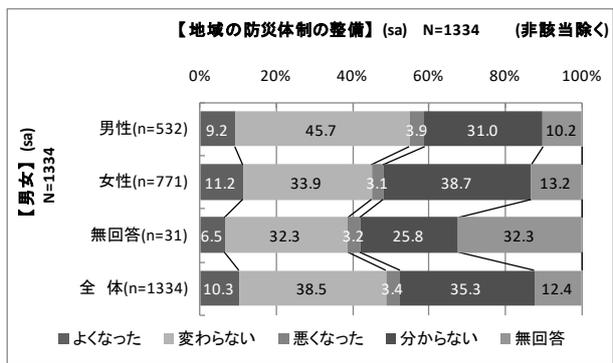


<以前との比較>

- ・ 男女別では、男性は「変わらない」、女性は「分からない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、10代から30代までの世代では「分からない」、40代以上の世代では「変わらない」が最も多くなっている。年齢が高い方がやや評価が高い傾向にある。
- ・ 連合自治会別では、「本郷」「瀬谷北部」「瀬谷第二」「瀬谷第四」「南瀬谷」「相沢」では「変わらない」が最も多くなっている。それ以外はいずれも「分からない」が最も多い。また、「南瀬谷」では「よくなった」の数値が他に比べて高く、評価が高くなっている。
- ・ ライフステージ別では、「単身及び夫婦のみ」「家族形成期」「家族成長後期」で「分からない」、それ以外は「変わらない」が最も多く、「家族成長前期」では「変わらない」の数値が高い。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑰ 地域の防災体制の整備



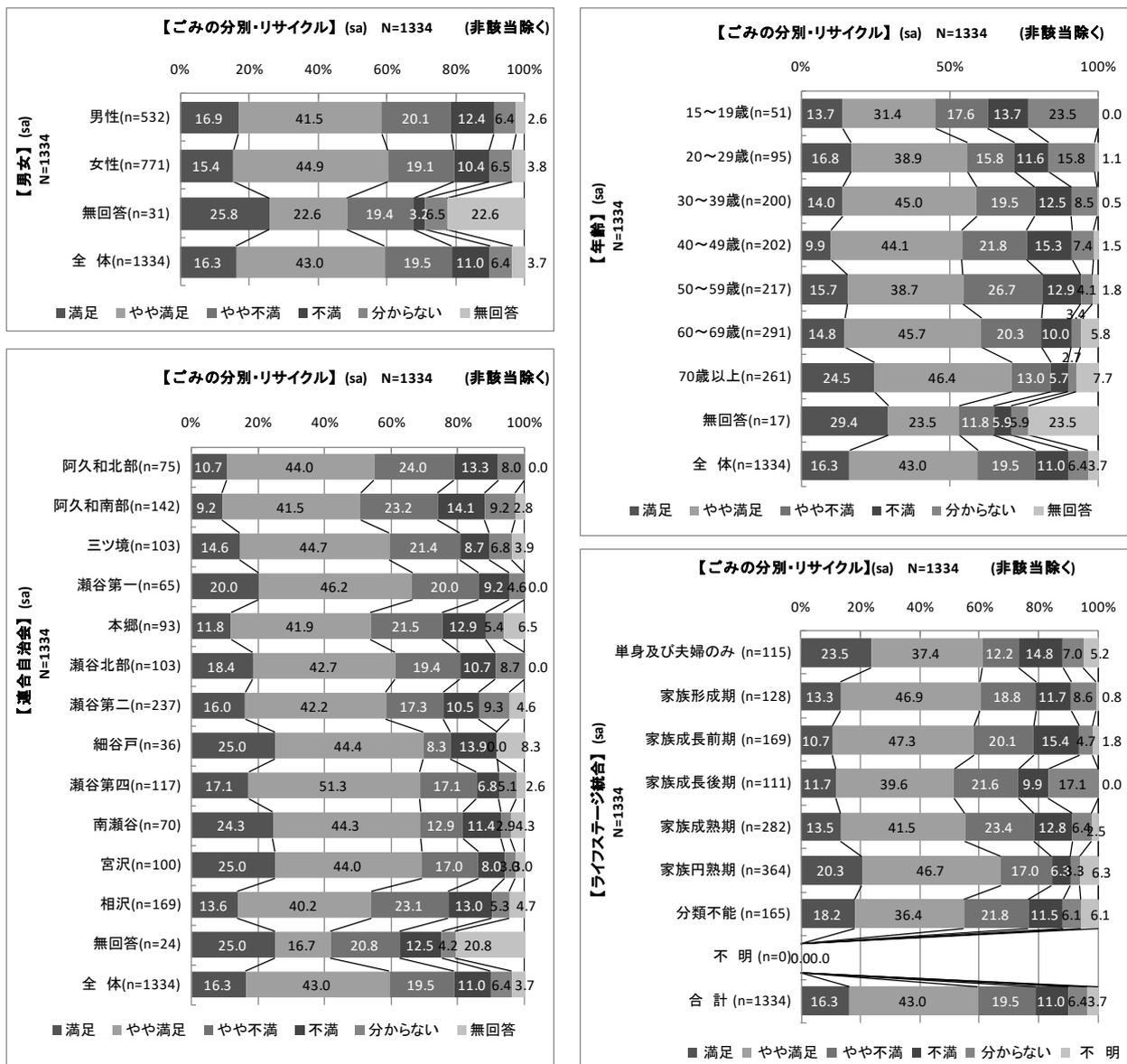
⑩ ごみの分別・リサイクルなど美化活動

<満足度>

- ・ 男女別では共に「やや満足」が最も多くなっており、男女による明確な差は見られなかった。
- ・ 年齢別では、いずれも「やや満足」が最も多い。また 10 代では「分からない」の数値が高くなっている。
- ・ 連合自治会別では、いずれも「やや満足」が最も多くなっている。「阿久和南部」でやや満足度が低い。
- ・ ライフステージ別では、いずれも「やや満足」が最も多い。また「家族成長後期」で「分からない」の数値が高くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑩ ごみの分別・リサイクルなど美化活動

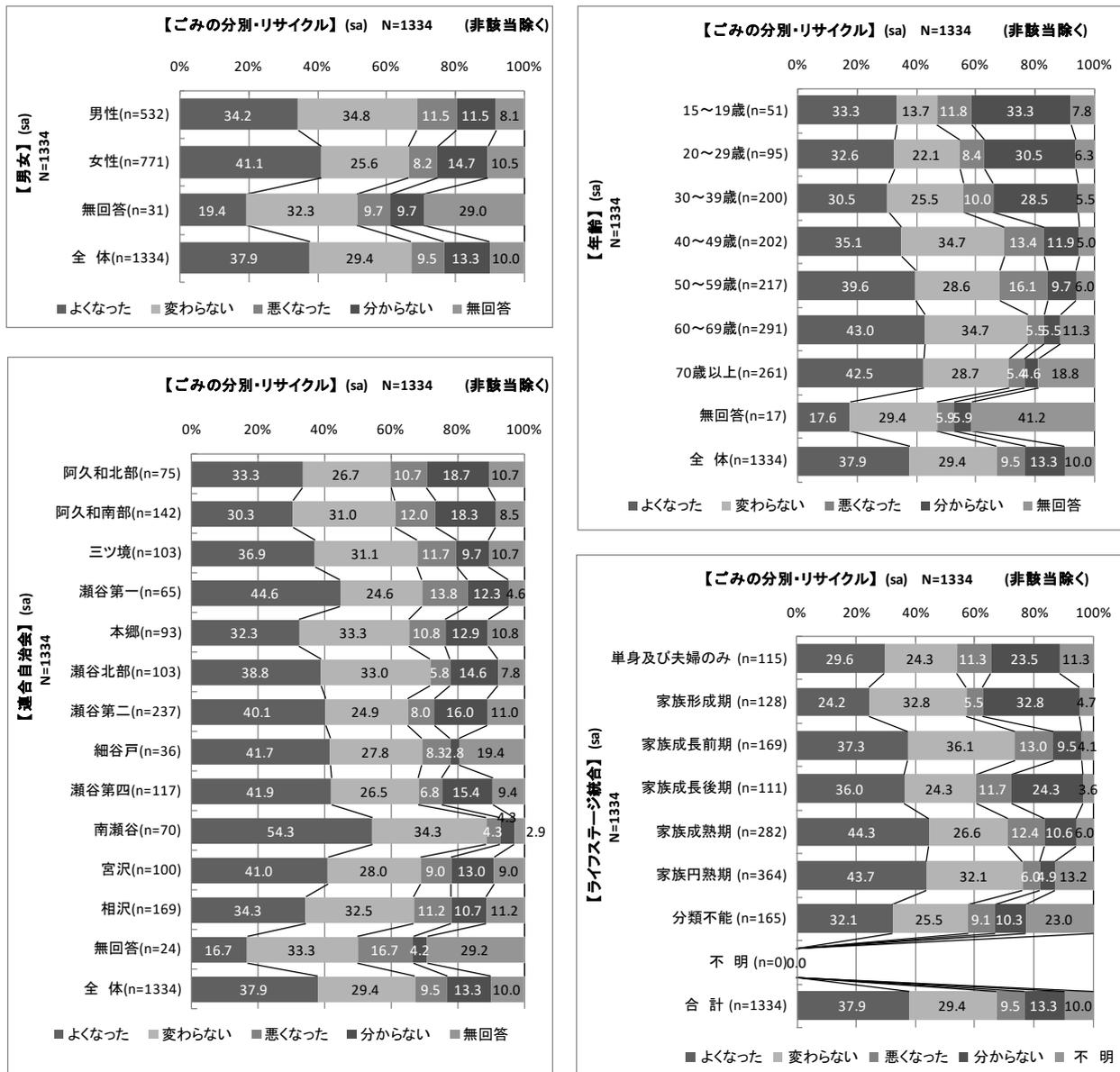


<以前との比較>

- ・ 男女別では、男性は「変わらない」、女性は「よくなった」が最も多くなっており、男女で傾向が分かれた。
- ・ 年齢別では、10代で「よくなった」と「分からない」が同率となっている以外は、「よくなった」が最も多くなっている。また若年層で「分からない」の数値が高い。年齢が高いほどやや評価も高くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和南部」「本郷」で「変わらない」が最も多くなっている以外は「よくなった」が最も多くなっている。特に「南瀬谷」は「よくなった」の数値が高く、高い評価となっている。
- ・ ライフステージ別では、「家族形成期」で「変わらない」「分からない」が同率となっている以外は、いずれも「よくなった」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑩ ごみの分別・リサイクルなど美化活動



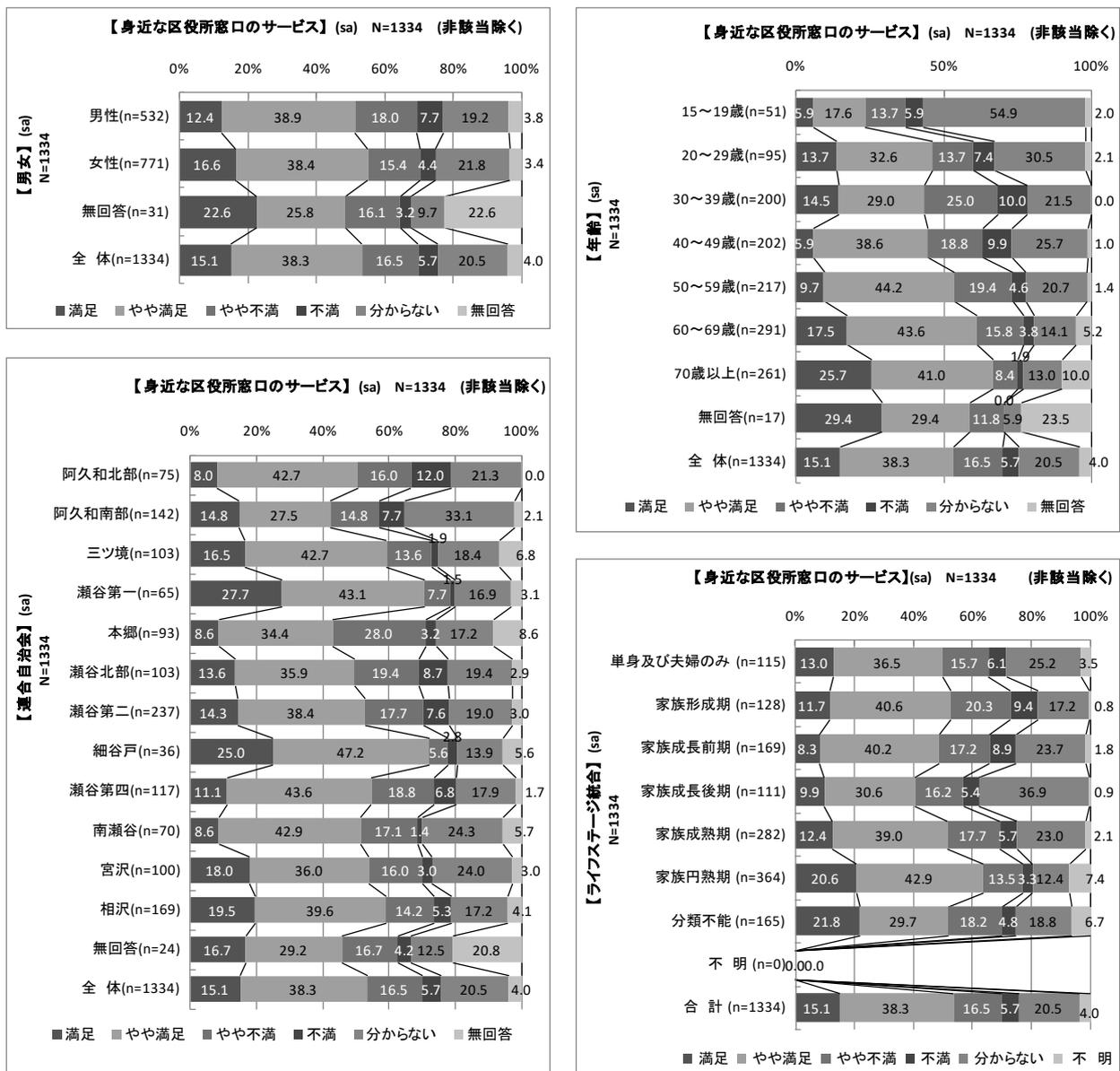
⑱ 身近な区役所窓口のサービス

<満足度>

- ・ 男女別では共に「やや満足」が最も多くなっている。女性の方がやや満足度が高い。
- ・ 年齢別では、10代で「分からない」が最も多くなっている以外は、いずれも「やや満足」が最も多くなっている。また、20代で「分からない」、70歳以上では「満足」の数値が高くなっている。高齢者層ほど満足度が高い。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和南部」で「分からない」が最も多くなっている以外は、「やや満足」が最も多くなっている。また「瀬谷第一」と「細谷戸」で「満足」の数値が高くなっているなど満足度が高く、一方「本郷」では「やや不満」の数値が他に比べて高くなっている。
- ・ ライフステージ別では、「家族成長後期」のみ「分からない」、それ以外では「やや満足」が最も多くなっている。家族円熟期で最も満足度が高い。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑱ 身近な区役所窓口のサービス

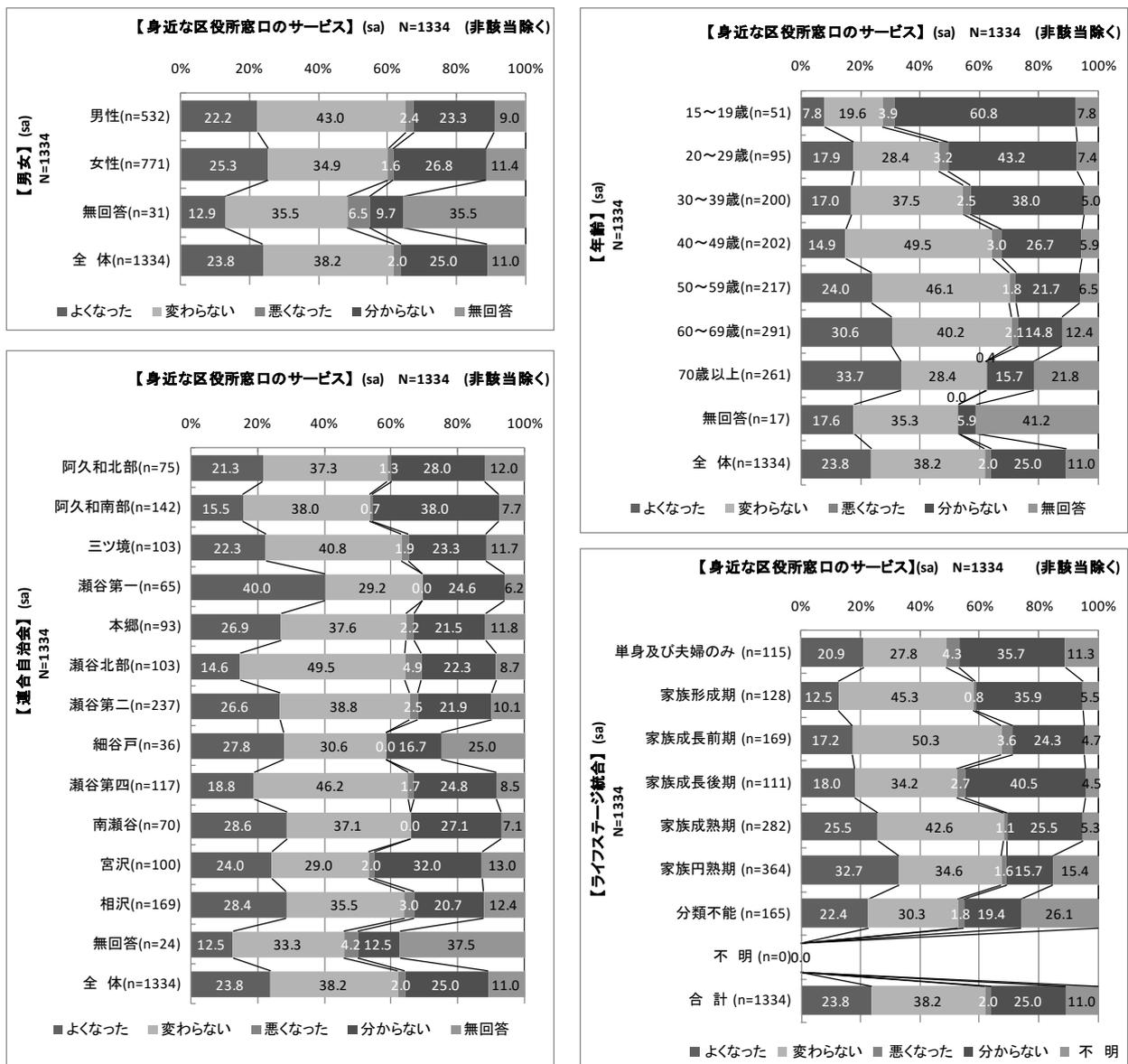


<以前との比較>

- ・ 男女別では共に「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、10代から30代では「分からない」、40代から60代では「変わらない」、70歳以上では「よくなった」が最も多くなっており、高齢層ほど変化の評価は高くなっている。
- ・ 連合自治会別では、「瀬谷第一」で「よくなった」が最も多く、評価が高い。「宮沢」で「分からない」が最も多く、「阿久和南部」では「変わらない」と「分からない」が同率となっている以外はいずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ ライフステージ別では、「単身及び夫婦のみ」と「家族成長後期」で「分からない」が最も多く、それ以外は「変わらない」が最も多くなっている。ライフステージが進むほど評価が高い傾向にある。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

⑬ 身近な区役所窓口のサービス



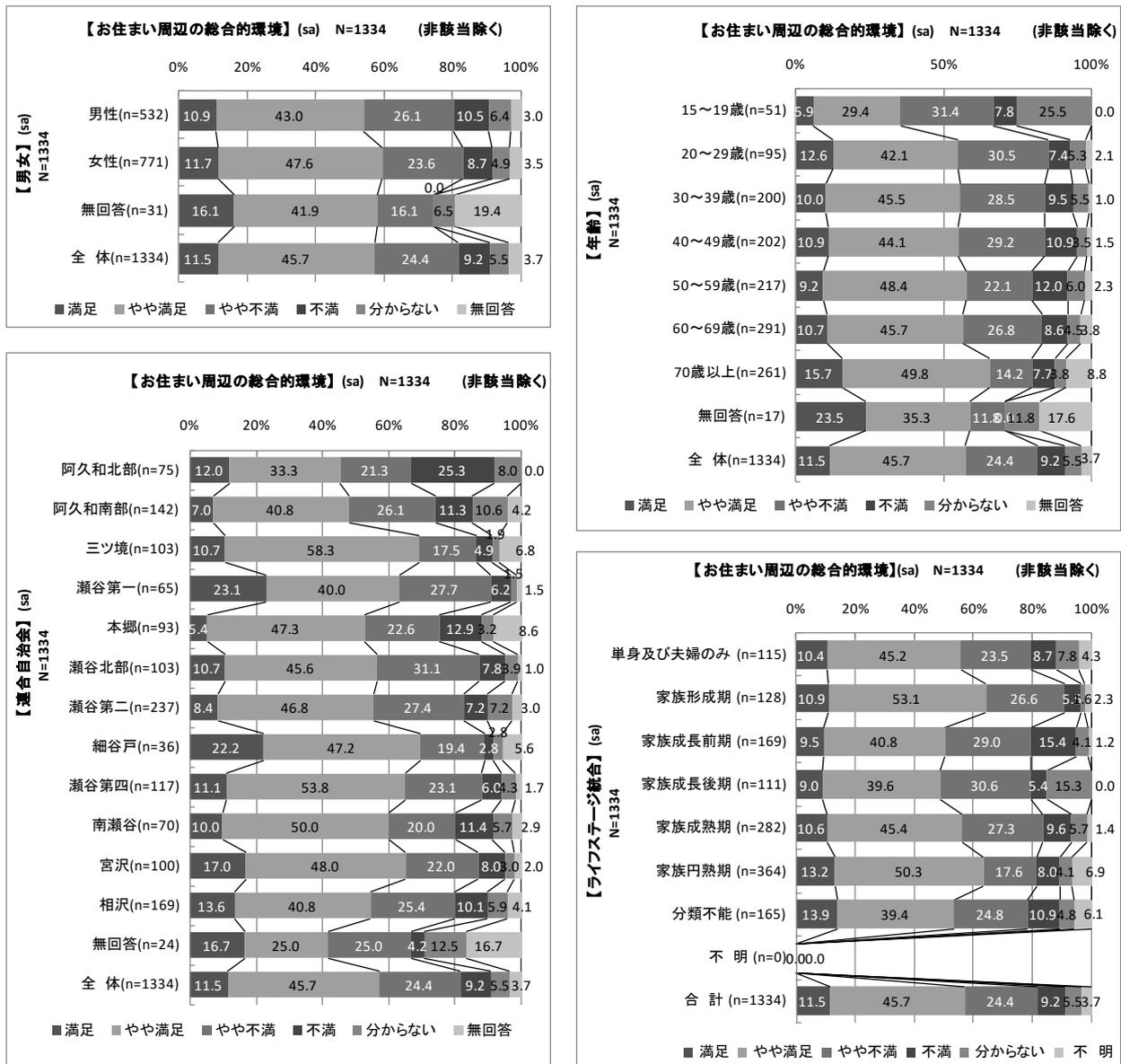
⑳ お住まいの周辺の総合的な環境

<満足度>

- ・ 男女別では共に「やや満足」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、10代は「やや不満」、20代以上の世代では「やや満足」が最も多くなっている。また、10代では「分からない」の数値も高い。
- ・ 連合自治会別では、いずれも「やや満足」が最も多くなっている。また「阿久和北部」は「不満」、「瀬谷第一」と「細谷戸」は「満足」の数値が他に比べて高くなっている。「阿久和北部」の満足度が低く、「三ツ境」「細谷戸」での満足度が高い。
- ・ ライフステージ別では、いずれも「やや満足」が最も多くなっている。また「家族形成後期」で「分からない」の数値が高い。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 満足度

⑳ お住まいの周辺の総合的な環境

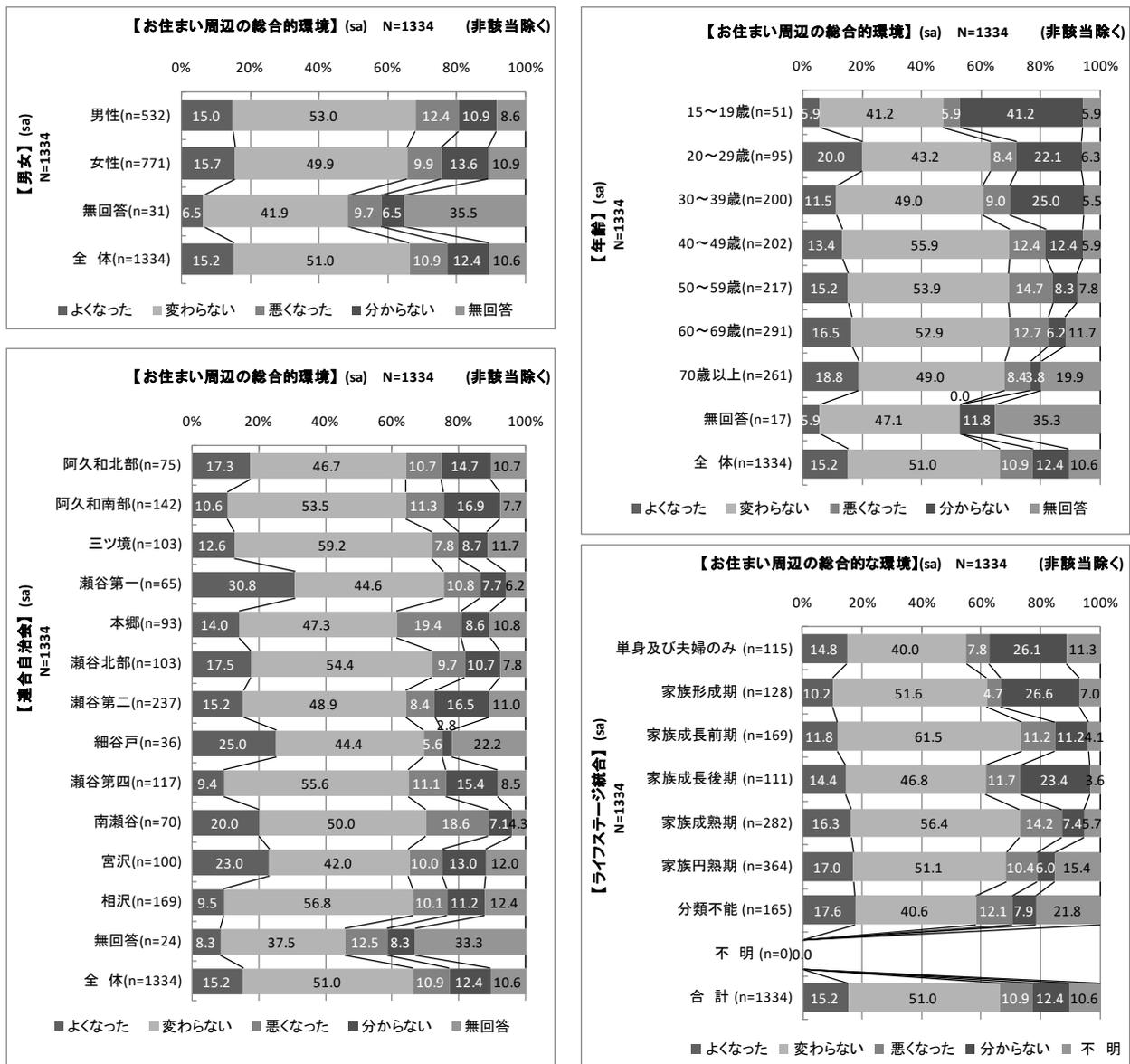


<以前との比較>

- ・ 男女別では共に「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 年齢別では、いずれの世代も「変わらない」が最も多く、10代では「分からない」も同率となっている。20代、30代でも「分からない」の数値が高い。
- ・ 連合自治会別では、いずれも「変わらない」が最も多くなっている。また「瀬谷第一」「細谷戸」では「よくなった」の数値が他に比べて高く、変化の評価が高くなっている。
- ・ ライフステージ別ではいずれも「変わらない」が最も多くなっている。また、「単身及び夫婦のみ」「家族形成期」「家族成長後期」では「分からない」の数値が他に比べて高くなっている。ライフステージが進むほどやや評価が高い傾向にある。

図 男女・年齢・連合自治会・ライフステージ別 以前との比較

㊸ お住まいの周辺の総合的な環境



問5 上記①～⑱の質問項目のうち、あなたのお住まいの周辺の環境にとって、とくに重要度が高いとお考えの項目を3つまでお知らせください。

- ・「病院・救急医療などの地域医療」が 32.8%で最も多くなっている。次いで「公共交通機関(電車・バス)の便」が 31.9%、「道路や歩道、駐輪場などの整備」が 30.1%と続き、これらは3項目は3割の人が挙げている。一方、重要度が低いのは「都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり」(1.8%)、「地域の魅力をアップさせるイベント」(1.2%)で、いずれも1%台となっている。
- ・なお、設問形態が異なるため参考比較となるが、平成 18 年度調査では「地域の防災体制の整備」が「とても重要」67.8%と、全 19 項目のうち2番目に高い重要度を示していたのに対し、今年度調査では 14 番目と順位が大きく下がっている。

図 周辺の環境のうち、とくに重要度が高いもの(3つまで回答)

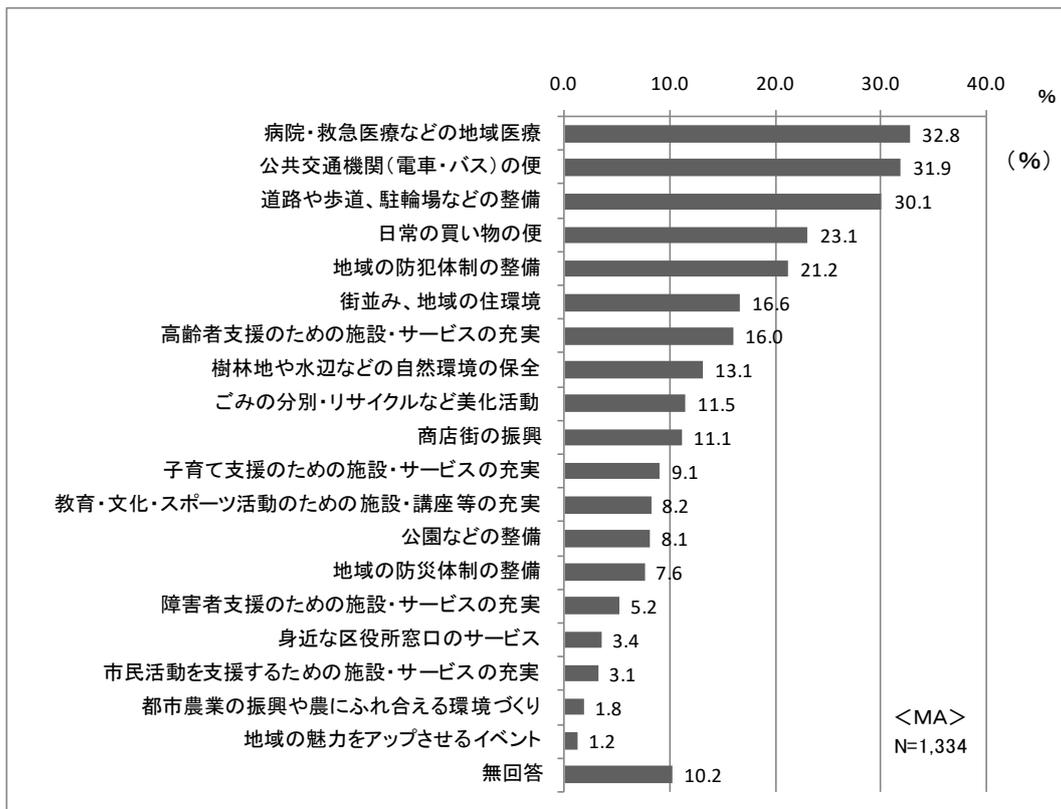
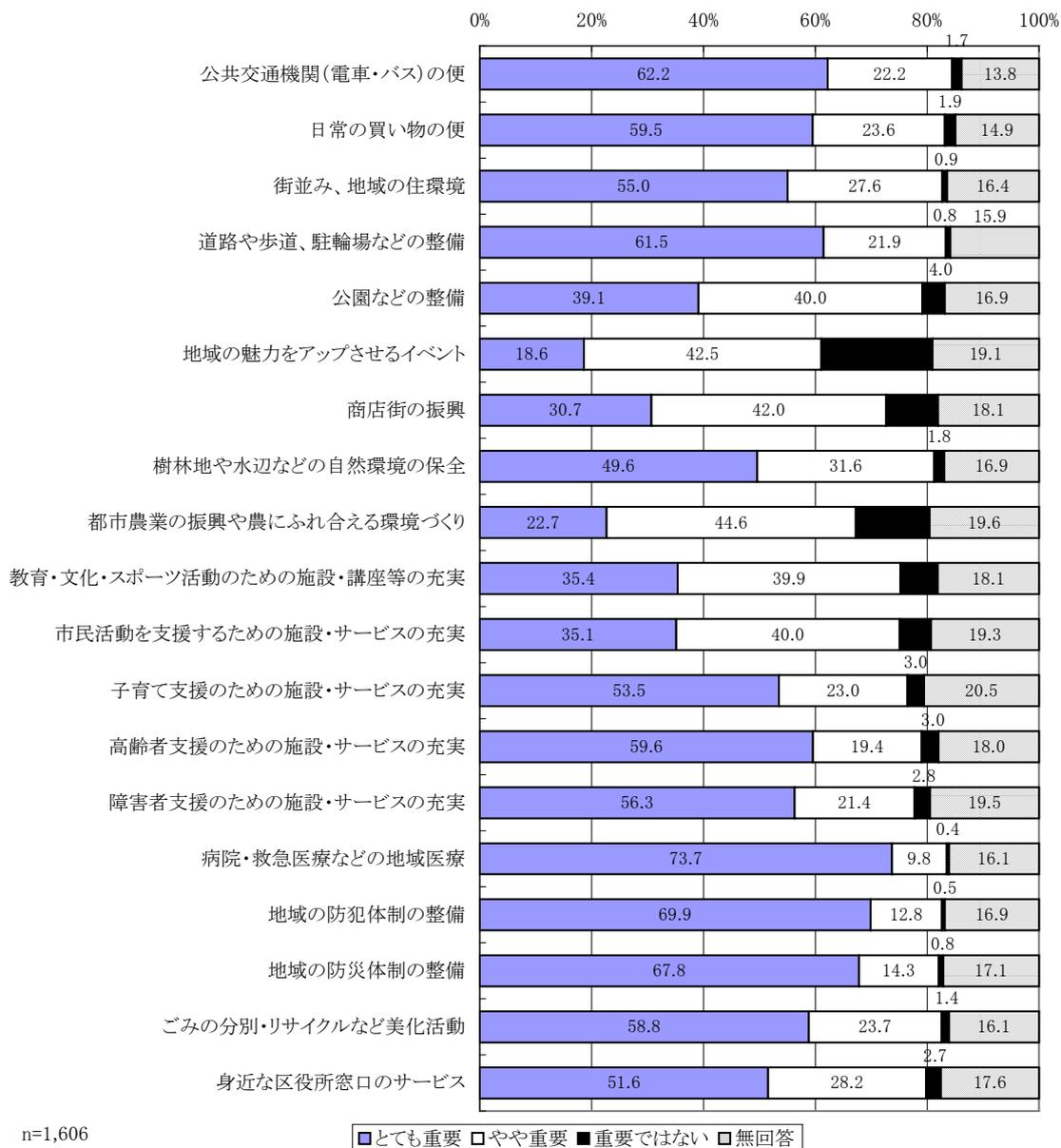


図 生活環境の重要度(平成 18 年度調査)



■ 男女別 生活環境の重要度(問5×F1)

- ・ 男性は「病院・救急医療などの地域医療」、女性は「公共交通機関(電車・バス)の便」が、それぞれ僅かな差で最も多くなっている。

図 男女別 生活環境の重要度

問5 周辺の環境のうち、とくに重要度が高いもの(3つまで回答)

全体		公共交通機関(電車・バス)の便	日常の買い物の便	街並み、地域の住環境	道路や歩道、駐輪場などの整備	公園などの整備	地域の魅力をアップさせるイベント	商店街の振興	樹林地や水辺などの自然環境の保全	都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり	教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実	
全体		1,334	426	308	222	402	108	16	148	175	24	109
		—	31.9	23.1	16.6	30.1	8.1	1.2	11.1	13.1	1.8	8.2
F1 性別	男性(n=532)	532	29.9	20.9	18.6	29.1	8.3	1.5	11.8	15.6	2.3	7.5
	女性(n=771)	771	33.7	24.8	15.4	31.3	7.8	1.0	10.8	11.4	1.4	8.8
	無回答(n=31)	31	22.6	19.4	12.9	19.4	12.9	0.0	6.5	12.9	3.2	3.2

全体		市民活動を支援するための施設・サービスの充実	子育て支援のための施設・サービスの充実	高齢者支援のための施設・サービスの充実	障害者支援のための施設・サービスの充実	病院・救急医療などの地域医療	地域の防犯体制の整備	地域の防災体制の整備	ごみの分別・リサイクルなど美化活動	身近な区役所窓口のサービス	無回答	
全体		1,334	42	121	213	69	437	283	101	153	46	136
		—	3.1	9.1	16.0	5.2	32.8	21.2	7.6	11.5	3.4	10.2
F1 性別	男性(n=532)	532	3.8	7.0	16.2	6.0	32.0	20.5	8.3	12.6	3.8	10.9
	女性(n=771)	771	2.9	10.8	16.0	4.7	33.5	22.3	7.4	10.6	3.4	8.8
	無回答(n=31)	31	0.0	3.2	12.9	3.2	29.0	6.5	0.0	12.9	0.0	32.3

■ 年齢別 生活環境の重要度(問5×F2,8)

- ・ 40代、60代は「病院・救急医療などの地域医療」、70歳以上は「道路や歩道、駐輪場などの整備」、それ以外は「公共交通機関(電車・バス)の便」が最も多い。また、10代は「日常の買い物の便」、30代は「子育て支援のための施設・サービスの充実」、60代以上は「高齢者支援のための施設・サービスの充実」がそれぞれ他世代に比べて高い。

図 年齢別 生活環境の重要度

問5 周辺の環境のうち、とくに重要度が高いもの(3つまで回答)

全体		公共交通機関(電車・バス)の便	日常の買い物の便	街並み、地域の住環境	道路や歩道、駐輪場などの整備	公園などの整備	地域の魅力をアップさせるイベント	商店街の振興	樹林地や水辺などの自然環境の保全	都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり	教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実	
全体		1,334	426	308	222	402	108	16	148	175	24	109
		—	31.9	23.1	16.6	30.1	8.1	1.2	11.1	13.1	1.8	8.2
F2 年齢	15~19歳(n=51)	51	52.9	45.1	23.5	31.4	5.9	0.0	13.7	17.6	2.0	15.7
	20~29歳(n=95)	95	47.4	30.5	21.1	29.5	8.4	1.1	8.4	14.7	1.1	5.3
	30~39歳(n=200)	200	40.5	26.0	17.0	39.5	16.0	0.5	6.0	11.0	2.0	11.0
	40~49歳(n=202)	202	35.6	21.3	17.8	31.2	7.9	1.0	12.9	10.4	1.0	9.4
	50~59歳(n=217)	217	34.6	25.3	21.2	30.9	6.5	1.4	13.4	12.9	1.8	7.4
	60~69歳(n=291)	291	22.7	18.6	14.8	26.1	5.5	2.4	11.0	15.1	2.4	7.9
	70歳以上(n=261)	261	22.2	18.4	11.5	26.4	5.7	0.8	12.6	13.4	1.5	5.7
	無回答(n=17)	17	11.8	23.5	5.9	23.5	23.5	0.0	5.9	11.8	5.9	5.9

問5 周辺の環境のうち、とくに重要度が高いもの(3つまで回答)

全体		市民活動を支援するための施設・サービスの充実	子育て支援のための施設・サービスの充実	高齢者支援のための施設・サービスの充実	障害者支援のための施設・サービスの充実	病院・救急医療などの地域医療	地域の防犯体制の整備	地域の防災体制の整備	ごみの分別・リサイクルなど美化活動	身近な区役所窓口のサービス	無回答	
全体		1,334	42	121	213	69	437	283	101	153	46	136
		—	3.1	9.1	16.0	5.2	32.8	21.2	7.6	11.5	3.4	10.2
F2 年齢	15~19歳(n=51)	51	0.0	3.9	2.0	7.8	21.6	17.6	3.9	3.9	0.0	3.9
	20~29歳(n=95)	95	2.1	11.6	5.3	5.3	31.6	20.0	4.2	9.5	8.4	4.2
	30~39歳(n=200)	200	1.5	21.5	6.0	3.5	34.5	27.5	7.0	7.0	3.5	2.0
	40~49歳(n=202)	202	2.0	14.4	12.4	7.4	38.6	29.2	10.4	15.3	4.0	1.0
	50~59歳(n=217)	217	2.8	4.6	13.4	5.1	32.7	23.5	9.2	14.3	4.1	7.4
	60~69歳(n=291)	291	6.2	5.8	25.8	5.2	36.8	20.3	8.6	12.0	2.4	11.3
	70歳以上(n=261)	261	3.4	3.1	25.3	4.2	25.3	11.5	5.7	11.5	2.7	26.1
	無回答(n=17)	17	0.0	5.9	0.0	5.9	29.4	5.9	0.0	5.9	0.0	41.2

■ 連合自治会別 生活環境の重要度(問5×F3)

- 「阿久和北部連合自治会」「阿久和南部連合自治会」「瀬谷第二地区連合自治会」「細谷戸連合町内会」では「公共交通機関(電車・バス)の便」、「南瀬谷自治連合会」では「日常の買い物の便」、「本郷地区連合自治会」「相沢町内連合会」では「道路や歩道、駐輪場などの整備」、「瀬谷北部町内連合会」では「道路や歩道、駐輪場などの整備」と「病院・救急医療などの地域医療」が同率、それ以外の連合自治会では「病院・救急医療などの地域医療」が最も多くなっており、地域による特色がみられた。また、「南瀬谷自治連合会」では「商店街の振興」の数値が特に高いほか、「瀬谷第一地区連合町内会」では「地域の防犯体制の整備」の数値が高くなっている。

図 連合自治会別 生活環境の重要度

問5 周辺の環境のうち、とくに重要度が高いもの(3つまで回答)

		全体	公共交通機関(電車・バス)の便	日常の買い物の便	街並み、地域の住環境	道路や歩道、駐輪場などの整備	公園などの整備	地域の魅力をアップさせるイベント	商店街の振興	樹林地や水辺などの自然環境の保全	都市農業や農にふれ合える環境づくり	教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実
全体		1,334	426	308	222	402	108	16	148	175	24	109
		-	31.9	23.1	16.6	30.1	8.1	1.2	11.1	13.1	1.8	8.2
F3 自治会	阿久和北部(n=75)	75	50.7	32.0	9.3	38.7	9.3	0.0	4.0	8.0	5.3	10.7
	阿久和南部(n=142)	142	37.3	20.4	14.1	31.0	8.5	2.8	7.0	7.0	1.4	5.6
	三ツ境(n=103)	103	26.2	16.5	19.4	28.2	6.8	1.9	15.5	6.8	1.0	14.6
	瀬谷第一(n=65)	65	23.1	18.5	15.4	35.4	3.1	1.5	18.5	9.2	0.0	9.2
	本郷(n=93)	93	29.0	12.9	10.8	41.9	8.6	0.0	9.7	7.5	1.1	9.7
	瀬谷北部(n=103)	103	31.1	20.4	20.4	39.8	3.9	1.0	9.7	21.4	1.0	7.8
	瀬谷第二(n=237)	237	40.9	27.0	16.5	28.3	8.0	0.8	10.5	13.5	0.8	8.9
	細谷戸(n=36)	36	33.3	22.2	11.1	19.4	8.3	2.8	8.3	13.9	2.8	0.0
	瀬谷第四(n=117)	117	30.8	23.1	23.1	22.2	12.0	0.0	5.1	18.8	5.1	6.8
	南瀬谷(n=70)	70	25.7	35.7	21.4	12.9	11.4	2.9	27.1	15.7	2.9	4.3
	宮沢(n=100)	100	30.0	23.0	17.0	20.0	5.0	0.0	9.0	25.0	1.0	8.0
相沢(n=169)	169	23.7	24.9	17.8	36.7	8.9	1.8	13.6	10.7	1.2	8.3	
無回答(n=24)	24	4.2	16.7	8.3	25.0	16.7	0.0	12.5	16.7	4.2	4.2	

問5 周辺の環境のうち、とくに重要度が高いもの(3つまで回答)

		全体	市民活動を支援するための施設・サービスの充実	子育て支援のための施設・サービスの充実	高齢者支援のための施設・サービスの充実	障害者支援のための施設・サービスの充実	病院・救急医療などの地域医療	地域の防犯体制の整備	地域の防災体制の整備	ごみの分別・リサイクルなど美化活動	身近な区役所窓口のサービス	無回答
全体		1,334	42	121	213	69	437	283	101	153	46	136
		-	3.1	9.1	16.0	5.2	32.8	21.2	7.6	11.5	3.4	10.2
F3 自治会	阿久和北部(n=75)	75	4.0	12.0	10.7	2.7	26.7	25.3	8.0	14.7	4.0	5.3
	阿久和南部(n=142)	142	4.2	7.7	16.9	7.0	29.6	17.6	7.0	17.6	2.1	12.0
	三ツ境(n=103)	103	4.9	6.8	18.4	3.9	34.0	14.6	9.7	13.6	4.9	11.7
	瀬谷第一(n=65)	65	3.1	10.8	18.5	4.6	41.5	30.8	7.7	12.3	3.1	6.2
	本郷(n=93)	93	2.2	12.9	15.1	4.3	29.0	19.4	9.7	5.4	2.2	17.2
	瀬谷北部(n=103)	103	2.9	11.7	14.6	3.9	39.8	17.5	3.9	10.7	6.8	5.8
	瀬谷第二(n=237)	237	2.5	8.4	11.4	6.8	32.9	24.5	7.2	9.3	4.2	8.0
	細谷戸(n=36)	36	2.8	5.6	22.2	5.6	22.2	11.1	2.8	11.1	2.8	27.8
	瀬谷第四(n=117)	117	3.4	9.4	16.2	0.9	35.0	25.6	11.1	9.4	2.6	9.4
	南瀬谷(n=70)	70	1.4	10.0	17.1	7.1	30.0	18.6	5.7	11.4	2.9	8.6
	宮沢(n=100)	100	3.0	7.0	16.0	9.0	38.0	25.0	12.0	12.0	0.0	7.0
相沢(n=169)	169	3.0	8.9	22.5	4.7	30.8	21.3	5.9	11.8	3.6	8.9	
無回答(n=24)	24	4.2	4.2	4.2	4.2	29.2	8.3	0.0	8.3	8.3	37.5	

■ ライフステージ別 生活環境の重要度(問5×ライフステージ)

- 「単身及び夫婦のみ」「家族成長前期」「家族成長後期」「家族成熟期」では「公共交通機関(電車・バス)の便」、「家族形成期」では「道路や歩道、駐輪場などの整備」と「子育て支援のための施設・サービスの充実」が同率、「家族円熟期」では「病院・救急医療などの地域医療」が最も多くなっている。また、「単身及び夫婦のみ」で「街並み、地域の住環境」、「単身及び夫婦のみ」と「家族成長後期」で「日常の買い物の便」、「家族形成期」で「公園などの整備」、「家族円熟期」で「高齢者支援のための施設・サービスの充実」がそれぞれ他に比べて高くなっており、ライフステージによる違いが明確になった。

図 ライフステージ別 生活環境の重要度

問5 周辺の環境のうち、とくに重要度が高いもの(3つまで回答)

全体		公共交通機関(電車・バス)の便	日常の買い物の便	街並み、地域の住環境	道路や歩道、駐輪場などの整備	公園などの整備	地域の魅力をアップさせるイベント	商店街の振興	樹林地や水辺などの自然環境の保全	都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり	教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実	
全体		1,334 —	426 31.9	308 23.1	222 16.6	402 30.1	108 8.1	16 1.2	148 11.1	175 13.1	24 1.8	109 8.2
ライフステージ	単身及び夫婦のみ (n=115)	115	39.1	33.9	26.1	29.6	5.2	1.7	13.0	6.1	0.9	7.0
	家族形成期 (n=128)	128	35.2	21.9	16.4	41.4	21.1	0.8	3.9	6.3	2.3	10.2
	家族成長前期 (n=169)	169	36.1	22.5	16.6	34.3	13.0	0.0	10.7	14.2	1.2	12.4
	家族成長後期 (n=111)	111	43.2	35.1	20.7	32.4	11.7	0.0	11.7	20.7	0.9	10.8
	家族成熟期 (n=282)	282	35.8	24.8	18.8	30.9	4.3	1.1	11.0	15.6	1.4	8.5
	家族円熟期 (n=364)	364	23.6	18.4	11.8	26.9	4.7	1.6	11.5	14.3	2.2	6.3
	分類不能 (n=165)	165	24.2	16.4	14.5	21.8	6.7	2.4	14.5	10.3	3.0	4.8
不明 (n=0)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問5 周辺の環境のうち、とくに重要度が高いもの(3つまで回答)

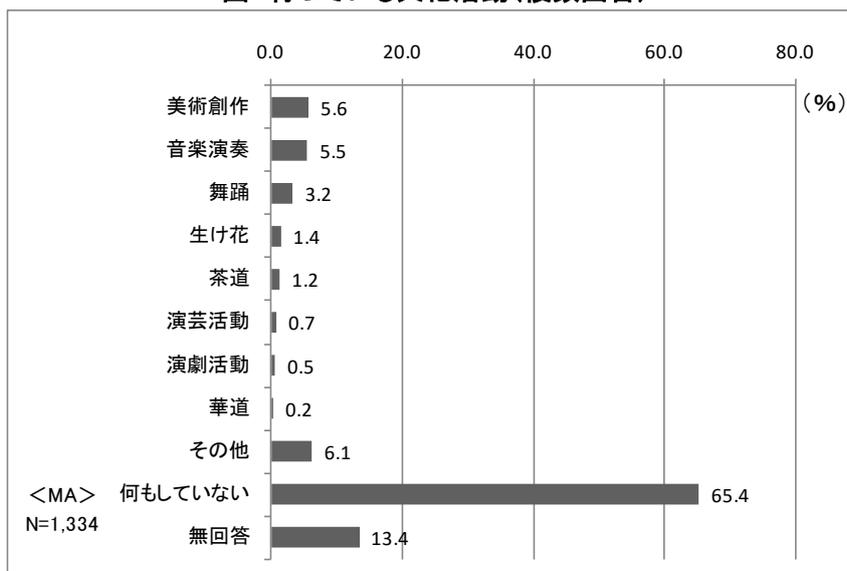
全体		市民活動を支援するための施設・サービスの充実	子育て支援のための施設・サービスの充実	高齢者支援のための施設・サービスの充実	障害者支援のための施設・サービスの充実	病院・救急医療などの地域医療	地域の防犯体制の整備	地域の防災体制の整備	ごみの分別・リサイクルなど美化活動	身近な区役所窓口のサービス	無回答	
全体		1,334 —	42 3.1	121 9.1	213 16.0	69 5.2	437 32.8	283 21.2	101 7.6	153 11.5	46 3.4	136 10.2
ライフステージ	単身及び夫婦のみ (n=115)	115	2.6	7.0	13.9	3.5	29.6	20.9	7.0	14.8	6.1	6.1
	家族形成期 (n=128)	128	1.6	41.4	2.3	2.3	39.1	25.8	6.3	4.7	1.6	2.3
	家族成長前期 (n=169)	169	1.8	11.8	12.4	5.3	34.3	27.8	11.2	13.0	3.6	1.8
	家族成長後期 (n=111)	111	2.7	1.8	6.3	2.7	34.2	16.2	7.2	11.7	2.7	2.7
	家族成熟期 (n=282)	282	3.2	5.0	12.1	5.7	33.3	24.1	6.7	11.0	4.6	8.2
	家族円熟期 (n=364)	364	4.4	3.6	29.7	6.0	32.4	14.8	6.6	12.4	3.6	18.1
	分類不能 (n=165)	165	3.6	6.7	14.5	7.3	27.3	23.6	9.1	11.5	1.2	18.8
不明 (n=0)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

3. 文化活動について

問6 あなたは、日頃どんな文化活動を行なっていますか。

- 「何もしていない」が 65.4%で突出して最も多く、6割以上の人が特に文化活動は行っていないと回答している。行われている文化活動で多かったのは(「その他」(6.1%)を除く)「美術創作」「音楽演奏」がそれぞれ 5.6%、5.5%でほぼ並び、以下「舞踊」(3.2%)、「生け花」(1.4%)、「茶道」(1.2%)、「演芸活動」(0.7%)、「演劇活動」(0.5%)、「華道」(0.2%)の順となっている。

図 行っている文化活動(複数回答)



■ 年齢別 行っている文化活動(問6×F2)

- いずれも「何もしていない」が最も多く、特に 20 代、30 代では8割の人が挙げている。次に多くなっているのは、10 代、20 代、50 代は「音楽活動」で、10 代では数値がやや高い。30 代、40 代は「音楽活動」「その他」、60 代は「美術創作」、70 代は「その他」となっている。

図 年齢別 行っている文化活動

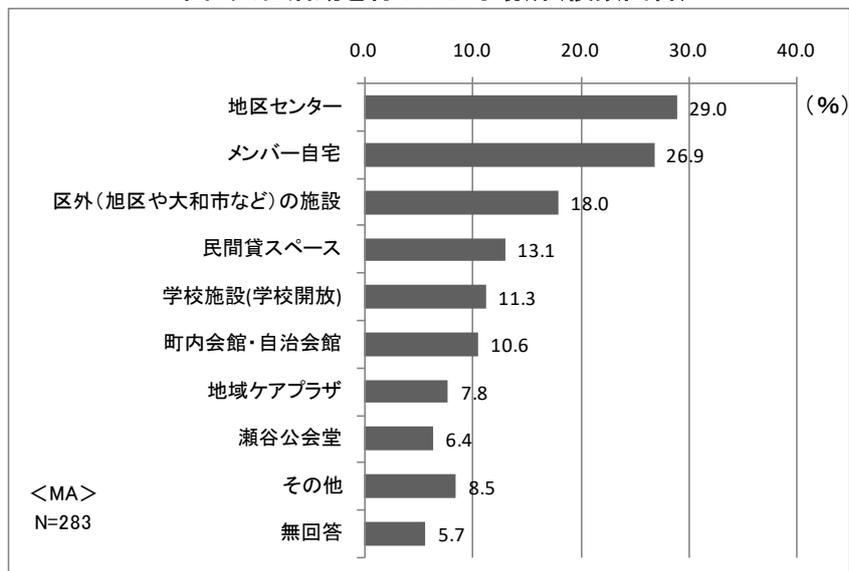
問6 行っている文化活動(複数回答)

		全体	音楽演奏	美術創作	演劇活動	演芸活動	舞踊	生け花	茶道	華道	その他	何もしていない	無回答
全体		1,334	73	75	7	9	43	19	16	3	82	872	179
		—	5.5	5.6	0.5	0.7	3.2	1.4	1.2	0.2	6.1	65.4	13.4
F 2 年齢	15～19歳	51	13.7	11.8	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	2.0	70.6	5.9
	20～29歳	95	5.3	1.1	0.0	0.0	2.1	0.0	1.1	0.0	0.0	89.5	3.2
	30～39歳	200	3.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	3.5	81.5	6.0
	40～49歳	202	5.9	3.5	0.0	0.0	1.5	0.5	0.5	0.0	5.9	74.8	7.9
	50～59歳	217	6.5	4.6	0.5	0.0	3.2	1.8	0.9	0.0	4.6	69.1	10.1
	60～69歳	291	4.8	8.2	1.0	1.4	6.2	1.4	1.4	0.3	6.5	57.0	17.9
	70歳以上	261	5.4	8.8	0.4	0.8	3.8	3.1	1.9	0.8	12.6	43.3	24.5
	無回答	17	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.1	41.2

問7 現在、その活動はどこで行なっていますか。

- ・「地区センター」が 29.0%で最も多く、3割近くの人が挙げている。次に「メンバー自宅」が 26.9%と4分の1強の人が、次いで「区外(旭区や大和市など)の施設」が 18.0%と2割程度の人が挙げている。以下「民間貸スペース」(13.1%)、「学校施設(学校開放)」(11.3%)、「町内会館・自治会館」(10.6%)、「その他」(8.5%)、「地域ケアプラザ」(7.8%)、「瀬谷公会堂」(6.4%)と続く。

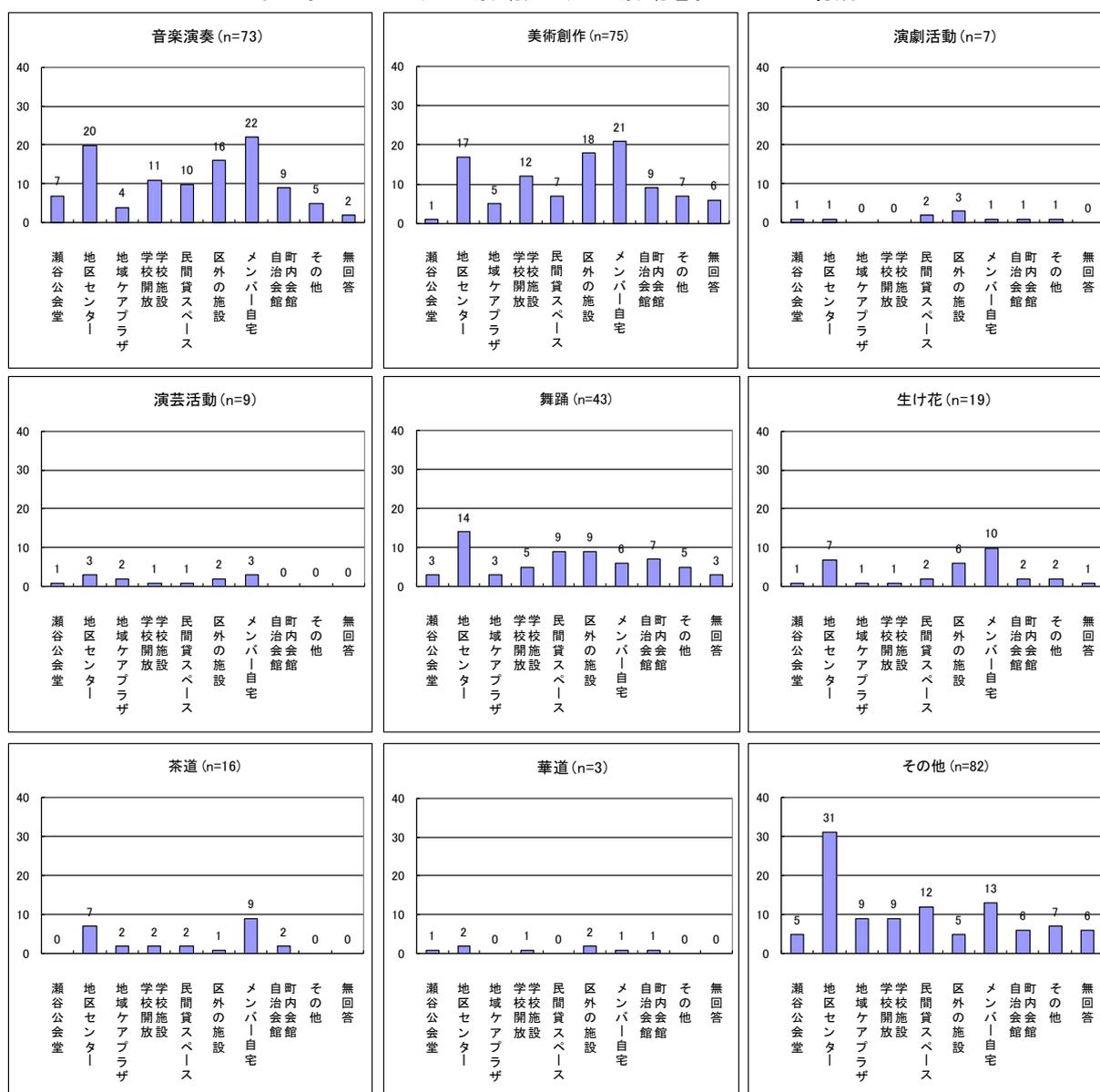
図 文化活動を行っている場所(複数回答)



■ 行っている文化活動別 文化活動を行っている場所(問7×問6)

- ・「音楽演奏」では「メンバー自宅」が22人で最も多く、次いで「地区センター」(20人)となっている。
- ・「美術創作」では「メンバー自宅」が21人で最も多く、次いで「区外の施設」(18人)、「地区センター」(17人)となっている。
- ・「演劇活動」はサンプル数が少なく、最も多いのは「区外の施設」(3人)で、以下は分散している。
- ・「演芸活動」はサンプル数が少なく、最も多いのは「メンバー自宅」「地区センター」(共に3人)である。
- ・「舞踊」は「地区センター」の14人が最も多くなっている。
- ・「生け花」は「メンバー自宅」が10人で最も多く、次いで「地区センター」(7人)となっている。
- ・「茶道」は「メンバー自宅」が9人で最も多く、次いで「地区センター」(7人)となっている。
- ・「華道」はサンプル数が少なく、「区外の施設」「地区センター」がそれぞれ2人である。
- ・「その他」では「地区センター」が31人で最も多い。
- ・「メンバー自宅」を除けば、ジャンルを問わず地区センターの有用度が高いことが分かる。

図 行っている文化活動別 文化活動を行っている場所



■ 年齢別 文化活動を行っている場所(問7×F2)

- 10代では「学校施設(学校開放)」が圧倒的に多く挙げられている。20代から50代までの世代では「メンバー自宅」、60代、70歳以上では「地区センター」が最も多く、世代間で活動場所の違いがみられた。また、20代で「民間貸スペース」、30代で「その他」、70歳以上で「町内会館・自治会館」の数値が高くなっている。

図 年齢別 文化活動を行っている場所

問7 文化活動の活動場所(複数回答)

		全体	瀬谷公会堂	地区センター	地域ケアプラザ	学校施設(学校開放)	民間貸スペース	区外(旭区や大和市などの施設)	メンバー自宅	町内会館・自治会館	その他	無回答
全体		283	18	82	22	32	37	51	76	30	24	16
		—	6.4	29.0	7.8	11.3	13.1	18.0	26.9	10.6	8.5	5.7
F2 年齢	15～19歳	12	8.3	8.3	0.0	66.7	8.3	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0
	20～29歳	7	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3	57.1	0.0	0.0	14.3
	30～39歳	25	0.0	16.0	4.0	12.0	4.0	8.0	52.0	0.0	20.0	0.0
	40～49歳	35	2.9	5.7	0.0	0.0	17.1	14.3	31.4	2.9	14.3	11.4
	50～59歳	45	2.2	17.8	2.2	4.4	17.8	24.4	42.2	4.4	8.9	2.2
	60～69歳	73	12.3	41.1	15.1	15.1	16.4	20.5	16.4	13.7	6.8	1.4
	70歳以上	84	7.1	41.7	10.7	8.3	8.3	16.7	19.0	20.2	4.8	10.7
	無回答	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

■ 連合自治会別 文化活動を行っている場所(問7×F2)

- サンプル数がやや少ないが、「阿久和北部連合自治会」では「民間貸スペース」「区外(旭区や大和市など)の施設」が同率、「阿久和南部連合自治会」「三ツ境連合自治会」「瀬谷第一地区連合町内会」では「地区センター」と「メンバー自宅」が同率、「本郷地区連合自治会」「瀬谷北部町内連合会」「瀬谷第二地区連合自治会」「瀬谷第四地区連合自治会」「相沢町内連合会」では「地区センター」、「細谷戸連合町内会」は「町内会館・自治会館」、「南瀬谷自治連合会」は「メンバー自宅」、「宮沢連合自治会」は「学校施設(学校開放)」がそれぞれ最も多くなっている。また、「瀬谷北部町内連合会」では「瀬谷公会堂」、「本郷地区連合自治会」では「地域ケアプラザ」、「宮沢連合自治会」は「その他」がそれぞれ他地区よりも高い数値となっている。

図 連合自治会別 文化活動を行っている場所

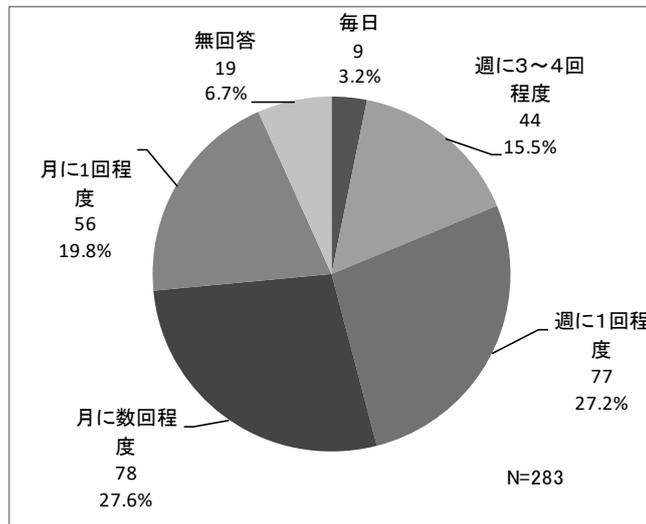
問7 文化活動の活動場所(複数回答)

		全体	瀬谷公会堂	地区センター	地域ケアプラザ	学校施設(学校開放)	民間貸スペース	区外(旭区や大和市などの施設)	メンバー自宅	町内会館・自治会館	その他	無回答
全体		283	18	82	22	32	37	51	76	30	24	16
		—	6.4	29.0	7.8	11.3	13.1	18.0	26.9	10.6	8.5	5.7
F3 自治会	阿久和北部連合自治会	11	0.0	9.1	0.0	0.0	27.3	27.3	18.2	18.2	9.1	0.0
	阿久和南部連合自治会	29	3.4	31.0	6.9	3.4	6.9	27.6	31.0	13.8	6.9	3.4
	三ツ境連合自治会	26	7.7	30.8	7.7	11.5	11.5	19.2	30.8	0.0	0.0	3.8
	瀬谷第一地区連合町内会	16	0.0	31.3	12.5	6.3	12.5	12.5	31.3	6.3	6.3	12.5
	本郷地区連合自治会	21	0.0	33.3	19.0	19.0	14.3	23.8	28.6	4.8	9.5	0.0
	瀬谷北部町内連合会	19	15.8	31.6	10.5	5.3	15.8	15.8	10.5	15.8	10.5	10.5
	瀬谷第二地区連合自治会	51	9.8	29.4	5.9	15.7	11.8	15.7	25.5	7.8	11.8	7.8
	細谷戸連合町内会	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0
	瀬谷第四地区連合自治会	23	13.0	30.4	0.0	8.7	21.7	17.4	21.7	17.4	4.3	0.0
	南瀬谷自治連合会	20	0.0	25.0	5.0	15.0	15.0	15.0	40.0	20.0	5.0	5.0
	宮沢連合自治会	19	5.3	15.8	15.8	31.6	5.3	10.5	26.3	5.3	21.1	0.0
	相沢町内連合会	40	7.5	35.0	7.5	7.5	15.0	20.0	27.5	7.5	10.0	10.0
	無回答	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0

問8 その活動はどのくらいの頻度で行っていますか。

- ・ 「月に数回程度」が 27.6%、「週に 1 回程度」が 27.2%でほぼ並び、半数強の人が週1～2回程度の頻度で活動している。次いで「月に 1 回程度」(19.8%)、「週に3～4回程度」(15.5%)、「毎日」(3.2%)と続く。

図 文化活動の頻度



■ 年齢別 文化活動の頻度(問7×F2)

- ・ 10代は「週に3～4回程度」、20代はこれと「毎日」が同率となっており、若い世代ほど活動頻度が高い傾向にある。30代は「月に1回程度」、40代、70歳以上では「月に数回程度」、50代、60代は「週に1回程度」が最も多い。

図 年齢別 文化活動の頻度

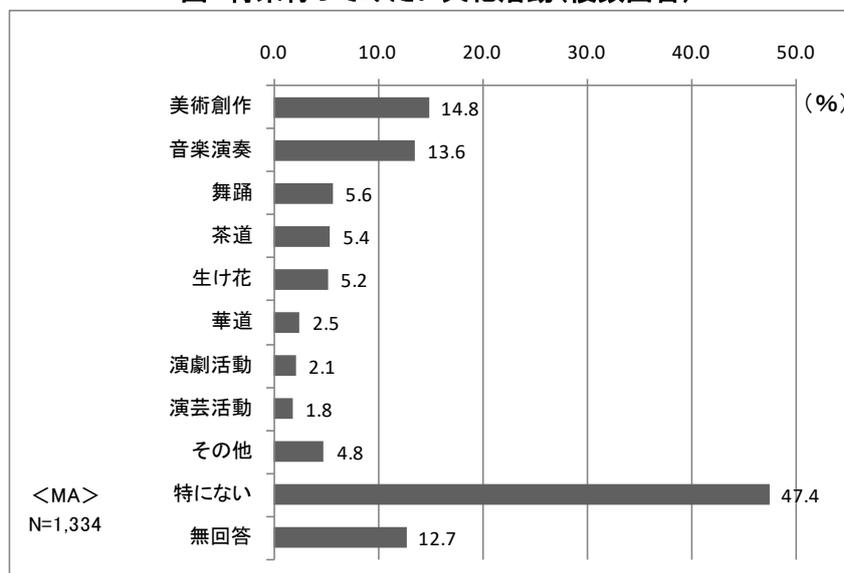
問8 文化活動の頻度

		全体	毎日	週に3～4回程度	週に1回程度	月に数回程度	月に1回程度	無回答
全体		283	9	44	77	78	56	19
		100.0	3.2	15.5	27.2	27.6	19.8	6.7
F2 年齢	15～19歳	12	16.7	50.0	25.0	0.0	8.3	0.0
	20～29歳	7	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0
	30～39歳	25	0.0	8.0	20.0	20.0	40.0	12.0
	40～49歳	35	0.0	5.7	22.9	37.1	28.6	5.7
	50～59歳	45	4.4	6.7	35.6	31.1	20.0	2.2
	60～69歳	73	2.7	17.8	34.2	24.7	16.4	4.1
	70歳以上	84	1.2	17.9	22.6	31.0	15.5	11.9
	無回答	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

問9 あなたは、将来どんな文化活動を行なってみたいですか。

- 「特にない」が 47.4%と、文化活動に興味がない人が半数近くにのぼる。最も多かったのは「美術創作」の14.8%で、次いで「音楽演奏」が13.6%とほぼ並ぶ。以下「舞踊」(5.6%)、「茶道」(5.4%)、「生け花」(5.2%)、「その他」(4.8%)、「華道」(2.5%)、「演劇活動」(2.1%)、「演芸活動」(1.8%)の順となっており、現在行われている活動で上位項目にあったものがこちらでも上位に来ている。

図 将来行ってみたい文化活動(複数回答)



■ 年齢別 将来行ってみたい文化活動(問7×F2)

- いずれも「特にない」が最も多くなっているが、その次に多い項目としては、10代、30代、40代で「音楽活動」、20代と50代以上の世代では「美術創作」が多くなっている。

図 年齢別 将来行ってみたい文化活動

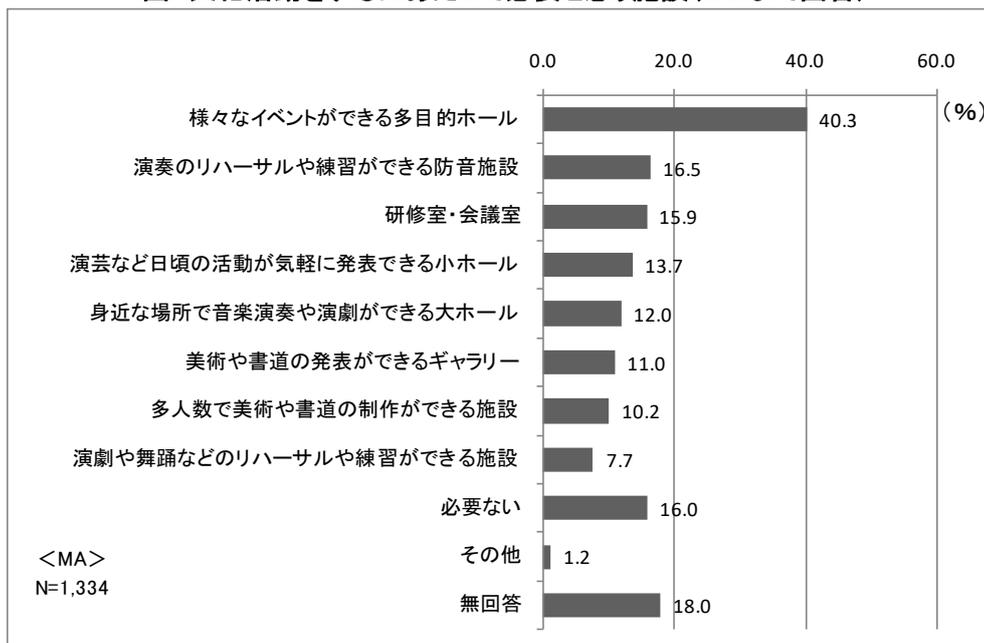
問9 将来行ってみたい文化活動(複数回答)

		全体	音楽演奏	美術創作	演劇活動	演芸活動	舞踊	生け花	茶道	華道	その他	特にない	無回答
全体		1,334	181	198	28	24	75	69	72	33	64	632	169
		—	13.6	14.8	2.1	1.8	5.6	5.2	5.4	2.5	4.8	47.4	12.7
F2 年齢	15～19歳	51	27.5	15.7	5.9	0.0	5.9	5.9	5.9	3.9	2.0	49.0	3.9
	20～29歳	95	22.1	23.2	3.2	2.1	8.4	8.4	15.8	8.4	3.2	44.2	3.2
	30～39歳	200	19.0	18.5	2.0	1.5	6.5	8.0	8.0	2.0	6.0	45.5	4.0
	40～49歳	202	19.8	15.8	4.0	2.0	5.9	5.4	7.9	4.0	5.0	43.6	8.9
	50～59歳	217	12.4	19.4	0.9	2.3	8.3	5.5	4.6	1.8	2.8	46.5	8.3
	60～69歳	291	9.6	12.0	1.7	1.7	5.2	4.1	2.4	1.7	6.9	47.4	17.2
	70歳以上	261	4.6	7.7	1.1	1.5	2.3	2.3	1.9	0.8	4.6	54.4	23.8
	無回答	17	5.9	11.8	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	29.4	47.1

問10 文化活動をするにあたってどのような施設が必要と思いますか。

- 「様々なイベントができる多目的ホール」が 40.3%と目立って多くなっており、4割の人が用途を限定しないホールの需要を挙げている。次に「演奏のリハーサルや練習ができる防音施設」が 16.5%、次いで「必要ない」が 16.0%と僅差で続いている。以下「研修室・会議室」(15.9%)、「演芸など日頃の活動が気軽に発表できる小ホール」(13.7%)、「身近な場所で音楽演奏や演劇ができる大ホール」(12.0%)、「美術や書道の発表ができるギャラリー」(11.0%)、「多人数で美術や書道の制作ができる施設」(10.2%)、「演劇や舞踊などのリハーサルや練習ができる施設」(7.7%)、「その他」(1.2%)の順となっている。

図 文化活動をするにあたって必要と思う施設(3つまで回答)



■ 年齢別 文化活動をするにあたって必要と思う施設(問10×F2)

- いずれも「様々なイベントができる多目的ホール」が最も多く、10代ではこれと「演奏のリハーサルや練習ができる防音施設」が同率となっており、世代を問わず用途を限定しない多目的ホールの必要性が挙がっている。10代ではこれ以外に「身近な場所で音楽演奏や演劇ができる大ホール」「演劇や舞踊などのリハーサルや練習ができる施設」、20代では「美術や書道の発表ができるギャラリー」の数値が高くなっている。

図 年齢別 文化活動をするにあたって必要と思う施設

問10 文化活動をするにあたって必要と思う施設 (3つまで回答)

	全体	身近な場所 で音楽 演奏や演 劇ができ る大ホー ル	演芸など 日頃の活 動が気軽 に発表で きる小ホ ール	様々なイ ベントが できる多 目的ホー ル	美術や書 道の発表 ができる ギャラ リー	多人数で 美術や書 道の制作 ができる 施設	演奏のリ ハーサル や練習が できる防 音施設	演劇や舞 踊などの リハーサ ルや練習 ができる 施設	研修室・ 会議室	必要ない	その他	無回答
全体	1,334	160	183	537	147	136	220	103	212	213	16	240
	-	12.0	13.7	40.3	11.0	10.2	16.5	7.7	15.9	16.0	1.2	18.0
F2												
年齢	15～19歳	51	29.4	17.6	35.3	5.9	35.3	19.6	7.8	15.7	2.0	5.9
	20～29歳	95	17.9	15.8	53.7	21.1	12.6	24.2	5.3	17.9	14.7	0.0
	30～39歳	200	15.5	11.5	51.0	11.0	14.0	22.0	10.0	17.5	16.0	1.0
	40～49歳	202	9.4	18.8	47.5	14.4	9.9	17.8	9.4	14.4	18.3	2.0
	50～59歳	217	16.6	15.2	46.5	12.4	10.6	21.7	8.8	23.0	12.9	0.9
	60～69歳	291	8.2	13.4	35.1	8.6	8.9	10.7	6.9	15.1	16.2	1.4
	70歳以上	261	6.5	9.6	23.8	7.7	8.8	8.0	3.4	12.3	16.9	1.1
	無回答	17	5.9	5.9	29.4	5.9	5.9	0.0	5.9	5.9	17.6	0.0

■ 連合自治会別 文化活動をするにあたって必要と思う施設(問10×F2)

- ・ いずれも「様々なイベントができる多目的ホール」が最も多くなっており、顕著な地域差はみられなかった。

図 連合自治会別 文化活動をするにあたって必要と思う施設

問10 文化活動をするにあたって必要と思う施設（3つまで回答）

		全体	身近な場所 で音楽演奏や演劇 ができる大ホール	演芸など 日頃の活動が気軽 に発表できる小 ホール	様々なイ ベントが できる多 目的のホ ール	美術や書 道の発表 ができる ギャラリー	多人数で 美術や書 道の制作 ができる 施設	演奏のリ ハーサル や練習が できる防 音施設	演劇や舞 踊などの リハーサ ルや練習 ができる 施設	研修室・ 会議室	必要ない	その他	無回答
全体		1,334	160	183	537	147	136	220	103	212	213	16	240
F3		-	12.0	13.7	40.3	11.0	10.2	16.5	7.7	15.9	16.0	1.2	18.0
自治会	阿久和北部連合自治会	75	14.7	12.0	45.3	5.3	14.7	12.0	8.0	12.0	16.0	0.0	16.0
	阿久和南部連合自治会	142	9.9	11.3	40.1	9.9	7.0	20.4	9.9	12.0	15.5	2.1	19.7
	三ツ境連合自治会	103	13.6	14.6	46.6	12.6	8.7	19.4	6.8	19.4	10.7	1.9	16.5
	瀬谷第一地区連合町内会	65	16.9	10.8	40.0	18.5	16.9	15.4	3.1	18.5	16.9	0.0	12.3
	本郷地区連合自治会	93	8.6	8.6	37.6	9.7	8.6	10.8	10.8	9.7	20.4	0.0	17.2
	瀬谷北部町内連合会	103	7.8	13.6	37.9	10.7	8.7	11.7	5.8	17.5	23.3	1.0	15.5
	瀬谷第二地区連合自治会	237	13.5	17.7	41.8	12.2	7.2	16.5	9.3	16.9	14.3	1.3	16.9
	細谷戸連合町内会	36	5.6	11.1	33.3	2.8	2.8	25.0	5.6	13.9	16.7	0.0	33.3
	瀬谷第四地区連合自治会	117	10.3	12.0	38.5	6.8	9.4	17.9	7.7	23.1	18.8	1.7	17.1
	南瀬谷自治連合会	70	14.3	18.6	32.9	8.6	14.3	15.7	5.7	14.3	15.7	1.4	20.0
	宮沢連合自治会	100	16.0	12.0	40.0	16.0	13.0	18.0	5.0	15.0	17.0	1.0	22.0
	相沢町内連合会	169	11.8	15.4	42.6	13.0	14.2	17.8	8.9	16.0	11.8	1.8	15.4
無回答	24	8.3	12.5	29.2	8.3	8.3	8.3	4.2	12.5	16.7	0.0	37.5	

■ 行っている文化活動別 文化活動をするにあたって必要と思う施設(問10×問6)

- ・ 「音楽演奏」「演芸活動」では、「演奏の練習ができる防音施設」を必要とする意見が最も多く、他の文化活動では、「イベント可能な多目的ホール」が最も多い。
- ・ 「美術創作」では、「イベント可能な多目的ホール」と並んで「発表ができるギャラリー」も多い。
- ・ 「何もしていない」人でも、「必要ない」よりも「イベント可能な多目的ホール」の方が多い。
- ・ 「生け花」「茶道」「華道」「何もしていない」など静的な活動では「研修室・会議室」の割合が比較的上位に位置している。

図 行っている文化活動別 文化活動をするにあたって必要と思う施設

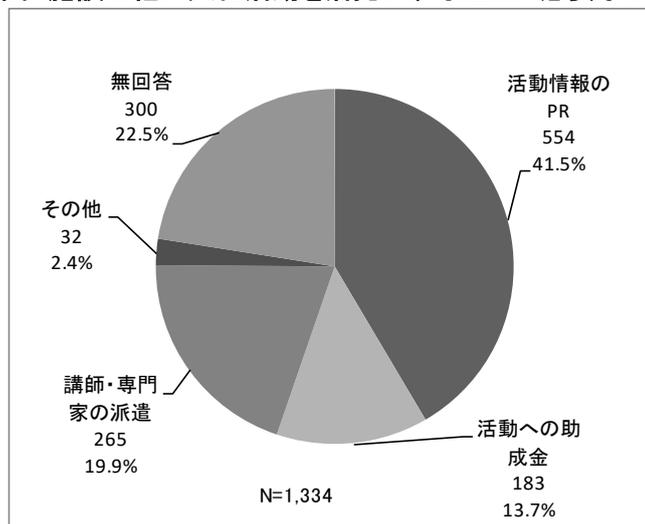
問10 文化活動をするにあたって必要と思う施設（複数回答）

		全体	身近な場所 で音楽演奏や演劇 ができる大ホール	演芸など 日頃の活動が気軽 に発表できる小 ホール	様々なイ ベントが できる多 目的のホ ール	美術や書 道の発表 ができる ギャラリー	多人数で 美術や書 道の制作 ができる 施設	演奏のリ ハーサル や練習が できる防 音施設	演劇や舞 踊などの リハーサ ルや練習 ができる 施設	研修室・ 会議室	必要ない	その他	無回答
全体		1,373	170	191	559	158	145	231	115	222	215	16	244
		-	12.4	13.9	40.7	11.5	10.6	16.8	8.4	16.2	15.7	1.2	17.8
問6 行っている 文化活動 (複数回答)	音楽演奏	73	28.8	27.4	42.5	13.7	6.8	53.4	6.8	13.7	6.8	1.4	6.8
	美術創作	75	12.0	14.7	33.3	33.3	30.7	10.7	13.3	21.3	6.7	1.3	13.3
	演劇活動	7	14.3	28.6	85.7	14.3	0.0	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0
	演芸活動	9	11.1	22.2	22.2	11.1	0.0	44.4	22.2	11.1	33.3	0.0	0.0
	舞踊	43	27.9	25.6	53.5	14.0	9.3	14.0	51.2	11.6	9.3	0.0	2.3
	生け花	19	5.3	5.3	57.9	5.3	21.1	15.8	15.8	21.1	0.0	0.0	26.3
	茶道	19	12.5	18.8	50.0	12.5	18.8	25.0	6.3	18.8	0.0	0.0	25.0
	華道	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	その他	82	15.9	15.9	41.5	19.5	14.6	17.1	7.3	20.7	11.0	1.2	8.5
	何もしていない	872	11.2	13.5	42.3	10.1	9.6	15.6	6.7	16.3	19.8	1.3	14.1
無回答	179	6.7	5.6	26.8	4.5	5.6	7.8	2.8	12.8	8.9	1.1	49.2	

問11 施設(場の提供)の他に文化活動を活発にするためには特に何が必要だと思いますか。

- ・ 「活動情報の PR」が 41.5%と全体の4割強を占め、最も多くなっている。次いで「講師・専門家の派遣」が 19.9%と、全体のほぼ2割である。「活動への助成金」は 13.7%、「その他」が 2.4%となっている。

図 施設の他に文化活動を活発にするために必要なこと



■ 年齢別 施設の他に文化活動を活発にするために必要なこと(問11×F2)

- ・ どの世代も「活動情報の PR」を最も多く挙げており、世代による差はみられなかった。

図 年齢別 施設の他に文化活動を活発にするために必要なこと

問11 施設の他に文化活動を活発にするために必要なもの

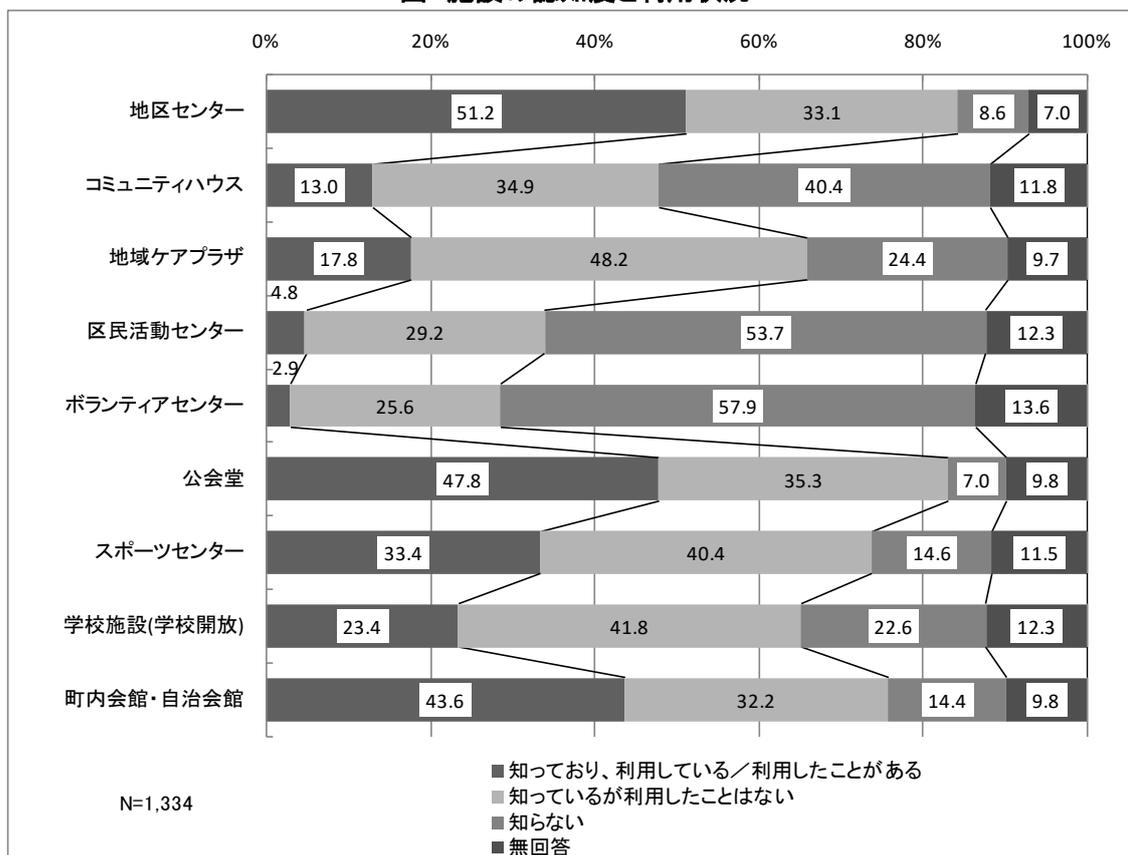
		全体	活動情報の PR	活動への助成金	講師・専門家の派遣	その他	無回答
全 体		1,334	554	183	265	32	300
		100.0	41.5	13.7	19.9	2.4	22.5
F 2 年齢	15～19歳	51	58.8	19.6	13.7	2.0	5.9
	20～29歳	95	48.4	14.7	25.3	4.2	7.4
	30～39歳	200	46.0	15.0	25.0	4.5	9.5
	40～49歳	202	48.0	12.9	23.8	4.0	11.4
	50～59歳	217	45.6	13.4	23.5	0.5	17.1
	60～69歳	291	38.8	13.1	17.5	1.4	29.2
	70歳以上	261	29.1	12.3	11.9	1.5	45.2
無回答	17	5.9	23.5	17.6	5.9	47.1	

4. 瀬谷区の区民利用施設について

問12 次の瀬谷区内の施設について、各項目ごとに右欄の認知と利用状況を1つ選んで○をつけてください。

- ・ 「地区センター」「公会堂」「町内会館・自治会館」では「知っており、利用している／利用したことがある」がそれぞれ 51.2%、47.8%、43.6%で最も多く、利用率が高くなっている。
- ・ 「地域ケアプラザ」「学校施設(学校開放)」「スポーツセンター」では「知っているが利用したことがない」がそれぞれ 48.2%、41.8%、40.4%で最も高く、利用率は低いが認知度は高くなっている。
- ・ 「ボランティアセンター」「区民活動センター」「コミュニティハウス」は「知らない」がそれぞれ 57.9%、53.7%、40.4%で最も多くなっており、認知度が低い。
- ・ 特に認知度が高いのは「地区センター」と「公会堂」で、「知っており、利用している／利用したことがある」「知っているが利用したことがない」を合わせると8割を超えている。
- ・ 特に認知度が低いのは「ボランティアセンター」「区民活動センター」で、半数以上が知らないとしている。

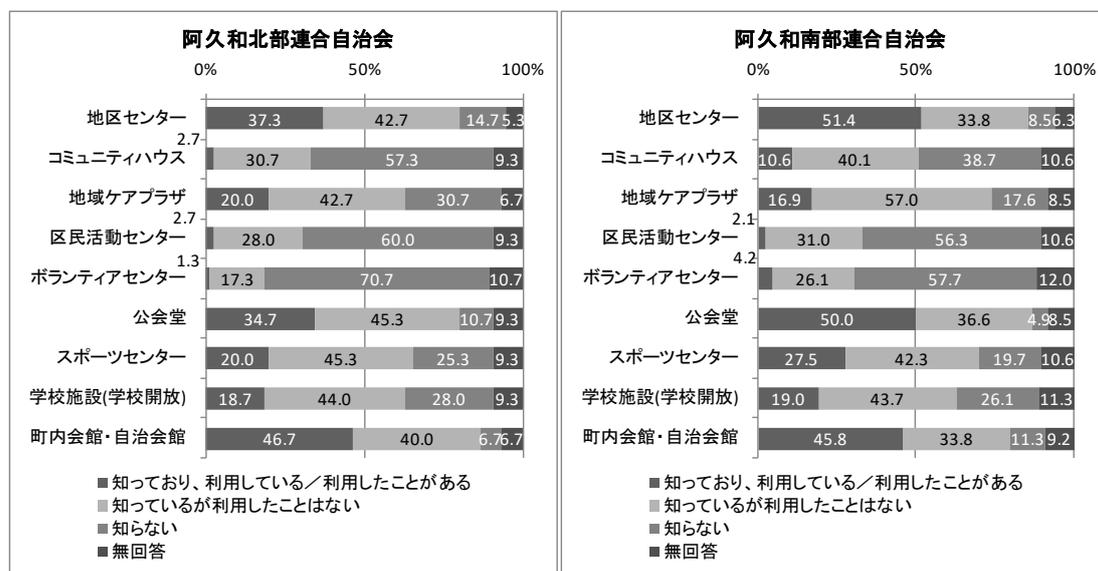
図 施設の認知度と利用状況

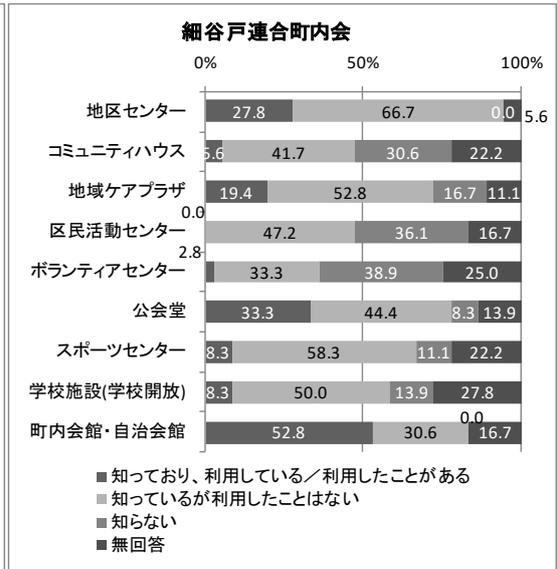
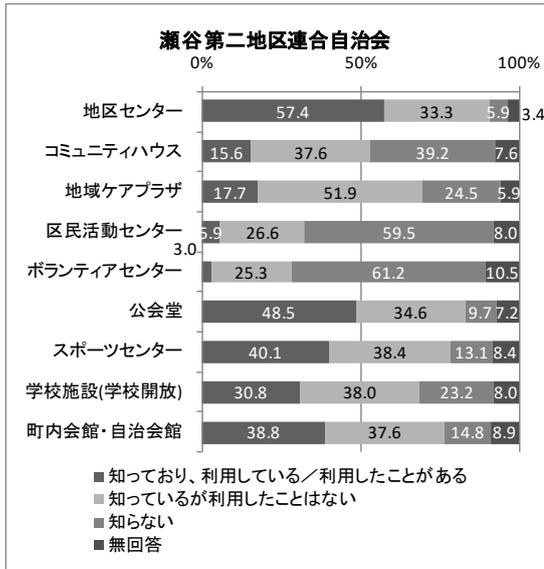
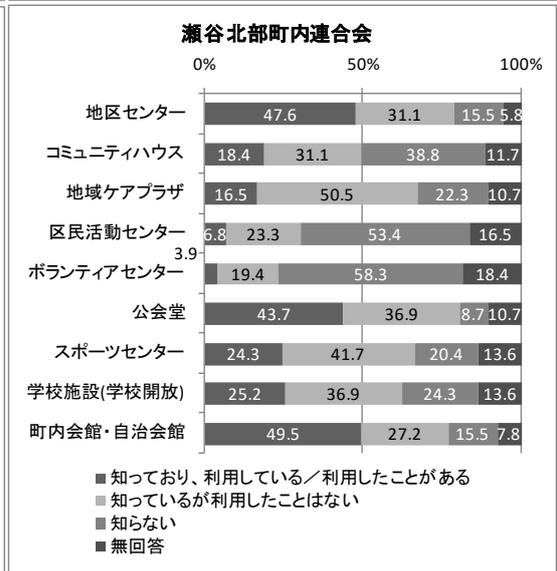
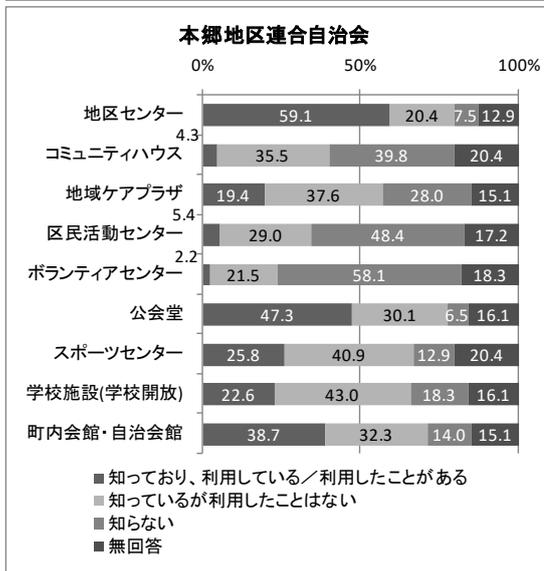
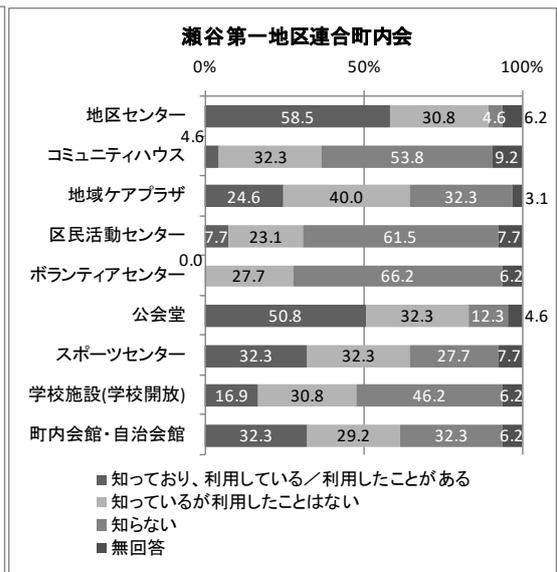
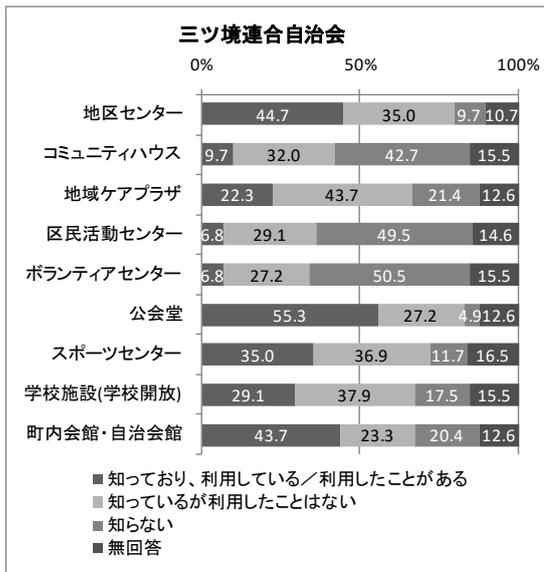


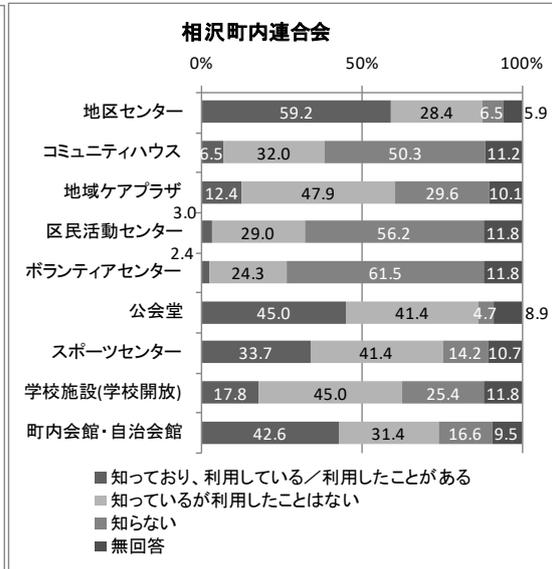
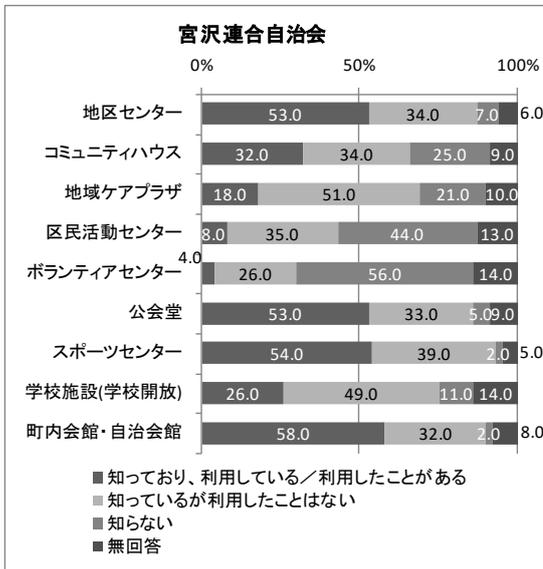
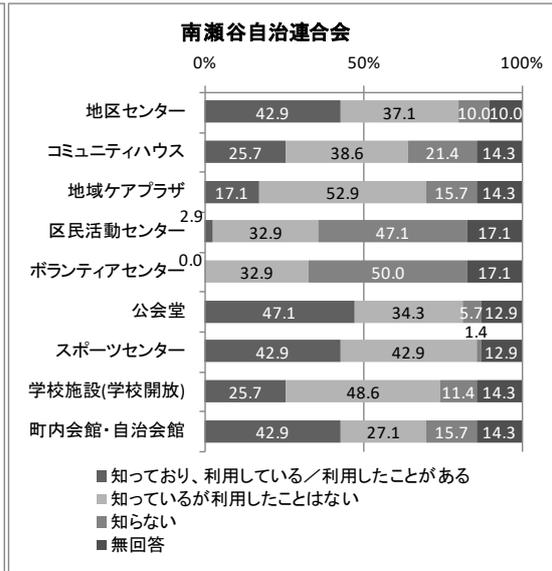
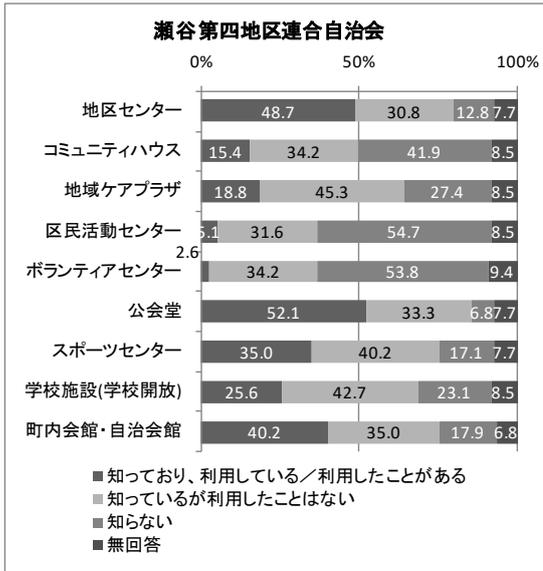
■ 連合自治会ごとにみた施設の認知度と利用状況

- ・「阿久和北部連合自治会」では、「地域ケアプラザ」「町内会館・自治会館」を除いて施設の利用率が全区に比べて低く、「地区センター」の利用率や「コミュニティハウス」「ボランティアセンター」の認知度が低くなっている。
- ・「阿久和南部連合自治会」では、比較的全区と似通った傾向となっている。「地域ケアプラザ」の認知度はやや高い。
- ・「三ツ境連合自治会」では、「公会堂」の利用率がやや高くなっている。「町内会館・自治会館」の認知度がやや低い。
- ・「瀬谷第一地区連合町内会」では、「コミュニティハウス」「スポーツセンター」「学校施設(学校開放)」「町内会館・自治会館」の認知度が低く、特に「学校施設(学校開放)」は区の数値を大きく下回る。
- ・「本郷地区連合自治会」では「地区センター」「地域ケアプラザ」の「知っているが利用したことはない」が低くなっている。
- ・「瀬谷北部町内連合会」では、「スポーツセンター」の利用率がやや低いが、全区と類似した傾向を示している。
- ・「瀬谷第二地区連合自治会」では、「学校施設(学校開放)」の利用率が多少高いが、全区と類似した傾向を示している。
- ・「細谷戸連合町内会」では、「地域ケアプラザ」「町内会館・自治会館」を除いて施設の利用率が低く、特に「地区センター」「スポーツセンター」の利用率が著しく低い。なお「地区センター」については認知度は高くなっている。「区民活動センター」「ボランティアセンター」の利用率は低いが認知度は高い。
- ・「瀬谷第四地区連合自治会」では、全区の傾向と近いが「ボランティアセンター」の「知っているが利用したことはない」がやや高くなっている。
- ・「南瀬谷自治連合会」では、「コミュニティハウス」「スポーツセンター」の利用率が高くなっている。「学校施設(学校開放)」の認知度も高い。
- ・「宮沢連合自治会」では、「コミュニティハウス」「スポーツセンター」「町内会館・自治会館」の利用率が高い。「区民活動センター」や「学校施設(学校開放)」の認知度も高くなっている。
- ・「相沢町内連合会」では、「地区センター」の利用率がやや高く、「コミュニティハウス」の認知度が低くなっている。

図 連合自治会ごとにみた施設の認知度と利用状況







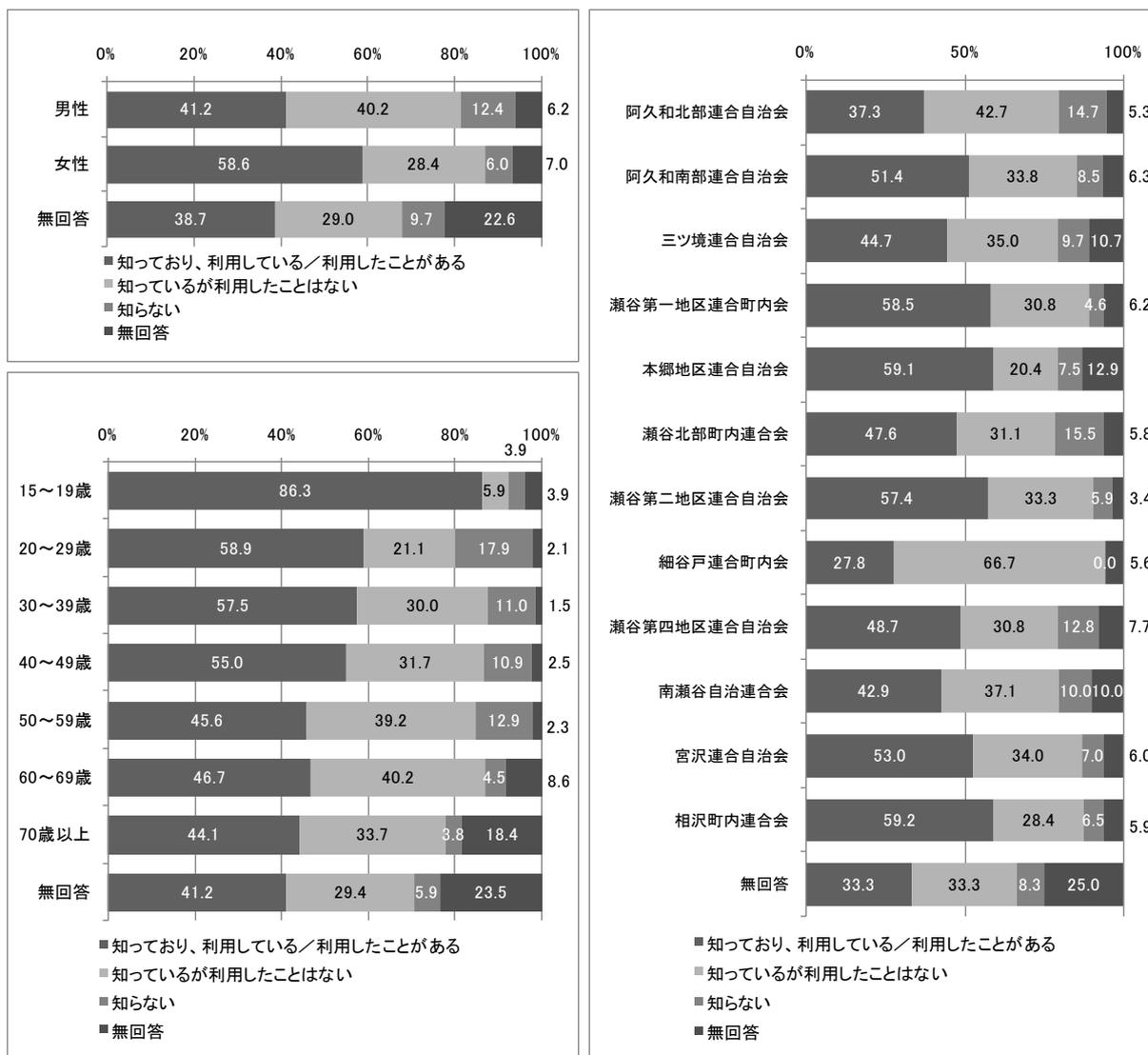
■ 男女・年齢・連合自治会別 施設の認知度と利用状況(問12×F1, 2, 8)

① 地区センター

- ・ 男女別では、男性は「知っており、利用している／利用したことがある」「知っているが利用したことはない」がほぼ拮抗している。女性は「知っており、利用している／利用したことがある」が最も多く男性を17.7ポイント上回っており、女性の認知度・利用率が高い。
- ・ 年齢別では、いずれも「知っており、利用している／利用したことがある」が最も多く、特に10代の利用率の高さが際立っている。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和北部連合自治会」「細谷戸連合町内会」では「知っているが利用したことはない」、それ以外は「知っており、利用している／利用したことがある」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合町内会別 施設の認知度と利用状況

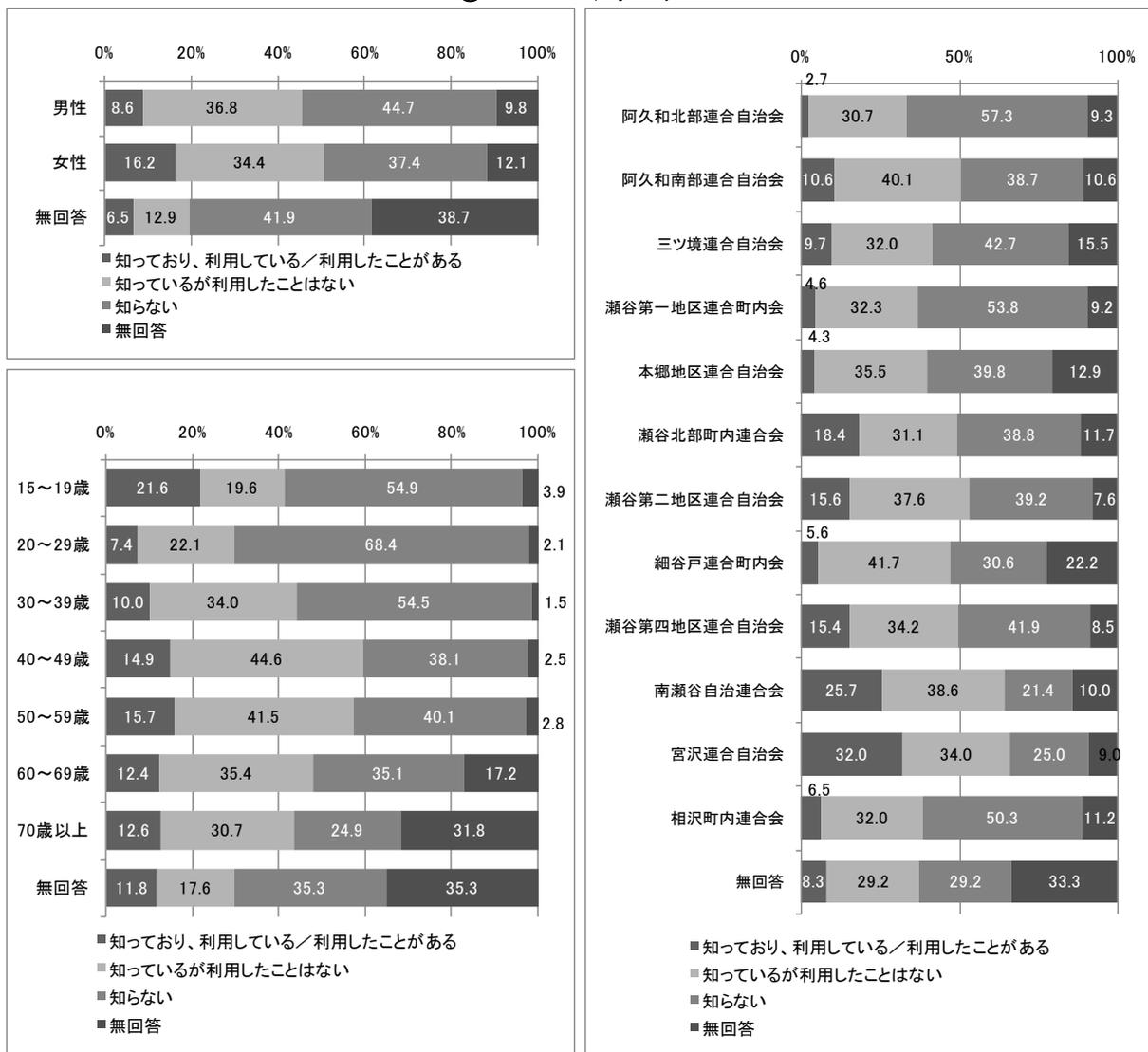
① 地区センター



② コミュニティハウス

- 男女とも「知らない」が最も多くなっている。女性は男性より「知っており、利用している／利用したことがある」が7.6ポイント上回っている。
- 年齢別では、10代から30代までは「知らない」、40代以上の世代では「知っているが利用したことはない」が最も多くなっている。また、10代で「知っており、利用している／利用したことがある」がやや高くなっている。
- 連合自治会別では、「阿久和南部連合自治会」「細谷戸連合町内会」「南瀬谷自治連合会」「宮沢連合自治会」では「知っているが利用したことはない」、それ以外は「知らない」が最も多くなっている。特に「阿久和北部連合自治会」では「知らない」が6割近く、認知度が低い。逆に「南瀬谷自治連合会」「宮沢連合自治会」では「知っており、利用している／利用したことがある」の数値が高くなっている。

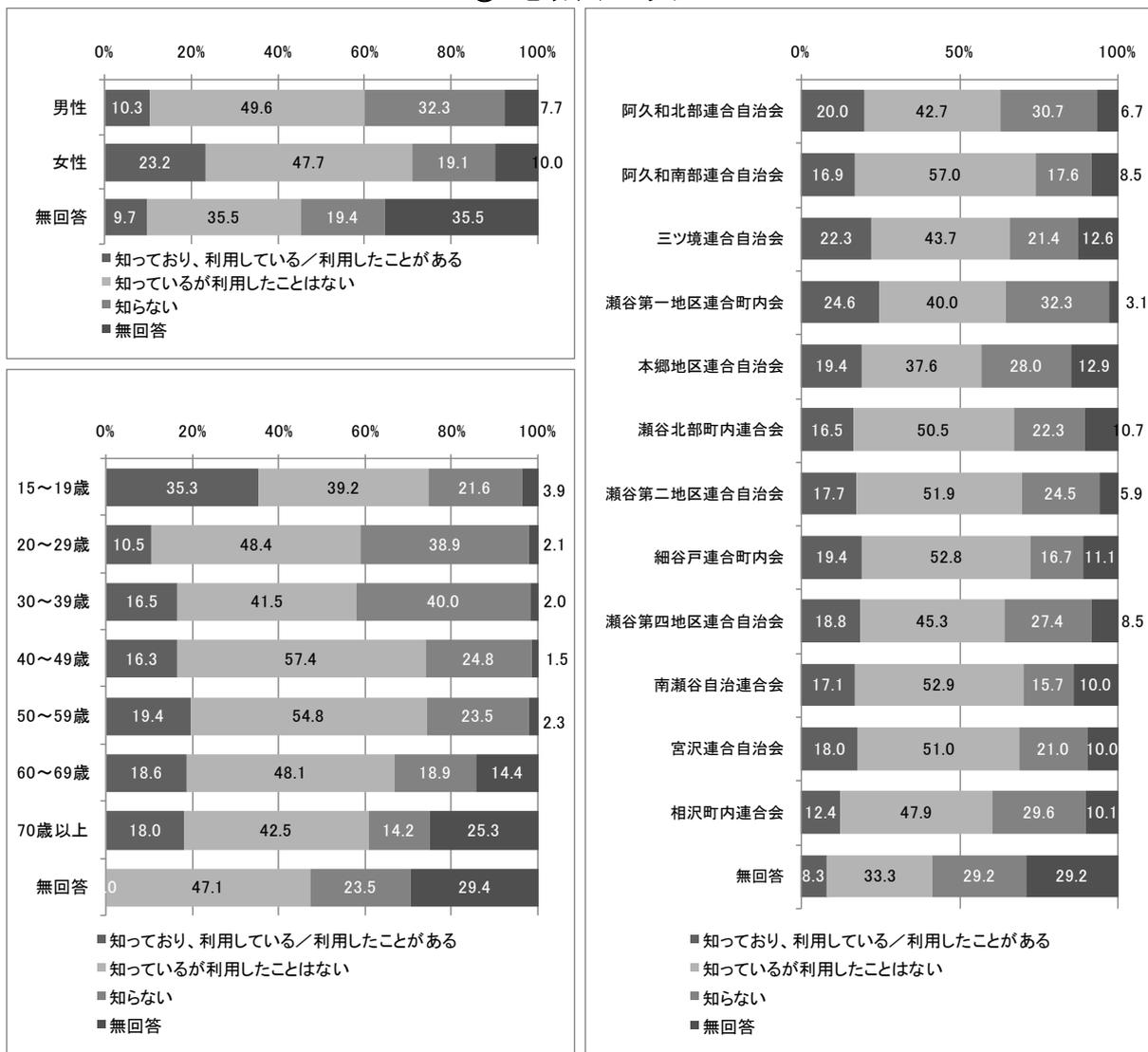
図 男女・年齢・連合町内会別 施設の認知度と利用状況
② コミュニティハウス



③ 地域ケアプラザ

- ・ 男女とも「知っているが利用したことはない」が最も多くなっている。女性は男性より「知っており、利用している／利用したことがある」が 12.9 ポイント上回っている。男性は女性より「知らない」が 13.2 ポイント高い。
- ・ 年齢別では、いずれの世代も「知っているが利用したことはない」が最も多くなっている。また、10代で「知っており、利用している／利用したことがある」の数値が目立って高く、10代での利用率が高くなっている。20代、30代では「知らない」が他に比べて高い。
- ・ 連合自治会別では、いずれの地区も「知っているが利用したことはない」が最も多くなっており、利用状況に地域差がみられない。これは、地域ケアプラザが誰にも必要な施設であるという特性と、送迎があることが要因と考えられる。

図 男女・年齢・連合町内会別 施設の認知度と利用状況
③ 地域ケアプラザ

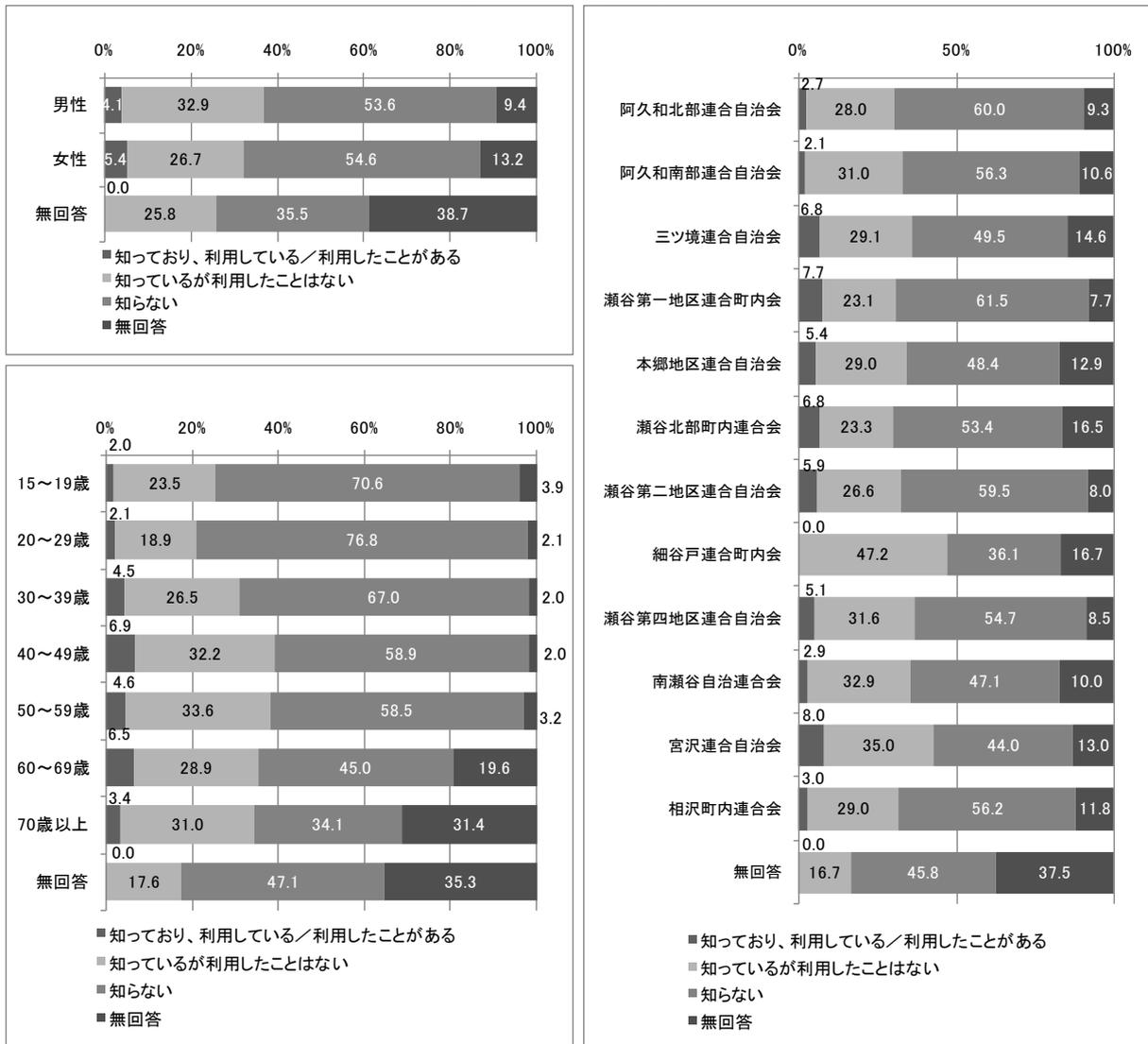


④ 区民活動センター

- ・ 男女とも「知らない」が最も多くなっており、男性は女性より「知っているが利用したことはない」が 6.2 ポイント高いものの、顕著な男女差は見られなかった。
- ・ 年齢別では、いずれの世代も「知らない」が最も多く、特に若い世代での認知度が低い。
- ・ 連合自治会別では、「細谷戸連合町内会」で「知っているが利用したことはない」が最も多くなっているのを除き、いずれの地区も「知らない」が最も多くなっている。特に「阿久和北部連合自治会」では「知らない」が6割となっている。

図 男女・年齢・連合町内会別 施設の認知度と利用状況

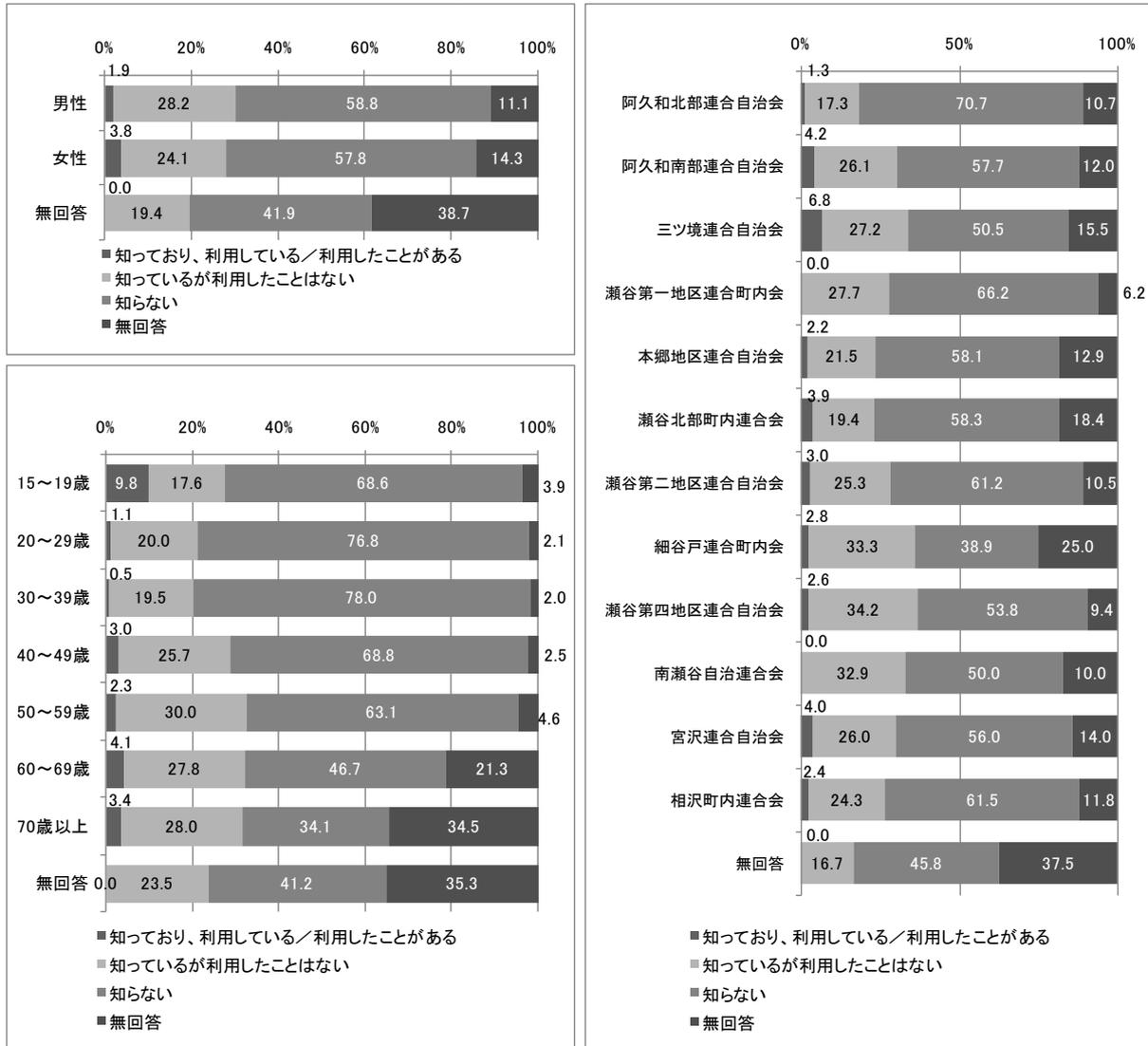
④ 区民活動センター



⑤ ボランティアセンター

- ・ 男女とも「知らない」が最も多くなっており、6割近くを占め、顕著な男女差は見られなかった。
- ・ 年齢別では、いずれの世代も「知らない」が最も多く、特に若い世代での認知度が低い。
- ・ 連合自治会別では、いずれの地区も「知らない」が最も多くなっている。特に「阿久和北部連合自治会」では「知らない」が7割に達している。一方「細谷戸連合町内会」では「知らない」の数値が低い。

図 男女・年齢・連合町内会別 施設の認知度と利用状況
⑤ ボランティアセンター

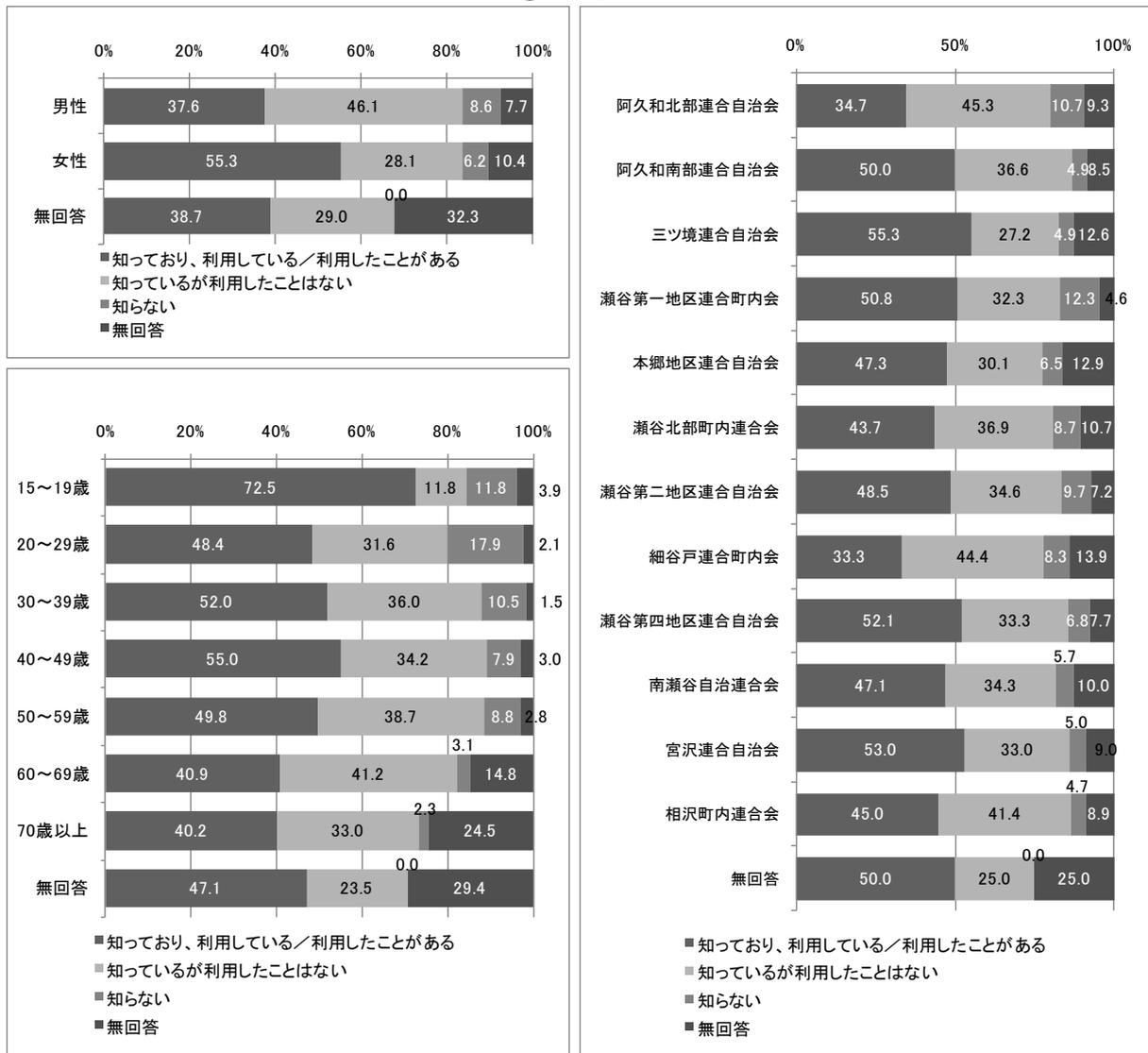


⑥公会堂

- ・ 男性は「知っているが利用したことはない」、女性は「知っており、利用している／利用したことがある」が最も多くなっており、男女で傾向が分かれた。
- ・ 年齢別では、60代のみ「知っているが利用したことはない」、それ以外はいずれの世代も「知っており、利用している／利用したことがある」が最も多く、特に10代での利用率の高さが顕著である。
- ・ 連合自治会別では、「阿久和北部連合自治会」と「細谷戸連合町内会」では「知っているが利用したことはない」、それ以外の地域はいずれも「知っており、利用している／利用したことがある」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・連合町内会別 施設の認知度と利用状況

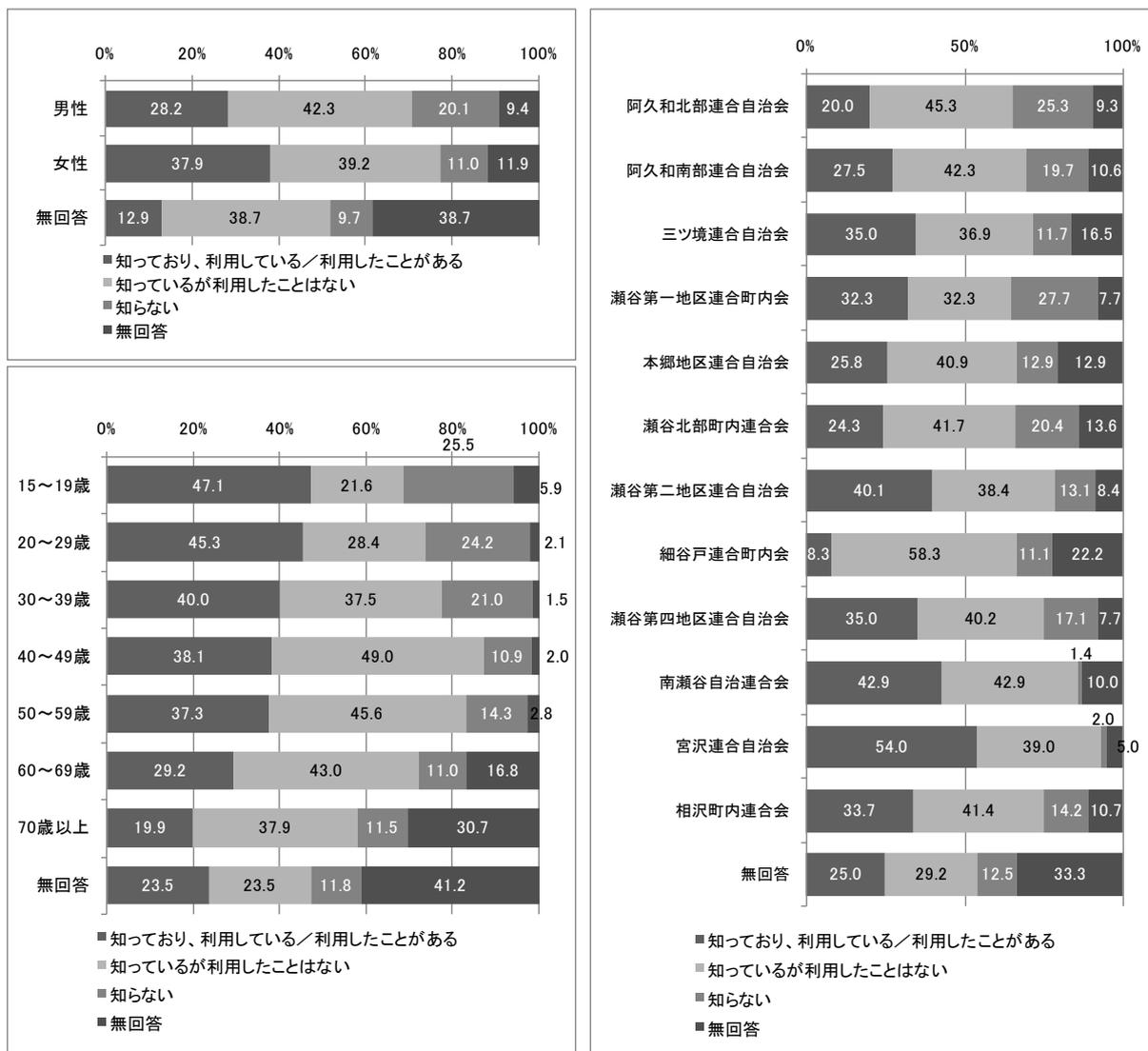
⑥ 公会堂



⑦スポーツセンター

- 男女とも「知っているが利用したことはない」が最も多くなっている。ただし、女性は男性より「知っており、利用している／利用したことがある」が 9.7 ポイント高く、利用率が高いのに対し、男性は女性より「知らない」が 9.1 ポイント高くなっている。
- 年齢別では、10代から30代までの世代では「知っており、利用している／利用したことがある」、40代以上の世代では「知っているが利用したことはない」が最も多く、若い世代ほど利用率が高い。しかし10代、20代では「知らない」の数値も他に比べて高くなっている。
- 連合自治会別では、「瀬谷第二地区連合自治会」「宮沢連合自治会」では「知っており、利用している／利用したことがある」、「瀬谷第一地区連合町内会」「南瀬谷自治連合会」ではこれと「知っているが利用したことはない」が同率になっている以外は「知っているが利用したことはない」が最も多くなっている。特に「宮沢連合自治会」では利用率が高く、「阿久和北部連合自治会」「瀬谷第一地区連合町内会」では「知らない」の数値が他地区に比べて高くなっている。また「細谷戸連合町内会」では、認知度は高いが利用率は低い。

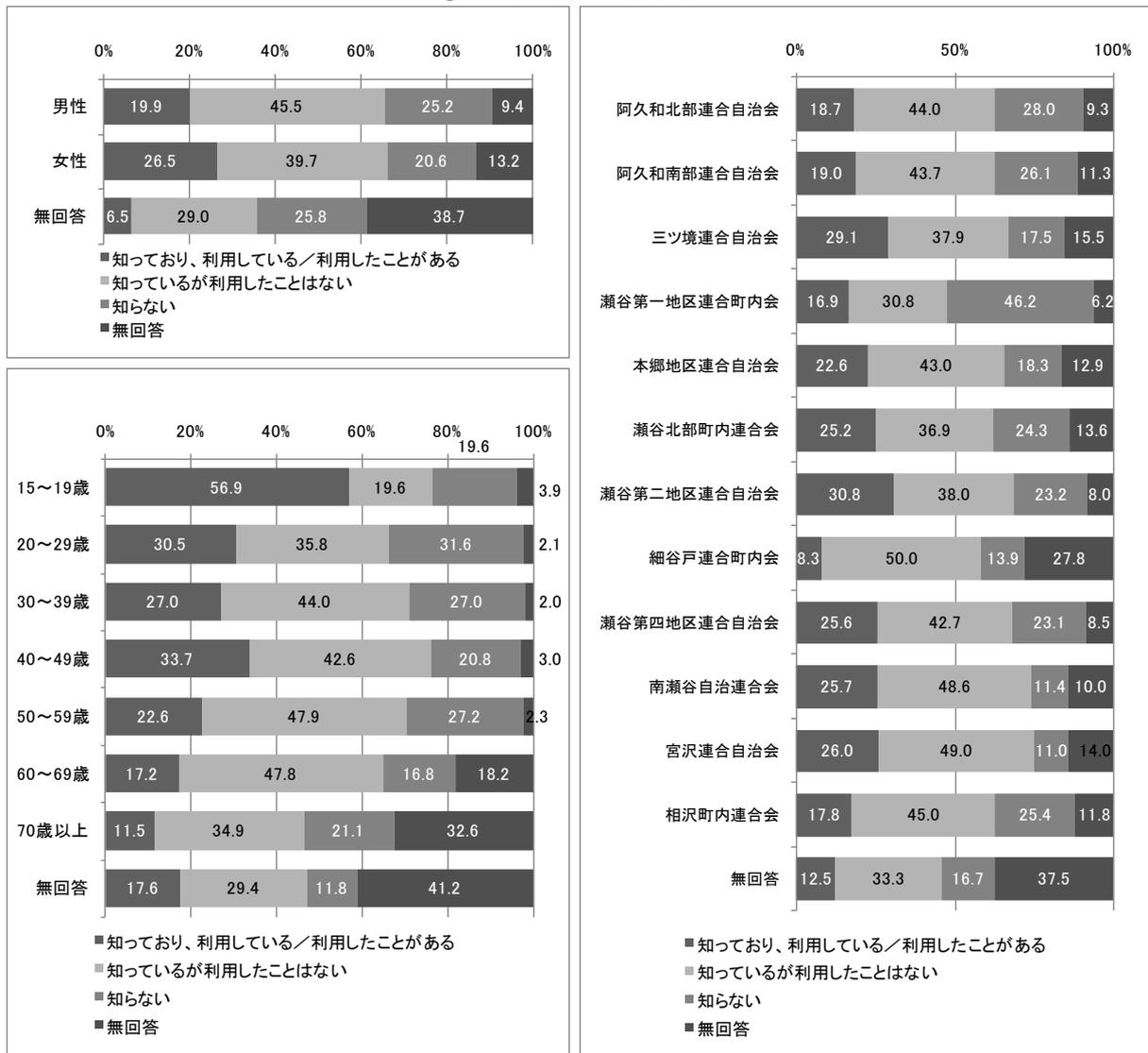
図 男女・年齢・連合町内会別 施設の認知度と利用状況
⑦ スポーツセンター



⑧学校施設(学校開放)

- ・ 男女とも「知っているが利用したことはない」が最も多くなっている。女性は男性より「知っており、利用している／利用したことがある」が6.6ポイント高い。
- ・ 年齢別では、10代で「知っており、利用している／利用したことがある」、20代以上の世代では「知っているが利用したことはない」が最も多くなっており、10代の利用率が特徴的に高い。
- ・ 連合自治会別では、「瀬谷第一地区連合町内会」のみ「知らない」、それ以外の地区では「知っているが利用したことはない」が最も多くなっている。また「細谷戸連合町内会」では、認知度は高いが利用率は低い。

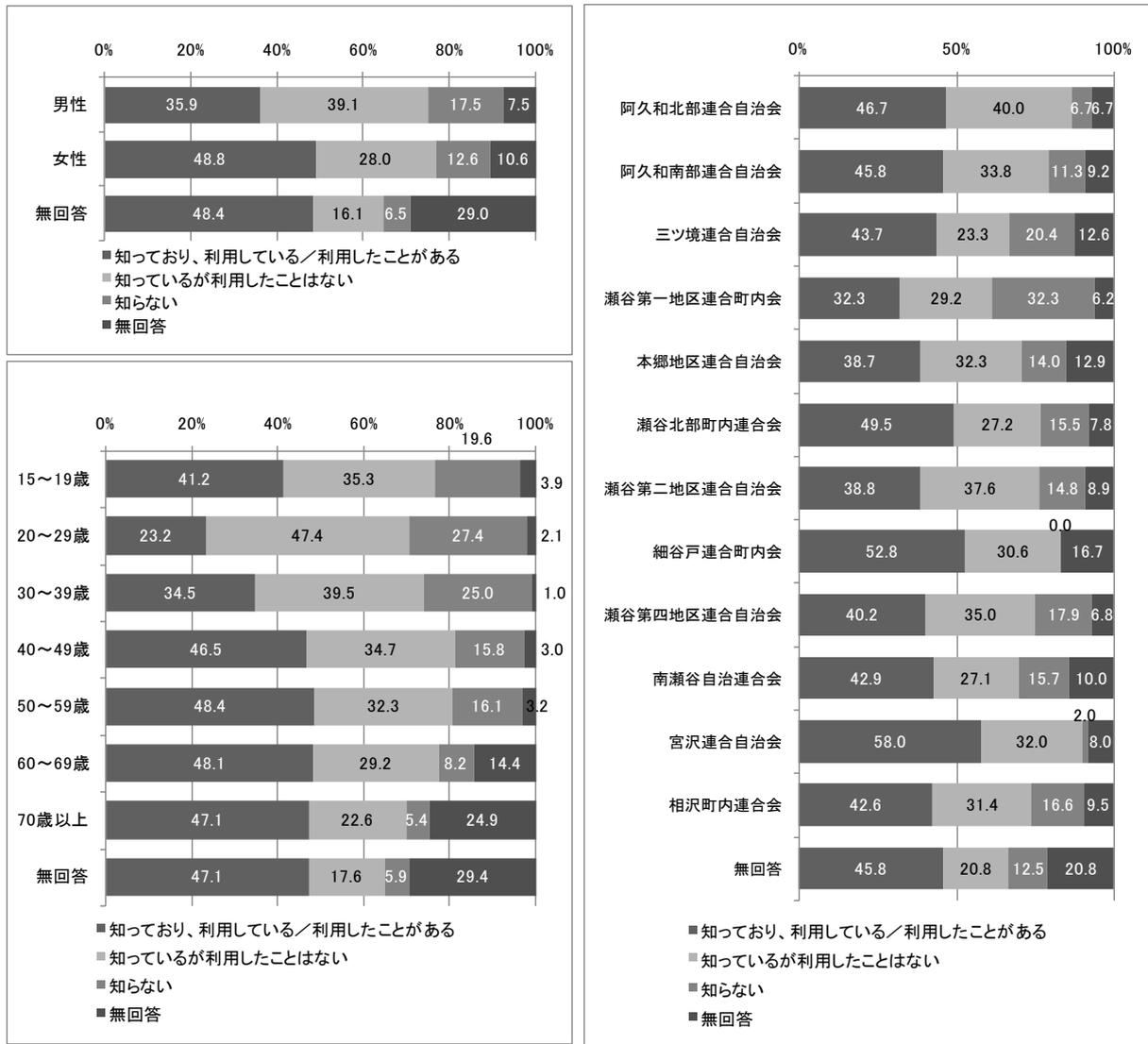
図 男女・年齢・連合町内会別 施設の認知度と利用状況
⑧ 学校施設(学校開放)



⑨町内会館・自治会館

- ・ 男性は「知っているが利用したことはない」、女性は「知っており、利用している／利用したことがある」が最も多くなっており、男女で傾向が分かれた。
- ・ 年齢別では、20代、30代で「知っているが利用したことはない」、10代と40代以上の世代では「知っており、利用している／利用したことがある」が最も多くなっている。特に20代の利用率が低い。
- ・ 連合自治会別では、いずれも「知っており、利用している／利用したことがある」が最も多くなっているが、「瀬谷第一地区連合町内会」では「知らない」も同率となっている。また「宮沢連合自治会」での利用率が高い。

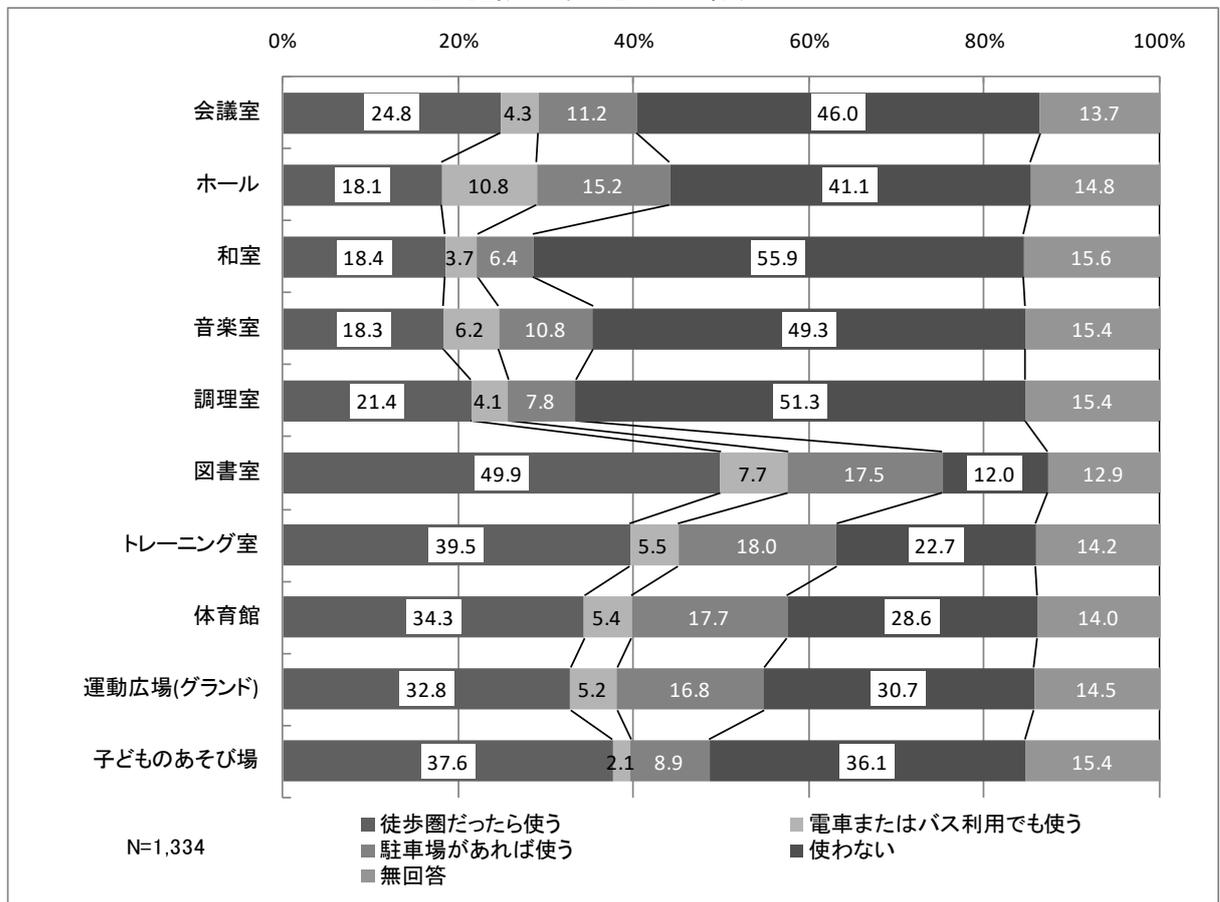
図 男女・年齢・連合町内会別 施設の認知度と利用状況
⑨ 町内会館・自治会館



問13 あなたの日頃の活動で次に挙げる施設を利用する場合、どこにあったら使いますか。

- ・「徒歩圏だったら使う」が最も多くなっているのは「図書室」(49.9%)、「トレーニング室」(39.5%)、「体育館」(34.3%)、「運動広場(グラウンド)」(32.8%)、「子どものあそび場」(37.6%)で、中でも図書室は「徒歩圏だったら使う」が突出しており半数の人が挙げているほか、「使わない」が特に低くなっている。
- ・「使わない」が最も多くなっているのは「会議室」(46.0%)、「ホール」(41.1%)、「和室」(55.9%)、「音楽室」(49.3%)、「調理室」(51.3%)で、特に「和室」「調理室」については半数超が「使わない」としている。
- ・「電車またはバス利用でも使う」「駐車場があれば使う」が最も多くなっている項目はなかったが、「使わない」が最も多かった項目のうち「ホール」については「電車またはバス利用でも使う」「駐車場があれば使う」を合わせると2割強の人が利用するとしている。また、「徒歩圏だったら使う」が最も多い項目のうち「子どものあそび場」以外の項目についても、「電車またはバス利用でも使う」と「駐車場があれば使う」を合わせると2割を超えている。

図 施設があったらよい場所

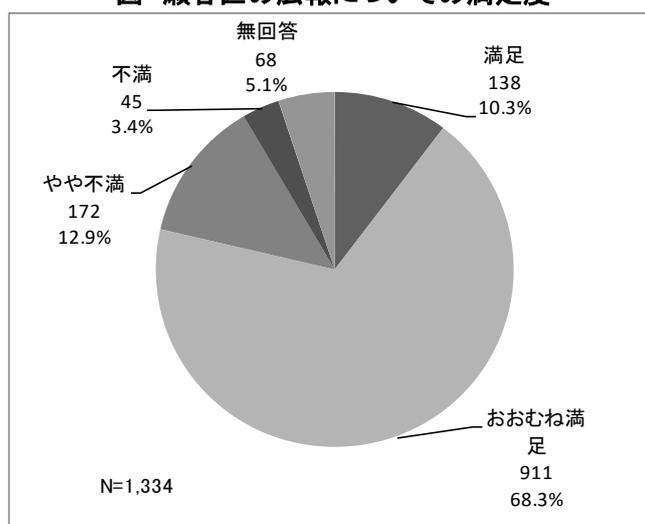


5. 広報紙について

問14 瀬谷区の広報には広報紙、ホームページ、チラシなど様々なものがありますが、全体的に瀬谷区の広報についてどのように感じていますか。

- 「おおむね満足」が最も多く68.3%で、全体の7割弱を占める。次いで「やや不満」が12.9%、「満足」が10.3%、「不満」が3.4%の順となっている。「満足」「おおむね満足」を合わせると78.6%で、全体の8割弱がある程度満足している。

図 瀬谷区の広報についての満足度



■ 年齢別 瀬谷区の広報についての満足度(問14×F2)

- いずれも「おおむね満足」が最も多くなっており、高い年齢層で満足度が高い傾向にある。「満足」が最も少ないのは10代、最も多いのは70歳以上である。なお「満足」「おおむね満足」を合わせると、10代、30代でやや満足度が低くなっている。

図 年齢別 瀬谷区の広報についての満足度

問14 瀬谷区の広報についての満足度

		全体	満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		1,334	138	911	172	45	68
		100.0	10.3	68.3	12.9	3.4	5.1
F 2 年齢	15～19歳	51	2.0	66.7	15.7	9.8	5.9
	20～29歳	95	11.6	60.0	13.7	7.4	7.4
	30～39歳	200	7.0	61.0	20.5	6.0	5.5
	40～49歳	202	5.9	67.3	18.8	4.5	3.5
	50～59歳	217	5.5	77.9	11.5	2.3	2.8
	60～69歳	291	10.3	70.4	11.0	2.1	6.2
	70歳以上	261	20.3	69.3	5.0	0.4	5.0
	無回答	17	29.4	41.2	11.8	0.0	17.6

■ 連合自治会別 瀬谷区の広報についての満足度(問14×F3)

- ・ いずれも「おおむね満足」が最も多くなっている。「細谷戸連合町内会」では「満足」の数値が他に比べて突出して高くなっている。

図 連合自治会別 瀬谷区の広報についての満足度

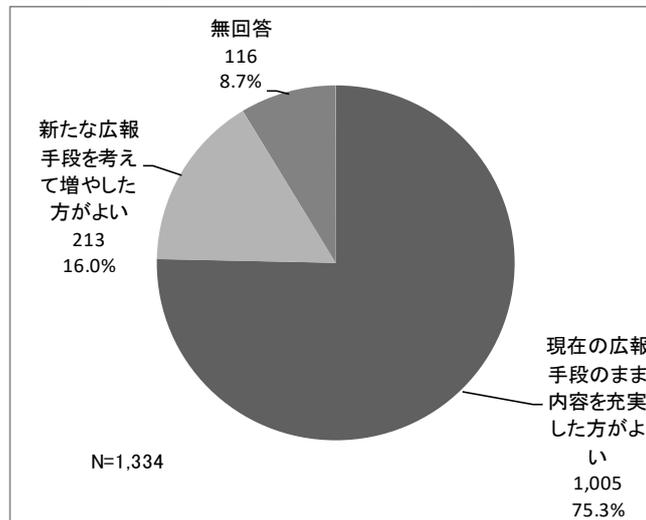
問14 瀬谷区の広報についての満足度

		全体	満足	おおむね満足	やや不満	不満	無回答
全 体		1,334	138	911	172	45	68
全体		100.0	10.3	68.3	12.9	3.4	5.1
F 3 自治会	阿久和北部連合自治会	75	9.3	70.7	9.3	4.0	6.7
	阿久和南部連合自治会	142	12.0	66.2	14.8	2.1	4.9
	三ツ境連合自治会	103	7.8	68.9	13.6	1.0	8.7
	瀬谷第一地区連合町内会	65	7.7	66.2	16.9	4.6	4.6
	本郷地区連合自治会	93	8.6	71.0	9.7	3.2	7.5
	瀬谷北部町内連合会	103	9.7	68.0	11.7	2.9	7.8
	瀬谷第二地区連合自治会	237	8.4	69.6	13.5	4.6	3.8
	細谷戸連合町内会	36	27.8	61.1	8.3	2.8	0.0
	瀬谷第四地区連合自治会	117	11.1	68.4	13.7	4.3	2.6
	南瀬谷自治連合会	70	5.7	77.1	12.9	1.4	2.9
	宮沢連合自治会	100	14.0	66.0	15.0	2.0	3.0
	相沢町内連合会	169	10.1	68.6	11.2	4.7	5.3
	無回答	24	20.8	45.8	16.7	4.2	12.5

問15 今後の瀬谷区の広報のあり方についてどのようにお考えですか。

- ・ 「現在の広報手段のまま内容を充実した方がよい」が 75.3%で、全体の4分の3を占める。「新たな広報手段を考えて増やした方がよい」は 16.0%に留まっている。

図 今後の瀬谷区の広報のあり方について



■ 年齢別 今後の瀬谷区の広報のあり方について(問15×F2)

- ・ いずれも「現在の広報手段のまま内容を充実した方がよい」の方が多くっており、年齢層が高いほどその傾向も強いが、10代、20代では「新たな広報手段を考えて増やした方がよい」の数値がそれ以上の世代に比べて高くなっている。

図 年齢別 今後の瀬谷区の広報のあり方について

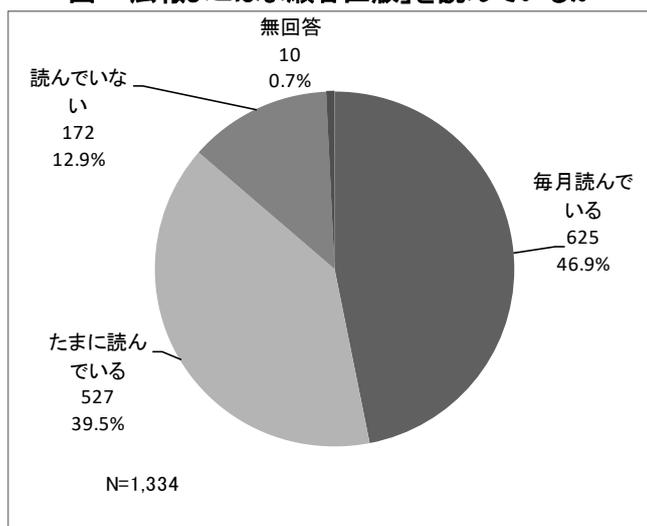
問15 今後の瀬谷区の広報のあり方について

		全体	現在の広報手段のまま内容を充実した方がよい	新たな広報手段を考えて増やした方がよい	無回答
全体		1,334	1,005	213	116
		100.0	75.3	16.0	8.7
F2 年齢	15～19歳	51	64.7	25.5	9.8
	20～29歳	95	69.5	25.3	5.3
	30～39歳	200	71.0	22.5	6.5
	40～49歳	202	74.8	20.3	5.0
	50～59歳	217	78.8	14.7	6.5
	60～69歳	291	77.3	11.3	11.3
	70歳以上	261	78.5	9.2	12.3
	無回答	17	70.6	5.9	23.5

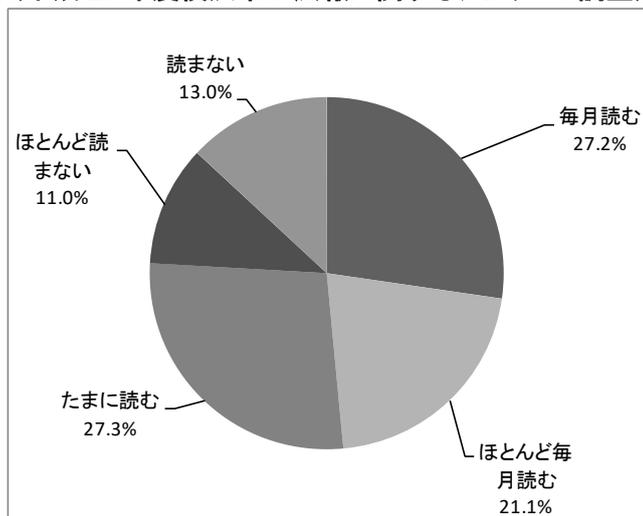
問16 あなたは「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいますか。

- ・ 「毎月読んでいる」が 46.9%で最も多く、全体の半数弱に達している。次いで「たまに読んでいる」が 39.5%で、これらを合わせると全体の9割弱が広報よこはま瀬谷区版にある程度は目を通してしている。「読んでいない」は 12.9%で1割程度である。
- ・ なお、選択肢は多少異なるが、平成 21 年度横浜市 of 広報に関するアンケート調査と比較すると、「広報よこはま」は、「毎月読む」(27.2%)、「ほとんど毎月読む」(21.1%)、「たまに読む」(27.3%)を合わせると、読んでいるのは 75.6%となっており、これをみると全市に比べて瀬谷区版は読んでいる人の割合が高くなっている。特に「毎月読んでいる」割合は全市の数値を 20 ポイント近く上回っている。

図 「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいるか



**図 「広報よこはま」を読む頻度
(平成 21 年度横浜市 of 広報に関するアンケート調査)**



■ 年齢別「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいるか(問16×F2)

- ・ 10代では「読んでいない」が最も多く、20代から50代まででは「たまに読んでいる」、60代と70歳以上では「毎月読んでいる」が最も多くなっており、若年層ほど読んでいる率が低くなっている。

図 年齢別「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいるか

問16 「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいますか

		全体	毎月読んでいる	たまに読んでいる	読んでいない	無回答
全体		1,334	625	527	172	10
		100.0	46.9	39.5	12.9	0.7
F 2 年齢	15～19歳	51	9.8	27.5	62.7	0.0
	20～29歳	95	14.7	43.2	40.0	2.1
	30～39歳	200	38.0	45.0	16.5	0.5
	40～49歳	202	40.6	47.5	11.4	0.5
	50～59歳	217	40.6	48.4	11.1	0.0
	60～69歳	291	59.8	34.0	5.2	1.0
	70歳以上	261	69.3	28.0	1.9	0.8
	無回答	17	29.4	52.9	11.8	5.9

■ 連合自治会別「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいるか(問16×F3)

- ・ 「瀬谷第一地区連合町内会」と「瀬谷第二地区連合自治会」では「たまに読んでいる」、それ以外の地区では「毎月読んでいる」が最も多くなっている。特に「細谷戸連合町内会」「宮沢連合自治会」では「毎月読んでいる」の数値が高くなっている。

図 連合自治会別「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいるか

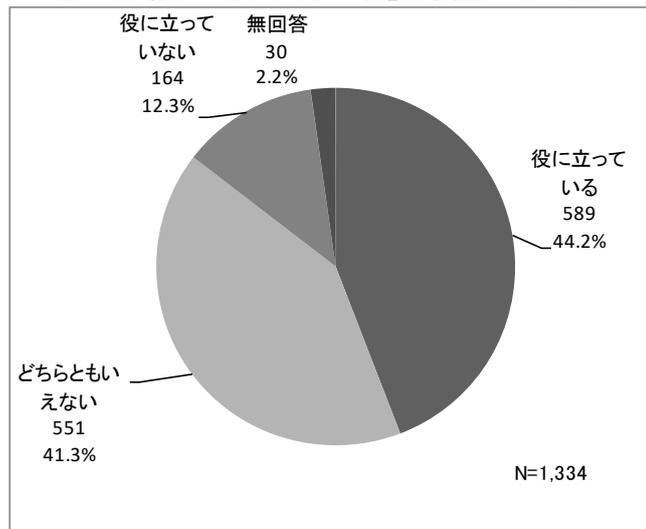
問16 「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいますか

		全体	毎月読んでいる	たまに読んでいる	読んでいない	無回答
全体		1,334	625	527	172	10
		100.0	46.9	39.5	12.9	0.7
F 3 自治会	阿久和北部連合自治会	75	41.3	40.0	18.7	0.0
	阿久和南部連合自治会	142	43.7	40.1	14.8	1.4
	三ツ境連合自治会	103	55.3	30.1	11.7	2.9
	瀬谷第一地区連合町内会	65	43.1	50.8	4.6	1.5
	本郷地区連合自治会	93	47.3	43.0	9.7	0.0
	瀬谷北部町内連合会	103	49.5	36.9	11.7	1.9
	瀬谷第二地区連合自治会	237	40.1	41.4	18.1	0.4
	細谷戸連合町内会	36	63.9	30.6	5.6	0.0
	瀬谷第四地区連合自治会	117	45.3	41.9	12.8	0.0
	南瀬谷自治連合会	70	50.0	37.1	12.9	0.0
	宮沢連合自治会	100	60.0	29.0	11.0	0.0
	相沢町内連合会	169	44.4	43.8	11.2	0.6
	無回答	24	45.8	45.8	8.3	0.0

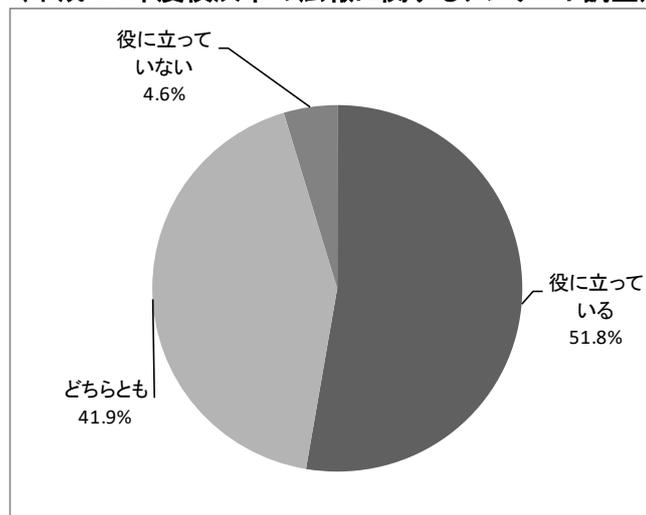
問17 「広報よこはま瀬谷区版」はあなたの役に立っていますか。

- ・ 「役に立っている」が 44.2%で最も多いが、次いで「どちらともいえない」は 41.3%で、この2つが拮抗している。「役に立っていない」は 12.3%で1割程度である。
- ・ 平成 21 年度横浜市の広報に関するアンケート調査では、「広報よこはま」が「役に立っている」とする割合が 51.8%で最も高く、次に「どちらともいえない」が 41.9%、「役に立っていない」は 4.6%となっている。瀬谷区は全市に比べて「役に立っている」が 7.6 ポイント低く、「役に立っていない」は 7.7 ポイント高くなっており、役立っている割合は全市に比べて低くなっている。

図 「広報よこはま瀬谷区版」は役に立っているか



**図 「広報よこはま」の情報は生活に役に立っているか
(平成 21 年度横浜市の広報に関するアンケート調査)**



■ 年齢別「広報よこはま瀬谷区版」は役立っているか(問17×F2)

- ・ 10代、20代、40代では「どちらともいえない」が最も多く、30代と60代、70歳以上では「役に立っている」が最も多くなっている。50代では「どちらともいえない」と「役に立っている」が同率である。

図 年齢別「広報よこはま瀬谷区版」は役立っているか

問17 「広報よこはま瀬谷区版」は役に立っていますか

		全体	役に立っている	役に立っていない	どちらともいえない	無回答
全 体		1,334	589	164	551	30
		100.0	44.2	12.3	41.3	2.2
F 2 年齢	15～19歳	51	13.7	15.7	70.6	0.0
	20～29歳	95	20.0	20.0	54.7	5.3
	30～39歳	200	43.5	13.0	43.0	0.5
	40～49歳	202	37.6	14.9	46.0	1.5
	50～59歳	217	41.0	15.7	41.0	2.3
	60～69歳	291	49.5	11.0	37.1	2.4
	70歳以上	261	60.9	4.6	32.2	2.3
	無回答	17	47.1	17.6	17.6	17.6

■ 連合自治会別「広報よこはま瀬谷区版」は役立っているか(問17×F3)

- ・ 「阿久和北部連合自治会」「阿久和南部連合自治会」「瀬谷第二地区連合自治会」「相沢町内連合自治会」では「どちらともいえない」が最も多く、それ以外の地区では「役に立っている」が最も多くなっている。特に「宮沢連合自治会」では他に比べて「役に立っている」の数値が高く「役に立っていない」が低くなっている。

図 連合自治会別「広報よこはま瀬谷区版」は役立っているか

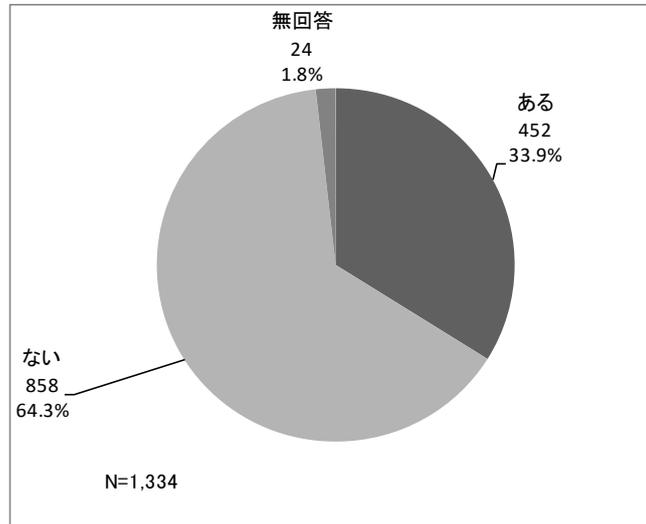
問17 「広報よこはま瀬谷区版」は役に立っていますか

		全体	役に立っている	役に立っていない	どちらともいえない	無回答
全 体		1,334	589	164	551	30
		100.0	44.2	12.3	41.3	2.2
F 3 自治会	阿久和北部連合自治会	75	32.0	16.0	50.7	1.3
	阿久和南部連合自治会	142	36.6	12.7	47.2	3.5
	三ツ境連合自治会	103	46.6	8.7	38.8	5.8
	瀬谷第一地区連合町内会	65	49.2	10.8	36.9	3.1
	本郷地区連合自治会	93	50.5	11.8	36.6	1.1
	瀬谷北部町内連合自治会	103	48.5	13.6	35.0	2.9
	瀬谷第二地区連合自治会	237	40.5	13.5	45.1	0.8
	細谷戸連合町内会	36	52.8	8.3	38.9	0.0
	瀬谷第四地区連合自治会	117	45.3	16.2	38.5	0.0
	南瀬谷自治連合自治会	70	47.1	12.9	40.0	0.0
	宮沢連合自治会	100	59.0	3.0	37.0	1.0
	相沢町内連合自治会	169	37.9	13.6	45.0	3.6
	無回答	24	50.0	16.7	20.8	12.5

問18 あなたは、「広報よこはま瀬谷区版」を見て、講座や催し物などに参加したことがありますか。

- ・ 「ない」が 64.3%で過半数を占めている。「ある」は 33.9%で、全体の3分の1程度である。

図 「広報よこはま瀬谷区版」を見て講座や催し物などに参加した経験



■ 年齢別 「広報よこはま瀬谷区版」を見て講座や催し物などに参加した経験(問18×F2)

- ・ いずれの世代においても「ない」が最も多く、特に 20 代では「ない」が9割を超えている。「ある」の数は高年齢層で高い傾向にあり、60代、70歳以上では「ある」が4割台となっている。

図 年齢別 「広報よこはま瀬谷区版」を見て講座や催し物などに参加した経験

問18 「広報よこはま瀬谷区版」を見て、講座や催し物などに参加したことがありますか

		全体	ある	ない	無回答
全 体		1,334	452	858	24
		100.0	33.9	64.3	1.8
F 2	15～19歳	51	11.8	86.3	2.0
年齢	20～29歳	95	5.3	92.6	2.1
	30～39歳	200	29.0	70.0	1.0
	40～49歳	202	34.7	64.4	1.0
	50～59歳	217	31.3	67.7	0.9
	60～69歳	291	46.0	51.5	2.4
	70歳以上	261	41.4	55.9	2.7
	無回答	17	17.6	76.5	5.9

■ 連合自治会別「広報よこはま瀬谷区版」を見て講座や催し物などに参加した経験(問18×F2)

- ・ いずれの地区においても「ない」が最も多くなっている。なお、問17で「役に立っている」の数値が高かった「宮沢連合自治会」では「ある」の数値が他に比べて高くなっている。

図 連合自治会別「広報よこはま瀬谷区版」を見て講座や催し物などに参加した経験

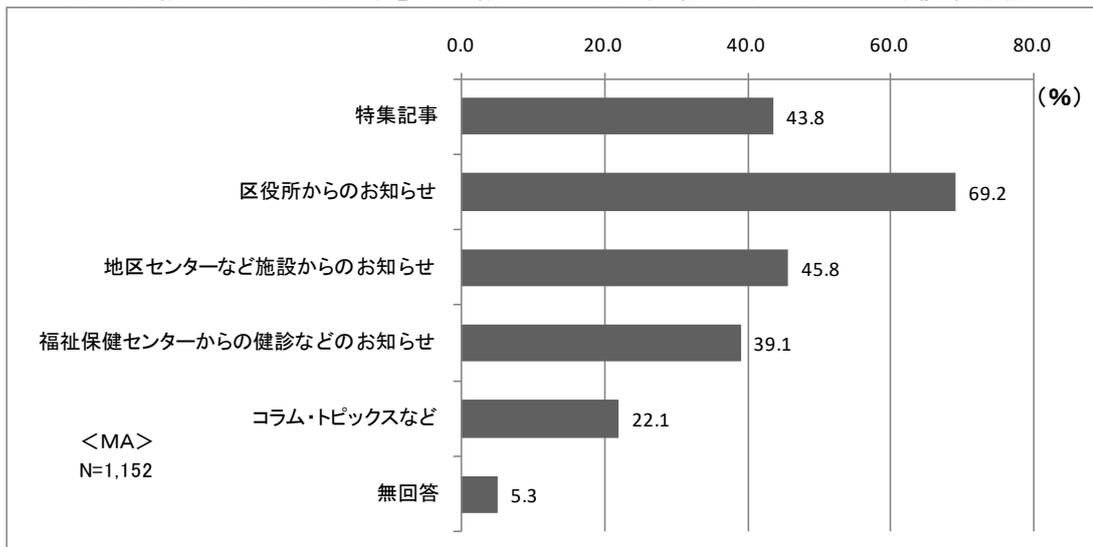
問18 「広報よこはま瀬谷区版」を見て、講座や催し物などに参加したことがありますか

		全体	ある	ない	無回答
全 体		1,334	452	858	24
全体		100.0	33.9	64.3	1.8
F 3 自治会	阿久和北部連合自治会	75	25.3	73.3	1.3
	阿久和南部連合自治会	142	26.1	71.8	2.1
	三ツ境連合自治会	103	33.0	63.1	3.9
	瀬谷第一地区連合町内会	65	38.5	58.5	3.1
	本郷地区連合自治会	93	39.8	58.1	2.2
	瀬谷北部町内連合会	103	35.9	61.2	2.9
	瀬谷第二地区連合自治会	237	27.0	72.2	0.8
	細谷戸連合町内会	36	25.0	75.0	0.0
	瀬谷第四地区連合自治会	117	41.0	57.3	1.7
	南瀬谷自治連合会	70	34.3	65.7	0.0
	宮沢連合自治会	100	46.0	53.0	1.0
	相沢町内連合会	169	37.9	60.9	1.2
	無回答	24	33.3	58.3	8.3

問19 「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいる人にうかがいます。どのような記事をよく読んでいますか。

- ・ 「区役所からののお知らせ」が最も多く 69.2%と、全体のほぼ7割の人があげている。次いで「地区センターなど施設からののお知らせ」が 45.8%、「特集記事」が 43.8%でほぼ並び、「福祉保健センターからの健診などのお知らせ」(39.1%)、「コラム・トピックスなど」(22.1%)と続く。

図 「広報よこはま瀬谷区版」でよく読んでいる記事(読んでいる人のみ、複数回答)



■ 年齢別 「広報よこはま瀬谷区版」でよく読んでいる記事(問19×F2)

- ・ 10代、20代の若い世代では「特集記事」、それ以上の世代では「区役所からののお知らせ」が最も多くなっている。また、子育て世代である30代では「福祉保健センターからの健診などのお知らせ」の数値が他世代に比べて高くなっている。

図 年齢別 「広報よこはま瀬谷区版」でよく読んでいる記事

問19 「広報よこはま瀬谷区版」でよく読んでいる記事 (複数回答)

		全体	特集記事	区役所からの のお知らせ	地区セン ターなど施 設からのお 知らせ	福祉保健セ ンターから の健診など のお知らせ	コラム・ト ピックスな ど	無回答
全体		1,152	504	797	528	451	255	61
		-	43.8	69.2	45.8	39.1	22.1	5.3
F 2 年齢	15～19歳	19	52.6	31.6	42.1	15.8	21.1	5.3
	20～29歳	55	56.4	41.8	20.0	23.6	21.8	3.6
	30～39歳	166	51.8	56.6	48.2	51.8	21.1	1.8
	40～49歳	178	46.1	66.9	47.8	38.8	23.6	6.2
	50～59歳	193	48.7	73.1	42.5	30.6	19.7	5.7
	60～69歳	273	39.2	78.8	52.4	41.0	24.2	4.0
	70歳以上	254	35.0	75.2	44.9	41.3	21.7	7.9
	無回答	14	35.7	57.1	35.7	28.6	21.4	14.3

■ 連合自治会別「広報よこはま瀬谷区版」でよく読んでいる記事(問19×F3)

- ・ いずれも「区役所からのお知らせ」が最も多くなっている。そのほか、「宮沢連合自治会」では「特集記事」「地区センターなど施設からのお知らせ」「コラム・トピックスなど」も数値が高く、多様な記事が読まれている。「細谷戸連合町内会」では「福祉保健センターからの健診などのお知らせ」、「瀬谷第一地区連合町内会」では「コラム・トピックスなど」の数値が他に比べて高い。

図 連合自治会別「広報よこはま瀬谷区版」でよく読んでいる記事

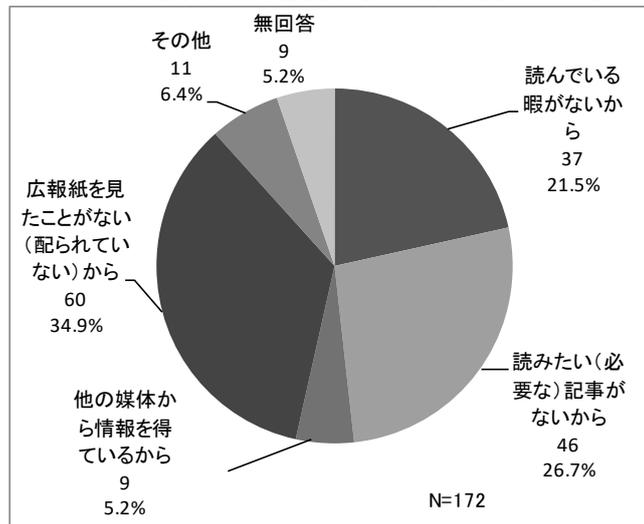
問19 「広報よこはま瀬谷区版」でよく読んでいる記事（複数回答）

		全体	特集記事	区役所からのお知らせ	地区センターなど施設からのお知らせ	福祉保健センターからの健診などのお知らせ	コラム・トピックスなど	無回答
全 体		1,152	504	797	528	451	255	61
全体		—	43.8	69.2	45.8	39.1	22.1	5.3
F 3 自治会	阿久和北部連合自治会	61	47.5	60.7	37.7	41.0	14.8	4.9
	阿久和南部連合自治会	119	42.0	67.2	46.2	39.5	25.2	7.6
	三ツ境連合自治会	88	48.9	67.0	47.7	33.0	21.6	6.8
	瀬谷第一地区連合町内会	61	49.2	68.9	44.3	24.6	31.1	3.3
	本郷地区連合自治会	84	42.9	65.5	47.6	36.9	19.0	3.6
	瀬谷北部町内連合会	89	42.7	65.2	48.3	41.6	21.3	6.7
	瀬谷第二地区連合自治会	193	45.6	71.5	43.0	45.1	21.2	2.1
	細谷戸連合町内会	34	29.4	79.4	35.3	50.0	17.6	5.9
	瀬谷第四地区連合自治会	102	43.1	64.7	42.2	30.4	19.6	6.9
	南瀬谷自治連合会	61	37.7	77.0	42.6	37.7	26.2	6.6
	宮沢連合自治会	89	57.3	79.8	59.6	47.2	31.5	3.4
	相沢町内連合会	149	36.9	70.5	51.0	42.3	18.1	4.7
	無回答	22	31.8	54.5	22.7	18.2	22.7	22.7

問20 「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいない人にうかがいます。読まない理由をお聞かせ下さい。

- ・ 「広報紙を見たことがない(配られていない)から」が最も多く 34.9%で、「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいない人の3分の1強を占めている。次いで「読みたい(必要な)記事がないから」が 26.7%である。以下「読んでいる暇がないから」が 21.5%、「その他」が 6.4%、「他の媒体から情報を得ているから」が 5.2%の順となっている。

図 「広報よこはま瀬谷区版」を読まない理由(読んでいない人のみ)



■ 年齢別 「広報よこはま瀬谷区版」を読まない理由(問20×F2)

- ・ 10代では「読んでいる暇がないから」、20代、30代では「広報紙を見たことがない(配られていない)から」、40代以上の世代では「読みたい(必要な)記事がないから」が最も多くなっている。また、10代、70歳以上では「他の媒体から情報を得ているから」の数値が他世代に比べて高い。

図 年齢別 「広報よこはま瀬谷区版」を読まない理由

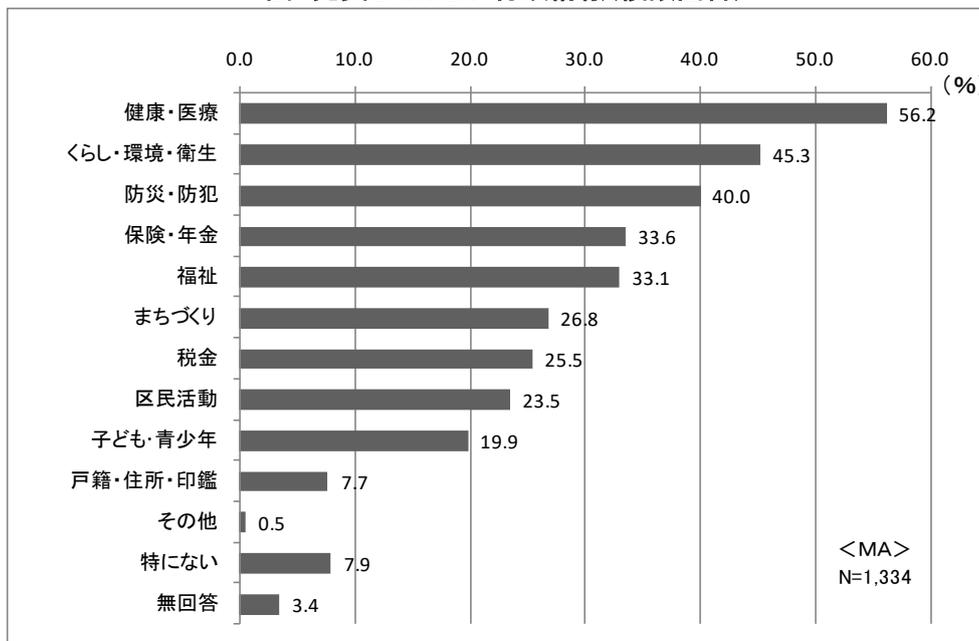
問20 「広報よこはま瀬谷区版」を読まない理由

		全体	読んでいる暇がないから	読みたい(必要な)記事がないから	他の媒体から情報を得ているから	広報紙を見たことがない(配られていない)から	その他	無回答
全体		172	37	46	9	60	11	9
		100.0	21.5	26.7	5.2	34.9	6.4	5.2
F 2 年齢	15～19歳	32	31.3	18.8	15.6	25.0	3.1	6.3
	20～29歳	38	10.5	13.2	5.3	57.9	7.9	5.3
	30～39歳	33	27.3	15.2	0.0	51.5	3.0	3.0
	40～49歳	23	17.4	39.1	4.3	30.4	4.3	4.3
	50～59歳	24	25.0	41.7	0.0	12.5	12.5	8.3
	60～69歳	15	20.0	53.3	0.0	6.7	13.3	6.7
	70歳以上	5	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	無回答	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

問21 「広報よこはま瀬谷区版」の記事としてどのような分野の行政情報を充実してほしいですか。

- ・ 「健康・医療」が 56.2%で最も多く、半数強の人が挙げている。次いで「暮らし・環境・衛生」が 45.3%、「防災・防犯」が 40.0%と、特に健康や安全・安心な暮らしにかかわる項目の数値が高い。以下「保険・年金」(33.6%)、「福祉」(33.1%)、「まちづくり」(26.8%)、「税金」(25.5%)、「区民活動」(23.5%)、「子ども・青少年」(19.9%)、「戸籍・住所・印鑑」(7.7%)、「その他」(0.5%)の順となっており、回答は比較的分散した。なお「特にない」は 7.9%となっている。

図 充実してほしい行政情報(複数回答)



■ 年齢別 充実してほしい行政情報(問21×F2)

- 10代、20代では「くらし・環境・衛生」、30代では「子ども・青少年」、40代以上では「健康・医療」が最も多くなっており、世代で傾向が分かれた。また、10代では「特にない」、20代では「まちづくり」、50代では「保険・年金」、70代では「福祉」がそれぞれ他世代より高くなっている。

図 年齢別 充実してほしい行政情報

問21 「広報よこはま瀬谷区版」の記事として充実してほしい行政情報（複数回答）

		全体	戸籍・住所・印鑑	保険・年金	税金	健康・医療	福祉	子ども・青少年	防災・防犯
全体		1,334	103	448	340	750	441	265	534
		—	7.7	33.6	25.5	56.2	33.1	19.9	40.0
F2 年齢	15～19歳	51	3.9	7.8	15.7	23.5	11.8	25.5	23.5
	20～29歳	95	7.4	26.3	25.3	38.9	16.8	28.4	35.8
	30～39歳	200	4.5	23.5	27.0	53.5	23.0	54.0	40.0
	40～49歳	202	8.9	27.7	28.7	62.4	31.2	34.2	43.1
	50～59歳	217	8.3	46.5	25.3	57.1	37.8	7.4	43.3
	60～69歳	291	7.6	39.2	23.7	56.7	38.1	6.9	38.5
	70歳以上	261	9.6	37.2	26.1	65.1	42.9	4.2	43.3
	無回答	17	11.8	23.5	23.5	52.9	29.4	5.9	11.8

		全体	くらし・環境・衛生	区民活動	まちづくり	その他	特にない	無回答
全体		1,334	604	314	358	7	106	47
		—	45.3	23.5	26.8	0.5	7.9	3.5
F2 年齢	15～19歳	51	37.3	13.7	19.6	0.0	27.5	2.0
	20～29歳	95	44.2	23.2	37.9	1.1	13.7	3.2
	30～39歳	200	50.5	21.5	30.0	0.5	5.5	1.0
	40～49歳	202	51.0	21.8	21.8	1.0	5.9	1.5
	50～59歳	217	53.9	23.5	29.5	0.0	6.0	1.4
	60～69歳	291	44.7	30.6	28.5	0.7	7.9	5.8
	70歳以上	261	34.5	21.5	22.2	0.4	6.1	6.1
	無回答	17	11.8	11.8	17.6	0.0	23.5	11.8

■ 広報区版利用の有無別 充実してほしい行政情報(問21×問16)

- 「毎月読んでいる」「たまに読んでいる」では「健康・医療」が最も多く、6割前後の人が挙げている。「読んでいない」では「くらし・環境・衛生」が最も多くなっているほか、「特にない」の数値が高くなっている。

図 広報区版利用の有無別 充実してほしい行政情報

問21 「広報よこはま瀬谷区版」の記事として充実してほしい行政情報（複数回答）

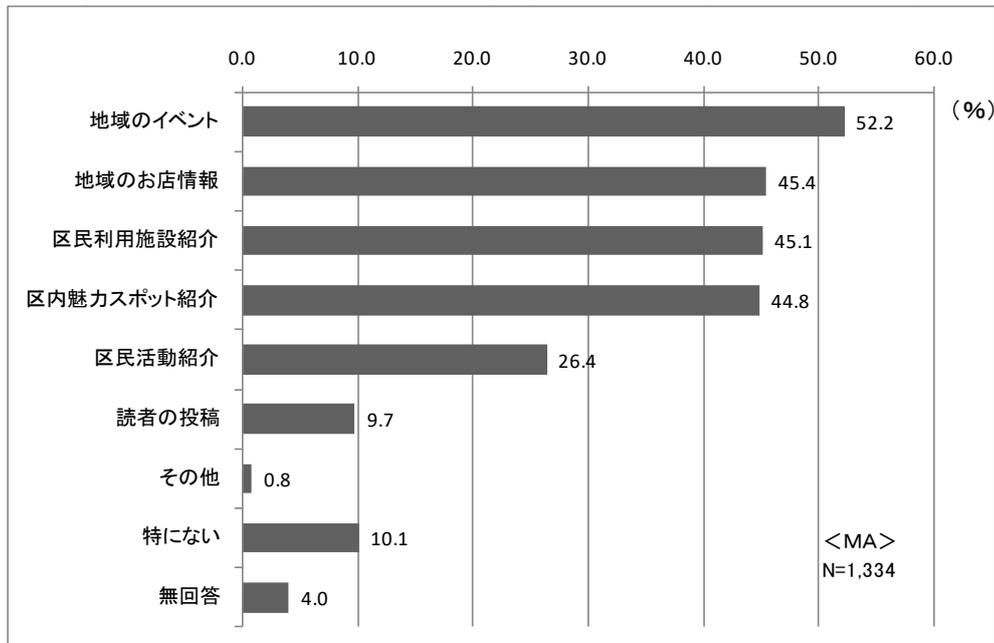
		全体	戸籍・住所・印鑑	保険・年金	税金	健康・医療	福祉	子ども・青少年	防災・防犯
全体		1,333	103	448	340	750	441	265	534
		—	7.7	33.6	25.5	56.3	33.1	19.9	40.1
問16 広報区版 利用の有無	毎月読んでいる	625	7.8	37.4	29.0	63.4	40.0	21.8	45.8
	たまに読んでいる	527	7.6	33.4	24.1	55.8	29.0	18.2	37.6
	読んでいない	171	8.2	21.6	18.1	34.5	22.2	19.3	29.2
	不明	10	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0

		全体	くらし・環境・衛生	区民活動	まちづくり	その他	特にない	無回答
全体		1,333	604	314	358	7	106	46
		—	45.3	23.6	26.9	0.5	8.0	3.5
問16 広報区版 利用の有無	毎月読んでいる	625	49.6	31.7	28.6	0.5	3.4	2.9
	たまに読んでいる	527	43.8	18.0	27.5	0.6	8.0	2.1
	読んでいない	171	36.8	12.3	19.9	0.6	25.1	4.7
	不明	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0

問22 「広報よこはま瀬谷区版」で今後読んでみたいと思う情報はどれですか。

- ・ 「地域のイベント」が 52.2%で最も多く、半数強の人が挙げている。次いで「地域のお店情報」が 45.4%、「区民利用施設紹介」が 45.1%、「区内魅力スポット紹介」が 44.8%とほぼ横並びで続く。以下「区民活動紹介」が 26.4%、「読者の投稿」が 9.7%、「その他」が 0.8%となっている。なお「特にない」は 10.1%となっている。

図 「広報よこはま瀬谷区版」で今後読んでみたいと思う情報（複数回答）



■ 年齢別 「広報よこはま瀬谷区版」で今後読んでみたいと思う情報（問22×F2）

- ・ 10代から30代では「地域のお店情報」、40代、50代、70歳以上では「地域のイベント」、60代では「区民利用施設紹介」がそれぞれ最も多くなっている。

図 年齢別 「広報よこはま瀬谷区版」で今後読んでみたいと思う情報

問22 「広報よこはま瀬谷区版」で今後読んでみたいと思う情報（複数回答）

		全体	地域のイベント	区民活動紹介	区民利用施設紹介	区内魅力スポット紹介	地域のお店情報	読者の投稿	その他	特にない	無回答
全体		1,334	696	352	602	598	606	130	11	135	54
		—	52.2	26.4	45.1	44.8	45.4	9.7	0.8	10.1	4.0
F2 年齢	15～19歳	51	25.5	11.8	25.5	35.3	58.8	9.8	0.0	13.7	2.0
	20～29歳	95	43.2	15.8	38.9	52.6	58.9	10.5	1.1	8.4	2.1
	30～39歳	200	58.0	24.0	46.0	47.0	59.5	10.0	1.0	7.0	1.5
	40～49歳	202	58.9	20.8	41.6	47.5	51.0	7.4	1.5	9.9	2.5
	50～59歳	217	56.7	29.5	47.5	49.8	48.8	10.1	0.5	9.2	2.3
	60～69歳	291	50.5	31.3	51.5	46.7	36.1	8.2	0.7	8.9	5.5
	70歳以上	261	51.0	32.2	45.6	36.0	32.2	11.9	0.4	13.4	6.9
	無回答	17	23.5	11.8	23.5	11.8	17.6	17.6	5.9	29.4	23.5

■ 連合自治会別「広報よこはま瀬谷区版」で今後読んでみたいと思う情報(問23×F2)

- ・「阿久和南部連合自治会」で「区内魅力スポット紹介」「地域のお店情報」が同率で最も多くなっている以外は「地域のイベント」が最も多いほか、「瀬谷第二地区連合自治会」では「地域のお店情報」、「瀬谷第四地区連合自治会」では「区民利用施設紹介」が同率となっている。

図 連合自治会別「広報よこはま瀬谷区版」で今後読んでみたいと思う情報

問22 「広報よこはま瀬谷区版」で今後読んでみたいと思う情報(複数回答)

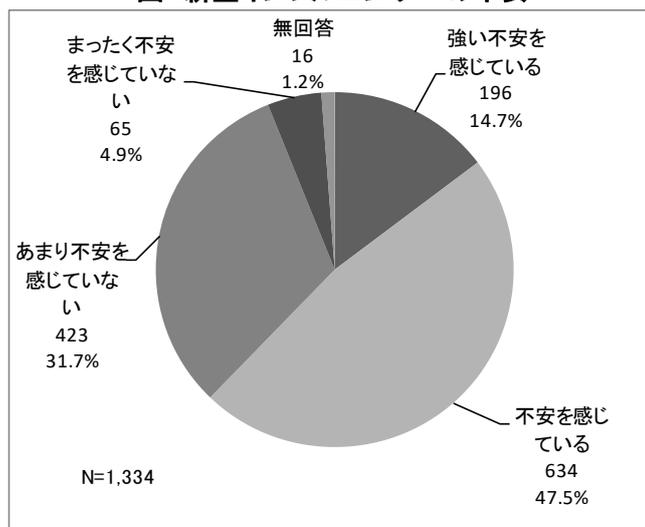
		全体	地域のイベント	区民活動紹介	区民利用施設紹介	区内魅力スポット紹介	地域のお店情報	読者の投稿	その他	特になし	無回答
全 体		1,334	696	352	602	598	606	130	11	135	54
		—	52.2	26.4	45.1	44.8	45.4	9.7	0.8	10.1	4.0
F 1 性別	男性	532	50.4	25.8	42.7	43.0	37.4	8.6	0.6	13.2	3.6
	女性	771	54.3	27.2	47.6	47.2	51.6	10.4	0.9	7.8	3.8
	無回答	31	29.0	16.1	25.8	16.1	29.0	12.9	3.2	16.1	19.4
F 3 自治会	阿久和北部連合自治会	75	57.3	21.3	42.7	37.3	42.7	8.0	2.7	12.0	5.3
	阿久和南部連合自治会	142	43.7	17.6	38.0	45.1	45.1	6.3	0.7	11.3	4.9
	三ツ境連合自治会	103	50.5	30.1	48.5	47.6	45.6	13.6	0.0	7.8	4.9
	瀬谷第一地区連合町内会	65	55.4	36.9	43.1	44.6	43.1	12.3	1.5	9.2	4.6
	本郷地区連合自治会	93	55.9	26.9	44.1	41.9	40.9	14.0	1.1	7.5	5.4
	瀬谷北部町内連合会	103	57.3	25.2	45.6	40.8	45.6	8.7	1.0	13.6	4.9
	瀬谷第二地区連合自治会	237	51.1	21.5	44.7	49.4	51.1	6.8	0.0	11.0	2.1
	細谷戸連合町内会	36	55.6	25.0	30.6	33.3	44.4	16.7	0.0	11.1	5.6
	瀬谷第四地区連合自治会	117	53.0	29.1	53.0	43.6	45.3	6.8	0.9	5.1	2.6
	南瀬谷自治連合会	70	50.0	27.1	48.6	45.7	37.1	10.0	0.0	15.7	5.7
	宮沢連合自治会	100	58.0	36.0	45.0	50.0	47.0	14.0	1.0	12.0	1.0
	相沢町内連合会	169	54.4	30.2	51.5	47.3	48.5	9.5	1.2	5.3	3.0
	無回答	24	16.7	20.8	20.8	20.8	20.8	16.7	4.2	29.2	20.8

6. 新型インフルエンザについて

問23 あなたは現在新型インフルエンザに対してどの程度不安を感じていますか。

- 「不安を感じている」が 47.5%と半数弱で最も多くなっている。次いで「あまり不安を感じていない」が 31.7%、「強い不安を感じている」が 14.7%、「まったく不安を感じていない」が 4.9%の順となっている。「強い不安を感じている」と「不安を感じている」を合わせると 62.2%、「あまり不安を感じていない」と「まったく不安を感じていない」を合わせると 36.6%となり、何らかの不安を感じている層は6割強、感じない層は4割弱となっている。

図 新型インフルエンザへの不安



■ 年齢別 新型インフルエンザへの不安(問23×F2)

- 20代では「あまり不安を感じていない」、30代以上の世代では「不安を感じている」が最も多く、10代はこれらが同率である。若年層ほど「不安を感じていない」傾向となっている。また、30代で「強い不安を感じている」が他に比べて多少高くなっているが、これは新型インフルエンザの感染リスクが高い学童や、重症化が懸念される乳幼児を抱える世代であるからと考えられる。

図 年齢別 新型インフルエンザへの不安

問23 新型インフルエンザへの不安

		全体	強い不安を感じている	不安を感じている	あまり不安を感じていない	まったく不安を感じていない	無回答
全体		1,334	196	634	423	65	16
		100.0	14.7	47.5	31.7	4.9	1.2
F 2 年齢	15～19歳	51	13.7	35.3	35.3	15.7	0.0
	20～29歳	95	10.5	36.8	37.9	14.7	0.0
	30～39歳	200	23.0	46.0	26.0	5.0	0.0
	40～49歳	202	10.9	51.0	32.7	4.5	1.0
	50～59歳	217	12.4	47.0	33.2	5.5	1.8
	60～69歳	291	14.4	44.7	37.1	2.1	1.7
	70歳以上	261	15.7	57.5	24.5	1.1	1.1
	無回答	17	5.9	23.5	41.2	17.6	11.8

■ 連合自治会別 新型インフルエンザへの不安(問23×F8)

- いずれも「不安を感じている」が最も多くなっている。また、「細谷戸連合町内会」では「強い不安を感じている」の数値が他に比べて高く、「まったく不安を感じていない」が0となっている。

図 連合自治会別 新型インフルエンザへの不安

問23 新型インフルエンザへの不安

		全体	強い不安を感じている	不安を感じている	あまり不安を感じていない	まったく不安を感じていない	無回答
全 体		1,334	196	634	423	65	16
		100.0	14.7	47.5	31.7	4.9	1.2
F 3 自治会	阿久和北部連合自治会	75	16.0	41.3	37.3	5.3	0.0
	阿久和南部連合自治会	142	17.6	49.3	26.8	5.6	0.7
	三ツ境連合自治会	103	12.6	45.6	36.9	2.9	1.9
	瀬谷第一地区連合町内会	65	15.4	41.5	38.5	3.1	1.5
	本郷地区連合自治会	93	12.9	53.8	30.1	2.2	1.1
	瀬谷北部町内連合会	103	18.4	38.8	39.8	1.0	1.9
	瀬谷第二地区連合自治会	237	10.5	55.7	26.6	5.9	1.3
	細谷戸連合町内会	36	25.0	44.4	30.6	0.0	0.0
	瀬谷第四地区連合自治会	117	16.2	45.3	33.3	4.3	0.9
	南瀬谷自治連合会	70	10.0	54.3	32.9	1.4	1.4
	宮沢連合自治会	100	13.0	51.0	27.0	8.0	1.0
	相沢町内連合会	169	17.2	43.8	30.8	7.7	0.6
	無回答	24	12.5	20.8	41.7	16.7	8.3

■ 子どもの段階別 新型インフルエンザへの不安(問23×F8)

- いずれも「不安を感じている」が最も多くなっている。また、子どもが「未就学児」のケースで「強い不安を感じている」の数値が他に比べて高くなっている。

図 子どもの段階別 新型インフルエンザへの不安

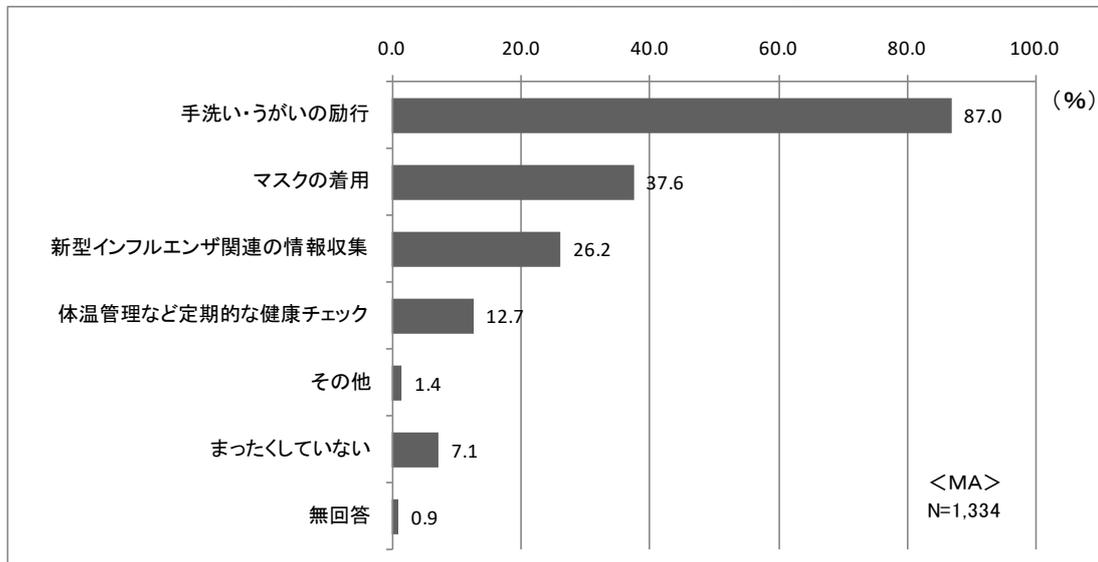
問23 新型インフルエンザへの不安

		全体	強い不安を感じている	不安を感じている	あまり不安を感じていない	まったく不安を感じていない	無回答
全 体		1,334	196	634	423	65	16
		100.0	14.7	47.5	31.7	4.9	1.2
F 8 子供の 段階	未就学児	128	29.7	51.6	14.8	3.9	0.0
	小・中学校在学中	177	13.0	49.2	32.2	5.1	0.6
	高校在学中	68	2.9	54.4	35.3	5.9	1.5
	その他の学校に在学中	76	3.9	53.9	38.2	1.3	2.6
	学校教育終了	563	14.2	50.8	31.6	2.1	1.2
	その他	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	子どもはいない	285	13.0	40.0	35.8	10.9	0.4
	無回答	111	16.2	45.0	29.7	5.4	3.6

問24 あなたは、現在日ごろどのような新型インフルエンザ対策をしていますか。

- 「手洗い・うがいの励行」が 87.0%と突出して多く、9割近くの人が挙げている。次いで「マスクの着用」が 37.6%、以下「新型インフルエンザ関連の情報収集」(26.2%)、「体温管理など定期的な健康チェック」(12.7%)、「その他」(1.4%)と続く。一方「まったくしていない」人も 7.1%存在する。

図 日ごろ行っている新型インフルエンザ対策



■ 年齢別 日ごろ行っている新型インフルエンザ対策(問24×F2)

- いずれの世代でも「手洗い・うがいの励行」が最も多く、特に 30 代と 70 歳以上では9割の人が挙げている。また、30 代で「体温管理など定期的な健康チェック」が他に比べてやや高い。小学校では、毎朝検温して登校するところも多いため、その影響もあると考えられる。20 代では「まったくしていない」の数値がやや高くなっている。

図 年齢別 日ごろ行っている新型インフルエンザ対策

問24 日ごろ行っている新型インフルエンザ対策 (複数回答)

		全体	マスクの着用	手洗い・うがいの励行	体温管理など定期的な健康チェック	新型インフルエンザ関連の情報収集	その他	まったくしていない	無回答
全体		1,334	501	1,161	169	350	19	95	12
		—	37.6	87.0	12.7	26.2	1.4	7.1	0.9
F 2 年齢	15～19歳	51	27.5	84.3	3.9	7.8	2.0	11.8	0.0
	20～29歳	95	28.4	83.2	8.4	16.8	0.0	15.8	0.0
	30～39歳	200	39.0	90.5	21.5	30.5	3.0	5.0	0.0
	40～49歳	202	42.1	84.7	15.8	28.2	1.0	8.4	0.0
	50～59歳	217	31.3	88.5	8.8	26.7	0.5	6.5	1.4
	60～69歳	291	42.3	85.9	6.2	25.8	1.7	7.6	1.7
	70歳以上	261	39.1	90.4	17.6	29.9	1.1	2.7	0.8
	無回答	17	23.5	52.9	5.9	5.9	5.9	23.5	11.8

■ 連合自治会別 日ごろ行っている新型インフルエンザ対策(問24×F3)

- いずれの地域でも「手洗い・うがいの励行」が最も多く、特に「本郷地区連合自治会」「南瀬谷自治連合会」「宮沢連合自治会」では9割の人が挙げている。また、「細谷戸連合町内会」では「マスクの着用」の数値が高くなっている。

図 連合自治会別 日ごろ行っている新型インフルエンザ対策

問24 日ごろ行っている新型インフルエンザ対策（複数回答）

		全体	マスクの着用	手洗い・うがいの励行	体温管理など定期的な健康チェック	新型インフルエンザ関連の情報収集	その他	まったくしていない	無回答
全 体		1,334	501	1,161	169	350	19	95	12
		—	37.6	87.0	12.7	26.2	1.4	7.1	0.9
F 3 自治会	阿久和北部連合自治会	75	24.0	86.7	14.7	22.7	2.7	10.7	0.0
	阿久和南部連合自治会	142	43.7	84.5	16.2	23.2	2.8	7.7	1.4
	三ツ境連合自治会	103	43.7	85.4	12.6	27.2	0.0	6.8	1.0
	瀬谷第一地区連合町内会	65	40.0	84.6	10.8	24.6	0.0	6.2	1.5
	本郷地区連合自治会	93	41.9	90.3	15.1	31.2	1.1	5.4	0.0
	瀬谷北部町内連合会	103	44.7	83.5	14.6	30.1	0.0	7.8	1.9
	瀬谷第二地区連合自治会	237	33.3	87.8	11.0	24.1	0.8	8.4	1.3
	細谷戸連合町内会	36	52.8	80.6	8.3	36.1	2.8	8.3	0.0
	瀬谷第四地区連合自治会	117	33.3	89.7	9.4	25.6	2.6	6.0	0.0
	南瀬谷自治連合会	70	35.7	94.3	17.1	30.0	1.4	0.0	0.0
	宮沢連合自治会	100	37.0	91.0	15.0	27.0	2.0	4.0	0.0
	相沢町内連合会	169	36.1	88.2	10.7	26.0	1.2	7.7	0.6
無回答	24	20.8	62.5	4.2	16.7	4.2	20.8	8.3	

■ 子どもの段階別 日ごろ行っている新型インフルエンザ対策(問24×F8)

- いずれも「手洗い・うがいの励行」が最も多くなっている。また、「未就学児」がいるケースでは「マスクの着用」「体温管理など定期的な健康チェック」「新型インフルエンザ関連の情報収集」のすべてにおいて他よりも高い傾向がみられ、幼い子供のいる家庭での感染予防対策が特に熱心に行われていることがわかる。

図 子どもの段階別 日ごろ行っている新型インフルエンザ対策

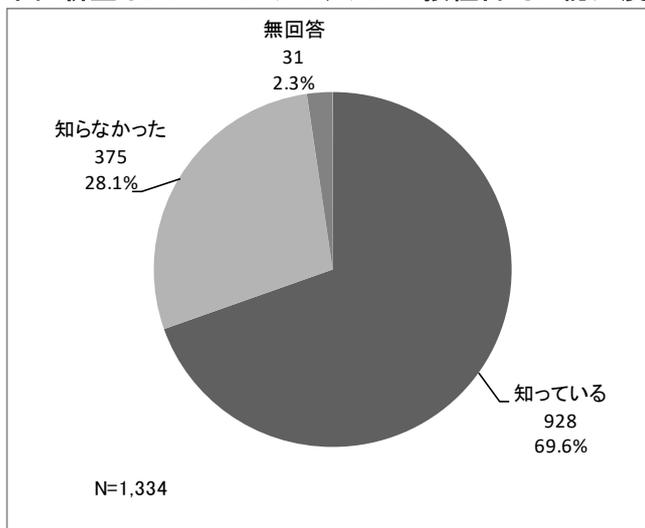
問24 日ごろ行っている新型インフルエンザ対策（複数回答）

		全体	マスクの着用	手洗い・うがいの励行	体温管理など定期的な健康チェック	新型インフルエンザ関連の情報収集	その他	まったくしていない	無回答
全 体		1,334	501	1,161	169	350	19	95	12
		—	37.6	87.0	12.7	26.2	1.4	7.1	0.9
F 8 子供の 段階	未就学児	128	53.1	94.5	25.0	39.1	2.3	3.9	0.0
	小・中学校在学中	177	45.8	91.5	20.3	28.2	1.1	5.6	0.0
	高校在学中	68	33.8	77.9	16.2	22.1	1.5	13.2	0.0
	その他の学校に在学中	76	31.6	80.3	6.6	32.9	0.0	9.2	2.6
	学校教育終了	563	40.1	88.3	10.8	27.0	1.1	4.6	0.9
	その他	4	25.0	100.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	子どもはいない	285	29.1	84.2	9.1	18.2	1.4	9.5	0.4
	無回答	111	32.4	82.9	12.6	27.9	1.8	10.8	3.6

**問25 新型インフルエンザワクチンの接種目的は、重症者、死亡者の発生を減らすことで、感染防止に
関しては効果が保証されていません。あなたはこのことをご存知ですか。**

- ・ 「知っている」は 69.6%と7割近くに達し、認知度は比較的高い。「知らなかった」は 28.1%となっている。

図 新型インフルエンザワクチンの接種目的の認知度



■ 年齢別 新型インフルエンザワクチンの接種目的の認知度(問25×F2)

- ・ いずれの世代も「知っている」の方が多くなっている。10代、20代では「知らなかった」の数値が高く、若年層で認知度が低い。

図 年齢別 新型インフルエンザワクチンの接種目的の認知度

問25 新型インフルエンザワクチンの接種目的の認知度

		全体	知っている	知らなかった	無回答
全体		1,334	928	375	31
		100.0	69.6	28.1	2.3
F2 年齢	15～19歳	51	62.7	37.3	0.0
	20～29歳	95	58.9	40.0	1.1
	30～39歳	200	69.5	30.0	0.5
	40～49歳	202	72.8	26.7	0.5
	50～59歳	217	69.1	28.6	2.3
	60～69歳	291	72.2	25.4	2.4
	70歳以上	261	70.5	24.9	4.6
	無回答	17	58.8	17.6	23.5

■ 子どもの段階別 新型インフルエンザワクチンの接種目的の認知度(問25×F8)

- ・ いずれも「知っている」の方が多くなっているが、「子どもはいない」ケースで認知度が低くなっている。

図 子どもの段階別 新型インフルエンザワクチンの接種目的の認知度

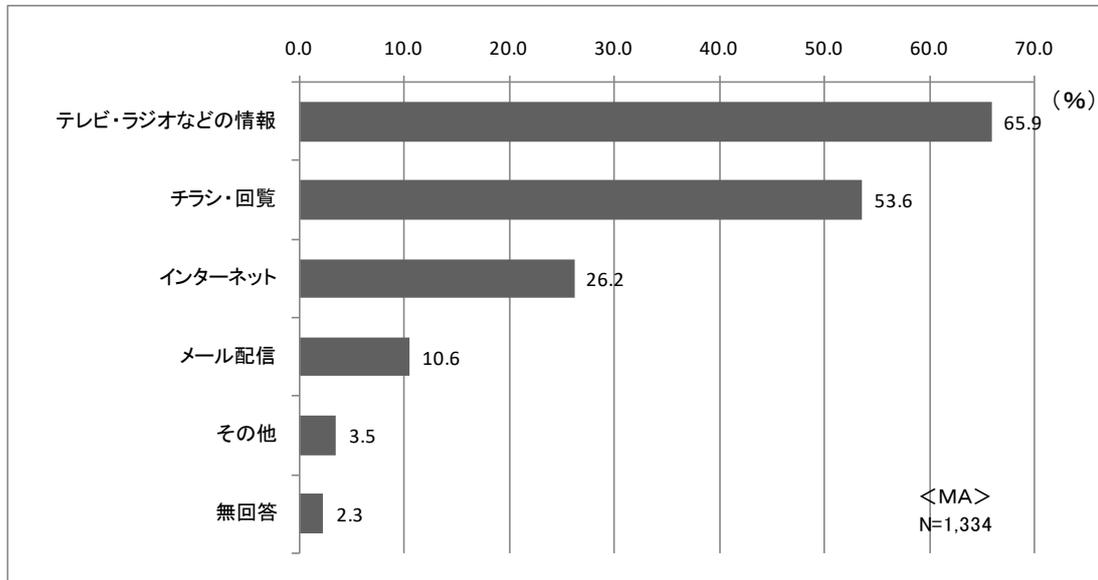
問25 新型インフルエンザワクチンの接種目的の認知度

		全体	知っている	知らなかった	無回答
全 体		1,334	928	375	31
		100.0	69.6	28.1	2.3
F 8	未就学児	128	75.8	24.2	0.0
子供の 段階	小・中学校在学中	177	74.6	24.3	1.1
	高校在学中	68	79.4	17.6	2.9
	その他の学校に在学中	76	68.4	25.0	6.6
	学校教育終了	563	71.0	26.5	2.5
	その他	4	100.0	0.0	0.0
	子どもはいない	285	60.4	39.3	0.4
	無回答	111	68.5	22.5	9.0

問26 横浜市や近隣地域に関する新型インフルエンザ関連の情報をどのようなところから得られると便利ですか。

- ・ 「テレビ・ラジオなどの情報」が 65.9%で最も多い。次いで「チラシ・回覧」が 53.6%で続いている。以下「インターネット」(26.2%)、「メール配信」(10.6%)、「その他」(3.5%)の順となっている。

図 希望する新型インフルエンザ関連の情報の入手手段(複数回答)



■ 年齢別 希望する新型インフルエンザ関連の情報の入手手段(問26×F2)

- ・ 30代、40代で「チラシ・回覧」が最も多くなっている以外は「テレビ・ラジオなどの情報」が最も多く、特に高齢者層で数値が高い。また、20代から40代までの世代では「インターネット」がそれ以外の世代に比べて数値が高く、30代、40代では「メール配信」の数値も高くなっている。

図 年齢別 希望する新型インフルエンザ関連の情報の入手手段

問26 希望する新型インフルエンザ関連の情報の入手手段 (複数回答)

		全体	インターネット	メール配信	チラシ・回覧	テレビ・ラジオなどの情報	その他	無回答
全体		1,334	349	141	715	879	47	31
—		—	26.2	10.6	53.6	65.9	3.5	2.3
F 2 年齢	15～19歳	51	25.5	11.8	37.3	68.6	3.9	2.0
	20～29歳	95	52.6	14.7	49.5	57.9	1.1	1.1
	30～39歳	200	44.0	21.0	53.0	49.5	6.5	0.5
	40～49歳	202	44.6	23.3	50.0	46.0	5.0	2.5
	50～59歳	217	25.8	7.8	55.8	66.8	0.9	2.3
	60～69歳	291	14.1	4.1	57.7	74.6	2.4	3.4
	70歳以上	261	2.7	1.1	57.5	85.8	4.2	2.3
	無回答	17	23.5	0.0	17.6	64.7	5.9	11.8

■ 連合自治会別 希望する新型インフルエンザ関連の情報の入手手段(問26×F3)

- 「宮沢連合自治会」で「チラシ・回覧」が最も多くなっている以外は「テレビ・ラジオなどの情報」が最も多く、特に「細谷戸連合町内会」では8割の人が挙げている。「阿久和北部連合自治会」では「インターネット」がそれ以外に比べて数値が高くなっている。

図 連合自治会別 希望する新型インフルエンザ関連の情報の入手手段

問26 希望する新型インフルエンザ関連の情報の入手手段（複数回答）

		全体	インター ネット	メール配信	チラシ・回 覧	テレビ・ラ ジオなどの 情報	その他	無回答
全 体		1,334	349	141	715	879	47	31
		—	26.2	10.6	53.6	65.9	3.5	2.3
F 3 自治会	阿久和北部連合自治会	75	37.3	13.3	52.0	61.3	6.7	2.7
	阿久和南部連合自治会	142	25.4	10.6	51.4	66.9	4.9	2.8
	三ツ境連合自治会	103	24.3	14.6	56.3	68.0	3.9	1.0
	瀬谷第一地区連合町内会	65	24.6	9.2	47.7	67.7	1.5	1.5
	本郷地区連合自治会	93	25.8	12.9	52.7	62.4	6.5	2.2
	瀬谷北部町内連合会	103	25.2	12.6	51.5	68.0	6.8	4.9
	瀬谷第二地区連合自治会	237	27.0	8.9	53.2	69.6	2.1	2.1
	細谷戸連合町内会	36	11.1	8.3	58.3	80.6	0.0	0.0
	瀬谷第四地区連合自治会	117	35.0	9.4	48.7	53.8	5.1	1.7
	南瀬谷自治連合会	70	22.9	11.4	60.0	62.9	0.0	2.9
	宮沢連合自治会	100	27.0	13.0	63.0	62.0	4.0	1.0
	相沢町内連合会	169	21.3	8.3	59.2	69.2	0.6	1.8
	無回答	24	25.0	0.0	12.5	66.7	4.2	12.5

■ 子どもの段階別 希望する新型インフルエンザ関連の情報の入手手段(問26×F8)

- 子どもが「未就学児」で「インターネット」、「小・中学校在学中」「その他」では「チラシ・回覧」、それ以外は「テレビ・ラジオなどの情報」が最も多く、傾向が分かれた。また、子どもが「未就学児」「小・中学校在学中」では「メール配信」の数値も高くなっている。

図 年齢別 希望する新型インフルエンザ関連の情報の入手手段

問26 希望する新型インフルエンザ関連の情報の入手手段（複数回答）

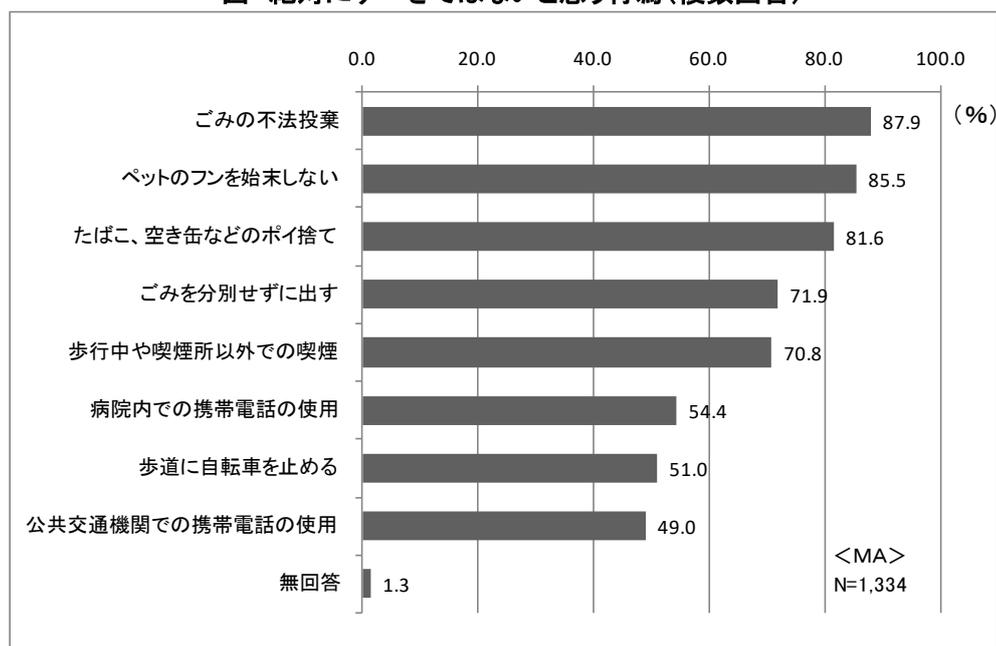
		全体	インター ネット	メール配信	チラシ・回 覧	テレビ・ラ ジオなどの 情報	その他	無回答
全 体		1,334	349	141	715	879	47	31
		—	26.2	10.6	53.6	65.9	3.5	2.3
F 8 子供の 段階	未就学児	128	57.8	25.8	55.5	50.0	5.5	0.8
	小・中学校在学中	177	44.1	25.4	50.3	43.5	7.3	1.1
	高校在学中	68	42.6	17.6	47.1	54.4	4.4	0.0
	その他の学校に在学中	76	26.3	5.3	47.4	63.2	5.3	3.9
	学校教育終了	563	14.6	4.8	58.8	76.6	2.7	2.0
	その他	4	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	子どもはいない	285	34.4	14.0	49.8	61.8	3.2	1.4
	無回答	111	14.4	4.5	45.9	64.0	3.6	9.0

7. 公共マナーについて

問27 次にあげる行為の中で、あなたが絶対にすべきではないと思う行為はどれですか。

- ・ 「ごみの不法投棄」が 87.9%、「ペットのフンを始末しない」が 85.5%、「たばこ、空き缶などのポイ捨て」が 81.6%と、これら3点は8割を超える人が挙げている。次いで「ごみを分別せずに出す」が 71.9%、「歩行中や喫煙所以外での喫煙」が 70.8%と、ごみ捨てやたばこに関するマナー違反に厳しい目が向けられている。以下「病院内での携帯電話の使用」(54.4%)、「歩道に自転車を止める」(51.0%)と続き、最も数値の低い「公共交通機関での携帯電話の使用」(49.0%)でも5割弱の人が「絶対にすべきではない」としている。

図 絶対にすべきではないと思う行為(複数回答)



■ 年齢別 絶対にすべきではないと思う行為(問27×F2)

- 10代では「ペットのフンを始末しない」、30代では「たばこ、空き缶などのポイ捨て」、それ以外の世代では「ごみの不法投棄」が最も多くなっており、特に「ごみの不法投棄」は20代から50代にかけての世代では9割前後の人が挙げている。また70歳以上では「歩道に自転車を止める」「ごみを分別せずに出す」「公共交通機関での携帯電話の使用」も他世代に比べ数値が高い。一方10代では「歩道に自転車を止める」「ごみを分別せずに出す」「公共交通機関での携帯電話の使用」「病院内での携帯電話の使用」で数値が低く、若年層の方が意識が低い傾向にある。

図 年齢別 絶対にすべきではないと思う行為

問27 絶対にすべきではないと思う行為（複数回答）

		全体	歩道に自転車を止める	ペットのフンを始末しない	歩行中や喫煙所以外での喫煙	たばこ、空き缶などのポイ捨て	ごみを分別せずに出す	ごみの不法投棄	公共交通機関での携帯電話の使用	病院内での携帯電話の使用	無回答
全体		1,334	681	1,140	945	1,088	959	1,173	654	726	18
		—	51.0	85.5	70.8	81.6	71.9	87.9	49.0	54.4	1.3
F 2 年齢	15～19歳	51	37.3	90.2	76.5	72.5	43.1	74.5	31.4	43.1	2.0
	20～29歳	95	38.9	82.1	66.3	83.2	54.7	88.4	41.1	57.9	0.0
	30～39歳	200	40.5	86.0	75.0	90.5	71.0	90.0	37.0	44.5	0.5
	40～49歳	202	44.1	87.1	74.3	84.2	62.4	89.1	41.1	50.5	0.5
	50～59歳	217	50.7	81.6	69.1	78.8	75.1	90.3	49.8	59.4	1.4
	60～69歳	291	56.7	88.7	67.4	80.1	77.7	89.0	56.0	57.4	1.4
	70歳以上	261	66.3	84.7	72.0	79.7	83.5	86.6	62.1	58.6	1.5
	無回答	17	41.2	70.6	52.9	52.9	58.8	58.8	52.9	52.9	23.5

■ 連合自治会別 絶対にすべきではないと思う行為(問27×F3)

- 「瀬谷第一地区連合町内会」「細谷戸連合町内会」では「ペットのフンを始末しない」、それ以外の地域では「ごみの不法投棄」が最も多くなっている。また「細谷戸連合町内会」「瀬谷第四地区連合自治会」では「歩道に自転車を止める」、「南瀬谷自治連合会」では「ごみを分別せずに出す」、「宮沢連合自治会」では「たばこ、空き缶などのポイ捨て」「公共交通機関での携帯電話の使用」も他地域に比べ数値が高い。

図 連合自治会別 絶対にすべきではないと思う行為

問27 絶対にすべきではないと思う行為（複数回答）

		全体	歩道に自転車を止める	ペットのフンを始末しない	歩行中や喫煙所以外での喫煙	たばこ、空き缶などのポイ捨て	ごみを分別せずに出す	ごみの不法投棄	公共交通機関での携帯電話の使用	病院内での携帯電話の使用	無回答
全体		1,334	681	1,140	945	1,088	959	1,173	654	726	18
		—	51.0	85.5	70.8	81.6	71.9	87.9	49.0	54.4	1.3
F 3 自治会	阿久和北部連合自治会	75	48.0	82.7	73.3	84.0	74.7	89.3	41.3	61.3	0.0
	阿久和南部連合自治会	142	56.3	85.2	71.8	83.1	73.2	87.3	52.1	60.6	1.4
	三ツ境連合自治会	103	55.3	86.4	75.7	80.6	69.9	88.3	43.7	61.2	1.0
	瀬谷第一地区連合町内会	65	52.3	87.7	69.2	78.5	67.7	84.6	43.1	47.7	1.5
	本郷地区連合自治会	93	51.6	82.8	67.7	79.6	69.9	91.4	47.3	50.5	1.1
	瀬谷北部町内連合会	103	49.5	81.6	72.8	80.6	60.2	84.5	44.7	42.7	3.9
	瀬谷第二地区連合自治会	237	42.2	86.5	65.4	79.3	70.9	88.2	48.9	50.6	1.3
	細谷戸連合町内会	36	75.0	86.1	72.2	75.0	75.0	83.3	55.6	55.6	0.0
	瀬谷第四地区連合自治会	117	62.4	86.3	74.4	82.9	76.1	91.5	51.3	54.7	0.0
	南瀬谷自治連合会	70	44.3	91.4	64.3	85.7	84.3	92.9	57.1	60.0	0.0
	宮沢連合自治会	100	57.0	90.0	76.0	90.0	76.0	95.0	55.0	65.0	0.0
	相沢町内連合会	169	46.2	82.8	75.1	82.8	73.4	85.2	48.5	51.5	1.2
	無回答	24	37.5	79.2	45.8	45.8	54.2	58.3	54.2	45.8	16.7

■ 生活習慣別 絶対にすべきではないと思う行為(問27×F9, 10, 11, 12)

- 喫煙習慣の有無別に「歩行中や喫煙所以外での喫煙」をみると、喫煙者は49.4%で全体の平均値より21.4ポイント下回っており、非喫煙者(75.6%)に比べると26.2ポイントも低い数値となっている。また「たばこ、空き缶などのポイ捨て」についても全体の平均値より11.6ポイント低くなっており、利用者の意識の低さが伺われる。
- 飼い犬の有無別に「ペットのフンを始末しない」をみると、いずれも80%台となっており、犬を飼っていない人の数値がやや高いものの極端に大きな差異はみられなかった。
- 携帯電話の使用有無別に「公共交通機関での携帯電話の使用」をみると、携帯電話を使っている人は45.9%で、使用していない人(61.4%)より15.5ポイント低くなっており、利用者の方が意識が低い。また「病院内での携帯電話の使用」についてはいずれも50%台で、携帯電話を使っていない人の数値がやや高いものの、極端に大きな差異はみられなかった。
- 自転車の使用有無別に「歩道に自転車を止める」をみると、「よく乗っている」人は41.9%で全体の平均値より9.1ポイント、「乗らない」人(59.3%)より17.4ポイント低くなっており、利用者の意識が低い傾向にある。

図 生活習慣別 絶対にすべきではないと思う行為

問27 絶対にすべきではないと思う行為 (複数回答)

		全体	歩道に自転車を止める	ペットのフンを始末しない	歩行中や喫煙所以外での喫煙	たばこ、空き缶などのポイ捨て	ごみを分別せずに出す	ごみの不法投棄	公共交通機関での携帯電話の使用	病院内での携帯電話の使用	無回答
全 体		1,334	681	1,140	945	1,088	959	1,173	654	726	18
		—	51.0	85.5	70.8	81.6	71.9	87.9	49.0	54.4	1.3
F 9 喫煙習慣	吸っている	237	48.9	82.3	49.4	70.0	67.9	88.2	48.5	54.4	1.7
	以前は吸っていた	324	55.2	85.8	75.6	86.4	72.5	88.9	49.7	52.8	0.9
	吸ったことはない	755	49.7	86.5	75.6	83.4	72.7	87.8	48.6	55.0	1.1
	無回答	18	61.1	77.8	66.7	66.7	77.8	72.2	61.1	61.1	16.7
F 10 飼い犬	飼っている	187	53.5	82.9	66.8	77.5	73.8	89.8	43.9	57.2	1.6
	以前は飼っていた	256	57.8	85.9	71.5	84.8	71.9	85.2	57.4	54.3	2.0
	飼ったことはない	875	48.3	86.2	71.7	81.9	71.5	88.7	47.4	53.7	0.8
	無回答	16	62.5	68.8	62.5	56.3	68.8	68.8	62.5	62.5	18.8
F 11 携帯電話	使っている	1,064	48.7	86.1	72.1	82.9	70.0	89.1	45.9	53.4	0.9
	使っていない	254	59.8	83.5	65.7	77.2	79.5	84.3	61.4	58.3	2.0
	無回答	16	68.8	75.0	68.8	62.5	75.0	68.8	62.5	62.5	18.8
F 12 自転車	よく乗っている	406	41.9	85.2	72.2	81.8	69.7	87.4	47.0	53.2	1.5
	たまに乗ることがある	397	49.1	87.9	71.3	84.6	70.3	90.2	47.6	55.4	0.3
	乗らない	516	59.3	84.1	69.6	79.7	74.8	87.2	51.4	54.5	1.6
	無回答	15	66.7	73.3	66.7	60.0	73.3	66.7	60.0	60.0	20.0

■ 公共マナーの遵守状況別 絶対にすべきではないと思う行為(問29×問27)

- ・ 「守っていない」を除き、いずれも「ごみの不法投棄」が最も高い数値となっている。なお、「守っていない」についてはサンプル数が少ないため参考値とし、分析の対象としない。
- ・ 「守っている」については、どの項目も全体の平均値より上回っており、マナーを守っている人ほどマナー違反に厳しい様子がうかがわれる。「まあまあ守っている」では「歩道に自転車を止める」「交通機関での携帯電話の使用」「病院内での携帯電話の使用」での数値が低くなっている。「あまり守っている方ではない」では、「ごみを分別せずに出す」「交通機関での携帯電話の使用」「たばこ、空き缶のポイ捨て」「病院内での携帯電話の使用」の数値が他に比べて特に低くなっている。

図 公共マナーの遵守状況別 絶対にすべきではないと思う行為

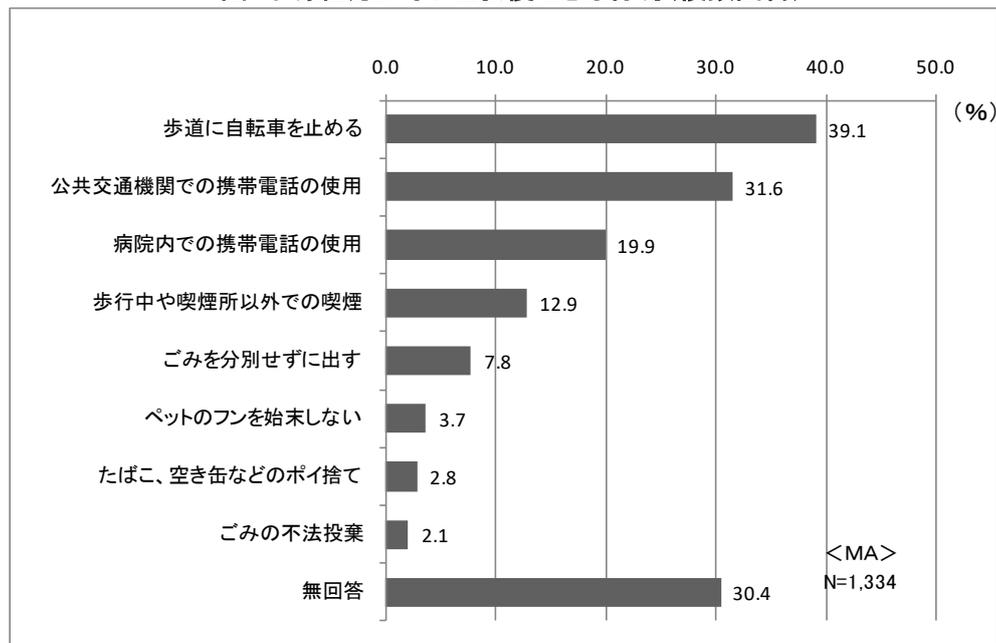
問27 絶対にすべきではないと思う行為 (複数回答)

		全体	歩道に自転車を止める	ペットのフンを始末しない	歩行中や喫煙所以外での喫煙	たばこ、空き缶などのポイ捨て	ごみを分別せずに出す	ごみの不法投棄	公共交通機関での携帯電話の使用	病院内での携帯電話の使用	無回答
全体		1,334	681	1,140	945	1,088	959	1,173	654	726	18
		—	51.0	85.5	70.8	81.6	71.9	87.9	49.0	54.4	1.3
問29 公共マナーの遵守状況	守っている	618	61.2	89.3	78.6	87.7	84.0	92.2	60.8	64.4	0.5
	まあまあ守っている	665	43.6	84.1	66.0	78.3	63.9	86.2	39.7	46.9	0.3
	あまり守っている方ではない	21	33.3	71.4	52.4	52.4	23.8	76.2	19.0	28.6	0.0
	守っていない	4	25.0	50.0	25.0	75.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0
	不明	26	19.2	46.2	30.8	42.3	30.8	46.2	34.6	34.6	46.2

問28 次にあげる行為の中で、あなたがまあ仕方がないと我慢できる行為はどれですか。

- ・ 「歩道に自転車を止める」が 39.1%で最も多く、4割近くの人が挙げている。次いで「公共交通機関での携帯電話の使用」が 31.6%である。以下「病院内での携帯電話の使用」(19.9%)、「歩行中や喫煙所以外での喫煙」(12.9%)、「ごみを分別せずに出す」(7.8%)、「ペットのフンを始末しない」(3.7%)、「たばこ、空き缶などのポイ捨て」(2.8%)、「ごみの不法投棄」(2.1%)と続く。一方、無回答も3割に達しており、選択項目の中に我慢できる項目がなかったため無回答を選んだ可能性が考えられる。

図 まあ仕方がないと我慢できる行為(複数回答)



■ 年齢別 まあ仕方がないと我慢できる行為(問28×F2)

- ・ 10代では「公共交通機関での携帯電話の使用」、20代以上では「歩道に自転車を止める」が最も多くなっている、また、10代で「ごみを分別せずに出す」、30代では「病院内での携帯電話の使用」の数値が他世代に比べて高い。また、高齢者層で無回答が多くなっている。

図 年齢別 まあ仕方がないと我慢できる行為

問28 まあ仕方がないと我慢できる行為 (複数回答)

		全体	歩道に自転車を止める	ペットのフンを始末しない	歩行中や喫煙所以外での喫煙	たばこ、空き缶などのポイ捨て	ごみを分別せずに出す	ごみの不法投棄	公共交通機関での携帯電話の使用	病院内での携帯電話の使用	無回答
全体		1,334	522	49	172	38	104	28	421	266	406
		—	39.1	3.7	12.9	2.8	7.8	2.1	31.6	19.9	30.4
F2 年齢	15～19歳	51	41.2	2.0	7.8	2.0	19.6	2.0	49.0	27.5	19.6
	20～29歳	95	46.3	0.0	18.9	0.0	11.6	0.0	44.2	18.9	17.9
	30～39歳	200	43.0	2.5	13.0	1.0	5.0	1.0	42.0	32.5	19.0
	40～49歳	202	41.6	2.0	8.4	1.5	8.9	0.0	41.1	20.8	23.3
	50～59歳	217	41.9	2.8	9.7	1.8	6.5	0.9	27.2	15.2	31.3
	60～69歳	291	33.3	3.4	12.7	3.1	5.5	1.7	27.8	15.5	38.1
	70歳以上	261	35.2	8.8	17.2	6.9	9.6	6.9	17.2	18.0	41.8
	無回答	17	41.2	0.0	23.5	5.9	0.0	0.0	11.8	11.8	35.3

■ 生活習慣別 まあ仕方がないと我慢できる行為(問28×F9, 10, 11, 12)

- 喫煙習慣の有無別に「歩行中や喫煙所以外での喫煙」をみると、喫煙者は 28.3%とほぼ3割が挙げているのに対し、非喫煙者の数値は低く、特に「吸ったことはない」では 8.3%と1割に満たない。喫煙者の容認姿勢であるのに対し、非喫煙者の厳しい姿勢が伺われる。また「たばこ、空き缶などのポイ捨て」については、喫煙者・非喫煙者とも2~4%と低い数値で大きな差異は見られなかった。
- 飼い犬の有無別に「ペットのフンを始末しない」をみると、いずれも3~4%と低い数値になっており、犬を飼っていない人の数値が僅かに高いものの極端に大きな差異はみられなかった。
- 携帯電話の使用有無別に「公共交通機関での携帯電話の使用」をみると、携帯電話を使っている人は 35.0%で、使っていない人の 18.1%を 16.9ポイント上回っており、利用者の意識が低くなっている。また「病院内での携帯電話の使用」についても、利用者は 20.8%、非利用者は 16.9%と、利用者の方がやや意識が低い様子が伺われる。
- 自転車の使用有無別に「歩道に自転車を止める」をみると、「よく乗っている」人は 47.0%で全体の平均値より7.9ポイント、「乗らない」人(30.8%)より16.2ポイント低くなっており、利用者の意識が低い傾向にある。

図 生活習慣別 まあ仕方がないと我慢できる行為

問28 まあ仕方がないと我慢できる行為(複数回答)

		全体	歩道に自転車 を止める	ペットのフン を始末しない	歩行中や喫煙 所以外での喫煙	たばこ、空き缶 などのポイ捨て	ごみを分別せず に出す	ごみの不法投棄	公共交通機関 での携帯電話の使用	病院内での 携帯電話の使用	無回答
全体		1,334	522	49	172	38	104	28	421	266	406
		—	39.1	3.7	12.9	2.8	7.8	2.1	31.6	19.9	30.4
F 9 喫煙習慣	吸っている	237	34.2	3.0	28.3	3.8	8.4	1.3	30.8	19.8	27.8
	以前は吸っていた	324	40.4	4.6	11.7	4.0	7.1	3.4	29.9	22.5	31.8
	吸ったことはない	755	40.0	3.6	8.3	2.0	7.9	1.9	33.1	19.1	30.6
	無回答	18	44.4	0.0	22.2	5.6	5.6	0.0	5.6	11.1	33.3
F 10 飼い犬	飼っている	187	41.2	4.3	13.4	2.1	7.0	1.6	32.6	19.3	29.9
	以前は飼っていた	256	38.3	3.5	14.1	3.9	8.6	3.1	27.3	16.4	34.8
	飼ったことはない	875	39.0	3.7	12.2	2.6	7.8	1.9	33.0	21.4	29.0
	無回答	16	37.5	0.0	25.0	6.3	6.3	0.0	6.3	6.3	43.8
F 11 携帯電話	使っている	1,064	40.0	2.8	11.9	2.1	7.5	1.4	35.0	20.8	28.2
	使っていない	254	35.4	7.5	16.1	5.9	9.1	5.1	18.1	16.9	39.8
	無回答	16	37.5	0.0	25.0	6.3	6.3	0.0	18.8	12.5	31.3
F 12 自転車	よく乗っている	406	47.0	4.7	11.8	3.4	9.6	2.5	32.0	21.7	26.8
	たまに乗ることがある	397	41.8	1.0	10.1	1.5	4.8	0.8	33.0	17.6	29.0
	乗らない	516	30.8	5.0	15.5	3.3	8.7	2.9	30.6	20.5	34.3
	無回答	15	40.0	0.0	26.7	6.7	6.7	0.0	13.3	13.3	33.3

■ 公共マナーの遵守状況別 我慢できる行為(問29×問28)

- 「守っていない」を除き、いずれも「歩道に自転車を止める」が最も高い数値となっている。なお、「守っていない」についてはサンプル数が少ないため参考値とし、分析の対象としない。また、「守っている」の不明(無回答)が多く、選択項目の中に我慢できる項目がなかったため無回答を選んだ可能性が考えられる。
- 「あまり守っている方ではない」では、「歩行中や喫煙所以外での喫煙」「ごみを分別せずに出す」「公共交通機関での携帯電話の使用」の数値が他に比べて高くなっている。

図 公共マナーの遵守状況別 我慢できる行為

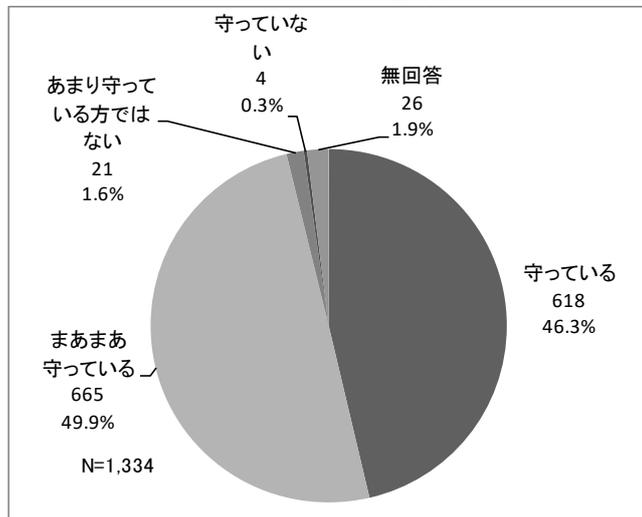
問28 まあ仕方がないと我慢できる行為 (複数回答)

		全体	歩道に自転車を止める	ペットのフンを始末しない	歩行中や喫煙所以外での喫煙	たばこ、空き缶などのポイ捨て	ごみを分別せずに出す	ごみの不法投棄	公共交通機関での携帯電話の使用	病院内での携帯電話の使用	無回答
全体		1,334	522	49	172	38	104	28	421	266	406
		—	39.1	3.7	12.9	2.8	7.8	2.1	31.6	19.9	30.4
問29 公共マナーの遵守状況	守っている	618	35.1	3.6	10.7	3.1	6.1	2.9	27.0	18.0	38.3
	まあまあ守っている	665	43.2	3.5	14.1	2.1	8.4	1.1	36.2	21.4	22.3
	あまり守っている方ではない	21	47.6	4.8	38.1	9.5	28.6	0.0	42.9	28.6	14.3
	守っていない	4	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	75.0	25.0
	不明	26	23.1	7.7	11.5	7.7	11.5	7.7	7.7	15.4	65.4

問29 あなた自身は公共マナーを守っている方だと思いますか。

- 「まあまあ守っている」が最も多く49.9%と、半数を占めている。次いで「守っている」が46.3%で続き、この2つを合わせると96.2%の人がマナーは守っていると回答している。「あまり守っていない」は1.6%、「守っていない」は0.3%に留まっている。

図 公共マナーの遵守状況



■ 年齢別 公共マナーの遵守状況(問29×F2)

- 10代から50代までの世代では「まあまあ守っている」が、60代、70代以上では「守っている」が最も多くなっており、年齢が上がるほど公共マナーを守っている傾向が伺える。

図 年齢別 公共マナーの遵守状況

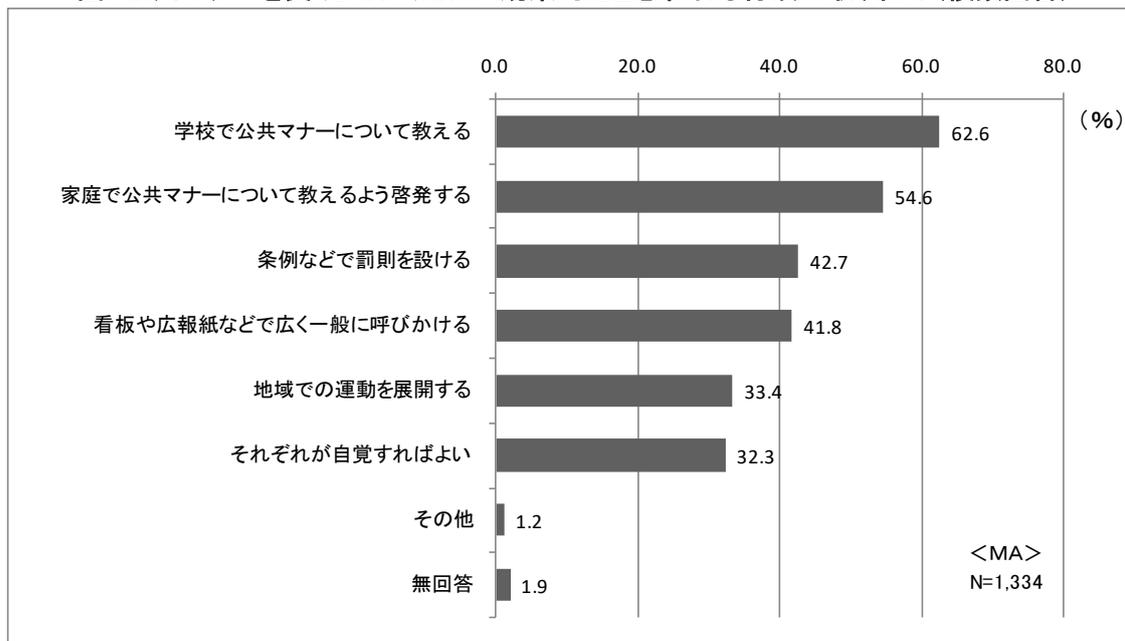
問29 あなた自身は公共マナーを守っている方だと思いますか

		全体	守っている	まあまあ守っている	あまり守っていない方ではない	守っていない	無回答
全体		1,334	618	665	21	4	26
		100.0	46.3	49.9	1.6	0.3	1.9
F2 年齢	15～19歳	51	15.7	74.5	7.8	2.0	0.0
	20～29歳	95	35.8	55.8	4.2	1.1	3.2
	30～39歳	200	40.5	56.0	2.0	0.5	1.0
	40～49歳	202	36.1	62.4	1.0	0.0	0.5
	50～59歳	217	45.6	51.2	1.8	0.0	1.4
	60～69歳	291	52.6	44.3	0.3	0.3	2.4
	70歳以上	261	62.5	34.5	0.4	0.0	2.7
	無回答	17	41.2	35.3	5.9	0.0	17.6

問 30 公共マナーを良くしていくための行政の取り組みとして効果的だと思うものをあげて下さい。

- 「学校で公共マナーについて教える」が 62.6%で最も多く、次いで「家庭で公共マナーについて教えるよう啓発する」が 54.6%と、学校や家庭での教育を挙げる人が5割前後である。次いで「条例などで罰則を設ける」が 42.7%となっている。以下「看板や広報紙などで広く一般に呼びかける」(41.8%)、「地域での運動を展開する」(33.4%)、「それぞれが自覚すればよい」(32.3%)、「その他」(1.2%)の順である。

図 公共マナーを良くしていくために効果的だと思われる行政の取り組み(複数回答)



■ 年齢別 公共マナーを良くしていくために効果的だと思われる行政の取り組み(問30×F2)

- 10代では「それぞれが自覚すればよい」、20代以上の世代では「学校で公共マナーについて教える」が最も多くなっている。また20代では「条例などで罰則を設ける」、60代では「地域での運動を展開する」、70歳以上では「看板や広報紙などで広く一般に呼びかける」の数値が他世代に比べて高い。また年齢が上がるほど「家庭で公共マナーについて教えるよう啓発する」の数値が高くなるなど、高年齢層ほど教育の必要性を挙げている傾向にある。

図 年齢別 公共マナーを良くしていくために効果的だと思われる行政の取り組み

問30 効果的だと思う公共マナーを良くしていくための行政の取り組み(複数回答)

		全体	看板や広報紙などで広く一般に呼びかける	学校で公共マナーについて教える	家庭で公共マナーについて教えるよう啓発する	地域での運動を展開する	条例などで罰則を設ける	それぞれが自覚すればよい	その他	無回答
全体		1,334	557	835	728	445	569	431	16	26
		—	41.8	62.6	54.6	33.4	42.7	32.3	1.2	1.9
F 2 年齢	15～19歳	51	21.6	47.1	31.4	23.5	51.0	56.9	0.0	0.0
	20～29歳	95	33.7	61.1	36.8	26.3	53.7	32.6	2.1	2.1
	30～39歳	200	32.5	65.5	52.5	27.5	49.0	31.0	2.0	0.5
	40～49歳	202	35.6	61.4	48.0	31.2	48.0	26.7	2.5	0.0
	50～59歳	217	43.3	59.4	57.6	34.6	40.6	26.7	0.9	1.8
	60～69歳	291	46.0	65.3	62.9	43.3	38.1	30.2	0.3	3.1
	70歳以上	261	55.2	66.7	62.1	32.2	36.4	39.1	0.8	1.9
	無回答	17	29.4	29.4	29.4	29.4	17.6	41.2	0.0	29.4

■ 公共マナーの遵守状況別 公共マナーを良くしていくために効果的だと思われる行政の取り組み
(問30×問29)

- ・「守っている」「まあまあ守っている」「あまり守っている方ではない」では「学校で公共マナーについて教える」が最も多く、次いで「家庭で公共マナーについて教えるよう啓発する」となっており、いずれも教育の必要性を挙げている。なお「守っていない」はサンプル数が4人と非常に少なく分析の対象にはならないが、参考として、4人中3人までが「それぞれが自覚すればよい」を挙げている。

図 公共マナーの遵守状況別 公共マナーを良くしていくために効果的だと思われる行政の取り組み

問30 効果的だと思う公共マナーを良くしていくための行政の取り組み (複数回答)

		全体	看板や広報紙などで広く一般に呼びかける	学校で公共マナーについて教える	家庭で公共マナーについて教えるよう啓発する	地域での運動を展開する	条例などで罰則を設ける	それぞれが自覚すればよい	その他	無回答
全体		1,334	557	835	728	445	569	431	16	26
		—	41.8	62.6	54.6	33.4	42.7	32.3	1.2	1.9
問29 公共マナー の遵守状況	守っている	618	46.3	67.6	63.1	37.1	46.9	32.0	1.5	0.5
	まあまあ守っている	665	39.5	59.8	48.9	31.0	40.2	32.8	0.9	1.1
	あまり守っている方ではない	21	19.0	38.1	28.6	23.8	28.6	23.8	0.0	4.8
	守っていない	4	0.0	50.0	50.0	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0
	不明	26	15.4	34.6	19.2	15.4	15.4	26.9	3.8	57.7

平成21年度 瀬谷区区民意識調査

- (1) 調査対象 3,000人(住民基本台帳、外国人登録原票から16歳以上を無作為抽出)
- (2) 調査方法 郵送によるアンケート発送および回答
- (3) 調査期間 平成21年11月26日～12月8日
- (4) 回収数 1,334件(回収率44.5%)

※概要数値の見方

数値はそれぞれ割合(%)を表示。基本数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている(n=1,334)。

～調査票へのご記入にあたって～

本調査は、住民基本台帳・外国人登録原票から無作為抽出された区内在住の16歳以上の方3,000名を対象に実施させていただいています。調査結果につきましては、個人情報保護の趣旨に基づき統計的に処理いたしますので、個人が特定されたり、ご迷惑をおかけすることはありません。(返送の際、住所・氏名のご記入は必要ありません。)

- (1) 調査票への記入は、原則としてあて名のご本人がご記入ください。何らかの事情により、ご本人に記入いただくことが困難な場合には、提出いただかなくても結構です。
- (2) 回答は、該当する番号に○印を付けていただくか、該当する番号を回答欄にご記入いただくか、自由に意見を記入していただく形式になっています。
- (3) 番号に○印を付けていただく形式では、該当する番号1つに○をつけていただく場合と、複数の番号に○をつけていただく場合があります。質問文の指示に従ってご回答ください。「その他」に当てはまる場合には、その番号に○をつけて()内に具体的な内容をご記入ください。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

平成21年12月8日(火)まで

にポストにご投函ください(切手は不要です)。



本調査に関するご質問がございましたら、下記担当までお問い合わせください。

担当:横浜市瀬谷区役所 区政推進課企画調整係 松永・佐藤
電話:045-367-5632 FAX:045-365-1170

はじめに、区役所の仕事についておたずねします。

問1 あなたは、区役所に何回くらい行きますか。(○は1つ)

1 月に1回以上 4.2%	2 年に3～4回程度 26.3%
3 年に2回程度 19.6%	4 年に1回程度 18.5%
5 数年に1回 13.3%	6 ここ数年行ったことがない 12.1% 無回答 5.9%

問2 あなたが区役所に行くときは、主にどのような用件のあるときですか。3つまで選んで右の口の中に該当する番号(①～⑩)をご記入下さい。

- ① 戸籍・住民票関係の手続き(戸籍謄・抄本、転入・転出届、住民票、印鑑登録等) 76.1%
- ② 税金関係の相談・手続き(納付、課税証明等) 29.6%
- ③ 国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き(加入手続き、医療費助成等) 31.9%
- ④ 乳幼児健診・予防接種、健康診断などの受診 10.7%
- ⑤ 介護保険関係の相談・手続き 7.3%
- ⑥ 福祉保健関係の相談・手続き(児童手当・保育園・母子健康手帳、障害者手帳、障害者自立支援法関連、生活保護等) 12.8%
- ⑦ 生活衛生関係の相談・手続き(食品・環境衛生等) 1.3%
- ⑧ まちづくり、市民活動関係の相談 2.5%
- ⑨ イベント・各種説明会・教室などへの参加 12.1%
- ⑩ その他(具体的に: _____) 4.3%

無回答 8.7%

問3 現在の区役所の仕事ぶりについて、次の項目ごとに、どう思われるかお答えください。また、区役所のあり方における各項目の重要度をお答えください。(それぞれの項目ごとに○は1つ)

記入例	仕事ぶり %			重要度 %																																						
	そう思う	そう思わない	(無回答)	重要	あまり重要でない	(無回答)																																				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td>仕事ぶり</td> <td>重要度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>そう思う</td> <td>重要</td> <td>あまり重要でない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>そう思わない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>① 仕事が的確・公正で、信頼できる</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 窓口や電話での対応が丁寧で気持がよい</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ …</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td></td> </tr> </table>		仕事ぶり	重要度					そう思う	重要	あまり重要でない				そう思わない					① 仕事が的確・公正で、信頼できる	A	B	a	b		② 窓口や電話での対応が丁寧で気持がよい	A	B	a	b		③ …	A	B	a	b							
	仕事ぶり	重要度																																								
	そう思う	重要	あまり重要でない																																							
	そう思わない																																									
① 仕事が的確・公正で、信頼できる	A	B	a	b																																						
② 窓口や電話での対応が丁寧で気持がよい	A	B	a	b																																						
③ …	A	B	a	b																																						
① 仕事が的確・公正で、信頼できる	64.5	19.9	15.6	78.3	3.1	18.6																																				
② 窓口や電話での対応が丁寧で気持がよい	57.4	28.3	14.2	76.3	5.2	18.5																																				
③ 住民や地域の活動がサポートできている	35.4	41.2	23.5	64.7	12.3	23.0																																				
④ 効率的で合理的な組織経営が行われている	26.2	47.5	26.2	64.8	9.7	25.5																																				
⑤ 住民のニーズに合った窓口のオープン時間が設定されている	34.9	43.3	21.7	67.2	9.3	23.5																																				
⑥ 行政情報が必要な人に分かりやすく提供されている	28.9	48.0	23.1	66.6	8.2	25.1																																				
⑦ 区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている	22.9	52.6	24.5	64.7	10.0	25.3																																				

お住まいの周辺の環境についておたずねします。

問4 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境にどの程度満足していますか。また、以前(5～6年前)と比べてどのように変わったと思いますか。(項目ごとに“満足度”、“以前と比べて”からそれぞれの記号に1つずつに○)

生活環境	満足度 %						以前と比べて %				
	満足	やや満足	やや不満	不満	分からない	(無回答)	よくなった	変わらない	悪くなった	分からない	(無回答)
① 公共交通機関(電車・バス)の便	23.5	36.4	21.9	13.0	2.9	2.3	20.4	54.8	5.5	10.2	9.1
② 日常の買い物の便	31.0	37.6	16.6	10.7	1.6	2.6	33.4	40.7	10.3	6.7	8.8
③ 街並み、地域の住環境	14.5	41.5	25.1	11.2	3.3	4.3	17.4	49.0	13.8	9.2	10.6
④ 道路や歩道、駐輪場などの整備	7.7	28.7	30.4	26.2	3.3	3.7	19.9	51.7	8.5	9.9	10.0
⑤ 公園などの整備	12.9	39.3	18.7	10.3	14.4	4.3	22.7	43.0	6.7	16.9	10.7
⑥ 地域の魅力をアップさせるイベント	4.1	23.8	18.4	11.7	36.7	5.3	9.2	37.1	4.0	38.1	11.6
⑦ 商店街の振興	2.5	13.6	28.3	25.8	25.0	4.9	4.2	27.7	31.7	26.0	10.4
⑧ 樹林地や水辺などの自然環境の保全	14.5	37.0	15.4	9.7	18.6	4.7	27.9	29.7	10.0	21.9	10.6
⑨ 都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり	5.8	20.3	18.1	8.0	42.3	5.5	8.5	31.2	4.6	43.6	12.1
⑩ 教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実	7.4	26.7	19.7	11.9	29.4	4.9	13.1	37.8	3.1	34.1	11.8
⑪ 市民活動を支援するための施設・サービスの充実	4.9	24.8	18.5	9.8	36.7	5.2	13.1	32.8	3.2	39.2	11.7
⑫ 子育て支援のための施設・サービスの充実	2.9	14.9	15.2	9.1	51.3	6.4	7.3	25.4	2.7	51.9	12.6
⑬ 高齢者支援のための施設・サービスの充実	4.8	18.9	16.6	10.4	44.7	4.6	15.0	24.1	4.3	44.8	11.8
⑭ 障害者支援のための施設・サービスの充実	2.5	14.2	13.3	8.5	55.4	5.9	8.0	21.7	3.0	54.3	13.0
⑮ 病院・救急医療などの地域医療	7.6	29.7	26.1	18.2	14.7	3.7	12.1	47.9	8.4	20.5	11.0
⑯ 地域の防犯体制の整備	4.5	24.1	26.2	14.6	25.6	4.9	11.2	37.9	10.3	28.7	11.9
⑰ 地域の防災体制の整備	4.9	26.3	21.8	7.3	34.4	5.3	10.3	38.5	3.4	35.3	12.4
⑱ ごみの分別・リサイクルなど美化活動	16.3	43.0	19.5	11.0	6.4	3.7	37.9	29.4	9.5	13.3	10.0
⑲ 身近な区役所窓口のサービス	15.1	38.3	16.5	5.7	20.5	4.0	23.8	38.2	2.0	25.0	11.0
⑳ お住まいの周辺の総合的な環境	11.5	45.7	24.4	9.2	5.5	3.7	15.2	51.0	10.9	12.4	10.6

問5 上記①～⑱の質問項目のうち、あなたのお住まいの周辺の環境にとって、とくに重要度が高いとお考えの項目を3つまでお知らせください。

(①～⑱の番号から3つを選んで記入)

--	--	--

%

①公共交通機関（電車・バス）の便	31.9
②日常の買い物の便	23.1
③街並み、地域の住環境	16.6
④道路や歩道、駐輪場などの整備	30.1
⑤公園などの整備	8.1
⑥地域の魅力をアップさせるイベント	1.2
⑦商店街の振興	11.1
⑧樹林地や水辺などの自然環境の保全	13.1
⑨都市農業の振興や農にふれ合える環境づくり	1.8
⑩教育・文化・スポーツ活動のための施設・講座等の充実	8.2
⑪市民活動を支援するための施設・サービスの充実	3.1
⑫子育て支援のための施設・サービスの充実	9.1
⑬高齢者支援のための施設・サービスの充実	16.0
⑭障害者支援のための施設・サービスの充実	5.2
⑮病院・救急医療などの地域医療	32.8
⑯地域の防犯体制の整備	21.2
⑰地域の防災体制の整備	7.6
⑱ごみの分別・リサイクルなど美化活動	11.5
⑲身近な区役所窓口のサービス	3.4
(無回答)	10.2

文化活動についておたずねします。

問6 あなたは、日頃どんな文化活動を行なっていますか。(〇はいくつでも)

1 音楽演奏	5.5%	2 美術創作	5.6%	3 演劇活動	0.5%	4 演芸活動	0.7%
5 舞踊	3.2%	6 生け花	1.4%	7 茶道	1.2%	8 華道	0.2%
9 その他	6.1%						
10 何もしていない	65.4%	無回答	13.4%				

文化活動を行っている人におうかがいします。

問7 現在、その活動はどこで行なっていますか。(〇はいくつでも) n=283

1 瀬谷公会堂	6.4%	2 地区センター	29.0%	3 地域ケアプラザ	7.8%
4 学校施設(学校開放)	11.3%	5 民間貸スペース	13.1%	6 区外(旭区や大和市など)の施設	18.0%
7 メンバー自宅	26.9%	8 町内会館・自治会館	10.6%		
9 その他	8.5%	無回答	5.7%		

問8 その活動はどのくらいの頻度で行っていますか。(〇は1つ) n=283

1 毎日	3.2%	2 週に3~4回程度	15.5%	3 週に1回程度	27.2%
4 月に数回程度	27.6%	5 月に1回程度	19.8%	無回答	6.7%

全員におうかがいします。

問9 あなたは、将来どんな文化活動を行なってみたいですか。(〇はいくつでも)

1 音楽演奏	13.6%	2 美術創作	14.8%	3 演劇活動	2.1%	4 演芸活動	1.8%
5 舞踊	5.6%	6 生け花	5.2%	7 茶道	5.4%	8 華道	2.5%
9 その他	4.8%	10 特にない	47.4%	無回答	12.7%		

問10 文化活動をするにあたってどのような施設が必要と思いますか。(〇は3つまで)

1 身近な場所で音楽演奏や演劇ができる大ホール	12.0%
2 演芸など日頃の活動が気軽に発表できる小ホール	13.7%
3 様々なイベントができる多目的ホール	40.3%
4 美術や書道の発表ができるギャラリー	11.0%
5 多人数で美術や書道の制作ができる施設	10.2%
6 演奏のリハーサルや練習ができる防音施設	16.5%
7 演劇や舞踊などのリハーサルや練習ができる施設	7.7%
8 研修室・会議室	15.9%
9 必要ない	16.0%
10 その他	1.2%
	無回答 18.0%

問11 施設(場の提供)の他に文化活動を活発にするためには特に何が重要だと思いますか。(〇は1つ)

1 活動情報のPR	41.5%	2 活動への助成金	13.7%
3 講師・専門家の派遣	19.9%		
4 その他	2.4%	無回答	22.5%

瀬谷区の区民利用施設についておたずねします。

問 12 次の瀬谷区内の施設について、各項目ごとに右欄の認知と利用状況を1つ選んで○をつけてください。

施設	認知と利用 %			
	・知っており、利用している／利用したことがある	・知っているが利用したことはない	・知らない	(無回答)
① 地区センター	51.2	33.1	8.6	7.0
② コミュニティハウス	13.0	34.9	40.4	11.8
③ 地域ケアプラザ	17.8	48.2	24.4	9.7
④ 区民活動センター	4.8	29.2	53.7	12.3
⑤ ボランティアセンター	2.9	25.6	57.9	13.6
⑥ 公会堂	47.8	35.3	7.0	9.8
⑦ スポーツセンター	33.4	40.4	14.6	11.5
⑧ 学校施設(学校開放)	23.4	41.8	22.6	12.3
⑨ 町内会館・自治会館	43.6	32.2	14.4	9.8

問 13 あなたの日頃の活動で次に挙げる施設を利用する場合、どこにあったら使いますか。各項目ごとに1つ選んで○をつけてください。

日頃の活動の場所	あったらよい場所 %				
	・徒歩圏だった ら使う	・電車またはバス利用でも使う	・駐車場があれば使う	・使わない	(無回答)
① 会議室	24.8	4.3	11.2	46.0	13.7
② ホール	18.1	10.8	15.2	41.1	14.8
③ 和室	18.4	3.7	6.4	55.9	15.6
④ 音楽室	18.3	6.2	10.8	49.3	15.4
⑤ 調理室	21.4	4.1	7.8	51.3	15.4
⑥ 図書室	49.9	7.7	17.5	12.0	12.9
⑦ トレーニング室	39.5	5.5	18.0	22.7	14.2
⑧ 体育館	34.3	5.4	17.7	28.6	14.0
⑨ 運動広場(グラウンド)	32.8	5.2	16.8	30.7	14.5
⑩ 子どものあそび場	37.6	2.1	8.9	36.1	15.4

広報紙についておたずねします。

問 14 瀬谷区の広報には広報紙、ホームページ、チラシなど様々なものがあります(※)が、全体的に瀬谷区の広報についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

※広報手段には広報よこはま瀬谷区版・ホームページ・回覧板・掲示板・メールマガジンがあります

1 満足 10.3% 2 おおむね満足 68.3% 3 やや不満 12.9% 4 不満 3.4% 無回答 5.1%

問 15 今後の瀬谷区の広報のあり方についてどのようにお考えですか。(〇は1つ)

1 現在の広報手段のまま内容を充実した方がよい 75.3%
 2 新たな広報手段を考えて増やした方がよい 16.0% 無回答 8.7%
 (具体例がありましたらお聞かせください:)

問 16 あなたは「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいますか。(〇は1つ)

1 毎月読んでいる 46.9% 2 たまに読んでいる 39.5% 3 読んでいない 12.9% 無回答 0.7%

問 17 「広報よこはま瀬谷区版」はあなたの役に立っていますか。(〇は1つ)

1 役に立っている 44.2% 2 役に立っていない 12.3% 3 どちらともいえない 41.3% 無回答 2.2%

問 18 あなたは、「広報よこはま瀬谷区版」を見て、講座や催し物などに参加したことがありますか。(〇は1つ)

1 ある 33.9% 2 ない 64.3% 無回答 1.8%

問 19 「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいる人にうかがいます。どのような記事をよく読んでいますか。(〇はいくつでも) n=1,152

1 特集記事 43.8%
 2 区役所からのお知らせ 69.2%
 3 地区センターなど施設からのお知らせ 45.8%
 4 福祉保健センターからの健診などのお知らせ 39.1%
 5 コラム・トピックスなど 22.1% 無回答 5.3%

問 20 「広報よこはま瀬谷区版」を読んでいない人にうかがいます。読まない理由をお聞かせ下さい。(〇は1つ) n=172

1 読んでいる暇がないから 21.5%
 2 読みたい(必要な)記事がないから 26.7%
 3 他の媒体から情報を得ているから 5.2%
 4 広報紙を見たことがない(配られていない)から 34.9%
 5 その他 6.4% 無回答 5.2%

問 21 「広報よこはま瀬谷区版」の記事としてどのような分野の行政情報を充実してほしいですか。

(○はいくつでも)

1 戸籍・住所・印鑑	7.7%	2 保険・年金	33.6%	3 税金	25.5%
4 健康・医療	56.2%	5 福祉	33.1%	6 子ども・青少年	19.9%
7 防災・防犯	40.0%	8 暮らし・環境・衛生	45.3%	9 区民活動	23.5%
10 まちづくり	26.8%				
11 その他	0.5%				
12 特にない	7.9%	無回答	3.4%		

問 22 「広報よこはま瀬谷区版」で今後読んでみたいと思う情報はどれですか。(○はいくつでも)

1 地域のイベント	52.2%	2 区民活動紹介	26.4%
3 区民利用施設紹介	45.1%	4 区内魅力スポット紹介	44.8%
5 地域のお店情報	45.4%	6 読者の投稿	9.7%
7 その他	0.8%		
8 特にない	10.1%	無回答	4.0%

参考

「広報よこはま瀬谷区版」は一部を除き、自治会町内会を通じて各家庭にお配りしているほか、区内の施設にあるPRボックスで配布しています。

詳しくは瀬谷区役所区政推進課広報相談係にお問い合わせください。

TEL : 367-5635 FAX : 365-1170



新型インフルエンザについておたずねします。

問 23 あなたは現在新型インフルエンザに対してどの程度不安を感じていますか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|----------------|-------|-----------------|-------|-----|------|
| 1 強い不安を感じている | 14.7% | 2 不安を感じている | 47.5% | | |
| 3 あまり不安を感じていない | 31.7% | 4 まったく不安を感じていない | 4.9% | 無回答 | 1.2% |

問 24 あなたは、現在日ごろどのような新型インフルエンザ対策をしていますか。(○はいくつでも)

- | | | | | | |
|--------------------|-------|--------------------|-------|-----|------|
| 1 マスクの着用 | 37.6% | 2 手洗い・うがいの励行 | 87.0% | | |
| 3 体温管理など定期的な健康チェック | 12.7% | 4 新型インフルエンザ関連の情報収集 | 26.2% | | |
| 5 その他 | 1.4% | 6 まったくしていない | 7.1% | 無回答 | 0.9% |

問 25 新型インフルエンザワクチンの接種目的は、重症者、死亡者の発生を減らすことで、感染防止に関しては効果が保証されていません。あなたはこのことをご存知ですか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---------|-------|----------|-------|-----|------|
| 1 知っている | 69.6% | 2 知らなかった | 28.1% | 無回答 | 2.3% |
|---------|-------|----------|-------|-----|------|

問 26 横浜市や近隣地域に関する新型インフルエンザ関連の情報をどのようなところから得られると便利ですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|-----------|-------|----------------|-------|
| 1 インターネット | 26.2% | 2 メール配信 | 10.6% |
| 3 チラシ・回覧 | 53.6% | 4 テレビ・ラジオなどの情報 | 65.9% |
| 5 その他 | 3.5% | 無回答 | 2.3% |

参考

横浜市内では、発熱等のインフルエンザ症状がある方について、最寄りの病院や、一般の協力医療機関で新型インフルエンザの受診ができます。

受診の際は、医療機関に必ず事前に電話で連絡し、受付の時間帯や受診方法などについて指示を受けてください。感染拡大防止のため、必ずマスクを着用してください。

最寄りの病院や、一般の協力医療機関などの受診医療機関がわからない場合には、発熱相談センターにご連絡ください。

発熱相談センター (平日 9時～17時)

TEL : 045-671-4183 FAX : 045-664-7296

公共マナーについておたずねします。

問 27 次にあげる行為の中で、あなたが絶対にすべきではないと思う行為はどれですか。

(○はいくつでも)

1 歩道に自転車を止める	51.0%	2 ペットのフンを始末しない	85.5%
3 歩行中や喫煙所以外での喫煙	70.8%	4 たばこ、空き缶などのポイ捨て	81.6%
5 ごみを分別せずに出す	71.9%	6 ごみの不法投棄	87.9%
7 公共交通機関での携帯電話の使用	49.0%	8 病院内での携帯電話の使用	54.4%
			無回答 1.3%

問 28 次にあげる行為の中で、あなたがまあ仕方がないと我慢できる行為はどれですか。

(○はいくつでも)

1 歩道に自転車を止める	39.1%	2 ペットのフンを始末しない	3.7%
3 歩行中や喫煙所以外での喫煙	12.9%	4 たばこ、空き缶などのポイ捨て	2.8%
5 ごみを分別せずに出す	7.8%	6 ごみの不法投棄	2.1%
7 公共交通機関での携帯電話の使用	31.6%	8 病院内での携帯電話の使用	19.9%
			無回答 30.4%

問 29 あなた自身は公共マナーを守っている方だと思いますか。(○は1つ)

1 守っている	46.3%	2 まあまあ守っている	49.9%
3 あまり守っている方ではない	1.6%	4 守っていない	0.3%
			無回答 1.9%

問 30 公共マナーを良くしていくための行政の取り組みとして効果的だと思うものをあげて下さい。

(○はいくつでも)

1 看板や広報紙などで広く一般に呼びかける	41.8%
2 学校で公共マナーについて教える	62.6%
3 家庭で公共マナーについて教えるよう啓発する	54.6%
4 地域での運動を展開する	33.4%
5 条例などで罰則を設ける	42.7%
6 それぞれが自覚すればよい	32.3%
7 その他	1.2%
	無回答 1.9%



最後にあなた自身のことについておたずねします。

F1 あなたの性別をお選びください。(○は1つ)

1 男性	39.9%	2 女性	57.8%	無回答	2.3%
------	-------	------	-------	-----	------

F2 あなたの年齢をお選びください。(○は1つ)

1 15～19歳	3.8%	2 20～24歳	3.1%	3 25～29歳	4.0%	4 30～34歳	5.5%
5 35～39歳	9.4%	6 40～44歳	8.2%	7 45～49歳	7.0%	8 50～54歳	6.7%
9 55～59歳	9.6%	10 60～64歳	10.9%	11 65～69歳	10.9%	12 70～74歳	9.2%
13 75歳以上	10.3%	無回答	1.3%				

F3 あなたの住んでいる地域をお選びください。(○は1つ)

1 相沢一丁目	2 相沢二丁目	3 相沢三丁目	4 相沢四丁目
5 相沢五丁目	6 相沢六丁目	7 相沢七丁目	8 阿久和西一丁目
9 阿久和西二丁目	10 阿久和西三丁目	11 阿久和西四丁目	12 阿久和東一丁目
13 阿久和東二丁目	14 阿久和東三丁目	15 阿久和東四丁目	16 阿久和南一丁目
17 阿久和南二丁目	18 阿久和南三丁目	19 阿久和南四丁目	20 東野
21 東野台	22 中央	23 二ツ橋町	24 五貫目町
25 橋戸一丁目	26 橋戸二丁目	27 橋戸三丁目	28 本郷一丁目
29 本郷二丁目	30 本郷三丁目	31 本郷四丁目	32 上瀬谷町
33 北町	34 北新	35 目黒町	36 南台一丁目
37 南台二丁目	38 南瀬谷一丁目	39 南瀬谷二丁目	40 三ツ境
41 宮沢一丁目	42 宮沢二丁目	43 宮沢三丁目	44 宮沢四丁目
45 中屋敷一丁目	46 中屋敷二丁目	47 中屋敷三丁目	48 卸本町
49 瀬谷一丁目	50 瀬谷二丁目	51 瀬谷三丁目	52 瀬谷四丁目
53 瀬谷五丁目	54 瀬谷六丁目	55 瀬谷町	56 下瀬谷一丁目
57 下瀬谷二丁目	58 下瀬谷三丁目	59 竹村町	

	%
阿久和北部連合自治会	5.6
阿久和南部連合自治会	10.6
三ツ境連合自治会	7.7
瀬谷第一地区連合町内会	4.9
本郷地区連合自治会	7.0
瀬谷北部町内連合会	7.7
瀬谷第二地区連合自治会	17.8
細谷戸連合町内会	2.7
瀬谷第四地区連合自治会	8.8
南瀬谷自治連合会	5.2
宮沢連合自治会	7.5
相沢町内連合会	12.7
無回答	1.8

F4 あなたのご家族(同居されている方)の構成をお選びください。(〇は1つ)

- | | | | |
|---------------|--------------|-------------|-----------------|
| 1 ひとり暮らし 5.8% | 2 夫婦だけ 24.7% | 3 親と子 56.2% | 4 祖父母と親と子 10.0% |
| 5 その他 1.6% | 無回答 1.6% | | |

F5 あなたのお住まいの形態をお選びください。(〇は1つ)

- | | | |
|------------------------|-----------------------|------------------------|
| 1 持家(一戸建て) 66.3% | 2 持家(マンション・共同住宅) 7.7% | 3 借家(一戸建て) 1.8% |
| 4 借家(県営・市営の共同住宅) 10.3% | 5 社宅、公務員住宅 0.6% | 6 民間アパート、賃貸マンション 11.5% |
| 7 その他 0.1% | 無回答 1.6% | |

F6 あなたの職業をお知らせください。(〇は1つ)

- | | | | |
|-------------------------|--------------------|------------|-----------|
| 1 自営業(農・商・自由業) 7.2% | 2 会社員 26.3% | 3 公務員 2.9% | 4 学生 4.7% |
| 5 パート・アルバイト(学生以外) 14.6% | 6 就労・就学していない 39.4% | 無回答 4.8% | |

F7 現在の住居での居住年数を教えてください(〇は1つ)

無回答 1.8%

- | | | | | |
|-------------|---------------|-----------------|------------------|---------------|
| 1 3年未満 9.6% | 2 3～5年未満 7.9% | 3 5～10年未満 13.6% | 4 10～20年未満 23.5% | 5 20年以上 43.6% |
|-------------|---------------|-----------------|------------------|---------------|

F8 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員についてお答えください。(〇はいくつでも)

- | | | |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1 未就学児 9.6% | 2 小・中学校在学中 13.3% | 3 高校在学中 5.1% |
| 4 その他の学校に在学中 5.7% | 5 学校教育終了 42.2% | 6 その他 0.3% |
| 7 子どもはいない 21.4% | 無回答 8.3% | |

F9 あなたはたばこを吸いますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---------------|------------------|------------------|----------|
| 1 吸っている 17.8% | 2 以前は吸っていた 24.3% | 3 吸ったことはない 56.6% | 無回答 1.3% |
|---------------|------------------|------------------|----------|

F10 あなたのお宅では犬を飼っていますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---------------|------------------|------------------|----------|
| 1 飼っている 14.0% | 2 以前は飼っていた 19.2% | 3 飼ったことはない 65.6% | 無回答 1.2% |
|---------------|------------------|------------------|----------|

F11 あなたは携帯電話を使っていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1 使っている 79.8% | 2 使っていない 19.0% | 無回答 1.2% |
|---------------|----------------|----------|

F12 あなたは自転車に乗りますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|-----------------|--------------------|--------------|----------|
| 1 よく乗っている 30.4% | 2 たまに乗ることがある 29.8% | 3 乗らない 38.7% | 無回答 1.1% |
|-----------------|--------------------|--------------|----------|

F13 瀬谷区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案などございましたら、自由にご記入ください。

アンケートはこれで終了です。お疲れ様でした。
ご記入内容をもう一度ご確認いただき、同封の返信用封筒に入れて、
平成21年12月8日(金)までにポストに投函してください。
ご協力ありがとうございました。

瀬谷区区民意識調査

平成 22 年 3 月

瀬谷区役所総務部区政推進課
〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町 190
TEL367-5632 FAX365-1170